

EW-M5071FT

ユーザーズガイド

目次

マニュアルの見方	7
マニュアルの種類と内容	7
マニュアルの使い方と情報の探し方	7
マークの意味	9
マニュアル記載の前提	9
OS表記	9
マニュアルのご注意	10

プリンターの基本情報	11
各部の名称と働き	11
操作パネル	14
画面の基本構成	15
画面に表示されるアイコン	15
文字入力の仕方	17
ジョブ確認メニュー画面の見方	18

ネットワーク設定	19
ネットワーク接続の種類	19
有線LAN接続	19
無線LAN (Wi-Fi) 接続	20
Wi-Fi Direct接続	20
コンピューターとの接続	21
スマートデバイスとの接続	22
プリンターのネットワーク設定	22
手で設定する	23
プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)	24
PINコードで設定する (WPS)	25
Wi-Fi Directで設定する	26
ネットワーク詳細設定をする	27
ネットワーク接続状態の確認	29
ネットワークアイコン	29
操作パネルでネットワーク状態を確認する	29
ネットワーク接続診断レポートを印刷する	30
ネットワークステータスシートを印刷する	36
アクセスポイントを交換または追加したとき は	36
コンピューターとの接続形態の再設定	36
操作パネルから無線LANを無効にする	37
操作パネルからWi-Fi Direct接続を切断する	37

操作パネルからネットワーク設定を初期の状 態に戻す	38
------------------------------------	----

プリンターの準備	39
用紙のセット	39
対応用紙とセット可能枚数	39
用紙力セットに印刷用紙をセットする	43
手差し給紙に印刷用紙をセットする	46
ハガキのセット方法	48
封筒のセット方法	50
セットした用紙の種類を設定する	51
原稿をセットする	52
ADFにセットできる原稿	52
ADFに原稿をセットする	53
原稿台に原稿をセットする	55
メモリーカードをセットする	56
対応メモリーカード	56
メモリーカードのセットと取り出し	57
アドレス帳を管理する	58
アドレスを登録する	58
アドレスをグループにする	59
コンピューターからのアドレス帳登録	60
アドレス帳のバックアップ	60
お気に入りの設定を登録する	60
Ecoモード	60
スリープ移行時間を長く設定する	61
セットアップメニューの説明	61
メンテナンスボックス空き容量	61
メンテナンスメニューの説明	61
給紙の設定メニューの説明	62
本体ステータスシートの印刷メニューの説明	62
ネットワーク情報メニューの説明	63
管理者設定メニューの説明	63
システム管理設定メニューの説明	64
原稿サイズ自動検知設定(原稿台) :	70
メールサーバーを利用する	70
メールサーバーを設定する	70
メールサーバー設定項目	71
メールサーバーとの接続を確認する	72

印刷	73
Windows プリンタードライバーから印刷す る	73

プリンタードライバーの開き方	73
基本の印刷	74
両面に印刷する	75
複数ページを1ページに印刷する	76
ページ順に印刷する（逆順印刷）	77
拡大縮小して印刷する	77
複数用紙に分割して拡大印刷する（ポスター）	78
ヘッダーやフッターを入れて印刷する	84
透かしを入れて印刷する（透かし印刷）	85
印刷面を下向きに排紙する設定で印刷する （フェイスダウン）	86
データにパスワードを設定して印刷する	86
複数ファイルを1つにまとめて印刷する（まとめ てプリント）	87
カラーユニバーサルデザイン（CUD）で印刷す る	88
色補正をして印刷する	88
細い線を鮮明に印刷する	89
印刷を中止する	89
プリンタードライバーのメニュー説明	90
Mac OSプリンタードライバーから印刷す る	94
基本の印刷	94
両面に印刷する	96
複数ページを1ページに印刷する	97
ページ順に印刷する（逆順印刷）	97
拡大縮小して印刷する	98
印刷面を下向きに排紙する設定で印刷する （フェイスダウン）	99
色補正をして印刷する	99
印刷を中止する	100
プリンタードライバーのメニュー説明	100
Mac OSプリンタードライバーの動作を設定す る	107
操作パネルから印刷する	108
JPEGファイルを印刷する	108
TIFFファイルを印刷する	109
外部メモリーから印刷時のメニューの説明	110
スマートデバイスから印刷する	112
Epson iPrintを使う	112
Epson印刷サービスプラグインを使う	113
印刷を中止する - ジョブ確認メニュー	114

コピー 115

コピーする	115
用紙の両面にコピーする	116
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする	116
コピー時のメニューの説明	116

スキャン 119

操作パネルからスキャンする	119
スキャンした画像をメールに添付する	119
スキャンした画像を共有フォルダーまたはFTP サーバーに保存	121
スキャンした画像を外部メモリーに保存する	141
スキャンした画像をクラウドに保存する	142
スキャンした画像をコンピューターに保存する	143
スキャンの共通設定項目	145
コンピューターからスキャンする	146
Epson Scan 2でスキャンする	146
スマートデバイスからスキャンする	149
Epson iPrintをインストールする	149
Epson iPrintでスキャンする	149

ファクス 151

ファクスの準備	151
電話回線に接続する	151
ファクスの基本設定をする	155
プリンターからファクスを送信する	158
ファクス送信の基本操作	158
便利な送信方法	162
プリンターでファクスを受信する	165
いろいろな受信方法	165
受信文書の保存と転送	166
コンピューターからファクスを送信する	170
アプリケーションで作成した文書を送信する （Windows）	171
アプリケーションで作成した文書を送信する （Mac OS）	173
コンピューターでファクスを受信する	174
受信ファクスをコンピューターに保存する	174
コンピューターでファクスを受信してプリン ターで印刷もする	175
コンピューターへのファクス受信を中止する	175
新着ファクスを確認する（Windows）	175
新着ファクスを確認する（Mac OS）	176
その他のファクス機能を使う	177
各種ファクスレポートやリストを印刷する	177
ファクスのセキュリティを設定する	178
ファクスジョブを確認する	179
ファクスメニューの説明	181
ファクス設定メニューの説明	183
ユーザーデフォルト設定	183
送信設定	184
受信設定	184

出力設定	185
基本設定	186
セキュリティ設定	187
ファクス機能診断	188
ファクス設定ウィザード	188

インクの補充とメンテナンスボックスの交換 189

インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する	189
メンテナンスボックスの状態を確認する - 操作パネル	189
インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - Windows	189
インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - Mac OS	189
純正インクボトルのご案内	190
インクボトル取り扱い上のご注意	190
インクタンクにインクを補充する	191
メンテナンスボックスの型番	195
メンテナンスボックス取り扱い上のご注意	195
メンテナンスボックスを交換する	195
インクボトルやメンテナンスボックスの廃棄	197

プリンターのメンテナンス 198

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする	198
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - 操作パネル	198
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Windows	199
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Mac OS	199
強力クリーニングをする	200
強力クリーニングをする - Windows	200
強力クリーニングをする - Mac OS	200
プリントヘッドの位置を調整する	201
プリントヘッドの位置を調整する - 操作パネル	201
給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）	202
ADFをクリーニングする	202
原稿台をクリーニングする	204
総通紙枚数を確認する	205
総通紙枚数を確認する - 操作パネル	205
総通紙枚数を確認する - Windows	205
総通紙枚数を確認する - Mac OS	205

ネットワークサービスとソフトウェアのご案内 206

ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）	206
WebブラウザからWeb Configを起動する	206
WindowsからWeb Configを起動する	207
Mac OSからWeb Configを起動する	207
文書や写真をスキャンするソフトウェア（Epson Scan 2）	207
スキャナーの追加方法	208
操作パネルからのスキャン動作を設定するソフトウェア（Epson Event Manager）	209
ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）	209
ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバ）	210
写真をレイアウトして印刷するソフトウェア（E-Photo）	210
Webページを印刷するソフトウェア（E-Web Print）	211
複数のデバイスを設定できるソフトウェア（EpsonNet Config）	211
ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）	212
最新のソフトウェアをインストールする	213
ソフトウェアをアンインストール（削除）する	214
ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows	214
ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Mac OS	215
ネットワークサービスを使って印刷する	215

困ったときは 217

プリンターの状態を確認する	217
プリンター画面のメッセージを確認する	217
プリンターの状態を確認する - Windows	218
ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する	218
プリンターの状態を確認する - Mac OS	223
ソフトウェアの状態を確認する	223
詰まった用紙を取り除く	224
手差し給紙から詰まった用紙を取り除く	224
プリンター内部から詰まった用紙を取り除く	224
用紙カセットから詰まった用紙を取り除く	226
背面カバーと背面ユニットから詰まった用紙を取り除く	229

目次

ADFから詰まった用紙を取り除く	231	原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、 点などが現れる	252
正しく給紙ができない	233	ADFからスキャンするとき直線が現れる	252
印刷用紙が詰まる	234	画質が粗い	252
斜めに給紙される	234	原稿の裏面が写る	252
重なって給紙される	234	文字がぼやける	253
給紙ができない	234	モアレ（網目状の陰影）が現れる	253
ADFから給紙できない	234	原稿台で正しい範囲でスキャンできない	253
電源、操作パネルのトラブル	235	検索可能PDFに保存するとき、文字が正しく認 識されない	254
電源が入らない	235	スキャン品質のトラブルが解決しないときは	254
電源が切れない	235	操作パネルから共有フォルダーにスキャンで きない	255
プリンターの画面が暗くなった	236	プリンターのメッセージを確認	255
コンピューターから印刷できない	236	保存に時間がかかる	256
接続状態をチェック（USB）	236	プライベートネットワークとパブリックネット ワークを切り替える	257
接続状態をチェック（ネットワーク）	236	スキャン時のその他のトラブル	261
ソフトウェアやデータをチェック	237	スキャン速度が遅い	261
コンピューターでプリンターの状態をチェック （Windows）	239	スキャンした画像をメールで送信できない	262
コンピューターでプリンターの状態をチェック （Mac OS）	240	PDF/Multi-TIFF形式でスキャンすると動作が 止まる	262
ネットワークに接続できない	240	ファクス送受信のトラブル	262
ネットワーク接続に問題がないのに機器から接 続できない	240	ファクスの送信も受信もできない	262
プリンターが接続している SSID の確認方法	242	ファクスを送信できない	264
コンピューターが接続しているSSIDの確認方 法	242	特定の送信先にファクスを送信できない	264
印刷結果のトラブル	243	指定時間にファクスを送信できない	265
印刷結果がかすれる、出ない色がある	243	ファクスを受信できない	265
印刷結果にスジ（線）が入る、色合いがおかしい	243	メモリー不足のメッセージが表示された	265
約2.5cm間隔で色の付いたスジが入る	244	きれいに送信できない	266
印刷結果がぼやける、文字や罫線がガタガタに なる	244	原稿サイズと違うサイズで送信された	266
印刷品質が悪い	245	きれいに受信できない	267
印刷用紙が汚れる、こすれる	246	A3ファクスを受信できない	267
自動両面印刷すると印刷用紙が汚れる	247	受信ファクスが印刷されない	267
写真印刷するとインクがベタベタする	247	ファクス時のその他のトラブル	268
画像や写真が意図しない色合いになる	247	プリンターに接続した外付け電話機で通話でき ない	268
印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない	247	留守番電話が応答しない	268
文字が正しく印刷されない、文字化けする	248	ナンバーディスプレイ機能が働かない	268
画像が反転する	248	受信文書に相手先のファクス番号が表示されな い、またはファクス番号が間違って表示される	268
モザイクがかかったように印刷される	248	その他のトラブル	269
コピー結果にムラやシミ、斑点、線が出る	248	プリンターに触れたときに電気を感じる	269
コピー結果にモアレ（網目状の陰影）が出る	249	動作音が大きい	269
コピーすると裏写りする	249	手差し給紙が外れた	269
電源を入れ直すと両面コピーになる	249	日時、時刻がずれている	270
印刷結果のトラブルが解決しない	249	外部メモリーが認識されない	270
印刷時のその他のトラブル	250	外部メモリーにデータを保存できない	270
印刷速度が遅い	250	パスワードを忘れた	270
連続印刷中に印刷速度が極端に遅くなった	250	ソフトウェアがセキュリティソフトにプロッ クされる（Windowsのみ）	270
Mac OS X v10.6.8から印刷を中止できない	250	写真の選択画面で「？」と表示される	271
スキャンできない	251	インク残量情報更新のメッセージが表示される	271
スキャン品質のトラブル	252	インクがこぼれた	271

意図しないサイズでコピー、スキャンされた、 またはファクスが送信された	271
--	-----

付録272

プリンターの仕様	272
プリンター部の仕様	272
スキャナー部の仕様	273
インターフェースの仕様	274
ファクス部の仕様	274
ネットワーク機能一覧	275
無線LANの仕様	276
有線LANの仕様	277
セキュリティのプロトコル	277
対応している他社サービス	277
外部記憶装置の仕様	277
外形寸法と質量の仕様	279
電氣的仕様	280
動作時と保管時の環境仕様	280
対応OS	280
規格と規制	281
複製が制限されている印刷物	281
電源高調波	281
瞬時電圧低下	281
電波障害自主規制	281
著作権	282
複製が禁止されている印刷物	282
製品のご注意	282
本製品の不具合に起因する付随的損害	282
外部記憶装置に関するご注意	282
液晶ディスプレイの特性	283
タッチパネル使用上のご注意	283
揮発性物質の放散	283
電波に関するご注意	283
無線LAN (Wi-Fi) 機能に関するご注意	284
セキュリティに関するご注意	284
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	285
本製品の使用限定	285
本製品の譲渡と廃棄	285
プリンターを輸送する	285
コンピューターから外部記憶装置へのアクセ ス	289
商標	289
サービスとサポートのご案内	290
エプソンサービスパック	290
保守サービスのご案内	291
保証書について	291
補修用性能部品および消耗品の保有期間	291
保守サービスの受付窓口	291
保守サービスの種類	292
お問い合わせ先	293

マニュアルの見方

マニュアルの種類と内容

プリンターには以下のマニュアルが用意されています。マニュアル以外にも、いろいろなヘルプがプリンター本体やソフトウェアに組み込まれているのでご活用ください。

- 製品使用上のご注意（紙マニュアル）
製品を安全に使用するための注意事項を記載しています。
- スタートガイド（紙マニュアル）
プリンターを使える状態にするまでの作業を説明しています。
- 使い方ガイド（紙マニュアル）
プリンターの基本的な使い方やよくあるご質問の対処方法などを説明しています。
- ユーザーズガイド（電子マニュアル）
本書です。プリンターの使い方全般や、メンテナンス方法、トラブルへの対処方法などを説明しています。
- システム管理者ガイド（電子マニュアル）
システム管理者向けに管理の仕方やプリンターの設定方法を説明しています。

マニュアルの最新版は以下から入手できます。

- 紙マニュアル
エプソンのウェブサイトからダウンロードします。
<http://www.epson.jp/support/>
- 電子マニュアル
コンピューターでEPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター）を起動します。EPSON Software Updaterは、エプソンのウェブサイトアクセスして更新可能なソフトウェアや電子マニュアルの一覧を表示します。一覧の中に電子マニュアルがあったらダウンロードしてください。
電子マニュアルは、以下のサイトの「サポート」ページからダウンロードすることもできます。
<http://epson.sn/>

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」212ページ](#)

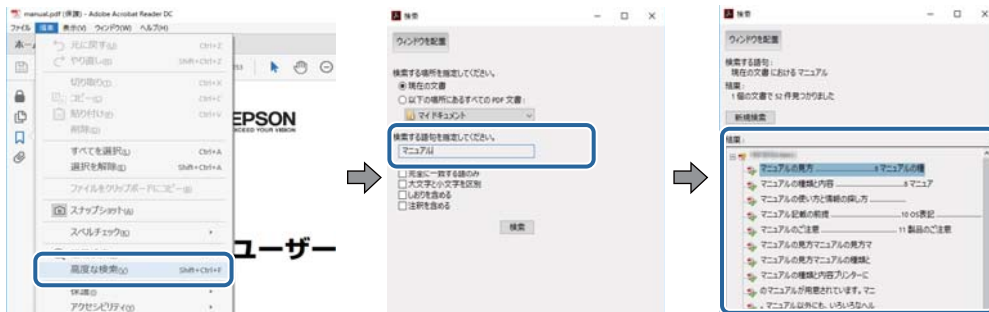
マニュアルの使い方と情報の探し方

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピューターのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

マニュアルの見方

キーワードで検索する

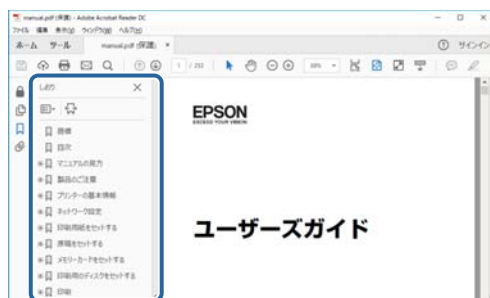
〔編集〕メニューの〔高度な検索〕をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、〔検索〕をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。



しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。〔+〕または〔>〕をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

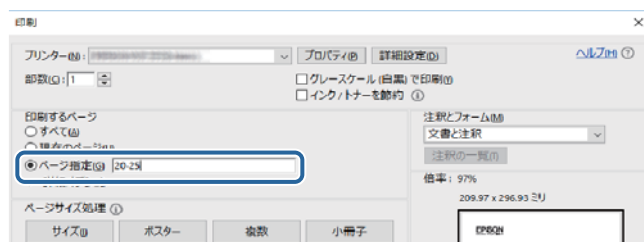
- Windows：〔Alt〕キーを押したまま←キーを押します。
- Mac OS：commandキーを押したまま←キーを押します。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。〔ファイル〕メニューの〔印刷〕または〔プリント〕をクリックし、〔印刷するページ〕の〔ページ指定〕で、印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
例：5,10,15



マークの意味

⚠ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が怪傷を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

! 重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

➡ 関連情報

関連したページにジャンプします。

マニュアル記載の前提

- プリンタードライバーとEpson Scan 2（スキャナードライバー）の画面は、Windows 10またはmacOS Sierraでの表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- プリンターのイラストは一例です。機種によって多少異なりますが操作方法は同じです。
- プリンター画面の設定項目は機種や設定状況によって異なります。

OS表記

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版

- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「macOS Sierra」「OS X El Capitan」「OS X Yosemite」「OS X Mavericks」「OS X Mountain Lion」「Mac OS X v10.7.x」「Mac OS X v10.6.8」の総称として「Mac OS」を使用しています。

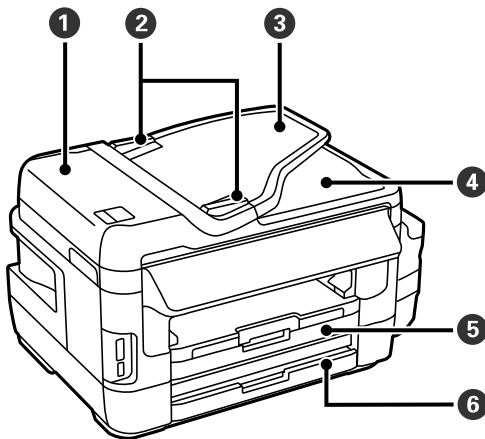
マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

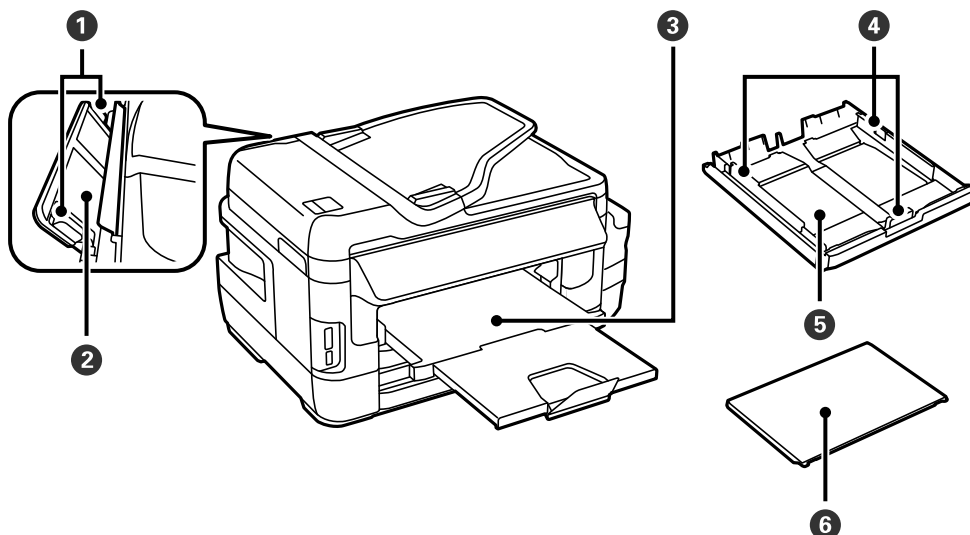
© 2020 Seiko Epson Corporation

プリンターの基本情報

各部の名称と働き

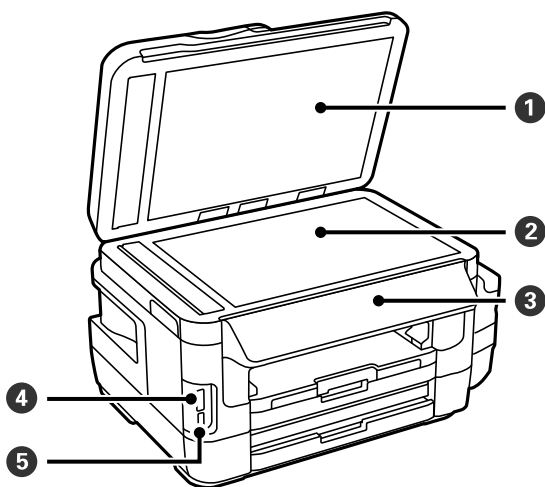


①	ADF（オート ドキュメント フィーダー）カバー	ADFに詰まった原稿を取り除くときに開けます。
②	ADF原稿ガイド	原稿をまっすぐ送るためのガイドです。原稿の側面に合わせてください。
③	ADF給紙トレイ	原稿を自動で送ります。
④	ADF排紙トレイ	ADFから排出された原稿を保持します。
⑤	用紙カセット1	印刷用紙をセットします。
⑥	用紙カセット2	



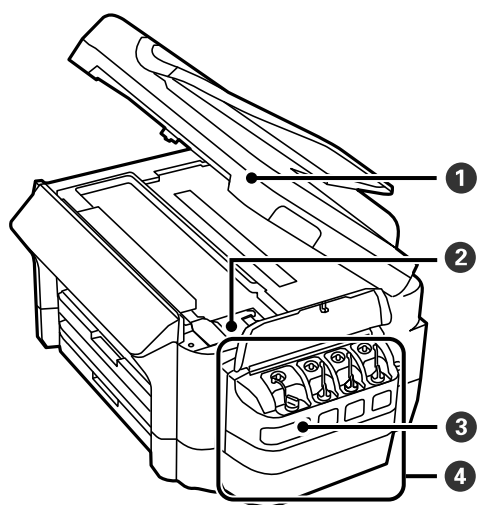
プリンターの基本情報

①	用紙ガイド	用紙をまっすぐ送るためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。
②	手差し給紙	1枚の印刷用紙を手差しで給紙します。
③	排紙トレイ	印刷された用紙を保持します。
④	用紙ガイド	用紙をまっすぐ送るためのガイドです。用紙の端に合わせてください。
⑤	用紙カセット	印刷用紙をセットします。
⑥	用紙カセットカバー	用紙カセットに異物が入ることを防ぎます。

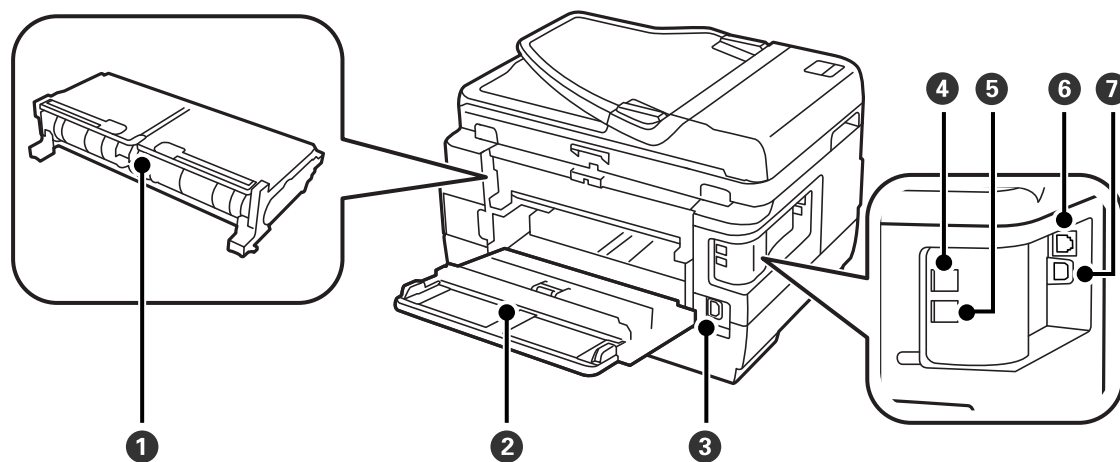


①	原稿カバー	スキャン時に外部の光を遮ります。
②	原稿台	原稿をセットします。
③	操作パネル	プリンターを操作するときに使います。
④	メモリーカードスロット	メモリーカードをセットします。
⑤	外部機器接続ポート	外部メモリーを挿入します。

プリンターの基本情報



①	スキャナーユニット	原稿をスキャンします。内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
②	プリントヘッド（下側）	インクを吐出します。
③	インクタンク	プリントヘッドにインクを供給します。
④	インクタンクユニット	インクタンクが収納されています。

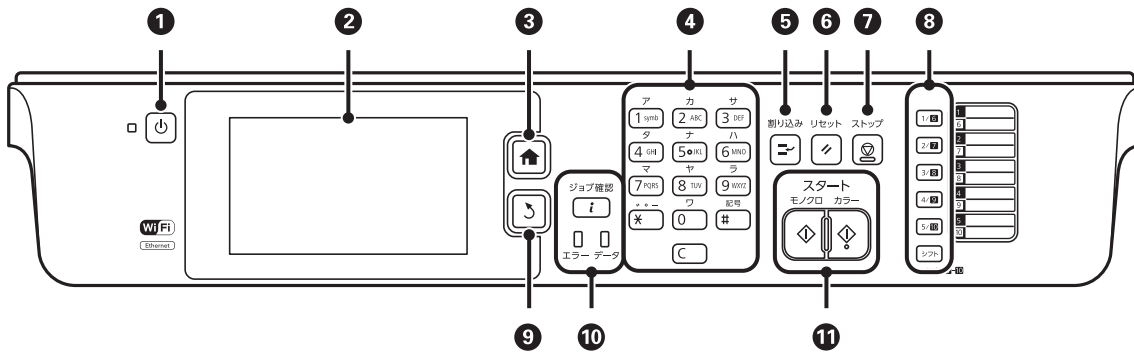


①	背面ユニット	詰まった用紙を取り除くときに取り外します。
②	背面カバー	メンテナンスボックスの交換や内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。
③	電源コネクター	電源コードを接続します。
④	LINEポート	電話回線を接続します。
⑤	EXT.ポート	外付け電話機を接続します。
⑥	LANポート	LANケーブルを接続します。

プリンターの基本情報

7	USBポート	USBケーブルを接続します。
---	--------	----------------

操作パネル



1	電源を入/切します。 電源コードを抜くときは、電源ランプが消灯していることを確認してから抜いてください。
2	項目やメッセージを表示します。 画面をタッチすると項目の選択ができます。画面をなぞるとスクロールできます。
3	ホーム画面を表示します。
4	数字や文字、記号を入力します。 Cを押すと、コピー部数などの数値設定をクリアします。
5	実行中の印刷ジョブを中断して、他の印刷ジョブを割り込んで実行します。ただし、コンピューターから新しい印刷データを割り込ませることはできません。 割り込み動作終了後に押すと、中断した動作を再開します。
6	操作中の設定をユーザーデフォルト設定に戻します。ユーザーデフォルト設定がされてないときは、購入時の設定に戻します。
7	動作を中止します。
8	アドレス帳の1～10に登録した内容呼び出せます。6～10を選択するにはシフトボタンを押したままボタンを押します。
9	前の画面に戻ります。
10	「ジョブ確認メニュー」を表示します。プリンターの状態やジョブ履歴が確認できます。 エラーランプ（左）はエラー発生時に点滅または点灯します。 データランプ（右）はデータ処理中に点滅します。待機中のジョブがあると点灯します。
11	印刷やコピー、スキャン、ファクス送信を開始します。

画面の基本構成



①	プリンターの状態がアイコンで表示されます。
②	各メニューが表示されます。
③	詳細設定画面を表示します。
④	原稿を仮スキャンしてプレビュー画像を表示します。コピーおよびファクスで使用できます。
⑤	よく使う設定値をお気に入りにできます。すでに登録されているお気に入りを使用するには、表示されたリストから選択します。
⑥	設定項目の一覧が表示されます。項目はメニューによって異なります。

画面に表示されるアイコン

プリンターの状況に応じたアイコンが画面に表示されます。ネットワークアイコンを押すと、設定内容の確認や無線LANの設定ができます。

	アイコンを押すと、用紙や原稿のセット方法などが表示されます。
	ADFに原稿をセットすると点灯します
	メンテナンスボックスの空き容量が限界値に近づくとき点灯します。 i ボタンを押して「プリンター情報」を選択すると状態が確認できます。
	メンテナンスボックスの空き容量が限界値に達するとき点灯します。 i ボタンを押して「プリンター情報」を選択すると状態が確認できます。
	未処理（未読や印刷してない、未保存など）の受信文書があるときに点灯します。
	ファクスの受信または送信中に点灯します。

プリンターの基本情報

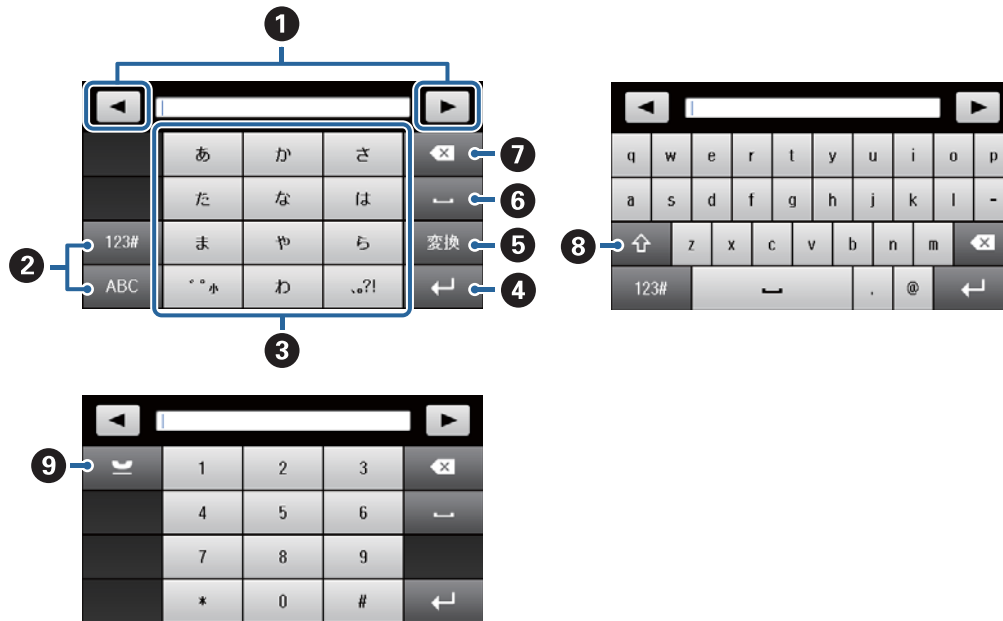
	ファクスメモリーの使用率を表示します。
	ファクスのメモリー使用率が100%になると点灯します。
	未処理の受信文書があると、ファクスモードアイコンに未処理件数が表示されます。11件以上は「10+」と表示されます。詳しくは受信文書が未処理のときの表示を説明しているページをご覧ください。
	無線LANまたは有線LANに接続中であることを示します。
	有線LANに接続されているときに点灯します。
	無線LANに接続されているときに点灯します。線の本数は電波の状態を示します。線の本数が多いほど、電波の状態は良好です。
	無線LAN接続に問題がある、または検索中であることを示します。
	アドホックモードで無線LANに接続されていることを示します。
	Wi-Fi Directモードで無線LANに接続されていることを示します。
	シンプルAPモードで無線LANに接続されていることを示します。
	利用者が制限されていることを示します。アイコンを押すとログオン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してログオンします。ログオン情報がわからないときは、管理者にお問い合わせください。
	利用を許されているユーザーがログオン状態であることを示します。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク設定」19ページ](#)
- ➡ [「セットアップメニューの説明」61ページ](#)
- ➡ [「受信文書が未処理のときの表示」179ページ](#)

文字入力の仕方

アドレス帳やネットワーク設定などでの文字や記号の入力は、文字入力画面で行います。



参考 設定する項目によって表示されるアイコンは異なります。

①	カーソル（入力位置を示す縦棒）を移動します。
②	文字種を切り替えます。 123#：数字と記号入力 ABC：アルファベット入力 あい：日本語入力
③	入力する文字を選択します。 Aa ：大文字と小文字を切り替えます。 ゝ゜小 ：入力中の文字に濁点や半濁点をつけます。または、入力中の文字を小文字にします。
④	入力した文字を確定します。
⑤	入力した文字を変換します。
⑥	スペースを入力します。
⑦	入力した文字を削除します。
⑧	大文字入力と小文字入力を切り替えます。
⑨	ダイヤル中のポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入力します。 ポーズを入力すると、ハイフン（-）が表示されます。

ジョブ確認メニュー画面の見方

i ボタンを押して「ジョブ確認メニュー」を表示します。プリンターの状態やジョブの確認ができます。



①	消耗品の状態やプリンターに発生したエラーを表示します。エラーメッセージを表示するには、リストからエラーを選択してください。
②	実行中または予約中のジョブを表示します。ジョブのキャンセルもできます。
③	ジョブの履歴を表示します。ジョブに失敗するとエラーコードが表示されます。
④	「受信ボックス」を選択すると、プリンターのメモリーに保存された受信ファクスが表示されます。
⑤	パスワードが設定されたジョブを表示します。印刷するには、ジョブを選択してパスワードを入力してください。
⑥	メンテナンスボックスの空き容量を示します。
⑦	「プリンター情報」では、プリンターに発生したエラーを表示します。エラーメッセージを表示するには、リストからエラーを選択してください。 「ジョブモニター」および「ジョブ履歴」では、ジョブの一覧を表示します。
⑧	「ジョブ確認メニュー」の別の項目に切り替えます。

関連情報

➡ [「ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する」218ページ](#)

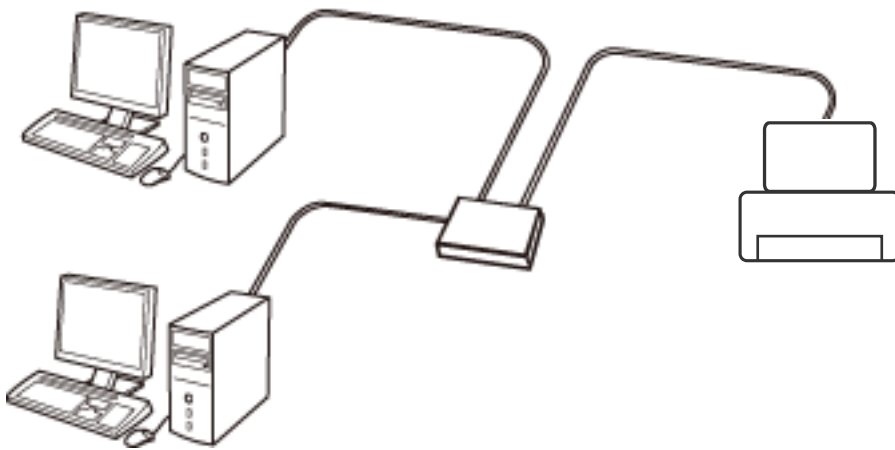
ネットワーク設定

ネットワーク接続の種類

本製品は以下の接続方法に対応しています。

有線LAN接続

LANケーブルでプリンターとハブを接続する方法です。

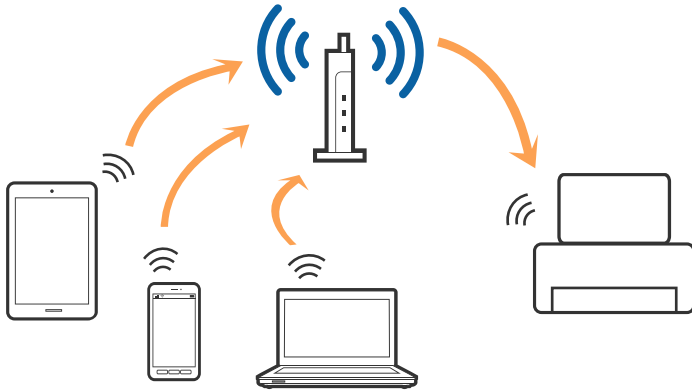


関連情報

➡ [「ネットワーク詳細設定をする」27ページ](#)

無線LAN（Wi-Fi）接続

プリンターをコンピューターまたはスマートデバイスにアクセスポイント経由で接続します。家庭またはオフィスでスマートデバイスやコンピューターを無線LAN（Wi-Fi）で利用している（アクセスポイントがある）場合の接続方法です。



関連情報

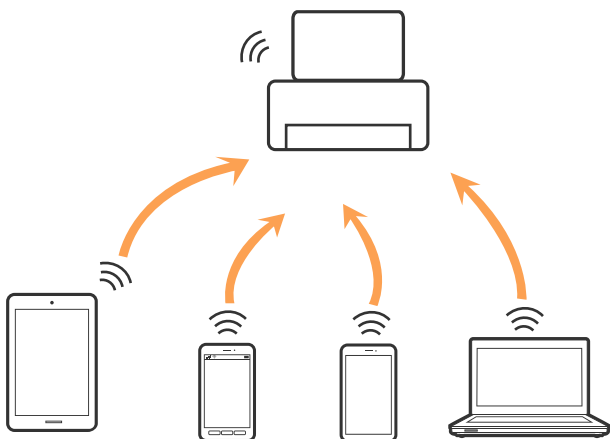
- ➡ [「コンピューターとの接続」 21ページ](#)
- ➡ [「スマートデバイスとの接続」 22ページ](#)
- ➡ [「プリンターのネットワーク設定」 22ページ](#)

Wi-Fi Direct接続

家庭またはオフィスで無線LAN（Wi-Fi）を利用していない（アクセスポイントがない）場合や、プリンターとコンピューターやスマートデバイスを直接接続したい場合の接続方法です。

シンプルAPモード

無線LAN設定されていないプリンターで「Wi-Fi Direct設定」をするとシンプルAPモードで接続されます。この接続方法はプリンターがアクセスポイントとして動作し、4台までの機器と接続できます。ただし、プリンターに直接接続された機器の間では、プリンター経由での通信はできません。



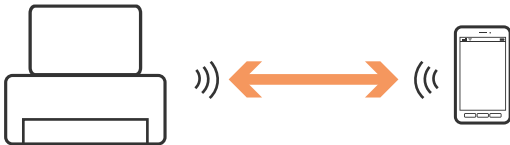
プリンターは有線LANとシンプルAPモードの同時接続ができます。

関連情報

➔ 「無線LAN設定されていないプリンターにWi-Fi Direct設定をする（シンプルAPモード）」 26ページ

Wi-Fi Directモード

無線LAN設定されているプリンターで「Wi-Fi Direct設定」をするとWi-Fi Directモードで接続されます。接続する機器（iOS機器やWi-Fi Direct対応機器など）により、プリンターとの接続手順が異なります。



参考

- Wi-Fi Directモードでは、プリンターと接続できる機器は1台のみです。
- Wi-Fi Directモードは一時的な接続のため、継続的に使用する場合は無線LAN（Wi-Fi）接続をお勧めします。

関連情報

➔ 「無線LAN設定されているプリンターにWi-Fi Direct設定をする（Wi-Fi Directモード）」 27ページ

コンピューターとの接続

プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。[セットアップ]に進んで、作業を開始します。
<http://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

インストーラーの画面の指示に従って操作して、以下の画面が表示されたらコンピューターとプリンターの接続方法を選択します。

接続方法を選択して、[次へ] をクリックします。



この後は、画面の指示に従って操作します。

スマートデバイスとの接続

スマートデバイスが接続しているWi-Fiと同じネットワーク（SSID）にプリンターを接続すると、スマートデバイスからプリンターが使えるようになります。スマートデバイスからプリンターを利用するには、以下のウェブサイトから設定をしてください。なお、ウェブサイトにはプリンターに接続したい機器からアクセスしてください。

<http://epson.sn> - [セットアップ]

参考 スマートデバイスとコンピューターの両方からプリンターを利用したい場合は、コンピューターとの接続設定を先に行うことをお勧めします。

プリンターのネットワーク設定

プリンターの操作パネルからネットワーク設定する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

アクセスポイントの情報（SSID、パスワード）が分かれば、手動で設定するのが確実です。

AOSSやWPS対応のアクセスポイントをお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。

プリンターがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をプリンターに接続してください。

固定のIPアドレスを使用したい場合は、詳細設定で設定してください。

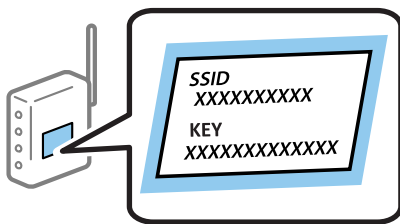
関連情報

- ➡ 「手動で設定する」 23ページ
- ➡ 「プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS) 」 24ページ
- ➡ 「PINコードで設定する(WPS)」 25ページ
- ➡ 「Wi-Fi Directで設定する」 26ページ
- ➡ 「ネットワーク詳細設定をする」 27ページ

手動で設定する

アクセスポイントに接続するための情報をプリンターの操作パネルから手動で設定する方法です。手動で設定するには、アクセスポイントのSSIDとセキュリティキーの情報が必要です。

- 参考** アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、アクセスポイントに貼られているラベルなどに書かれている SSID とセキュリティキーが設定されています。SSID とセキュリティキーがわからない場合はアクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



1. ホーム画面で  を押します。
2. [無線LAN設定] を選択します。
3. [手動設定] を選択します。
4. 接続したいSSIDを選択します。

- 参考**
- アクセスポイントの設定によってはSSID が表示されないことがあります。その場合は [その他のSSID] を選択して、接続するSSIDを直接入力してください。
 - SSIDがわからない場合はアクセスポイントのラベルに書かれていないかを確認してください。アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルに書かれているSSIDを使用します。

5. [セキュリティキー] を押して、パスワードを入力します。

- 参考**
- セキュリティキーは大文字と小文字を区別して入力してください。
 - セキュリティキーがわからない場合はアクセスポイントのラベルに書かれていないかを確認してください。アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルに書かれているセキュリティキーを使用します。セキュリティキーは「パスフレーズ」や「暗号化キー」などとも呼ばれます。
 - アクセスポイントのSSIDとセキュリティキーはアクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

6. 入力が終わったら  を押します。
7. 設定内容を確認して [次へ] を押します。
8. [設定開始] を押します。
9. [終了] を押します。

参考 接続に失敗した場合は、A4サイズの普通紙をセットして  を押し、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

関連情報

- ➡ [「文字入力の仕方」 17ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク接続状態の確認」 29ページ](#)
- ➡ [「ネットワークに接続できない」 240ページ](#)

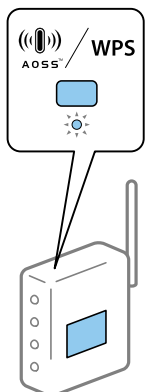
プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)

アクセスポイントのプッシュボタンで自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

- アクセスポイントがAOSSや WPS (Wi-Fi Protected Setup)に対応している
- 既存の無線LAN (Wi-Fi) をプッシュボタンで設定している

参考 プッシュボタンの位置がわからない、またはプッシュボタンがなくソフトウェアで操作する場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

1. ホーム画面で  を押します。
2. [無線LAN設定] を選択します。
3. [プッシュボタン自動設定(AOSS/WPS)] を選択します。
4. アクセスポイントのプッシュボタンをランプが点滅するまで押します。



プッシュボタンの位置がわからない、またはボタンが見当たらない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

5. [設定開始] を押します。
6. 設定完了のメッセージが表示されたら [確認] を押します。
[確認] を押さなくても、一定時間を経過すると次の画面に進みます。

参考 接続に失敗した場合はアクセスポイントを再起動し、プリンターに近付けて再度設定してください。それでも解決しない場合は、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

7. [確認] を押します。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続状態の確認」 29ページ](#)
- ➡ [「ネットワークに接続できない」 240ページ](#)

PINコードで設定する(WPS)

PINコードを使ってアクセスポイントに接続する方法です。アクセスポイントがWPS(Wi-Fi Protected Setup)に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードをアクセスポイントに入力するときに、コンピューターを使います。

1. ホーム画面で  を押します。
2. [無線LAN設定] を選択します。
3. [PINコード自動設定(WPS)] を選択します。
4. プリンターに表示されているPINコード（8桁の数字）を、2分以内にコンピューターからアクセスポイントに入力します。

参考 PINコードの入力方法は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

5. [設定開始] を押します。
6. 設定完了のメッセージが表示されたら [確認] を押します。
[確認] を押さなくても、一定時間を経過すると次の画面に進みます。

参考 接続に失敗した場合はアクセスポイントを再起動し、プリンターに近付けて再度設定してください。それでも解決しない場合は、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

7. [確認] を押します。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続状態の確認」 29ページ](#)
- ➡ [「ネットワークに接続できない」 240ページ](#)

Wi-Fi Directで設定する

アクセスポイントを使わずに直接プリンターと機器を接続する方法です。プリンターがアクセスポイントの役割をします。プリンターに無線LAN設定がされているかどうかで、接続できるモードが異なります。

！重要 コンピューターやスマートデバイスからプリンターにWi-Fi Direct接続した場合、プリンターとコンピューターやスマートデバイスは同じWi-Fiのネットワーク (SSID) に接続され、相互に通信できます。プリンターの電源を切ると、コンピューターやスマートデバイスは自動で別の接続可能なネットワーク (SSID) に接続されるため、再度プリンターの電源を入れても元の接続には戻りません。再度コンピューターやスマートデバイスからプリンターの Wi-Fi Direct のSSIDに接続してください。毎回接続するのが面倒な場合は、アクセスポイント経由で無線LANに接続することをお勧めします。

無線LAN設定されていないプリンターにWi-Fi Direct設定をする（シンプルAPモード）

参考 この接続は、有線LANと同時接続ができます。また、4台までの機器をプリンターに接続できます。

1. ホーム画面で  を押します。
2. [無線LAN設定] を選択します。
3. [Wi-Fi Direct設定] を選択します。
4. [接続設定] を選択します。
5. [設定開始] を選択します。
パスワードを変更したいときは、[セキュリティキー変更] を選択して、画面の指示に従ってください。
6. 画面をスクロールして、SSIDとセキュリティキーを確認します。コンピューターのネットワーク接続画面または、スマートデバイスのWi-Fi画面からプリンターの操作パネルに表示されたSSIDを選択し、接続します。
7. パスワードには、プリンターの操作パネルに表示されているセキュリティキーを入力します。
8. 接続できたら、プリンターの操作パネルで [終了] を押します。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続状態の確認」 29ページ](#)
- ➡ [「ネットワークに接続できない」 240ページ](#)

無線LAN設定されているプリンターにWi-Fi Direct設定をする（Wi-Fi Directモード）

！重要 Wi-Fi Directモード接続中はプリンターの無線LAN（Wi-Fi）が切断されるため、無線LAN（Wi-Fi）接続でプリンターを使用することはできません。Wi-Fi Directモードの接続を切断すると、無線LANで使えるようになります。

Wi-Fi Directモードの接続手順はシンプルAPモードの手順とほぼ同じです。プリンターの操作パネルから、 - [無線LAN設定] - [Wi-Fi Direct設定] - [接続設定] の順に選択し、[設定開始] を押して接続する機器側からWi-Fi Directに接続します。接続されると、プリンターの操作パネルにメッセージが表示され、ホーム画面のネットワークアイコンがWi-Fi Directモードに変わります。

参考 Wi-Fi Directモードでの接続を、Android機器（1台のみ）に限定させることができます。Web Configで [基本設定] - [Wi-Fi Direct設定] - [Wi-Fi Direct対応機器との接続に限定する] の順に選択し、プリンターへ設定します。接続手順はWi-Fi Directモードと同じです。
この設定をすると、Wi-Fi Direct対応のAndroid機器からの接続時にSSIDやパスワードの入力が不要になります。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続状態の確認」29ページ](#)
- ➡ [「ネットワークに接続できない」240ページ](#)

ネットワーク詳細設定をする

ネットワークプリンター名、TCP/IP設定、DNSサーバー設定などネットワークの詳細設定をします。ご利用のネットワーク環境を確認してから設定を進めてください。

1. ホーム画面で  を押します。
2. [メニュー] を選択します。
3. [ネットワーク設定] を選択します。
4. [ネットワーク詳細設定] を選択します。
5. 設定したい項目を選択し、設定値を選択または指定します。

ネットワーク詳細設定の設定項目

設定したい項目を選択し、設定値を選択または指定します。

ネットワーク設定

- プリンター名
プリンター名を入力します。入力できる文字は以下の通りです。

- 文字数：2～15（1文字は不可）
- 使用できる文字：A～Z、a～z、0～9、-
- 先頭に使用できない文字：0～9、-
- 末尾に使用できない文字：-

参考

プリンター名を入力せずに  ボタンを押すと、メーカー設定値のプリンター名（EPSON+プリンターのMACアドレス下6桁）が設定されます。

- TCP/IPアドレス
 - 自動
DHCPサーバーによるIPアドレス自動取得を有効にしている場合やご家庭でアクセスポイントを使用している場合に選択します。
 - 手動
プリンターのIPアドレスが変更されると不都合な場合に選択します。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイのアドレスをご利用の環境に合わせて入力してください。
- DNSサーバー
 - 自動
IPアドレスの取得を自動設定にした場合に選択します。
 - 手動
プリンターに固有のDNSサーバーアドレスを設定する場合に選択します。プライマリーDNSサーバーとセカンダリーDNSサーバーのアドレスを入力します。
- プロキシサーバー
 - 使用する
ご利用のネットワーク環境でプロキシサーバーを使っていてプリンターにも設定する場合に選択します。プロキシサーバー名とポート番号を続けて入力します。
 - 使用しない
ご家庭の環境ではこれを選択します。
- メールサーバー
 - サーバー設定
プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を、オフ、POP before SMTP、SMTP認証から選択します。
 - コネクションテスト
メールサーバーへの接続を確認します。コネクションテストを実行中にエラーが発生した場合は、『システム管理者ガイド』をご覧ください。
- IPv6アドレス
 - 有効
IPv6アドレスを使う場合に選択します。
 - 無効
IPv4アドレスを使う場合に選択します。

- Wi-Fi Direct
 - 有効
コンピューターやスマートデバイスからの直接接続を許可します。
 - 無効
コンピューターやスマートデバイスからの直接接続を禁止します。〔無効〕を選択した場合は、コンピューターやスマートデバイスから直接接続できなくなります。
- MS Network共有
 - 有効
MS Networkのサービスを利用します。
 - 無効
MS Networkサービスを利用したファイル共有を禁止します。ネットワークスキャンによるファイル共有などができなくなります。

ネットワーク接続状態の確認

ネットワーク接続状態を確認するには、いくつかの方法があります。

ネットワークアイコン

プリンターのホーム画面にあるネットワークアイコンでネットワークの接続状態と電波強度を確認できます。



関連情報

➔ [「画面に表示されるアイコン」15ページ](#)

操作パネルでネットワーク状態を確認する

プリンターがネットワーク接続されていると、操作パネルでネットワーク情報を確認できます。確認したい情報メニューを選択するとネットワーク関連のその他の情報も表示させることができます。

1. ホーム画面で〔セットアップ〕を選択します。
2. 〔ネットワーク情報〕を選択します。
3. 確認したいメニューを選択します。
 - ネットワーク情報確認
有線または無線接続時のネットワーク情報（プリンター名、TCP/IP設定方法、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー設定方法など）が表示されます。

ネットワーク設定

- Wi-Fi Direct接続確認
Wi-Fi Direct接続時のネットワーク情報（プリンター名、接続方法、TCP/IP設定方法、デフォルトゲートウェイなど）が表示されます。
- メールサーバー設定確認
- Epson Connect情報確認
Epson Connect サービスへの登録内容が表示されます。
- Googleクラウドプリント情報確認
サービスへの登録内容と接続状態が表示されます。

4. [確認] を押してメニュー画面に戻るか、[印刷] を押してネットワークステータスシートを印刷します。

印刷する場合は、プリンターにA4サイズの普通紙をセットしてから◇ボタンを押してください。

ネットワーク接続診断レポートを印刷する

プリンターとアクセスポイントの接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。
2. ホーム画面で  を押します。
3. [メニュー] を選択します。
4. [ネットワーク設定] - [ネットワーク接続診断] の順に選択します。
5. ◇ボタンを押して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を確認して対処してください。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」31ページ](#)

ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法

ネットワーク接続診断レポートのメッセージとエラーコードを確認して対処してください。

ネットワーク接続診断レポート

指定のネットワーク (SSID) の有無の確認	OK
無線モードの確認	OK
セキュリティ方式の確認	OK
MACアドレスフィルタリング設定の確認	OK
セキュリティキーの確認	NG
IPアドレスの確認	未診断
IP詳細設定の確認	未診断

セキュリティキーを確認してください。
不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

*何らかのトラブルが発生したときは、マニュアル等をご覧の上、対処してください。

(E-7)

ネットワーク設定情報

プリンター名	EPSONXXXXXX
プリンター型番	XX-XXXXSeries
接続形態	無線LAN接続
TCP/IP設定方法	自動設定
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
ネットワーク (SSID)	XXXXXXXXXXXXXXX
無線通信モード	インフラストラクチャー
無線セキュリティ設定	WPA2-PSK (AES)
電波状態	悪い
MACアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
Epson Connect	無効
Google クラウド プリント	無効
Google クラウド プリント設定URL	http://0.0.0.0/

- a. エラーコード
b. ネットワーク環境に関するメッセージ

a. エラーコード

コード	メッセージ	対処方法
E-1	ネットワークケーブルの接続と、ネットワーク機器の電源を確認してください。	- LAN ケーブルがプリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。 - ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。

ネットワーク設定

コード	メッセージ	対処方法
E-2	指定のネットワーク(SSID)が見つかりません。 アクセスポイントの電源およびネットワーク(SSID)を確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。	• アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。 • コンピューターやその他の機器とアクセスポイントが正常に通信できているか確認してください。 • プリンターとアクセスポイントは近くに置いてください。間にある障害物は取り除いてください。 • SSIDを直接入力したときは、入力した SSID が正しいかを確認してください。SSIDはネットワーク接続診断レポートの ネットワーク情報 で確認できます。 • プッシュボタン自動設定(AOSS/WPS)で設定するときは、アクセスポイントがAOSS/WPSに対応しているか確認してください。AOSS/WPS に対応していないとプッシュボタン自動設定(AOSS/WPS)はできません。 • アドホックモードでの接続は、コンピューターのアドホック設定後に接続が開始したらプリンターのネットワーク設定をし直してください。 • SSIDにASCII文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII文字以外の文字列が含まれた SSID は表示できません。
E-3	指定のネットワーク(SSID)が見つかりません。 接続するパソコンのネットワーク(SSID)を確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。	• アドホックモードでの接続時は、接続するコンピューターの電源が入っているかを確認してください。入っていないときは、電源を入れてからプリンターのネットワーク設定をし直してください。 • プリンターと接続するコンピューターは近くに置いて設定してください。
E-4	異なる無線規格が使用されている可能性があります。 プリンターやアクセスポイント、パソコンの無線規格が IEEE802.11b/g/nに設定されているか確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。	アクセスポイントに設定されている無線規格がプリンターの対応する無線規格と一致しているかを確認してください。一致していないときは、アクセスポイントの無線規格をプリンターに合わせてください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
E-5	セキュリティの種類を確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。	アクセスポイントが以下のいずれかのセキュリティ方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティ方式を使用するようアクセスポイントの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。 • WEP-64 bit (40 bit) • WEP-128 bit (104 bit) • WPA PSK (TKIP/AES)* • WPA2 PSK (TKIP/AES)* • WPA (TKIP/AES) • WPA2 (TKIP/AES) * : WPA PSK は WPA Personal、WPA2 PSK は WPA2 Personalとも呼ばれます。

ネットワーク設定

コード	メッセージ	対処方法
E-6	アクセスポイントに管理者としてログインし、MACアドレスフィルタリング機能が有効に設定されていないか確認してください。有効に設定されていると、事前に登録されたMACアドレス以外は接続できません。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。	- MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターのMACアドレスを登録してフィルタリングされないようにしてください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。プリンターのMACアドレスは、プリンターのネットワーク情報画面やネットワークステータスシートで確認できます。 - アクセスポイントのWEPセキュリティ方式でShared認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。
E-7	セキュリティキーを確認してください。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。	- アクセスポイントに設定されているセキュリティキーと入力したセキュリティキーが一致しません。大文字・小文字も区別されます。セキュリティキーを正確に入力してください。 - 無線LAN（Wi-Fi）で突然接続できなくなったときは、以下を確認してください。当てはまるときは、プリンターに付属のソフトウェアディスクやWebサイトからダウンロードしたソフトウェアでネットワーク設定をし直してください。 http://epson.sn - お使いのネットワーク環境に、新たに別のスマートデバイスをプッシュボタン自動設定(AOSS/WPS)で設定したか - 株式会社バッファロー製のアクセスポイントで、プッシュボタンで設定（AOSS）できるタイプを使っているか - プリンターに付属のソフトウェアディスクから、プッシュボタン自動設定(AOSS/WPS)以外の方法で無線LAN設定をしたか
E-8	IPアドレスが割り当てられていません。ネットワーク機器の設定を確認してください。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。	- プリンターのTCP/IP設定を〔自動〕にしているときは、アクセスポイントのDHCPを有効にしてください。 - プリンターのTCP/IP設定を〔手動設定〕にしているときは、手動で設定したIPアドレスが有効範囲外（0.0.0.0 など）のため、無効になっています。有効なIPアドレスを設定してください。
E-9	プリンターを利用するための機器との接続およびネットワーク設定を確認してください。EpsonNet Setupで設定し直すことをお勧めします。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。	以下を確認してください。 - プリンターを利用する機器の電源が入っているか - プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか 問題がないときは、プリンターに付属のソフトウェアディスクやWebサイトからダウンロードしたソフトウェアでネットワーク設定をし直してください。 http://epson.sn

ネットワーク設定

コード	メッセージ	対処方法
E-10	プリンターを利用するための機器との接続、およびプリンターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を確認してください。 EpsonNet Setupで設定し直すことをお勧めします。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。	以下を確認してください。 - ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか - プリンターのTCP/IP設定を[手動設定]にしているときはネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、プリンターのネットワーク情報画面やネットワークステータスシートで確認できます。 DHCPを有効にしているときは、プリンターのTCP/IP設定でIPアドレスを[自動]にしてください。手動で設定したい場合は、アクセスポイントのIPアドレスを確認してから、プリンターで[手動設定]を選択して、IPアドレスを設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。
E-11	プリンターのデフォルトゲートウェイの設定を確認してください。EpsonNet Setupで設定し直すことをお勧めします。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。	以下を確認してください。 - プリンターのTCP/IP設定を[手動設定]にしたときは、プリンターに手動で設定したデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか - デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。デフォルトゲートウェイは、プリンターのネットワーク情報画面やネットワークステータスシートで確認できます。
E-12	以下を確認してください。 - プリンターのセキュリティーキーの入力が正しいか - アクセスポイントに複数のセキュリティーキーが設定されている場合、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーが製品に設定されているか - プリンターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定が正しいか 不明なときは設定をした方にご確認ください。	以下を確認してください。 - ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか - 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス（IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか - 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか - 他の機器の IP アドレスと重複していないか 問題がないときは、以下をお試しください。 - プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、付属のソフトウェアディスクやWebサイトからダウンロードしたソフトウェアでネットワーク設定をします。 http://epson.sn - セキュリティータイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティーキーを登録することができます。複数のキーが登録されているときは、最初（1 番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

ネットワーク設定

コード	メッセージ	対処方法
E-13	以下を確認してください。 - プリンターのセキュリティーキーの入力が正しいか - アクセスポイントに複数のセキュリティーキーが設定されている場合、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーが製品に設定されているか - プリンターを利用するための機器との接続およびネットワーク設定が正しいか 不明なときは設定をした方にご確認ください。	以下を確認してください。 - ネットワーク機器（アクセスポイント、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか - プリンター以外のネットワーク機器が手動で TCP/IP 設定されていないか（他のネットワーク機器の TCP/IP 設定が手動で、プリンターの TCP/IP 設定のみ自動設定になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。） 問題がないときは、以下をお試しください。 - プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、付属のソフトウェアディスクやWebサイトからダウンロードしたソフトウェアでネットワーク設定をします。 http://epson.sn - セキュリティータイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティーキーを登録することができます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティーキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

b. ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
* 指定のネットワーク(SSID)が複数見つかりました。ご確認ください。	複数のアクセスポイントに同じ SSID が設定されている可能性があります。アクセスポイントの設定を確認し、SSIDを変更してください。
*信号強度が弱くなっています。印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。	電波が弱いために印刷が遅くなる、または途切れる可能性があります。アクセスポイントとプリンターとの距離を短くする、または、間にある障害物を取り除くと改善することがあります。
*設定された無線LANのチャンネルは電波が混雑しています。印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。	隣接する部屋や建物など周囲に他の無線LAN（Wi-Fi）があるために、電波干渉している可能性があります。アクセスポイントとプリンターとの距離を短くする、または、アクセスポイントのチャンネル設定を見直すか改善することがあります。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
*信号強度が弱くなっています。*設定された無線LANのチャンネルは電波が混雑しています。印刷やスキャンで問題が発生したときは、周囲の無線環境の改善をお勧めします。	電波が弱いために印刷が遅くなる、または途切れる可能性があります。隣接する部屋や建物など周囲に他の無線LAN（Wi-Fi）があるために、電波干渉している可能性があります。アクセスポイントとプリンターとの距離を短くする、または、アクセスポイントのチャンネル設定を見直すか改善することがあります。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
*無線接続が可能な機器数の上限に達しています。機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	シンプルAPモードで同時接続できるコンピューターやスマートデバイスは4台までです。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除してから追加してください。

関連情報

- ➡ 「ネットワーク接続状態の確認」 29ページ
- ➡ 「ネットワークに接続できない」 240ページ

ネットワークステータスシートを印刷する

ネットワークステータスシートを印刷すると、プリンターのネットワーク情報や状態を確認できます。

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。
2. ホーム画面で [セットアップ] を選択します。
3. [ネットワーク情報] - [ネットワーク情報確認] の順に選択します。
4. [印刷] を押します。
5.  ボタンを押します。

アクセスポイントを交換または追加したときは

アクセスポイントを交換してSSIDが変わった場合、または新しくアクセスポイントを設置して無線LAN（Wi-Fi）環境を構築した場合などは、再度無線LAN設定をしてください。

関連情報

➡ [「コンピューターとの接続形態の再設定」36ページ](#)

コンピューターとの接続形態の再設定

インストーラーを使って別の接続形態に設定し直します。

- ウェブサイトから設定
以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。[セットアップ] に進んで作業を開始します。
<http://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから設定（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

以下の画面が表示されるまで画面の指示に従って操作します。

インストールソフトウェア選択画面で「接続方法の再設定」を選択して、「次へ」をクリックします。



操作パネルから無線LANを無効にする

無線LAN（Wi-Fi）接続時に無線LANを無効にすると、無線接続が切断されます。

1. ホーム画面で  を押します。
2. 「無線LAN設定」を選択します。
3. 「無線LANを無効にする」を選択します。
4. メッセージを確認して、「[はい]」を選択します。
5. 「終了」を押します。

操作パネルからWi-Fi Direct接続を切断する

- 参考**
- ・ シンプルAPモードで複数の機器がプリンターと接続されていた場合、シンプルAPモードを切断すると全ての機器との接続が切断されます。特定の機器だけを切断したいときは、スマートデバイス側から接続を切断してください。
 - ・ Wi-Fi Directモードの接続を切断（機器からの切断を含む）をすると、Wi-Fi Directモード接続前のネットワーク接続に戻ります。

1. ホーム画面で  を押します。
2. [無線LAN設定] を選択します。
3. [Wi-Fi Direct設定] を選択します。
4. [接続切断] を選択します。
5. メッセージを確認して、[はい] を選択します。
6. [終了] を押します。

操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻す

ネットワーク設定全てを購入時の設定に戻します。

1. ホーム画面で [セットアップ] を選択します。
2. [システム管理設定] を選択します。
3. [初期設定に戻す] を選択します。
4. [ネットワーク設定] を選択します。
5. メッセージを確認して、[はい] を選択します。
6. [確認] を押します。

プリンターの準備

用紙のセット

対应用紙とセット可能枚数

以下は2017年8月現在の情報です。
よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙（純正品）のご使用をお勧めします。

エプソン製専用紙（純正品）

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			両面印刷*1
		用紙カセット 1	用紙カセット 2	手差し給紙	
両面上質普通紙＜再生紙＞	A3、A4	200	200	1	自動、手動*2
写真用紙＜光沢＞	A3ノビ、A3、四切、A4、 六切、2L判、ハイビジョ ン、KGサイズ、L判	20*3	-	1	-
写真用紙＜絹目調＞*4	A3ノビ、A3、A4、2L 判、L判	20*3	-	1	-
写真用紙ライト＜薄 手光沢＞*4	A3ノビ、A3、A4、2L 判、KGサイズ、L判	20*3	-	1	-
フォトマット紙*4	A3ノビ、A3、A4	20	-	1	-
スーパーファイン 紙*4	A3ノビ、A3、A4	80	-	1	-
スーパーファイン専 用ハガキ*4	ハガキ	50*2	-	1	-
両面マット名刺用 紙*4*5	A4	-	-	1	-

プリンターの準備

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			両面印刷*1
		用紙カセット 1	用紙カセット 2	手差し給紙	
スーパーファイン専用ラベルシート*4	A4	-	-	1	-

*1 手差し給紙は両面印刷不可

*2 片面印刷済みの用紙をセットするときは30枚まで

*3 うまく給紙できないときや、印刷結果がこすれたりムラになったりするときは、1枚ずつセットしてください。

*4 コンピューターまたはスマートデバイスからの印刷のみ対応

*5 両面マット名刺用紙のレイアウトに対応したアプリケーションソフト（Windowsのみ対応）が必要です。詳しくはエプソンのウェブサイト「よくあるご質問（FAQ）」をご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/faq/>

製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「両面マット名刺」などのキーワード入力で検索できます。

参考 エプソン製専用紙（純正品）をユーザー定義サイズで印刷するときは、印刷品質は〔標準〕のみとなります。ただし、一部のドライバーでは高品質の印刷設定を選択できますが、その場合も〔標準〕の品質で印刷されます。

プリンターの準備

市販の印刷用紙

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数			両面印刷* ¹
		用紙カセット 1	用紙カセット 2	手差し給紙	
普通紙 コピー用紙 印刷済み用紙 レターヘッド 色つき用紙 再生紙	A3、B4、Legal* ² 、 Letter* ² 、A4、B5	用紙ガイドの三角マークが示す線まで		1	自動、手動* ³
	A5	用紙ガイドの三角マークが示す線まで	-	1	自動、手動* ³
	A6* ²	用紙ガイドの三角マークが示す線まで* ³	-	1	手動
	ユーザー定義サイズ* ² (mm) 89×127～148×210	1	-	1	手動
	ユーザー定義サイズ* ² (mm) 148×210～182×257	1	-	1	自動、手動
	ユーザー定義サイズ* ² (mm) 182×257～297×431.8	1	1	1	自動、手動
	ユーザー定義サイズ* ² (mm) 297×431.8～329×1200	1	1	1	手動
厚紙* ²	A3、B4、Legal、Letter、 A4、B5、A5	-	-	1	-
	ユーザー定義サイズ (mm) 89×127～329×1200	-	-	1	-
往復ハガキ* ² * ⁴	往復ハガキ	30	-	1	-
郵便ハガキ* ² * ⁴ 郵便ハガキ（インク ジェット紙）* ² * ⁴	ハガキ	50* ³	-	1	-
長形封筒* ² * ⁵	3号、4号	10	-	1	-
洋形封筒* ² * ⁶	1号、2号、3号、4号	10	-	1	-
角形封筒* ² * ⁵	2号	10	-	1	-
	20号	-	-	1	-

プリンターの準備

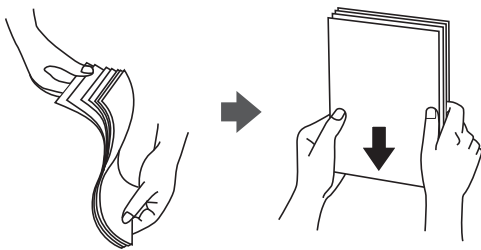
- *1 手差し給紙は両面印刷不可
- *2 コンピューターまたはスマートデバイスからの印刷のみ対応
- *3 片面印刷済みの用紙をセットするときは30枚まで
- *4 日本郵便株式会社製（郵便ハガキ<インクジェット写真用>は非対応）
- *5 Windowsからの印刷のみ対応
- *6 宛名面のみ対応

関連情報

➔ [「各部の名称と働き」 11ページ](#)

印刷用紙取り扱い上のご注意

- 印刷用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項を確認してください。
- 印刷用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。



- 印刷用紙が反っているときは、反りと反対に丸めるなどして平らにしてください。反った印刷用紙は紙詰まりや印刷汚れの原因になる可能性があります。



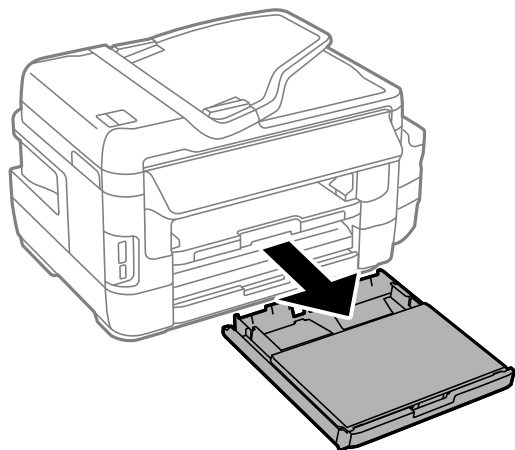
- 波打っている、破れている、切れている、折りがある、湿っている、厚過ぎる、薄過ぎる、シールなどが貼ってある用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

関連情報

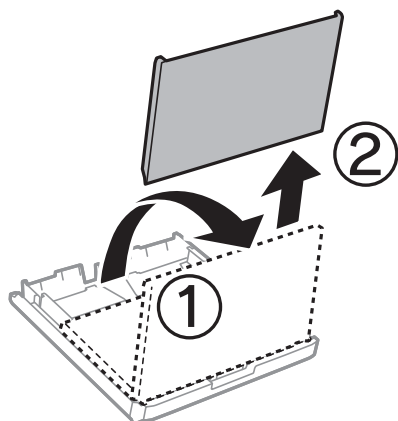
➔ [「プリンター部の仕様」 272ページ](#)

用紙カセットに印刷用紙をセットする

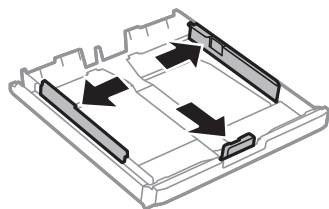
1. プリンターが動作していないことを確認して、用紙カセットを引き抜きます。



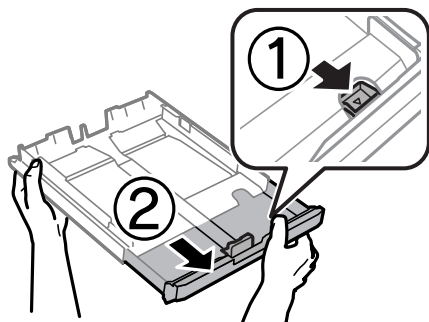
2. 用紙カセットから用紙カセットカバーを取り外します。



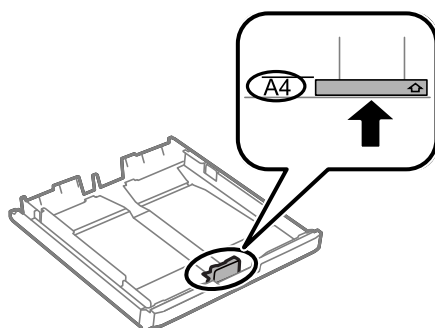
3. 用紙ガイドをいっぱいまで広げます。



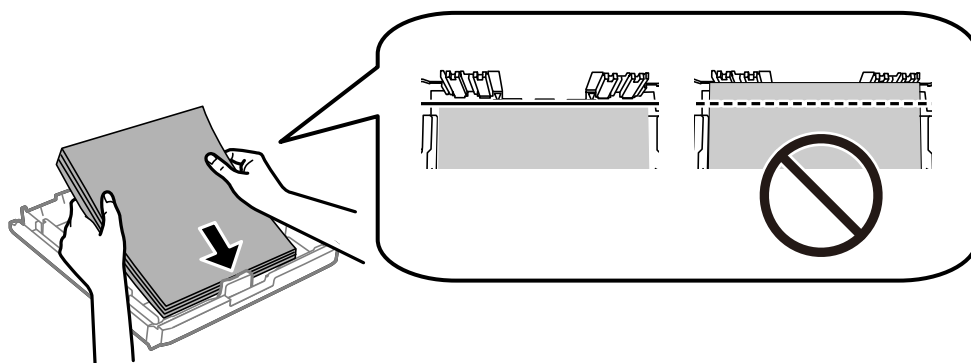
参考 A4サイズより大きい用紙を使うときは、用紙カセットを手前に引き伸ばします。



4. 手前の用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

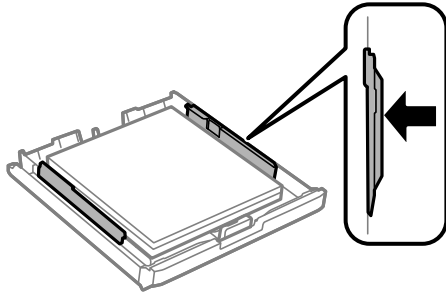


5. 印刷する面を下にして、手前の用紙ガイドに合わせてセットします。

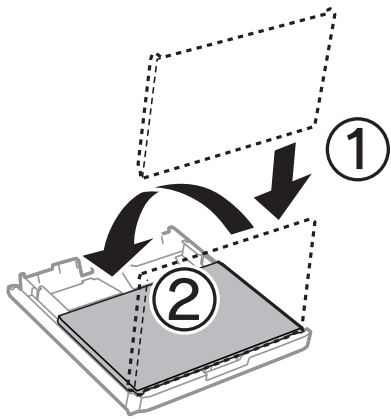


！重要 印刷用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。普通紙は用紙ガイドの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。

6. 用紙ガイドを用紙の側面に合わせます。



7. 用紙カセットカバーを取り付けます。

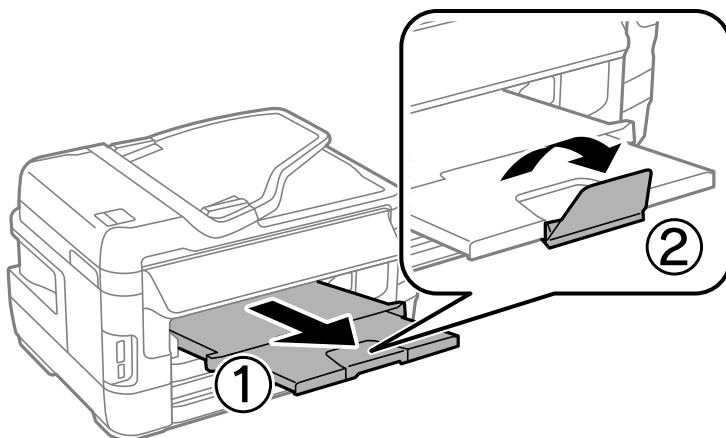


8. 用紙カセットを奥までセットします。

9. 用紙カセットにセットした用紙のサイズと種類を操作パネルから設定します。

参考 用紙サイズと用紙種類の設定画面は、[セットアップ] - [給紙の設定] の順に選択しても表示できます。

10. 排紙トレイを引き出します。



関連情報

➔ [「印刷用紙取り扱い上のご注意」42ページ](#)

- ➡ 「対応用紙とセット可能枚数」 39ページ
- ➡ 「セットした用紙の種類を設定する」 51ページ
- ➡ 「ハガキのセット方法」 48ページ
- ➡ 「封筒のセット方法」 50ページ

手差し給紙に印刷用紙をセットする

手差し給紙には、対応している全ての印刷用紙を1枚のみセットできます。用紙力セットにはセットできない厚手（0.3 mmまで）の用紙や、ルーズリーフなどの穴あき用紙もセットできます。ただし、用紙の硬さによっては給紙されないことがあります。

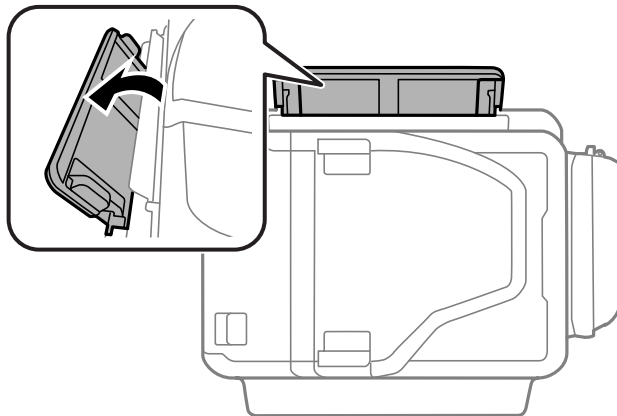
！重要 操作パネルに用紙のセットを促すメッセージが表示されたら、手差し給紙に用紙をセットしてください。表示前にセットすると、白紙で排出されます。

1. 以下のいずれかを実施します。

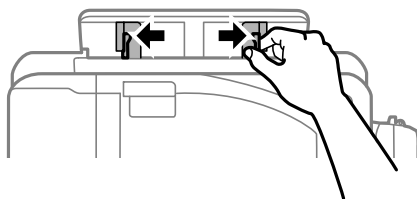
- 操作パネルから印刷する場合：〔給紙方法〕で手差し給紙を選択し、その他の印刷設定をして◇ボタンを押す
- コンピューターから印刷する場合：〔給紙方法〕設定で手差し給紙を選択し、その他の印刷設定をして〔印刷〕をクリックする。

2. プリンターの画面に用紙セットの案内が表示されます。以下の手順に従って用紙をセットします。

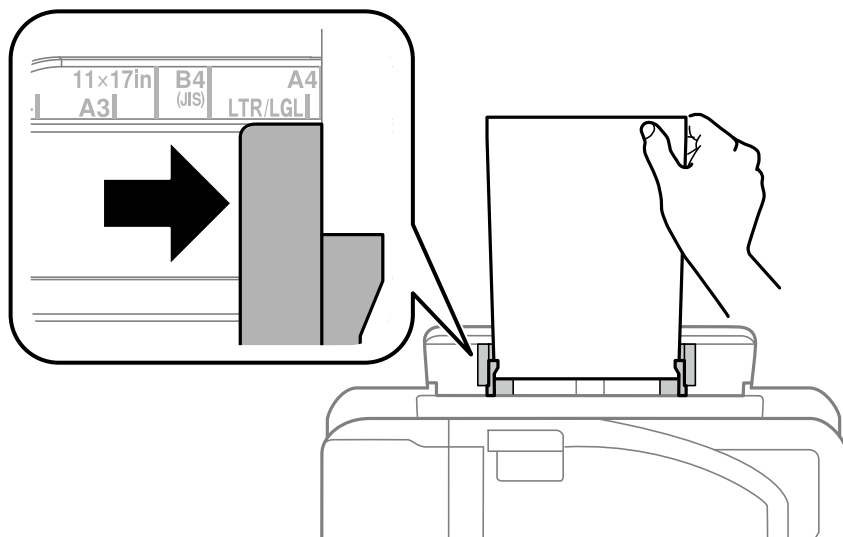
3. 手差し給紙を開けます。



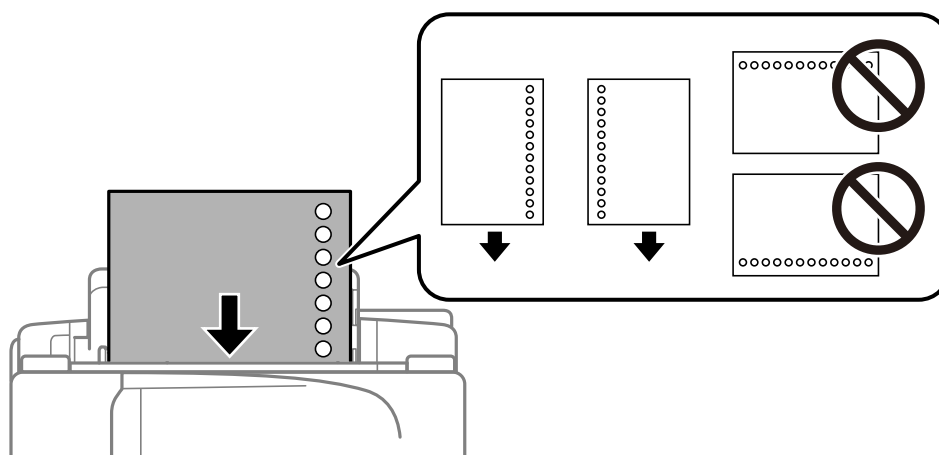
4. 用紙ガイドを広げます。



5. 印刷する面を手前にして持ち、手差し給紙の中央で用紙ガイドを用紙側面に合わせます。



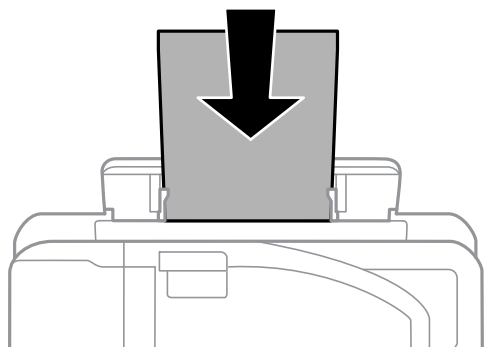
- 穴あき用紙



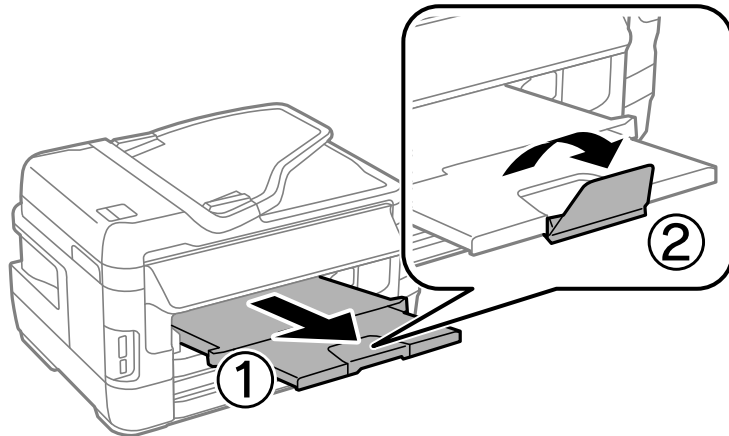
参考

- 定形サイズで普通紙の穴あき用紙に対応しています。
- 印刷データが穴位置にかからないように調整してください。
- 自動両面印刷はできません。

6. プリンターが自動で用紙を少し引き込むまで用紙を差し込みます。



7. 排紙トレイを引き出します。



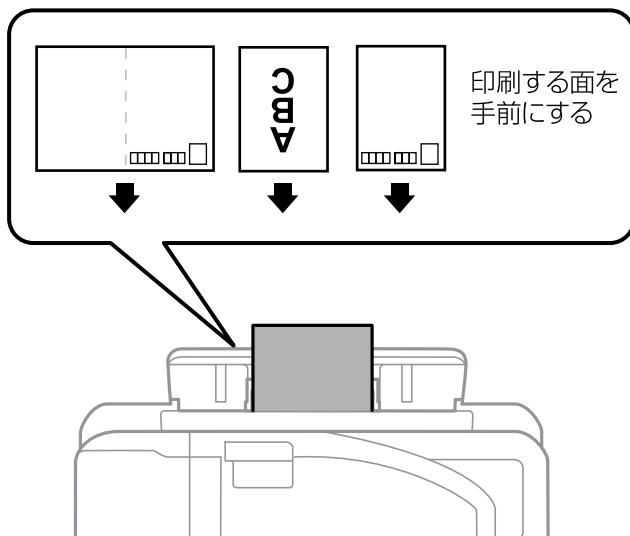
8. 実行ボタンを押して印刷を開始します。

関連情報

- ➔ 「印刷用紙取り扱い上のご注意」 42ページ
- ➔ 「対応用紙とセット可能枚数」 39ページ
- ➔ 「セットした用紙の種類を設定する」 51ページ
- ➔ 「ハガキのセット方法」 48ページ
- ➔ 「封筒のセット方法」 50ページ

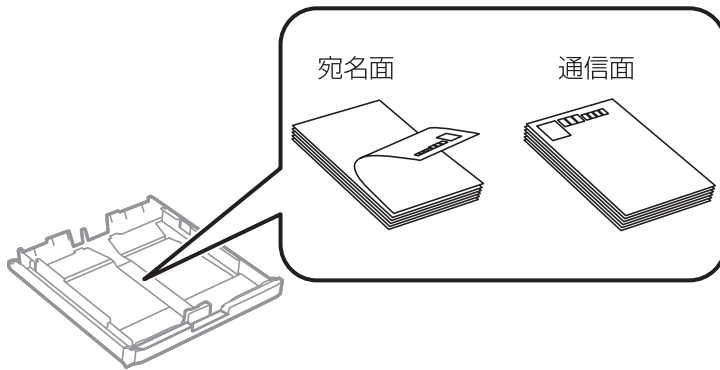
ハガキのセット方法

手差し給紙にセットするときは、印刷する面を手前にして中央にセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。

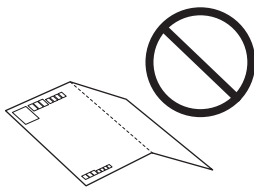


プリンターの準備

用紙カセットにセットするときは、印刷する面を下にしてセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。



- 両面に印刷するときは、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。印刷こすれや汚れを防ぐために、宛名面から先に印刷することをお勧めします。
- 折り跡のある往復ハガキや写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキは使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

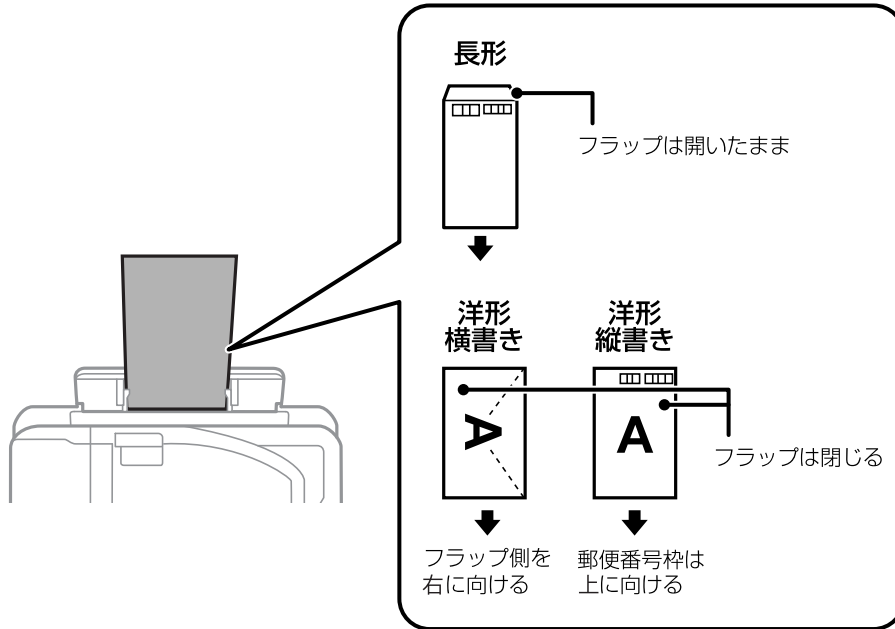


関連情報

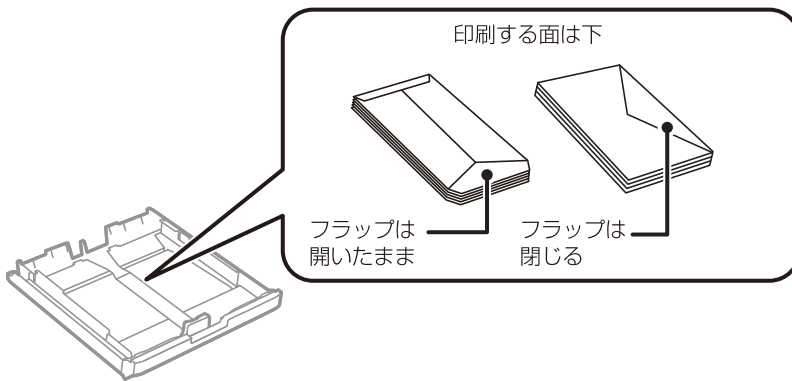
- ➡ [「対応用紙とセット可能枚数」 39ページ](#)
- ➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」 43ページ](#)
- ➡ [「手差し給紙に印刷用紙をセットする」 46ページ](#)

封筒のセット方法

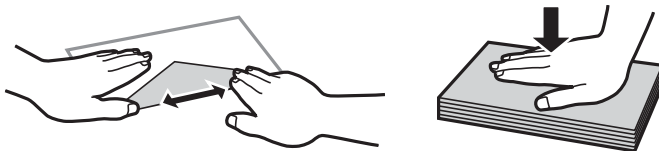
印刷する面を手前にして手差し給紙の中央にセットし、用紙ガイドを封筒に合わせてください。



用紙カセットにセットするときは、印刷する面を下にしてセットし、用紙ガイドを封筒に合わせてください。

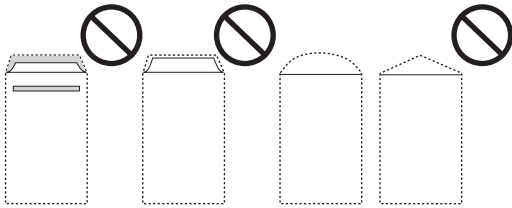


- 封筒は、よくさばいて側面を整えてください。封筒の束が膨らんでいるときは平らになるように手でならして、膨らみを取り除いてください。

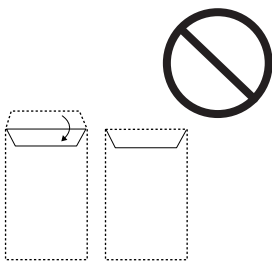


プリンターの準備

- のり付けおよび接着の処理が施された封筒や二重封筒、窓付き封筒、ふたが円弧や三角形状の長形封筒や角形封筒は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



- ふたを一度折った長形封筒や折り跡のある封筒、反った封筒は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



- 薄い封筒は使わないでください。印刷中に丸まる可能性があります。

関連情報

- ➡ [「対応用紙とセット可能枚数」 39ページ](#)
- ➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」 43ページ](#)
- ➡ [「手差し給紙に印刷用紙をセットする」 46ページ](#)

セットした用紙の種類を設定する

最適な印刷結果を得るために、印刷用紙に適した用紙種類を設定してください。
以下は2017年8月現在の情報です。

用紙名称	用紙種類	
	操作パネル	プリンタードライバー、スマートデバイス ^{*1}
両面上質普通紙＜再生紙＞	普通紙	普通紙
写真用紙＜光沢＞	写真用紙	EPSON 写真用紙
写真用紙＜絹目調＞	写真用紙 ^{*2}	EPSON 写真用紙
写真用紙ライト＜薄手光沢＞	写真用紙ライト ^{*2}	EPSON 写真用紙ライト
フォトマット紙	フォトマット紙 ^{*2}	EPSON フォトマット紙

用紙名称	用紙種類	
	操作パネル	プリンタードライバー、スマートデバイス*1
スーパーファイン紙 スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン紙*2	EPSON スーパーファイン紙
両面マット名刺用紙	両面マット名刺用紙*2	EPSON 両面マット名刺用紙
スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：郵便ハガキ*2 通信面：スーパーファイン紙*2	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON スーパーファイン紙
郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：郵便ハガキ*2 通信面：郵便ハガキ(IJ)*2	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
郵便ハガキ 往復ハガキ	郵便ハガキ*2	郵便ハガキ

*1 スマートデバイスからの印刷時は、Epson iPrintを使ったときのみこれらの用紙種類が選択可能

*2 セットした用紙の情報登録のみ。操作パネルからの印刷は非対応。

原稿をセットする

原稿は原稿台またはADFにセットします。ただし、ADFに対応していない原稿は原稿台にセットしてください。
ADFにセットすると、複数の原稿や両面の原稿を一度の操作でスキャンできます。

ADFにセットできる原稿

対応原稿サイズ	A5～A3
用紙種類	普通紙
紙厚（坪量）	64～95g/m ²
セット可能枚数	35枚または3.5mm

ADFにセットできる原稿であっても、紙の特性や品質などによって通紙できないことがあります。また、読み取り品質に影響を及ぼすこともあります。

！重要 写真や、貴重な原稿はADFにセットしないでください。給紙エラーによって、原稿にしわが入ったり損傷したりすることがあります。原稿台を使ってスキャンしてください。

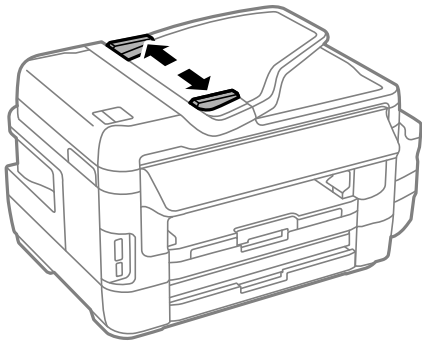
以下のような原稿をADFにセットすると紙詰まりの原因になります。これらの原稿は原稿台にセットしてください。

- 折り跡やしわがある、破れている、劣化している、反っている原稿
- ルーズリーフや穴の開いた原稿
- のりやホチキスの針、クリップなどが付いている原稿

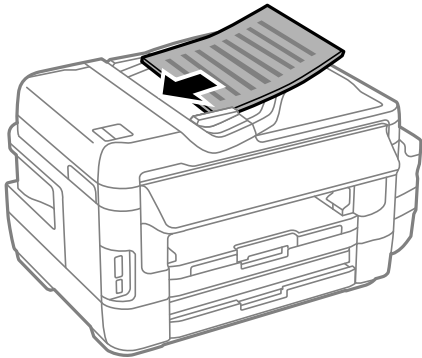
- シールやラベルなどが貼られている原稿
- 形が不規則、裁断角度が直角でない原稿
- とじられて（製本されて）いる原稿
- 透明や半透明な原稿（OHPシートなど）、感熱紙や裏カーボンのある原稿

ADFに原稿をセットする

1. 原稿の側面を整えます。
2. ADF原稿ガイドを広げます。

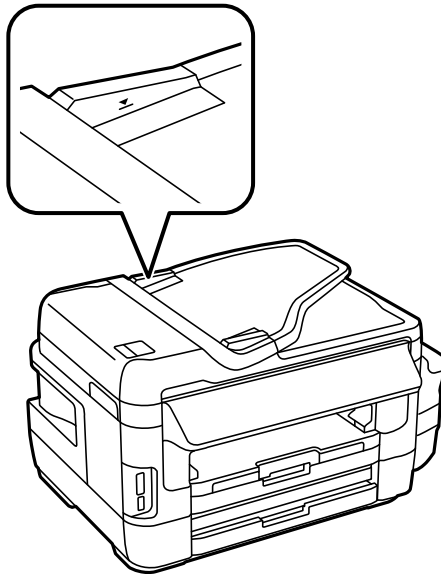


3. スキャンする面を上にして、ADFの中央に原稿をセットします。



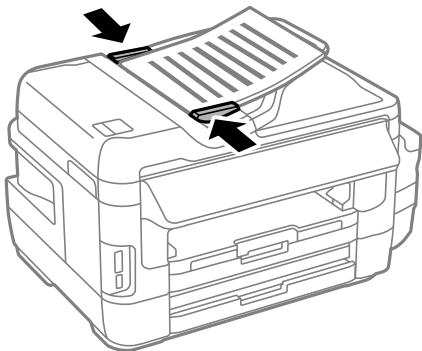
！重要

- ADFの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。



- スキャン中に原稿を追加しないでください。

4. ADF原稿ガイドを原稿の側面に合わせます。



関連情報

➡ [「ADFにセットできる原稿」 52ページ](#)

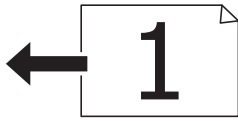
2面割り付けコピー時のADFへの原稿セット方法

図の向きに原稿をセットして、向きを設定してください。

- 縦向き原稿：操作パネルの以下のメニューで「縦原稿」を選択します。
[コピー] - [詳細設定] - [原稿の向き] - [縦原稿]



- 横向き原稿：操作パネルの以下のメニューで「横原稿」を選択します。
「コピー」 - 「詳細設定」 - 「原稿の向き」 - 「横原稿」

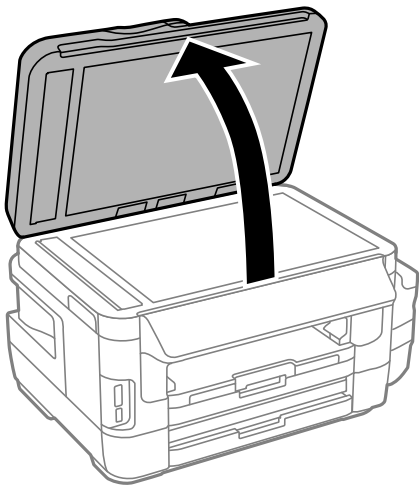


原稿台に原稿をセットする

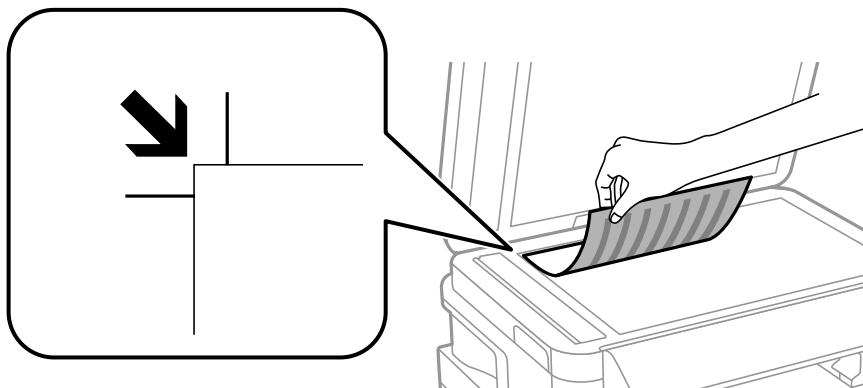
⚠ 注意 原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

！重要 本などの厚い原稿をセットするときは、原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。

1. 原稿カバーを開けます。



2. 原稿台のゴミや汚れを取り除きます。
3. スキャンする面を下にして、原点マークに合わせて原稿を置きます。



プリンターの準備



- 原稿台の上端から1.5mm、左端から1.5mmの範囲はスキャンできません。
- ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。

4. 原稿カバーをゆっくり閉めます。



原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

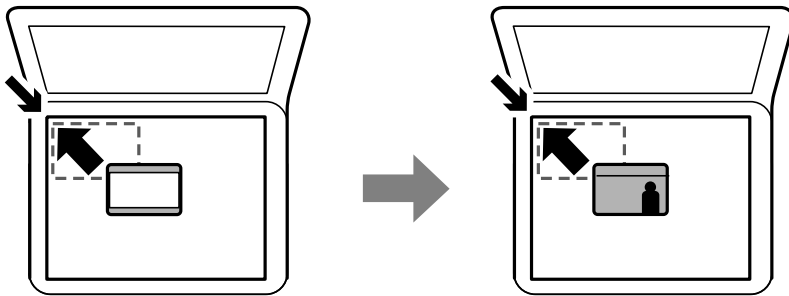
5. 原稿の読み取りが終わったら、原稿を取り出します。



長時間セットしたままにすると、原稿台に貼り付くことがあります。

IDカードコピー時のセット方法

原稿台の端から約5mm離して置きます。



メモリーカードをセットする

対応メモリーカード

	メモリースティックDuo* メモリースティックPRO Duo* メモリースティックPRO HG Duo* メモリースティック マイクロ* マジックゲートメモリースティックDuo*
	miniSDカード* miniSDHCカード* microSDカード* microSDHCカード* microSDXCカード*

	SDメモリーカード SDHCメモリーカード SDXCメモリーカード
---	---

* : アダプター無しでセットできるメモリーカードと同じサイズのアダプターを装着してください。装着せずにセットすると、カードが取り出せなくなるおそれがあります。

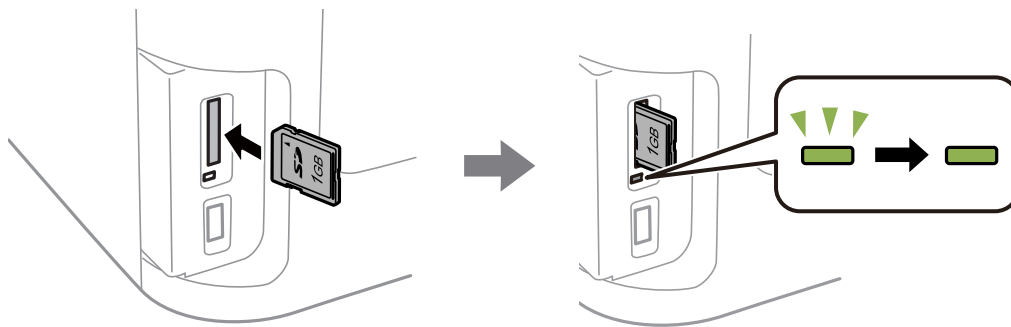
メモリーカードのセットと取り出し

1. メモリーカードをプリンターにセットします。

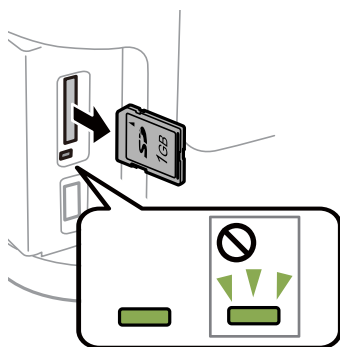
データの読み込みが開始されてランプが点滅します。読み込みが終了するとランプは点灯状態になります。

！重要

- メモリーカードはまっすぐセットしてください。
- メモリーカードはスロットには入りきりません。無理に押し込まないでください。



2. 印刷などが終わったら、ランプが点滅していないことを確認して、メモリーカードを取り出します。



！重要

ランプ点滅時（通信中）にメモリーカードを取り出すと、保存されているデータが壊れることがあります。

参考

プリンターにセットしたメモリーカードにコンピューターからアクセスした場合は、メモリーカード取り出し時に、コンピューターで取り出しの操作が必要です。

関連情報

➔ [「外部記憶装置の仕様」277ページ](#)

➡ [「コンピューターから外部記憶装置へのアクセス」 289ページ](#)

アドレス帳を管理する

アドレス帳に登録しておくと宛先入力が可能です。200件まで登録でき、ファクスでの宛先入力や、スキャンした画像をメールに添付したり、ネットワークフォルダーに保存したりするときの宛先入力に利用できます。
また、LDAPサーバーにアドレスを登録して利用することもできます。LDAPサーバーへのアドレス登録は『システム管理者ガイド』をご覧ください。

アドレスを登録する

参考 メールアドレスを登録するには、事前にメールサーバーの設定が必要です。

1. ホーム画面、または［スキャン］および［ファクス］で、［アドレス帳］を選択します。
2. ［メニュー］を選択し、［宛先登録］を選択します。
3. 登録するアドレスの種類を選択します。
 - ファクス：ファクス送信時の宛先（ファクス番号）
 - メール：スキャンした画像をメールに添付して送信するときや、受信ファクスを転送するときのメールアドレス
 - フォルダー：スキャンした画像の保存先や、受信ファクスを転送するときのネットワークフォルダー

参考 この画面は、ホーム画面からアドレス帳を開いたときだけ表示されます。

4. アドレスを登録する登録番号を選択します。

参考 登録番号1～10に登録された宛先は、操作パネルのワンタッチボタンから呼び出せます。

5. 必要な内容を設定します。

宛先登録

登録名
未入力

よみがな(検索名)
未入力

中止 登録

- 参考** PBX（構内交換機）で外線発信番号が必要な環境では、ファクス番号の先頭に外線発信番号を入れてください。〔接続回線〕設定で外線発信番号を登録してあるときは、外線発信番号の代わりにシャープ（#）を入力してください。
- また、ダイヤル中にポーズ（約3秒の待ち時間）を入れたいときは  を選択してハイフン（-）を入力します。

6. **〔登録〕** を選択します。

- 参考**
- アドレスの編集や削除は、アドレスの右側のインフォメーションアイコンを選択し、〔編集〕または〔削除〕を選択します。
 - LDAPサーバーに登録されているアドレスを、プリンター内部のアドレス帳に登録できます。アドレスを表示して、〔登録〕を選択します。

関連情報

➡ [「メールサーバーを利用する」70ページ](#)

アドレスをグループにする

アドレスをグループにすると、複数のアドレスに同時にファクス送信またはスキャンした画像のメール送信ができます。

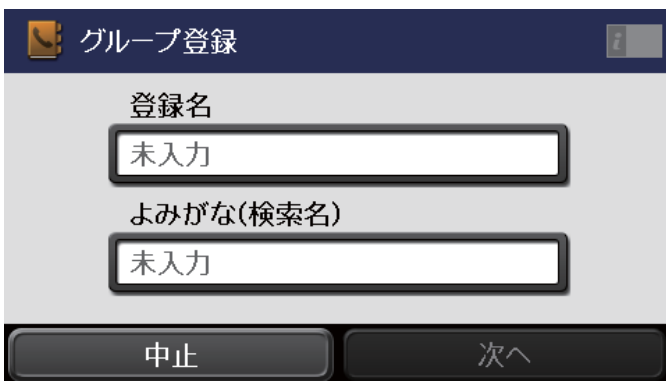
1. ホーム画面、または〔スキャン〕および〔ファクス〕で、〔アドレス帳〕を選択します。
2. 〔メニュー〕を選択し、〔グループ登録〕を選択します。
3. グループ登録するアドレスの種類を選択します。
 - ファクス：ファクス送信時の宛先（ファクス番号）
 - メール：スキャンした画像をメールに添付して送信するときや、受信ファクスを転送するときのメールアドレス

参考 この画面は、ホーム画面からアドレス帳を開いたときだけ表示されます。

4. グループを登録する登録番号を選択します。

参考 登録番号1～10に登録されたアドレスは、操作パネルのワンタッチボタンから呼び出せます。

5. 〔登録名〕と〔よみがな(検索名)〕を入力して、〔次へ〕を選択します。



6. グループに登録するアドレスのチェックボックスを選択します。



- 199件まで登録できます。
- 選択を解除するには、もう一度アドレスのチェックボックスを選択してください。

7. [登録] を選択します。



グループアドレスの編集や削除は、グループアドレスの右側のインフォメーションアイコンを選択し、[編集] または [削除] を選択します。

コンピューターからのアドレス帳登録

アドレス帳はWeb ConfigまたはEpsonNet Configでも作成でき、作成したアドレス帳をプリンターに登録することもできます。

詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。

アドレス帳のバックアップ

プリンターに登録されているアドレス帳は、EpsonNet Config (エプソンネット コンフィグ) でコンピューターにバックアップできます。詳しくはEpsonNet Configのマニュアルをご覧ください。

プリンターの故障などでアドレス帳のデータが消失する可能性があります。アドレス帳の更新時にバックアップすることをお勧めします。本製品の保証期間内であっても、データの消失または破損について弊社はいかなる責も負いません。

お気に入りの設定を登録する

コピーやファクス、スキャンでよく使う設定値をお気に入りの設定にできます。登録は、ホーム画面で[お気に入り]を選択し、[新規登録]を選択して登録するモードを選択します。各項目を設定し、[登録]を選択して名前を付けてください。

登録されているお気に入りを使用するには、リストからお気に入りを選択します。

各モード画面の[お気に入り]を選択すると、現在の宛先や（直接入力やLDAPのアドレス帳を除く）、設定値をお気に入りの設定に登録できます。

メニュー

登録されているお気に入りの詳細表示や名称変更、編集、削除をします。

Ecoモード

[Ecoモード] を有効にすると、省エネルギーや省資源のための [個別設定] ができるようになります。また、以下のプリンター設定項目の初期値を常時優先します。

個別設定

- スリープ移行時間設定
プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。（初期値は［7分］）
- 画面の明るさ設定
画面の明るさを調整します。（初期値は［1分］）
- 両面印刷設定(コピー)
両面コピーを初期値にします。（初期値は［オン］）

設定方法

操作パネルで[Ecoモード]を選択して、[オン]にします。
[個別設定]を選択すると、各項目の設定を変更できます。

スリープ移行時間を長く設定する

[Ecoモード]の[個別設定]で設定するより、スリープモードに移行する時間を長くしたいときは、操作パネルで[セットアップ] - [システム管理設定] - [Ecoモード]を選択して、設定します。

セットアップメニューの説明

操作パネルの[セットアップ]を選択すると、プリンターの設定やメンテナンスができます。

メンテナンスボックス空き容量

操作パネルで以下の順に選択します。
[セットアップ] - [メンテナンスボックス空き容量]

メンテナンスボックスの空き容量の目安が表示されます。！マークはメンテナンスボックスの空き容量が限界に近づいていることを示します。x マークはメンテナンスボックスの空き容量が限界値に達したことを示します。

メンテナンスメニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。
[セットアップ] - [メンテナンス]

プリントヘッドのノズルチェック

プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認するためのチェックパターンを印刷します。

プリンターの準備

プリントヘッドのクリーニング

プリントヘッドのノズルをクリーニングして、目詰まりを解消します。

インク残量情報を更新

インクタンクにインクを補充するときに、インク残量情報を100%にリセットします。

プリントヘッドの位置調整

プリントヘッドの位置を調節して、印刷結果を改善します。

印刷結果がぼやけているときや、縦線がガタついて見えるようなときに「印刷のぼやけ改善」を選択します。

一定間隔で横縞模様のようなものが出るときに「横スジの改善」を選択します。

こすれ軽減

印刷時のこすれを軽減します。ただし、印刷速度が遅くなることがあるため、印刷結果にこすれがあるときにだけ有効にしてください。

内部ローラークリーニング

内部ローラーにインクが付着したり、給紙不良が発生したりしたときに普通紙を給紙してクリーニングします。

紙片取り除き

詰まった用紙を取り除いた後、まだ紙片が残っているときに選択します。

関連情報

- ➡ [「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」198ページ](#)
- ➡ [「プリントヘッドの位置を調整する」201ページ](#)
- ➡ [「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」202ページ](#)

給紙の設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

〔セットアップ〕 - 〔給紙の設定〕

セットした印刷用紙のサイズと種類を設定します。

本体ステータスシートの印刷メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

〔セットアップ〕 > 〔本体ステータスシートの印刷〕

プリンター情報シート

プリンターの現在の状態や設定の情報シートを印刷します。

消耗品情報シート

消耗品の情報シートを印刷します。

使用履歴シート

プリンターの使用履歴のシートを印刷します。

ネットワーク情報メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [ネットワーク情報]

ネットワーク情報確認

現在のネットワーク設定の内容を表示または印刷します。

Wi-Fi Direct接続確認

現在のWi-Fi Direct設定の内容を表示または印刷します。

メールサーバー設定確認

現在のメールサーバー設定の内容を表示します。

Epson Connect情報確認

Epson Connectにプリンターが登録および接続されているかを確認します。

Googleクラウドプリント情報確認

Google クラウド プリントにプリンターが登録および接続されているかを確認します。

管理者設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [管理者設定]

管理者パスワードを登録して、他のユーザーがプリンターの設定を変更できないように設定します。

管理者パスワード：

管理者パスワードの設定や変更、初期化をします。管理者パスワードを忘れてしまうと修理対応となるため、十分注意してください。

管理者ロック：

操作パネルの設定を変更できないように管理者パスワードでロックします。（初期値は [オフ] ）

システム管理設定メニューの説明

プリンター設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [システム管理設定] - [プリンター設定]

関連情報

➡ [「用紙のセット」39ページ](#)

給紙装置設定：

A4/Letter自動切替：

有効にすると、A4サイズがないときにLetterサイズの給紙装置から給紙します。また、逆にLetterサイズがないときにA4サイズの給紙装置から給紙します。（初期値は [オフ] ）

給紙口自動選択：

コピー、ファクス、その他（印刷全般）で使用する給紙装置を設定します。複数の給紙装置を有効にすると、印刷ジョブの用紙設定と同じ設定になっている給紙装置から自動的に給紙します。（初期値は各給紙装置ともに [オン] ）

- コピー
- ファクス
- その他(印刷全般)

エラー通知：

有効にすると、印刷設定で指定したサイズや用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示します。（初期値は用紙サイズエラー [オン] 、用紙種類エラー [オン] ）

自動エラー解除：

両面印刷やメモリー不足のエラーが発生したときの動作を選択します。（初期値は [オフ] ）

- オン
両面印刷でエラーが発生したときは、一定時間メッセージを表示してから自動で片面を印刷します。印刷中にプリンターのメモリー不足になったときは、メッセージを表示してからプリンターで処理できたところだけを印刷します。
- オフ
エラーメッセージを表示して印刷を中止します。

外部メモリー設定：

- 外部メモリー：
[有効] を選択すると、プリンターに挿入した外部メモリーに接続することを許可します。[無効] にすると、プリンターに挿入した外部メモリーへのデータ保存を禁止します。機密文書の不正スキャンによるデータの持ち出しを未然に防ぎます。（初期値は [有効] ）
- ファイル共有：
USB接続されたコンピューターまたはネットワーク接続されたコンピューターのどちらから、プリンターに挿入された外部メモリーに書き込みできるかを選択します。（初期値は [USB接続優先] ）

関連情報

➡ [「外部メモリーから印刷時のメニューの説明」 110ページ](#)

コンピューターのUSB接続：

[有効] にすると、USB接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。[無効] にすると、ネットワークを経由しない印刷やスキャンなどを禁止できます。（初期値は [有効] ）

共通設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [システム管理設定] - [共通設定]

画面の明るさ設定：

画面の明るさを調整します。（初期値は [9] ）

音の設定：

音量や音の種類を設定します。

操作音：

操作パネルをタップしたときやボタンを押したときの音の大きさを設定します。（初期値は [5] ）

エラー音：

エラーの発生を知らせる音の大きさを設定します。（初期値は [5] ）

終了音：

ファクス受信して印刷が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は [5] ）

着信音：

ファクスの受信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は [5] ）

ダイヤル中スピーカー音：

ファクス送信中のダイヤル音の大きさを設定します。（初期値は [5] ）

プリンターの準備

音の種類：

音の種類を選択します。（初期値は［メロディー］）

スリープ移行時間設定：

プリンターが動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。（初期値は［13分］）

自動電源オフ：

プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動で電源を切ります。切るまでの時間は任意に設定できます。

日付/時刻設定：

- 日付/時刻
現在の日時を入力します。
- 時差
協定世界時（UTC）との時差を設定します。

言語選択/Language：

画面に表示する言語を選択します。（初期値は［日本語］）

無操作タイマー設定：

［オン］にすると、無操作状態が設定時間続いた場合にメッセージを表示して初期画面に戻ります。利用者制限の利用者として操作しているときは、メッセージが表示されて自動的にログオフされて初期画面に戻ります。（初期値は［オン］）

関連情報

- ➡ [「Ecoモード」60ページ](#)
- ➡ [「文字入力の仕方」17ページ](#)

ネットワーク設定

操作パネルで以下の順に選択します。

［セットアップ］ - ［システム管理設定］ - ［ネットワーク設定］

ネットワーク情報確認

ネットワークの設定や接続の状態を表示または印刷します。

無線LAN設定

- 手動設定
無線LANのSSIDを選択し、暗号化などのセキュリティーキーを入力して、プリンターを無線LANに接続します。
- プッシュボタン自動設定(AOSS/WPS)
アクセスポイントのAOSSまたはWPSボタンを押して、プリンターを無線LANに接続します。

プリンターの準備

- PINコード自動設定(WPS)
アクセスポイントのソフトウェアで、プリンターの画面に表示されるPINコードを入力して、プリンターを無線LANに接続します。
- カンタン自動設定
アクセスポイントに接続されたコンピューターを使用して、プリンターを無線LAN接続します。付属のソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。プリンターを操作する指示が表示されてからこの機能を実行してください。
- 無線LANを無効にする
ネットワーク情報を残したまま、無線電波を出さないことで接続を無効にします。有効にするには無線LANの再設定をします。
- Wi-Fi Direct設定
プリンターと機器を、アクセスポイントを使わずに直接無線接続します。

ネットワーク接続診断

プリンターのネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。

ネットワーク詳細設定

設定項目は次の通りです。

- プリンター名
- TCP/IPアドレス
- DNSサーバー
- プロキシサーバー
- メールサーバー
- IPv6アドレス
- Wi-Fi Direct
- MS Network共有

関連情報

- ➡ [「手動で設定する」 23ページ](#)
- ➡ [「プッシュボタンで自動設定する \(AOSS/WPS\) 」 24ページ](#)
- ➡ [「PINコードで設定する\(WPS\)」 25ページ](#)
- ➡ [「Wi-Fi Directで設定する」 26ページ](#)
- ➡ [「ネットワークステータスシートを印刷する」 36ページ](#)
- ➡ [「操作パネルでネットワーク状態を確認する」 29ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク詳細設定の設定項目」 27ページ](#)

Epson Connect設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [システム管理設定] - [Epson Connect設定]

使用方法

Epson Connect サービスの概要や使い方を表示します。

設定変更

- サービスの一時停止/再開
Epson Connectサービスの利用を一時停止するか、または停止していたサービスを再開するかを設定します。
- 初期設定に戻す
設定を購入時の状態に戻します。

Epson Connect サービスへの登録およびサービス利用の詳細は、以下のポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

Googleクラウドプリント設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [システム管理設定] - [Googleクラウドプリント設定]

使用方法

Google クラウド プリント サービスの概要や使い方を表示します。

設定変更

- サービスの一時停止/再開
Google クラウド プリント サービスの利用を一時停止するか、または停止していたサービスを再開するかを設定します。
- 初期設定に戻す
設定を購入時の状態に戻します。

Google クラウド プリント サービスへの登録およびサービス利用の詳細は、以下のポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

モバイル(PC)機器印刷設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [システム管理設定] - [モバイル(PC)機器印刷設定]

外部機器からプリンタードライバーを経由せずに印刷したときの設定をします。

上オフセット設定：

用紙の上側の余白を設定します。

左オフセット設定：

用紙の左側の余白を設定します。

プリンターの準備

裏面上オフセット設定：

両面印刷するときの用紙裏側の上側の余白を設定します。

裏面左オフセット設定：

両面印刷するときの用紙裏側の左側の余白を設定します。

紙幅チェック印刷：

印刷前に用紙幅をチェックします。用紙サイズ設定の間違いなどで用紙から印刷がはみ出すなどのトラブルを回避できます。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。

両面印刷待ち時間：

両面印刷するときの乾燥時間を設定します。

白紙節約モード：

印刷データ内の白紙ページを無視して印刷します。

セキュリティ設定

操作パネルで以下の順に選択します。

〔セットアップ〕 - 〔システム管理設定〕 - 〔セキュリティ設定〕

以下の設定ができます。

利用者制限：

有効にすると、使用できる機能をユーザーごとに制限します。利用者制限された機能は、ユーザー名とパスワードが要求され、操作パネルで入力してから使用します。〔認証情報がないジョブ〕は、認証情報のないジョブの実行を許可するかどうかを設定します。

パスワード印刷ジョブの全削除：

保存されている全てのパスワード印刷ジョブを、システム管理者の権限で削除します。

Ecoモード

操作パネルで以下の順に選択します。

〔セットアップ〕 - 〔システム管理設定〕 - 〔Ecoモード〕

〔Ecoモード〕を有効にすると、省エネルギーや省資源のための〔個別設定〕ができるようになります。無効にすると、〔共通設定〕の設定値が適用されます。

個別設定

- スリープ移行時間設定
プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。

- 画面の明るさ設定
画面の明るさを調整します。
- 両面印刷設定(コピー)
両面コピーを初期値にします。

関連情報

➡ [「Ecoモード」 60ページ](#)

静音モード：

有効にすると、印刷時の動作音が低減されます。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。用紙種類や印刷品質の設定によっては、動作音が変わらないことがあります。（初期値は「オフ」）

初期設定に戻す：

以下のメニューの設定値を初期値に戻します。

- ネットワーク設定
- コピー設定
- スキャン設定
- ファクス設定
- 全て初期化

原稿サイズ自動検知設定(原稿台)：

操作パネルで以下の順に選択します。

〔セットアップ〕 - 〔原稿サイズ自動検知設定(原稿台)〕

〔オン〕にすると、原稿台に原稿をセットしたときに、自動で原稿サイズを検出します。自動で原稿サイズを検出したくないときは、〔オフ〕にしてください。（初期値は〔オン〕）

メールサーバーを利用する

スキャンしたデータや受信ファクスをメールで送信したり、メール通知機能を利用したりする場合は、メールサーバーの設定が必要です。

メールサーバーを設定する

設定の前に以下を確認してください。

- プリンターがネットワークに接続されていること

プリンターの準備

- コンピューターのメール設定時に使ったサーバー情報（プロバイダーからの情報文書など）

参考 インターネットメールなどのフリーメールを利用している場合は、メールサーバー情報を検索するなどして入手してください。

1. ホーム画面で **「セットアップ」** を選択します。
2. **「システム管理設定」** - **「ネットワーク設定」** - **「ネットワーク詳細設定」** の順に選択します。
3. **「メールサーバー」** - **「サーバー設定」** を選択します。
4. 利用しているメールサーバーに合わせて認証方法を選択します。

！重要 プリンターから接続可能な認証方法は以下の通りです。SSL/STARTTLSには対応していません。

- NONE（なし）
- SMTP（SMTPAuth）
- POP Before SMTP

メールサーバーの認証方法がわからない場合は、プロバイダーなどの情報提供先に確認してください。
上記の認証方法であってもセキュリティが強化されているメールサーバー（SSL通信が必須など）では通信ができない場合があります。最新情報はエプソンの「よくあるご質問（FAQ）」をご覧ください。
<http://www.epson.jp/faq/>

5. 各項目を設定します。
認証方法によって設定する項目は異なります。利用しているメールサーバーの情報を入力してください。
6. **「設定開始」** を押します。

- 参考**
- エラーが表示される場合は、メールサーバー設定が正しいか確認してください。
 - 設定が完了してもメール送信できない場合は、利用しているメールサーバーが採用している認証方法を再度確認してください。

関連情報

➔ [「メールサーバー設定項目」71ページ](#)

メールサーバー設定項目

項目	説明
認証方法	選択した認証方法が表示されます。
認証アカウント	〔認証方法〕に〔SMTP認証〕または〔POP before SMTP〕を選択した場合、メールサーバーに登録されたユーザー名（メールアドレス）を30文字以内で入力します。
認証パスワード	〔認証方法〕に〔SMTP認証〕または〔POP before SMTP〕を選択した場合、認証アカウントのパスワードを20文字以内で入力します。

項目	説明
送信元アドレス	プリンターがメール送信に使うメールアドレスを指定します。 既存のメールアドレスを指定できますが、プリンターからのメール受信とわかるようにしたい場合は、プリンター用のメールアドレスを取得して指定してください。
SMTPサーバーアドレス	利用しているメール送信（SMTP）サーバーのサーバーアドレスを入力します。
SMTPサーバーポート番号	利用しているメール送信（SMTP）サーバーのポート番号を入力します。
POP3サーバーアドレス	〔認証方法〕に〔POP before SMTP〕を選択した場合、利用しているメール受信（POP3）サーバーのサーバーアドレスを入力します。
POP3サーバーポート番号	〔認証方法〕に〔POP before SMTP〕を選択した場合、利用しているメール受信（POP3）サーバーのポート番号を入力します。

メールサーバーとの接続を確認する

1. ホーム画面で〔セットアップ〕を選択します。
2. 〔システム管理設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔ネットワーク詳細設定〕の順に選択します。
3. 〔メールサーバー〕 - 〔コネクションテスト〕を選択して、プリンターがメールサーバーに接続されているか確認します。

参考

- エラーが表示される場合は、メールサーバー設定が正しいか確認してください。
- コネクションテストに成功してもメール送信できない場合は、利用しているメールサーバーが採用している認証方法を再度確認してください。

印刷

Windowsプリンタードライバーから印刷する

プリンタードライバーの設定が変更できないときは、管理者によって使用可能な機能が制限されている可能性があります。管理者に問い合わせてください。

プリンタードライバーの開き方

コンピューターのコントロールパネルからプリンタードライバーを表示して設定を変更すると、その設定が全てのアプリケーションソフトに適用されます。

コントロールパネルからの表示方法

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして [印刷設定] を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして [印刷設定] を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [プリンター] - [ハードウェアとサウンド] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。

プリンターアイコンをクリックして [プリンターのプロパティ] を選択すると、コントロールパネルから表示させたときと同じ印刷設定画面が表示できます。プリンターアイコンをダブルクリックすると、プリンタの状態を確認できます。

参考 タスクバーにプリンターアイコンが表示されていない場合は、プリンタードライバーの画面を表示させて [ユーティリティ] タブの [通知の設定] をクリックして、[呼び出しアイコンをタスクバーに登録する] をチェックしてください。

基本の印刷

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. 印刷するファイルを開きます。

プリンターに用紙がセットされていない場合はセットしてください。

！重要 手差し給紙から給紙するときは、[給紙方法] に手差し給紙を選択して、プリンタードライバーで印刷を実行してから用紙をセットします。印刷を実行すると印刷中の画面が表示されます。プリンターの画面表示に従って用紙をセットしてください。

2. [ファイル] メニューの [印刷] (または [プリント] など) を選択します。

3. プリンターを選択します。

4. [プロパティ] (または [詳細設定] など) をクリックして、プリンタードライバー (詳細な印刷設定) の画面を表示させます。



5. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

- 参考**
- 各項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプでも確認できます。項目上で右クリックすると [ヘルプ] が表示されます。
 - [印刷プレビューを表示] にチェックすると、印刷を開始する前に印刷イメージを確認できます。

6. [OK] をクリックしてプリンタードライバーの画面を閉じます。

7. 「印刷」をクリックします。

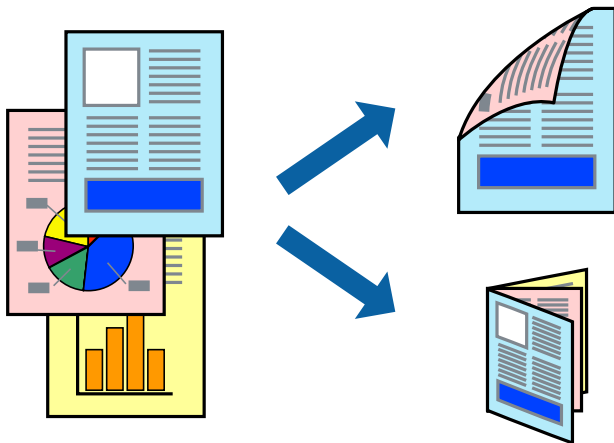
参考 「印刷プレビューを表示」にチェックしていると、プレビュー画面が表示されます。設定を変更する場合は、「キャンセル」をクリックして手順2からやり直してください。

関連情報

- ➡ 「対应用紙とセット可能枚数」 39ページ
- ➡ 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」 43ページ
- ➡ 「手差し給紙に印刷用紙をセットする」 46ページ
- ➡ 「セットした用紙の種類を設定する」 51ページ
- ➡ 「基本設定タブ」 90ページ

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます。また、折り上げたときに冊子になるように、ページを並べ替えて印刷することもできます。



- 参考**
- 両面印刷は、自動も手動もできます。手動両面印刷時は、おもて面の印刷が終了した用紙を裏返してセットしてください。
 - 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
 - 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

関連情報

- ➡ 「対应用紙とセット可能枚数」 39ページ

設定方法

手動両面印刷は、EPSON プリンターウィンドウ!3を有効にすると実行できます。ただし、プリンターをネットワーク経由で操作、または共有プリンターとして使用していると、手動両面印刷できないことがあります。

- 参考** EPSON プリンターウィンドウ!3を有効にするには、プリンタードライバー画面の「ユーティリティ」タブから「拡張設定」をクリックして、「EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する」にチェックしてください。

1. プリンタードライバーで、[基本設定] タブの [両面印刷] から、両面印刷の方法を選択します。
2. [とじ方設定] をクリックし、各項目を設定して [OK] をクリックします。

必要に応じて [濃度調整] を設定してください。手動で両面印刷するときは設定できません。

参考

- 冊子を作成するには [ブックレット] にチェックします。
- [濃度調整] では文書タイプに合わせて濃度を調整できます。
- 自動両面印刷では、濃度調整画面の [文書タイプ] と [基本設定] タブの [印刷品質] の組み合わせによっては、印刷速度が遅くなります。

3. [印刷] をクリックします。

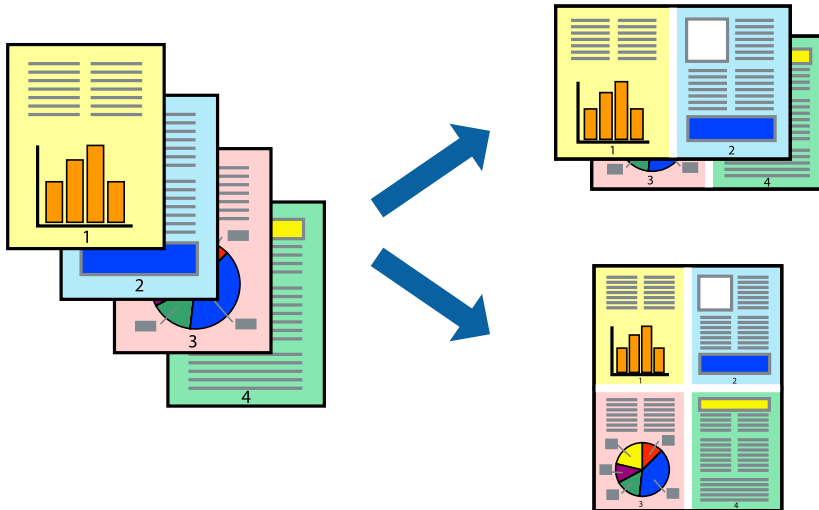
手動両面印刷では、おもて面の印刷が終了すると案内画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」 90ページ](#)

複数ページを1ページに印刷する

1枚の用紙に2ページまたは4ページのデータを割り付けて印刷できます。



設定方法

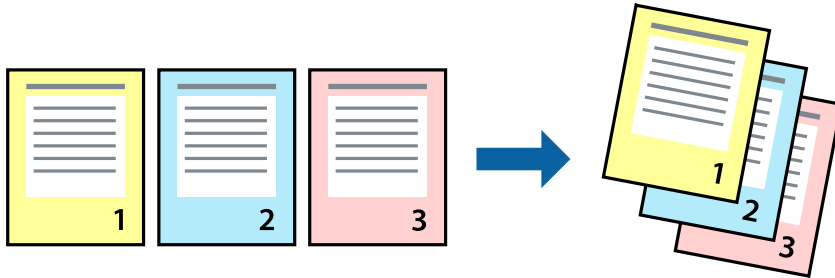
プリンタードライバーで、[基本設定] タブの [割り付け/ポスター] から、[2 ページ割付] または [4 ページ割付] を選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」 90ページ](#)

ページ順に印刷する（逆順印刷）

最後のページから印刷して、出来上がりがページ順になるように印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーの「基本設定」タブで、「逆順印刷」にチェックします。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」 90ページ](#)

拡大縮小して印刷する

任意の倍率や用紙サイズに合わせて、拡大または縮小して印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーで、「応用設定」タブの「用紙サイズ」から、印刷データのサイズを選択します。「出力用紙」で印刷したい用紙サイズを選択します。「拡大/縮小」にチェックして、「フィットページ」か「任意倍率」を選択します。

「任意倍率」を選択したときは、倍率を入力します。

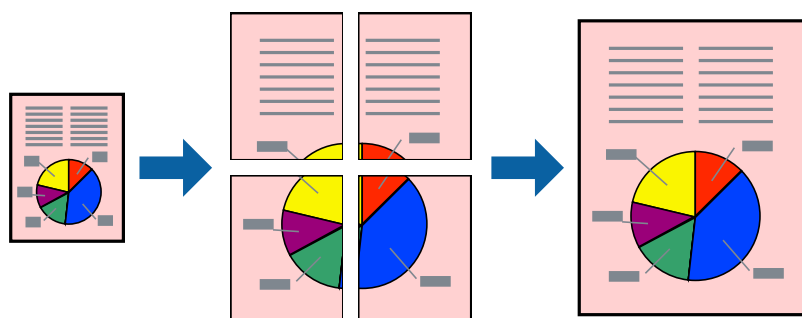
「中央合わせ」にチェックすると、出力用紙に余白ができるときに用紙の中央に印刷されます。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」 92ページ](#)

複数用紙に分割して拡大印刷する（ポスター）

1ページのデータを複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせるとポスターのような大きな印刷物になります。



設定方法

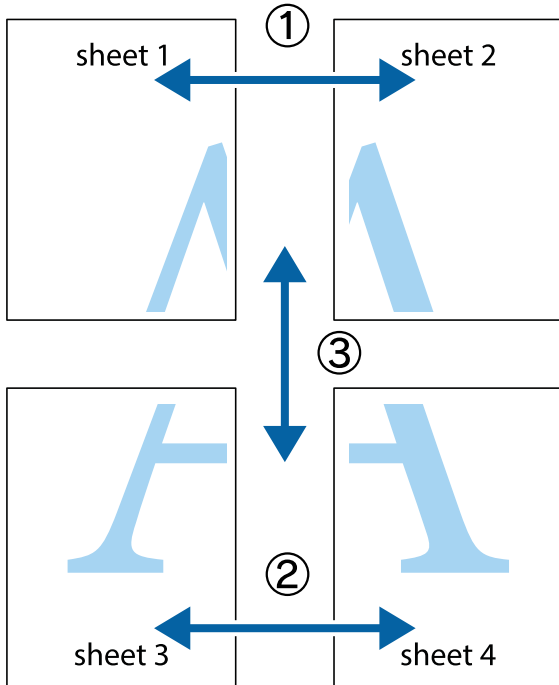
プリンタードライバーで、[基本設定] タブの [割り付け/ポスター] から [2×1 ポスター]、[2×2 ポスター]、[3×3 ポスター] または [4×4 ポスター] のいずれかを選択します。[設定] をクリックすると、印刷しないページや貼り合わせ時のガイドを印刷するかどうかを設定できます。

関連情報

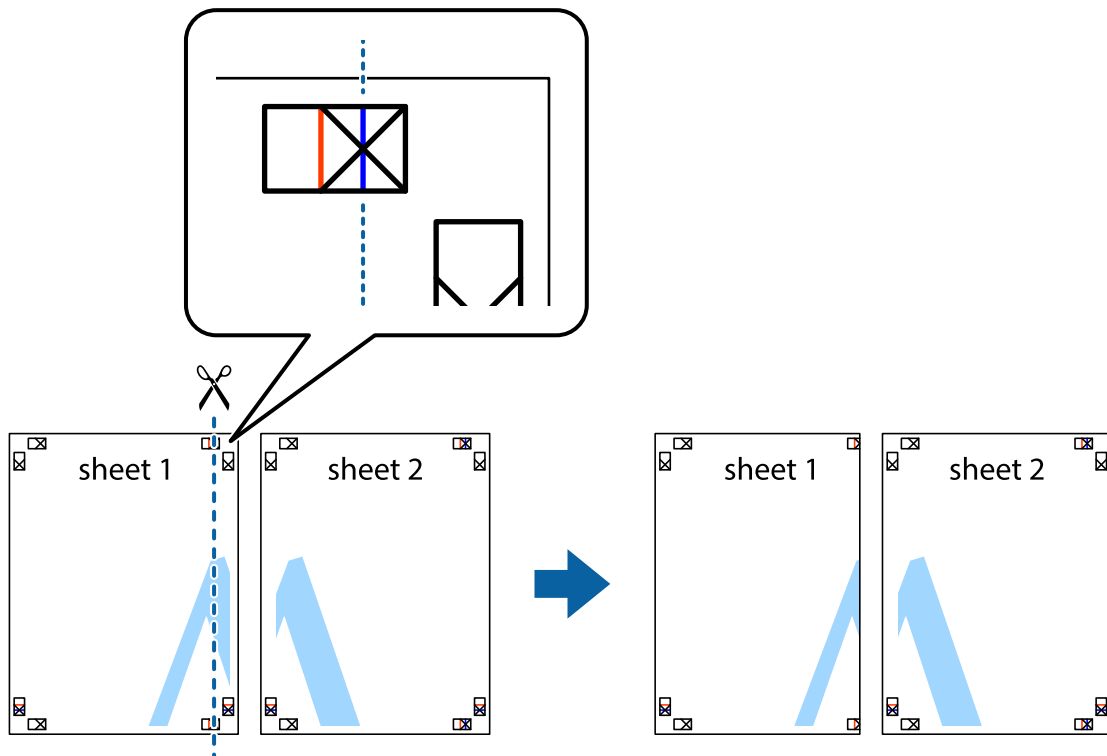
- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」 90ページ](#)

「貼り合わせガイドを印刷」を使ってポスターを作る

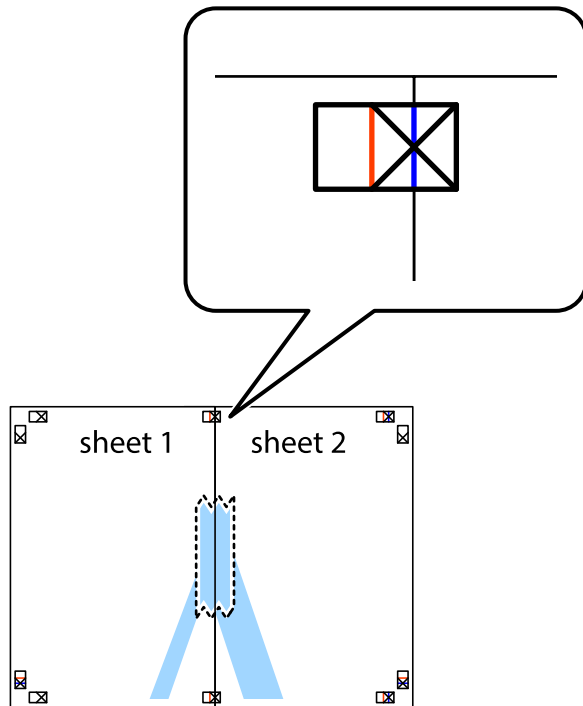
ここでは [2×2 ポスター] を選択して、[ガイド印刷] を [貼り合わせガイドを印刷] にしたときの用紙の貼り合わせ方を例に説明します。



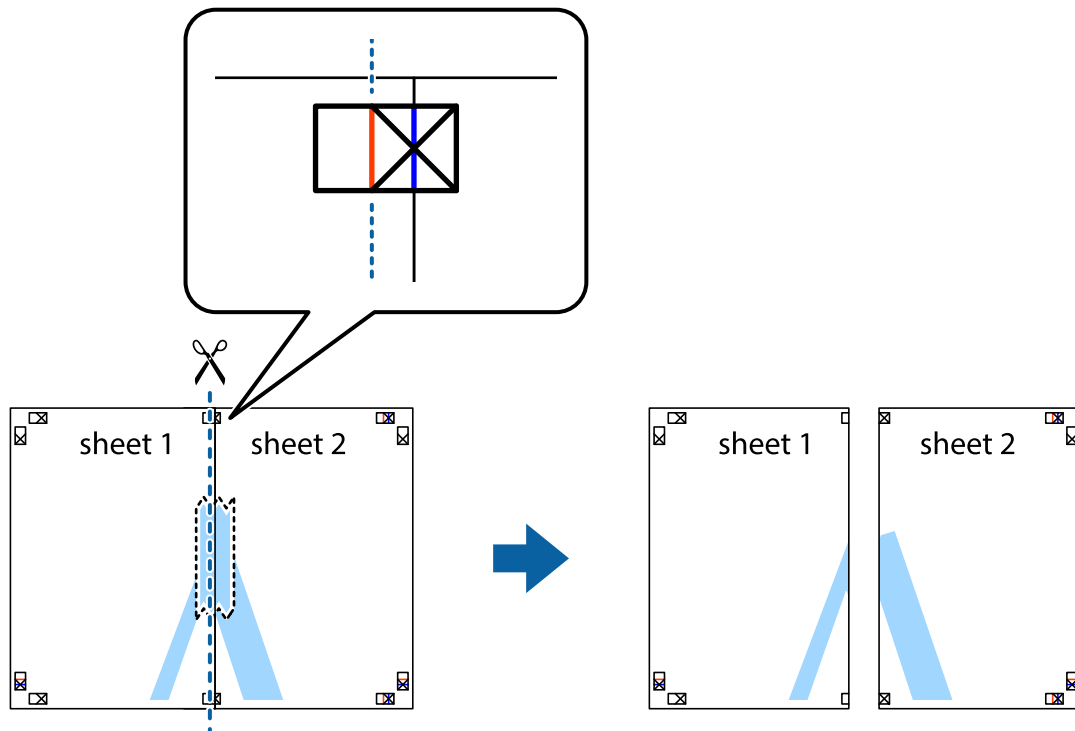
1. Sheet 1とSheet 2を用意します。Sheet 1を、×印と交わっている縦線（青色）を結ぶ線で切ります。



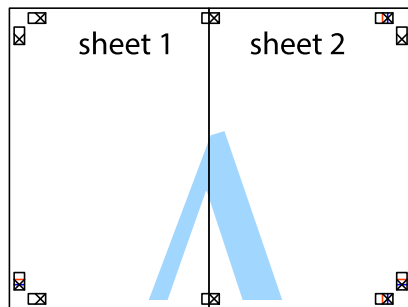
2. Sheet 1をSheet 2の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



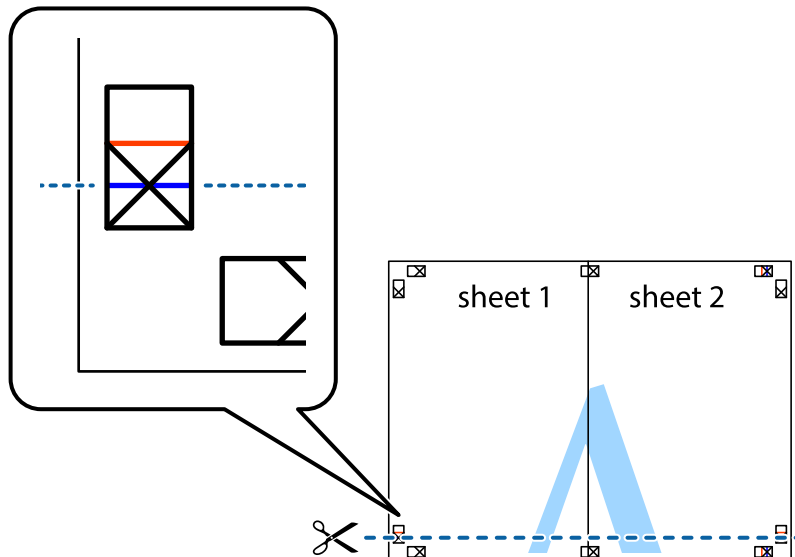
3. ×印の左側の縦線（赤色）を結ぶ線で切ります。



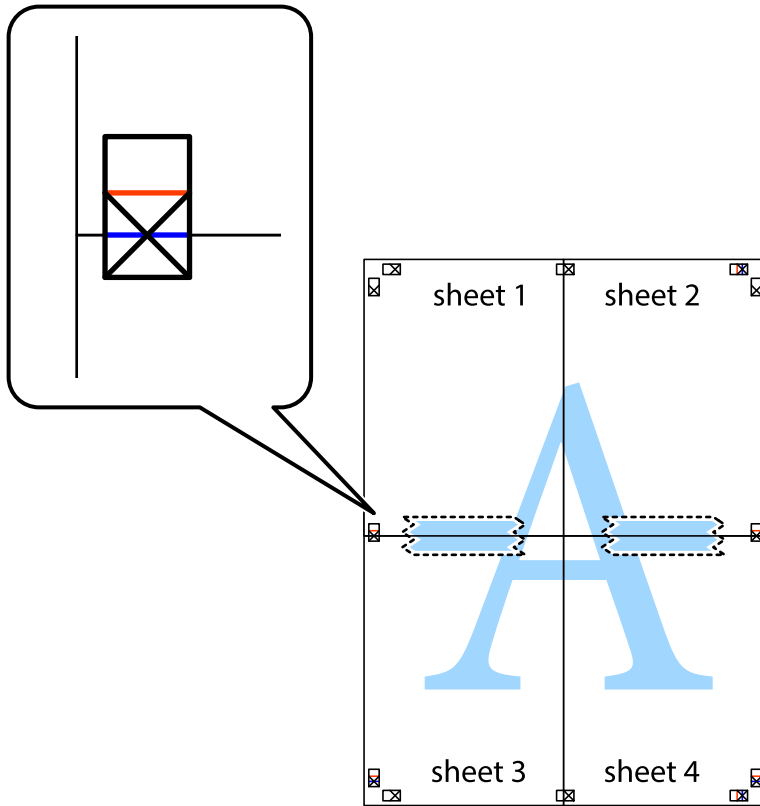
4. 裏面にテープを貼って合わせます。



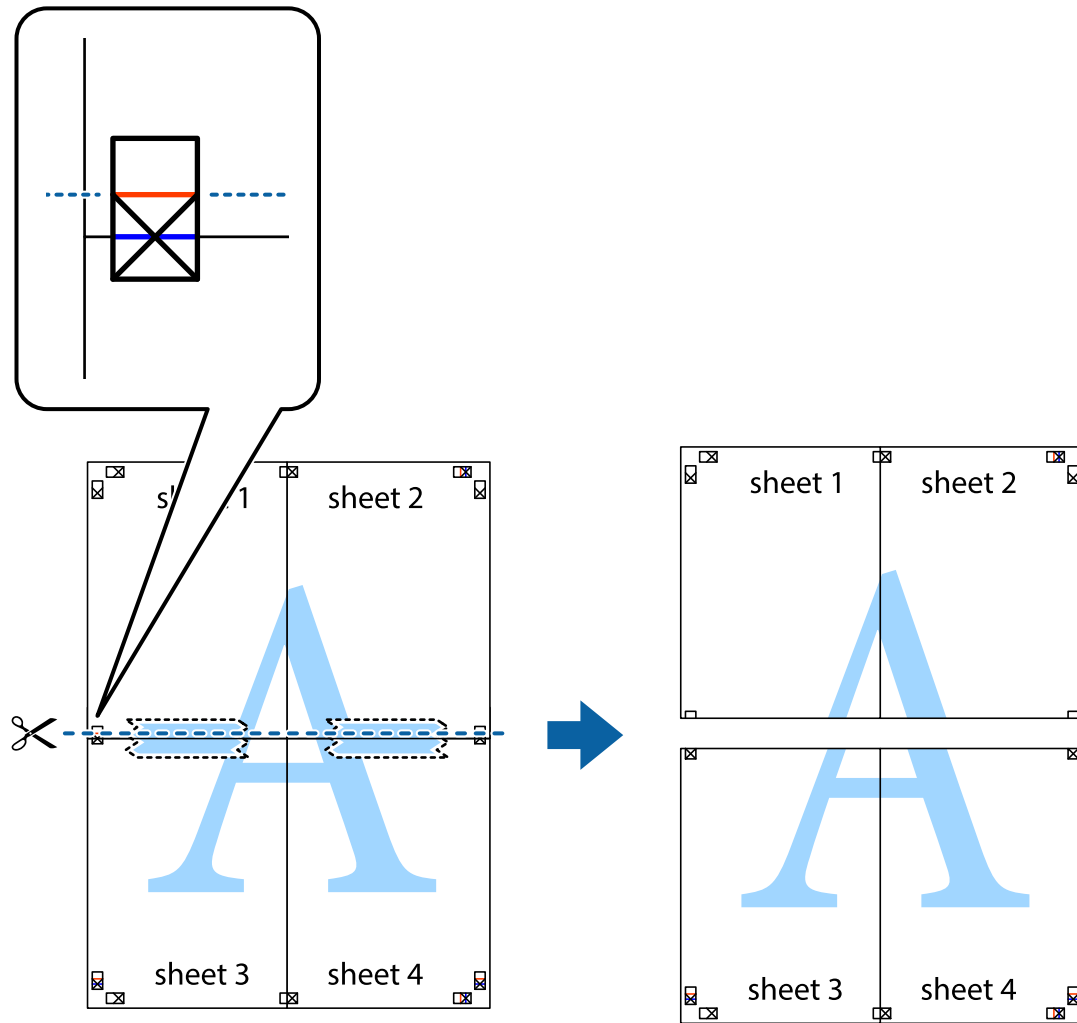
5. Sheet 3とSheet 4も手順1～4と同じように貼り合わせます。
6. Sheet 1とSheet 2を、×印に交わった横線（青色）を結ぶ線で切ります。



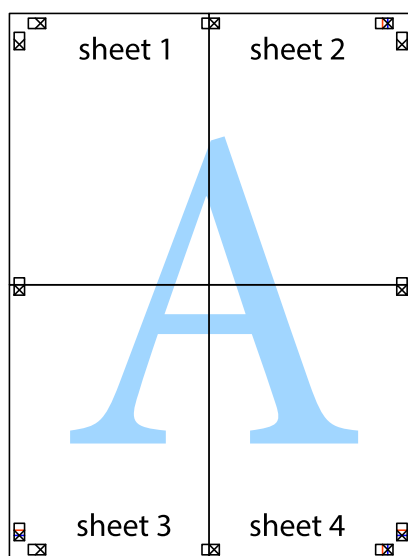
7. Sheet 1とSheet 2をSheet 3とSheet 4の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



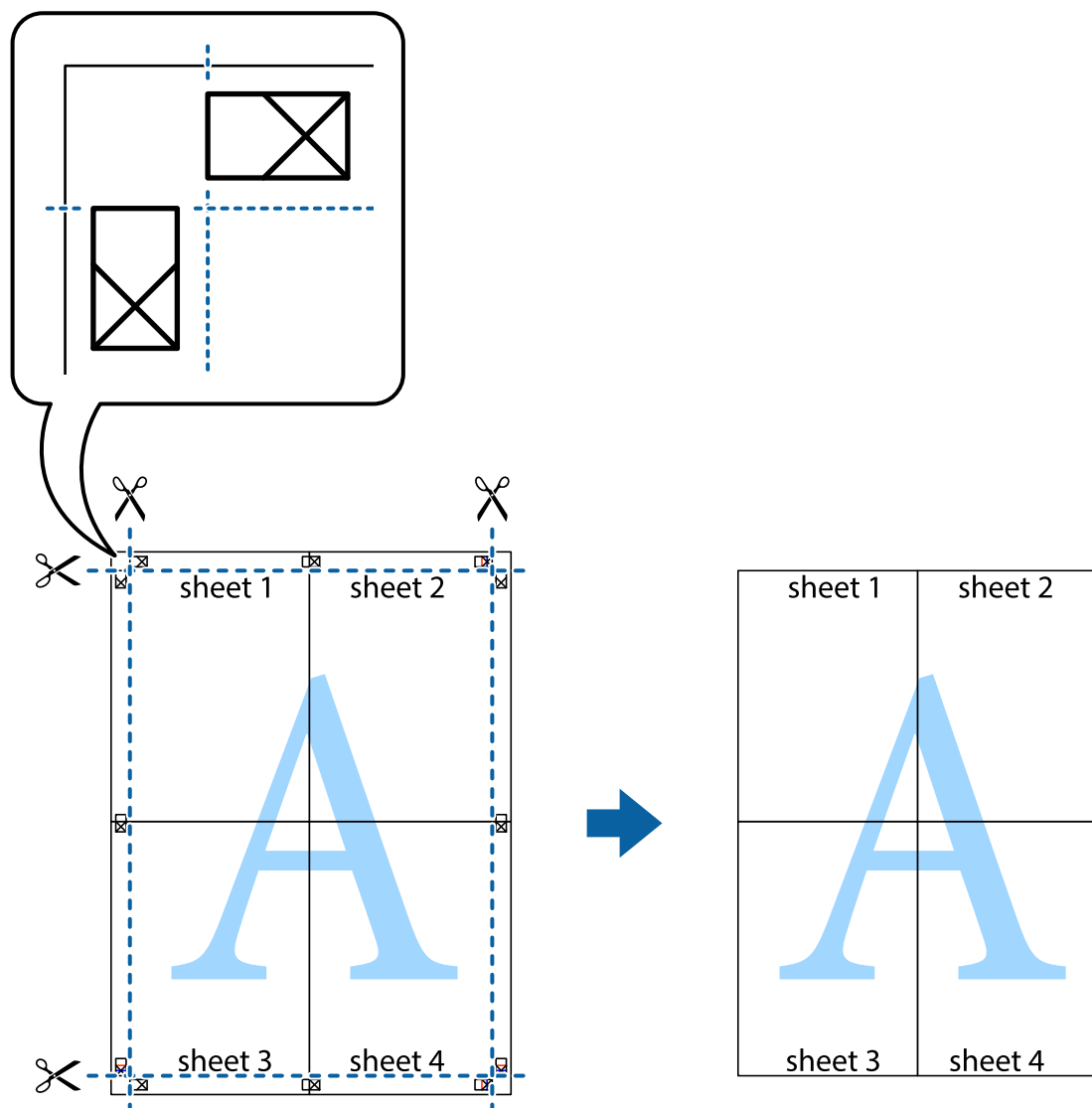
8. ×印上側の横線（赤色）を結ぶ線で切ります。



9. 裏面にテープを貼って合わせます。

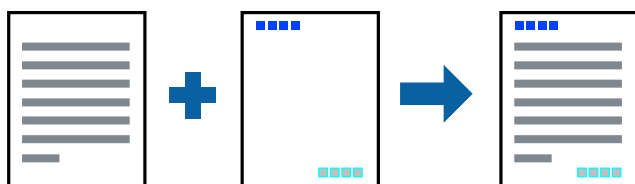


10. 外側のガイドに沿って余白を切り取ります。



ヘッダーやフッターを入れて印刷する

用紙のヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーの「応用設定」タブで「セキュリティ設定」をクリックして、「ヘッダー/フッター」にチェックします。「設定」をクリックして印刷したい項目を選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」 92ページ](#)

透かしを入れて印刷する（透かし印刷）

印刷データに「マル秘」などのマークや、「コピー」などの透かし文字を入れて印刷できます。原本をコピーしたときに文字が浮き上がるように印刷されて、原本とコピーを区別できます。



透かし印刷は、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙：普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、印刷済み用紙
- 印刷品質：標準
- 自動両面印刷：無効
- フェイスダウン：無効
- 色補正：自動
- 再生紙の印刷コストを軽減する：無効



任意のマークや透かし文字も登録できます。

設定方法

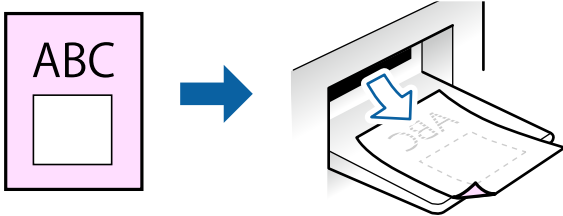
プリンタードライバーの「応用設定」タブで「セキュリティ設定」をクリックして、透かし印刷やスタンプマークの種類を選択します。「設定」をクリックすると、透かしのサイズ、濃度、位置などが変更できます。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」 92ページ](#)

印刷面を下向きに排紙する設定で印刷する（フェイスダウン）

用紙を下向きに排紙することで、印刷結果を他人に見られないようにできます。



フェイスダウンは、以下の用紙でのみ有効にできます。

普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、印刷済み用紙

参考 通常よりも印刷時間がかかります。

設定方法

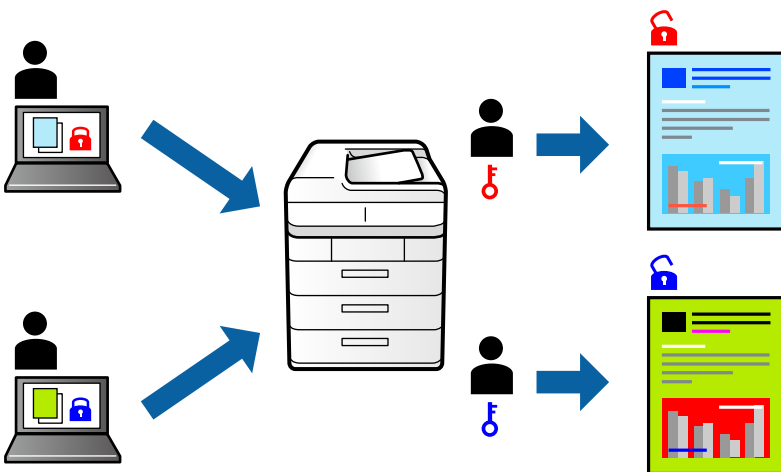
プリンタードライバーで、[基本設定] タブの [両面印刷] から [フェイスダウン] を選択します。[濃度調整] をクリックすると、文書タイプに合わせて濃度を調整し、裏写りを防止できます。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」 90ページ](#)

データにパスワードを設定して印刷する

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。



設定方法

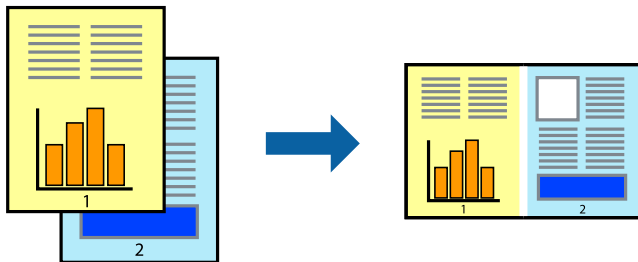
プリンタードライバーの「応用設定」タブで「パスワード印刷」をチェックして、パスワードを入力します。
ジョブを印刷するには、プリンターの操作パネルのホーム画面で **i** ボタンを押して、「パスワード印刷」を選択します。
印刷するジョブを選択してパスワードを入力します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」 92ページ](#)

複数ファイルを1つにまとめて印刷する（まとめてプリント）

まとめてプリントLiteを使うと、異なるアプリケーションソフトで作成したファイルを1つにまとめて割り付け印刷や両面印刷ができます。



設定方法

プリンタードライバーの「基本設定」タブで、「まとめてプリントLite」にチェックします。印刷を開始するとまとめてプリントLite画面が表示されます。まとめてプリントLite画面を表示したまま1つにまとめたい他のファイルを開き、作業を繰り返します。

まとめてプリントLite画面の印刷プロジェクトに追加された印刷データを選択すると、割り付け順序などが編集できます。

「[ファイル] メニューの「印刷」をクリックして印刷を開始してください。

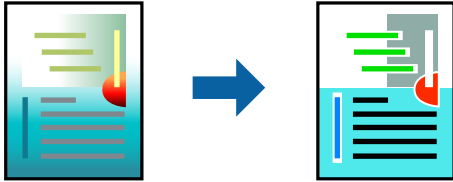
- 参考** 全ての印刷データを印刷プロジェクトに追加する前にまとめてプリントLite画面を閉じると、それまでの作業が取り消されます。「[ファイル] メニューの「保存」をクリックして現在の作業が保存できます。保存したファイルの拡張子は"ecf"です。
- 保存したファイルを開くには、プリンタードライバーの「ユーティリティ」タブで「まとめてプリントLite」をクリックして、まとめてプリントLite画面を開きます。その後「[ファイル] メニューの「開く」から、対象のファイルを選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」 90ページ](#)

カラーユニバーサルデザイン（CUD）で印刷する

文字や画像の視認性を向上させて印刷できます。



カラーユニバーサルプリントは、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙：普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、印刷済み用紙
- 印刷品質：[標準] 以上の高品位
- 印刷の色：[カラー]
- Microsoft® Office 2007以降のアプリケーションソフト
- 96ポイント以下の文字

設定方法

プリンタードライバーで[応用設定] タブの[色補正] 設定から[画像処理設定] をクリックします。[カラーユニバーサルプリント] の種類を選択します。[装飾の設定] をクリックすると、詳細な装飾の方法を設定できます。

参考

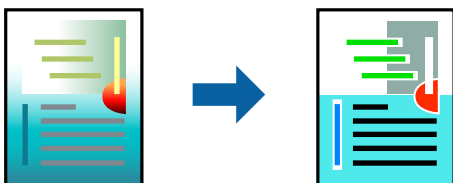
- 装飾すると文字の意味が変わってしまうことがあります（「+」が「±」に見えるなど）。
- アプリケーションソフトの機能で装飾した文字やグラフなどは、正常に印刷されないことがあります。
- 写真などの画像はカラーユニバーサルプリントで印刷すると、画質が低下することがあります。
- カラーユニバーサルプリントを有効にすると、印刷速度が遅くなります。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」94ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」92ページ](#)

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。



参考

元データは補正しません。

設定方法

プリンタードライバーの「応用設定」タブの「色補正」設定で「ユーザー設定」を選択します。「設定」をクリックして「色補正」画面を開き、色補正の方法を選択します。

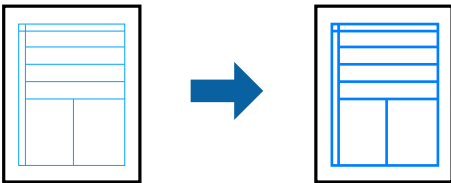
- 参考**
- 初期値は、「応用設定」タブで「自動」に設定されています。用紙種類と印刷品質の設定に合わせて、最適な色合いに自動補正されます。
 - 「色補正」画面の「オートフォトファイン!EX」は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、「オートフォトファイン!EX」以外のモードで印刷してください。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」94ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」92ページ](#)

細い線を鮮明に印刷する

印刷すると消えてしまう細い線を太くして印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーで「応用設定」タブの「色補正」から「画像処理設定」をクリックします。「細線を鮮明にする」を選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」94ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」92ページ](#)

印刷を中止する

コンピューターから印刷を中止できます。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

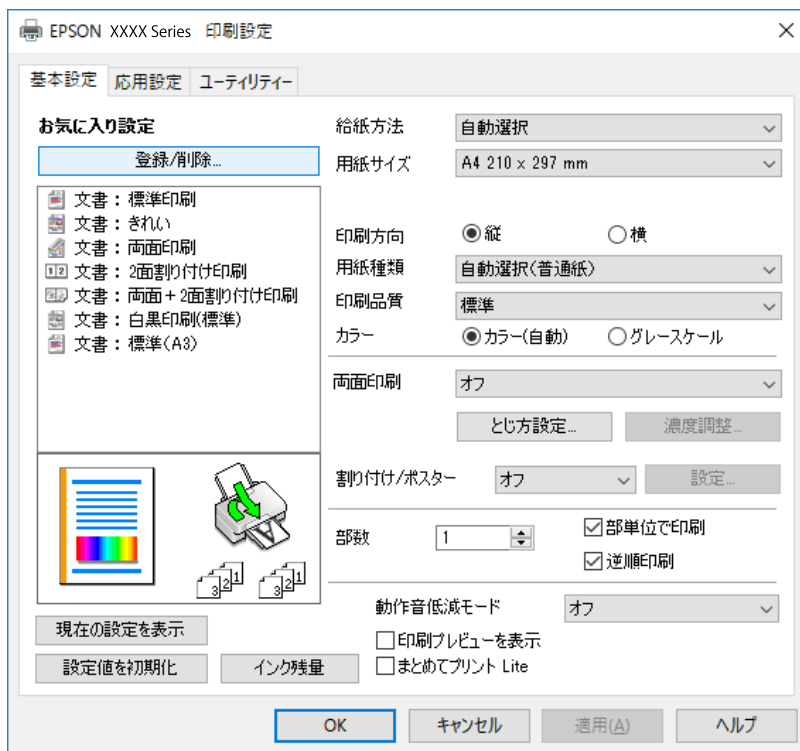
コンピュータの［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとファクス］）で、お使いのプリンターを右クリックします。［印刷ジョブの表示］をクリックし、中止するジョブ上で右クリックして、［キャンセル］を選択します。

プリンタードライバのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

基本設定タブ

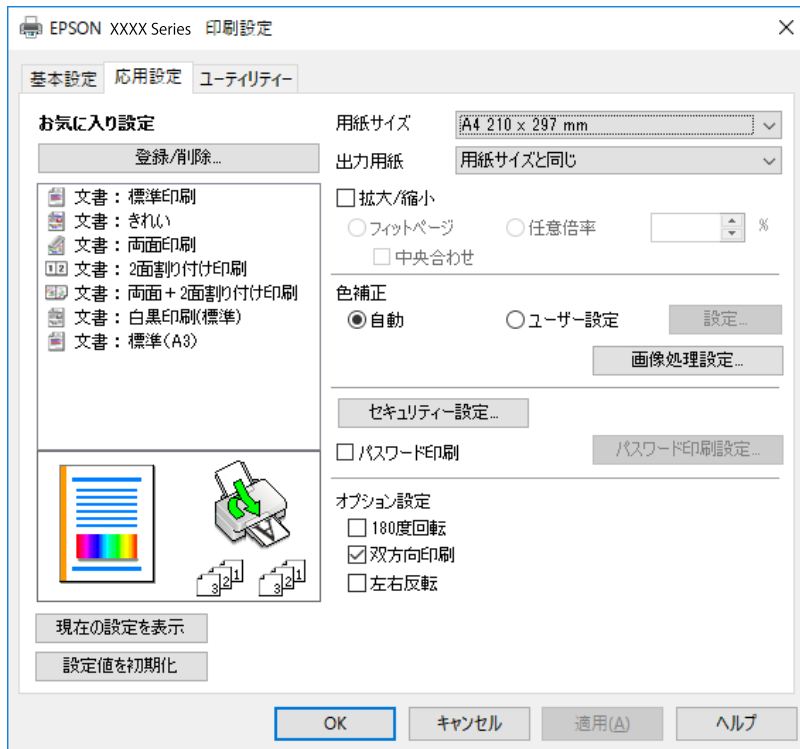


お気に入り設定	登録/削除	多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。
現在の設定を表示	基本設定タブや応用設定タブで設定されている項目を一覧で表示します。	
設定値を初期化	設定を初期状態に戻します。初期化は、応用設定タブにも適用されます。	
インク残量	プリンターのインク残量を表示します。	
給紙方法	どの給紙装置から給紙するかを選択します。［自動選択］にしておくと、プリンターの給紙の設定と一致する給紙装置を自動で選択します。	

印刷

用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。[ユーザー定義サイズ]は、用紙の幅と長さを入力します。	
印刷方向	データを印刷する向きを選択します。	
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。	
印刷品質	印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。[詳細設定]は、任意で品質を設定できます。	
カラー	印刷する色を選択します。	
両面印刷	両面印刷やフェイスダウン排紙を有効にします。	
	とじ方設定	出力紙をとじるときの位置や、とじしろの幅を設定します。複数ページを印刷するときは、1ページ目を裏面（片面）から印刷するかを選択できます。
	濃度調整	印刷する文書のタイプを選択することで、インクの濃度を調整し裏写りを防止します。[ユーザー設定]を選択すると、任意で濃度を調整できます。
割り付け/ポスター	割り付け印刷やポスター印刷を有効にします。設定では、ページの配置順などが設定できます。	
部数	印刷する部数を設定します。	
	部単位で印刷	部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。
	逆順印刷	複数ページのデータを最後のページから印刷して、ページ順に仕上げます。
動作音低減モード	動作音を静かにします。有効にすると、印刷速度が遅くなることがあります。	
印刷プレビューを表示	印刷を開始する前に印刷イメージを表示します。	
まとめてプリントLite	まとめてプリントLite機能を使って印刷したいときに選択します。	

応用設定タブ

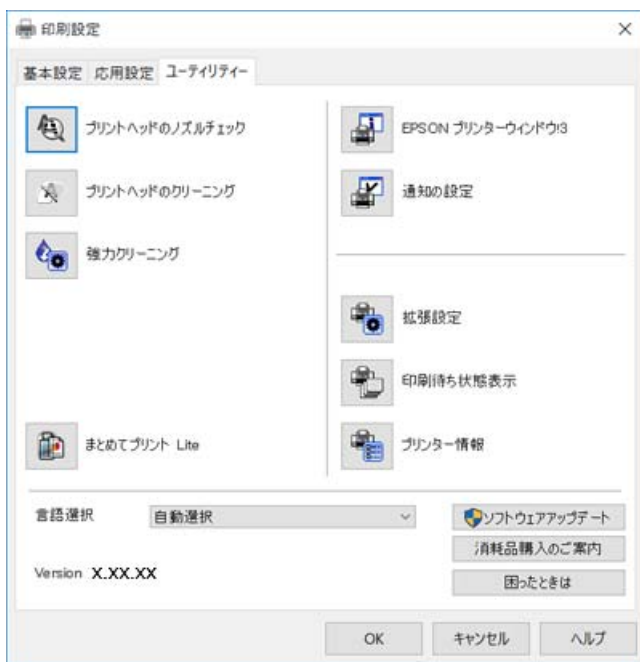


お気に入り設定	登録/削除	多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。
現在の設定を表示	〔基本設定〕タブや〔応用設定〕タブで設定されている項目を一覧で表示します。	
設定値を初期化	設定を初期状態に戻します。初期化は、〔基本設定〕タブにも適用されます。	
用紙サイズ	印刷するデータのサイズを選択します。	
出力用紙	出力する用紙サイズを選択します。〔用紙サイズ〕と〔出力用紙〕のサイズが異なるときは、〔拡大/縮小〕が自動で選択されます。拡大、縮小印刷をしないときは、選択する必要はありません。	
拡大/縮小	拡大/縮小	拡大、縮小印刷を有効にします。
	フィットページ	〔出力用紙〕のサイズに合わせて自動で拡大、縮小印刷します。
	任意倍率	任意の倍率で拡大、縮小印刷します。
	中央合わせ	用紙の中央にデータを印刷します。
色補正	自動	画像などの色を自動で補正して印刷します。
	ユーザー設定	画像などの色を手動で補正して印刷します。〔設定〕を選択すると、色補正の詳細な方法が選択できます。
	画像処理設定	カラーユニバーサルプリントや赤目補正を有効にしたり、細い線を鮮明に印刷する設定をしたりします。
セキュリティ設定	透かし印刷やスタンプマークの設定をします。	

印刷

パスワード印刷	印刷ジョブにパスワードを設定します。パスワードを設定すると、プリンターでパスワードを入力するまで印刷されません。〔パスワード印刷設定〕で、入力した内容の変更ができます。	
オプション設定	180度回転	データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに有効です。
	双方向印刷	ヘッドの行きだけでなく帰りにインクを吐出して印刷します。印刷速度は向上しますが、印刷品質は低下することがあります。
	左右反転	データの左右を反転して印刷します。

ユーティリティタブ



プリントヘッドのノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドに目詰まりがないか確認します。
プリントヘッドのクリーニング	プリントヘッドをクリーニングして目詰まりを改善します。インクを消費するため、ノズルが目詰まりしているときだけ実行してください。
強力クリーニング	インクチューブ内のインクを入れ替えることで、印刷品質を改善します。
まとめてプリントLite	まとめてプリントLite画面を表示します。作業中のデータの保存や、編集ができます。
EPSON プリンターウィンドウ!3	EPSON プリンターウィンドウ!3の画面を表示します。プリンターや消耗品の状態が確認できます。
通知の設定	EPSON プリンターウィンドウ!3の画面に表示する項目などを設定します。
拡張設定	より詳細な印刷設定ができます。設定項目の詳細は、項目上で右クリックしてヘルプをご覧ください。
印刷待ち状態表示	印刷を待っているジョブを表示します。ジョブの状況の確認や一時停止、再開などが操作できます。

プリンター情報	プリンターやADFに給紙された用紙の合計枚数の確認や、利用者情報の登録ができます。利用者制限が有効になっているプリンターは、利用者を登録すると印刷できます。
言語選択	プリンタードライバーの言語を変更します。画面を開き直すと言語が変更されます。
ソフトウェアアップデート	EPSON Software Updaterを起動して、インターネット上に更新できるソフトウェアがあるかを自動で確認します。
消耗品の購入	エプソンのウェブサイトにある消耗品購入のページに接続します。
困ったときは	エプソンのウェブサイト「よくあるご質問（FAQ）」に接続します。

Mac OSプリンタードライバーから印刷する

基本の印刷

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. 印刷するファイルを開きます。

プリンターに用紙がセットされていない場合はセットしてください。

！重要 手差し給紙から給紙するときは、[給紙方法] に手差し給紙を選択して、プリンタードライバーで印刷を実行してから用紙をセットします。印刷を実行すると印刷中の画面が表示されます。プリンターの画面表示に従って用紙をセットしてください。

2. [ファイル] メニューの[プリント]（または[印刷] など）を選択してプリント画面を表示させます。

詳細設定が隠れているときは、[詳細を表示]（または▼）をクリックして詳細設定画面を開いてください。

3. お使いのプリンターを選択します。

4. ポップアップメニューの「印刷設定」を選択します。

参考 OS X Mountain Lion以降で「印刷設定」メニューが表示されないときは、エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。

 メニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択して、一旦プリンターを削除してから、プリンターの追加をやり直してください。追加方法は以下をご覧ください。

<http://epson.sn>

5. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

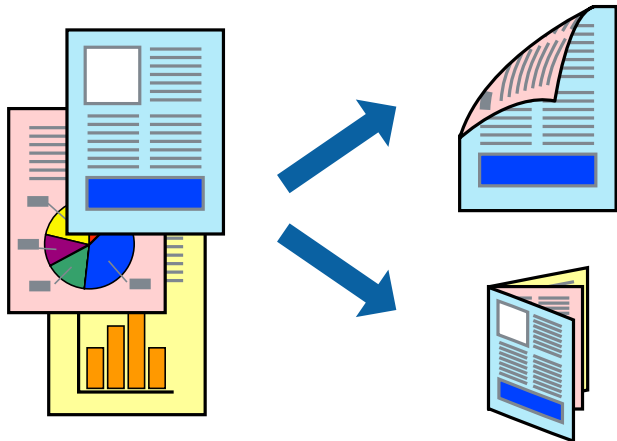
6. 「プリント」をクリックします。

関連情報

- ➡ 「対応用紙とセット可能枚数」 39ページ
- ➡ 「用紙カセットに印刷用紙をセットする」 43ページ
- ➡ 「手差し給紙に印刷用紙をセットする」 46ページ
- ➡ 「セットした用紙の種類を設定する」 51ページ
- ➡ 「印刷設定メニュー」 105ページ

両面に印刷する

用紙の両面に自動で印刷できます。



参考

- 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

関連情報

➡ [「対応用紙とセット可能枚数」 39ページ](#)

設定方法

ポップアップメニューから「自動両面/排紙設定」を選択します。両面印刷の方法を選択して、「文書タイプ」を設定します。

参考

- 文書タイプによっては印刷速度が遅くなります。
- 写真やグラフなど濃度の高いデータを印刷するときは、「文書タイプ」の「テキスト/イラスト」または「テキスト/写真」を選択してください。それでも印刷結果の汚れや裏写りが気になるときは、「詳細設定」で「印刷濃度」や「追加乾燥時間」を調整してください。

関連情報

➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)

➡ [「自動両面/排紙設定メニュー」 107ページ](#)

複数ページを1ページに印刷する

1枚の用紙に2ページまたは4ページのデータを割り付けて印刷できます。



設定方法

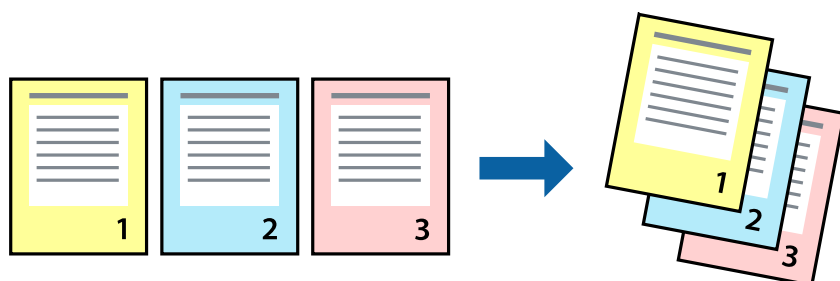
ポップアップメニューの「レイアウト」を選択します。「ページ数/枚」、「レイアウト方向」、「境界線」を設定します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「レイアウトメニュー」 101ページ](#)

ページ順に印刷する（逆順印刷）

最後のページから印刷して、出来上がりがページ順になるように印刷できます。



設定方法

ポップアップメニューの「用紙処理」を選択します。「ページの順序」で「逆送り」を選択します。

関連情報

- ➔ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➔ [「用紙処理メニュー」 103ページ](#)

拡大縮小して印刷する

任意の倍率や用紙サイズに合わせて、拡大または縮小して印刷できます。



設定方法

用紙のサイズに合わせて拡大縮小印刷するときは、ポップアップメニューから「用紙処理」を選択して、「用紙サイズに合わせる」をチェックします。「出力用紙サイズ」でプリンターにセットした用紙のサイズを選択します。縮小印刷するときは、「縮小のみ」にチェックします。

任意の倍率で印刷するときは、以下のいずれかを実行します。

- アプリケーションソフトの「ファイル」メニューから、「プリント」を選択します。「プリンタ」を選択し、「拡大縮小」に倍率を入力して、「印刷」をクリックします。
- アプリケーションソフトの「ファイル」メニューから、「ページ設定」を選択します。「フォーマット」でお使いのプリンターを選択し、「拡大縮小」に倍率を入力して、「OK」をクリックします。

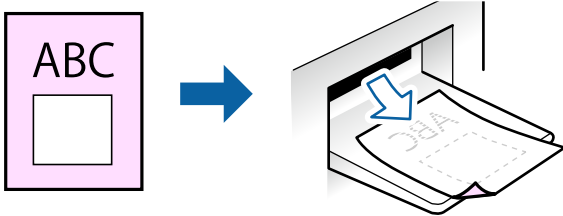
参考 「用紙サイズ」は、印刷するデータのサイズを選択します。

関連情報

- ➔ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➔ [「用紙処理メニュー」 103ページ](#)

印刷面を下向きに排紙する設定で印刷する（フェイスダウン）

用紙を下向きに排紙することで、印刷結果を他人に見られないようにできます。



フェイスダウンは、以下の用紙でのみ有効にできます。

普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、印刷済み用紙

参考 通常よりも印刷時間がかかります。

設定方法

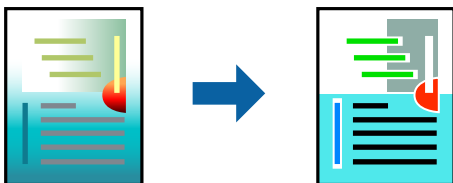
ポップアップメニューから「自動両面/排紙設定」を選択し、「フェイスダウン印刷」にチェックします。文書タイプを選択すると、文書タイプに合わせて濃度が調整できます。

関連情報

- ➔ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➔ [「自動両面/排紙設定メニュー」 107ページ](#)

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。



参考 元データは補正しません。

設定方法

ポップアップメニューの「カラー・マッチング」を選択し、「EPSON Color Controls」を選択します。ポップアップメニューの「カラーオプション」を選択して、色補正の種類を選択します。「詳細設定」横の矢印をクリックすると、さらに詳細な色補正の方法が選択できます。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 94ページ](#)
- ➡ [「カラー・マッチングメニュー」 102ページ](#)
- ➡ [「カラーオプションメニュー」 106ページ](#)

印刷を中止する

コンピューターから印刷を中止できます。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

[Dock] 内のプリンターのアイコンをクリックします。中止するジョブを選択し、以下のいずれかを行います。

- OS X Mountain Lion以降
プログレスメーター横の  をクリックします。
- Mac OS X v10.6.8～v10.7.x
[削除] をクリックします。

プリンタードライバのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

 **参考** 項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

レイアウト

ページ数/枚：1

レイアウト方向：

境界線：なし

両面：切

ページの方向を反転

左右反転

キャンセル

プリント

ページ数/枚	用紙1枚に対し、印刷したいページ数を選択します。
レイアウト方向	ページの並べ方を選択します。
境界線	ページを区切る境界線の設定をします。
ページの方向を反転	データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに設定してください。
左右反転	データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

カラー・マッチング

ColorSync

EPSON Color Controls

キャンセル

プリント

ColorSync	色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。
EPSON Color Controls	

用紙処理メニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

用紙処理

丁合い

プリントするページ：すべてのページ

ページの順序：自動

用紙サイズに合わせる

出力用紙サイズ：推奨用紙：A4

縮小のみ

キャンセル

プリント

丁合い	部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。	
プリントするページ	印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。	
ページの順序	複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。	
用紙サイズに合わせる	出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。	
	出力用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。
	縮小のみ	縮小印刷時に選択します。

表紙メニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

↑

↑

表紙

表紙をプリント：

なし

書類の前

書類の後

表紙のタイプ：標準

キャンセル

プリント

表紙をプリント	表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、【書類の後】を選択します。
表紙のタイプ	表紙に印刷される内容を選択します。

印刷設定メニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

印刷設定

給紙方法：自動選択

用紙種類：郵便ハガキ

印刷品質：標準

☐ グレースケール

☐ 左右反転

キャンセル

プリント

給紙方法	どの給紙装置から給紙するかを選択します。給紙装置が1つだけの機種では表示されません。[自動選択] にしておくと、プリンターの [給紙の設定] と一致する給紙装置を自動で選択します。
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。
印刷品質	印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。
グレースケール	白黒で印刷したいときに選択します。
左右反転	データの左右を反転して印刷します。

カラーオプションメニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

カラーオプション

手動設定

オートフォトファイン！EX

色補正なし

▶ 詳細設定:

キャンセル

プリント

手動設定	画像などの色を手動で補正して印刷します。〔詳細設定〕では、色補正の詳細な方法が選択できます。
オートフォトファイン！EX	エプソン独自の画像解析、処理技術を使って自動で画像を高画質にして印刷します。
色補正なし	色補正せずに印刷します。

自動両面/排紙設定メニュー

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1

ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向:

自動両面/排紙設定

自動両面印刷: オフ

☐ フェイスダウン印刷

キャンセル プリント

自動両面印刷	自動で用紙の両面に印刷します。
フェイスダウン印刷	印刷した面を下にして排紙します。

Mac OSプリンタードライバーの動作を設定する

Mac OSプリンタードライバーの動作設定画面の開き方

メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション]（または [ドライバ]）の順にクリックします。

Mac OSプリンタードライバーの動作設定メニューの説明

- こすれ軽減：印刷こすれを軽減させて印刷します。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。
- 白紙節約する：印刷データの白紙ページを印刷しません。
- 動作音低減モード：印刷時の動作音が静かになります。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。
- 双方向印刷：プリントヘッドが左右どちらに動くときも印刷します。印刷速度は速くなりますが、印刷品質は低下することがあります。

- ワーニングを通知する：ワーニング（警告）が発生したときにメッセージなどを表示します。
- 印刷時に双方向通信をサポート：通常は［オン］のままにしてください。Windowsで共有されているプリンターなど、プリンターからの情報が取れない場合は［オフ］にします。

操作パネルから印刷する

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーなどの外部メモリーのデータを印刷できます。

JPEGファイルを印刷する

1. プリンターに印刷用紙をセットします。

！重要

- 用紙力セットにセットしたときは、操作パネルで用紙の設定をしてください。
- 手差し給紙で印刷する場合は、用紙セットの指示があるまで用紙をセットしないでください。

2. プリンターに外部メモリーをセットします。

！重要

印刷が終了するまで外部メモリーを取り出さないでください。

3. ホーム画面で［外部メモリーから印刷］を選択します。

4. ［JPEG印刷］を選択します。

参考

- 外部メモリーに999以上の画像が入っていると、画像は自動的にグループ化され、グループ選択画面が表示されます。印刷したい画像を含むグループを選択してください。画像は撮影日順に表示されます。
- 違うグループにある画像を印刷したいときは、以下の手順でグループを変更してください。
［外部メモリーから印刷］ - ［JPEG印刷］ - ［メニュー］ - ［グループ選択］。

5. 印刷する画像を選択します。



6. 数字キーを使って印刷枚数を入力します。

7. 「色補正」を押して色補正の設定をします。

参考 設定項目の詳細は、外部メモリーから印刷時のメニューの説明をご覧ください。

8. 3ボタンを押します。

参考 画像を追加するときは、画面を左右にフリックするか、もう一度3を押して手順5に戻り、手順6～7を繰り返します。

9. 「設定」を押して印刷の設定をします。

参考 設定項目の詳細は、外部メモリーから印刷時のメニューの説明をご覧ください。

10. 「設定確認」を押して印刷の設定を確認します。

11. モノクロまたはカラーの4ボタンを押して印刷を開始します。

関連情報

- ➡ [「外部メモリーから印刷時のメニューの説明」 110ページ](#)
- ➡ [「対応ファイルの仕様」 279ページ](#)

TIFFファイルを印刷する

1. プリンターに印刷用紙をセットします。

- ！重要**
- 用紙カセットにセットしたときは、操作パネルで用紙の設定をしてください。
 - 手差し給紙で印刷する場合は、用紙セットの指示があるまで用紙をセットしないでください。

2. プリンターに外部メモリーをセットします。

- ！重要** 印刷が終了するまで外部メモリーは取り出さないでください。

3. ホーム画面で「外部メモリーから印刷」を選択します。

4. 「TIFF印刷」を選択します。

5. 印刷するファイルを選択します。



6. ファイル情報を確認して「次へ」を押します。

7. 数字キーを使って印刷枚数を入力します。

8. 「設定」を押して印刷の設定をします。

参考 設定項目の詳細は、外部メモリーから印刷時のメニューの説明をご覧ください。

9. 3ボタンを押してから「次へ」を押し、印刷の設定を確認します。

10. モノクロまたはカラーの◇ボタンを押して印刷を開始します。

関連情報

- ➡ [「外部メモリーから印刷時のメニューの説明」 110ページ](#)
- ➡ [「対応ファイルの仕様」 279ページ](#)

外部メモリーから印刷時のメニューの説明

参考 設定できる項目は、印刷するファイルの形式によって異なります。

ファイル形式

「JPEG印刷」または「TIFF印刷」を選択して、外部メモリーのファイルを印刷します。

印刷枚数

印刷枚数を入力します。

設定

- 給紙方法
使用する給紙装置を選択します。「背面手差し給紙」を選択したときは、手差し給紙にセットした用紙のサイズと種類を設定します。（初期値は「用紙カセット1」）

印刷

- レイアウト
レイアウトを選択します。[8面]、[20面]はA4またはA3用紙サイズのみ対応です。[20面]を選択すると各写真の下にコマ番号や日付が印刷されます。（初期値は[フチあり]）
- 印刷品質
印刷品質を選択します。[きれい]を選択すると、高品質で印刷できますが、印刷に時間がかかります。（初期値は[標準]）
- 日付表示
写真の撮影日または保存日を入れて印刷するときに、日付の表示形式を選択します。レイアウトによっては日付が印刷できません。（初期値は[オフ]）
- トリミング
画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱいに印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。（初期値は[オン]）
- 双方向印刷
プリントヘッドが左右どちらの方向に移動するときも印刷します。無効にすると罫線のズレが改善されることがありますが、印刷に時間がかかります。（初期値は[オン]）
- 印刷順序
1ページ目から印刷するときは、[正順印刷]を選択します。最終ページから印刷するときは、[逆順印刷]を選択します。（初期値は[正順印刷]）

色補正

- 自動画質補正
画質補正方法を選択します。（初期値は[オートフォトファイン!EX]）
- 赤目補正
赤く撮影された目の色を補正します。元のファイルは補正しません。画像によっては赤目以外の部分が補正されることがあります。（初期値は[オフ]）

メニュー

- 画像の選択方法
[全ての画像を選択]を選択すると、外部メモリー内の全ファイルを一括で選択します。
- グループ選択
他のグループを選択します。

スマートデバイスから印刷する

Epson iPrintを使う

Epson iPrint（エプソン アイプリント）は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、写真やWebページ、文書などが印刷できるアプリケーションです。プリンターと同じ無線LANに接続したスマートデバイスから印刷するローカルプリントと、インターネット経由で外出先から印刷するリモートプリントがあります。リモートプリントを使うには、プリンターをEpson Connectサービスに登録してください。



関連情報

➡ [「ネットワークサービスを使って印刷する」215ページ](#)

Epson iPrintをインストールする

以下のURLまたはQRコードから、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールできます。

<http://ipr.to/c>



Epson iPrintで印刷する

スマートデバイスでEpson iPrintを起動して、ホーム画面で使いたい項目を選択します。

以下の画面は予告なく変更されることがあります。画面に表示される内容も、お使いの製品により異なる場合があります。



①	起動時に表示されるホーム画面です。
②	プリンターの設定方法やFAQなどの情報ページを表示します。
③	プリンターの選択や設定をする画面を表示します。一度プリンターを選択すれば、次回からは選択しなくても使えます。
④	写真や文書など、印刷したいものを選択します。
⑤	用紙サイズや用紙種類などの印刷設定をする画面を表示します。
⑥	選択した写真や文書を表示します。
⑦	印刷を開始します。

参考 iOSで動作するiPhone、iPad、iPod touchからドキュメントメニューで印刷するときは、iTunesのファイル共有機能で印刷するドキュメントを転送してからEpson iPrintを起動してください。

Epson印刷サービスプラグインを使う

Epson印刷サービスプラグインを使うと、文書やメール、写真、ウェブページなどを、Android 4.4以降のスマートデバイスからWi-Fiで印刷できます。プリンターとデバイスが同じネットワークにつながっている場合は、このプラグインをインストールしておくとう便利です。

1. プリンターに印刷用紙をセットします。
2. プリンターを無線LANに接続します。

3. Google Playから、スマートデバイスにEpson印刷サービスプラグインをダウンロードします。
4. お使いのスマートデバイスをプリンターと同じ無線LANに接続します。
5. お使いのスマートデバイスの〔設定〕から〔印刷〕を選択して、Epson印刷サービスプラグインを有効にします。
6. ChromeなどのAndroidアプリケーションで、メニューアイコンをタップして印刷します。



プリンターが見つからないときは、〔すべてのプリンター〕をタップして、お使いのプリンターを選択してください。

関連情報

- ➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」43ページ](#)
- ➡ [「手差し給紙に印刷用紙をセットする」46ページ](#)
- ➡ [「スマートデバイスとの接続」22ページ](#)

印刷を中止する - ジョブ確認メニュー

1. **i** ボタンを押して〔ジョブ確認メニュー〕を表示させます。
2. 〔ジョブモニター〕 - 〔印刷ジョブリスト〕の順に選択します。
印刷中または待機中のジョブがリストに表示されます。
3. 中止したいジョブを選択します。
4. 〔中止〕を押します。

コピー

コピーする

1. プリンターに印刷用紙をセットします。

手差し給紙で印刷する場合は、用紙セットの指示があるまで用紙をセットしないでください。

！重要 操作パネルで用紙の設定をしてください。

2. 原稿をセットします。
両面コピーなど複数枚の原稿をコピーする場合は、ADFに全ての原稿をセットします。
3. ホーム画面で【コピー】を選択します。
4. 数字キーを使ってコピー枚数を入力します。
5. 【レイアウト】を選択して、任意のレイアウトを選択します。
6. 必要に応じてその他の項目を設定します。さらに細かく設定したいときは【詳細設定】を選択します。



参考

- 【お気に入り】を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。
- 【プレビュー】を選択すると、プレビューが確認できます。ただし、ADFに原稿をセットしているときはプレビューできません。

7. ◇ボタンを押します。

関連情報

- ➡ [「原稿をセットする」52ページ](#)
- ➡ [「コピー時のメニューの説明」116ページ](#)

用紙の両面にコピーする

複数枚の原稿や、両面の原稿を用紙の両面にコピーできます。

1. ホーム画面で「コピー」を選択します。
2. 「両面」を選択し、「両面→両面」または「片面→両面」を選択します。
「片面→両面」を選択したときは、「詳細設定」を選択すると同じ位置を指定できます。
3. 「決定」を選択します。
4. 必要に応じてその他の項目を設定します。
5. ボタンを押します。

関連情報

➡ [「コピーする」115ページ](#)

複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする

2枚または4枚の原稿を、1枚の用紙に割り付けてコピーできます。

1. ホーム画面で「コピー」を選択します。
2. 「レイアウト」を選択します。
3. 「2アップ」または「4アップ」を選択します。
4. 必要に応じてその他の項目を設定します。
原稿の割り付け順序とセット方向も指定できます。「詳細設定」を選択して、「原稿の向き」または「割り付け順序」を選択します。
5. ボタンを押します。

関連情報

➡ [「コピーする」115ページ](#)

コピー時のメニューの説明

 設定できる項目は、選択したレイアウトによって異なります。

コピー

枚数

コピー部数を入力します。

レイアウト

コピーのレイアウトを選択します。（初期値は〔標準〕）

- 標準
周囲に余白（フチ）ありでコピーします。
- 2アップ
2ページの実稿を、1枚の用紙に2面割り付けでコピーします。
- 4アップ
4ページの実稿を、1枚の用紙に4面割り付けでコピーします。
- IDカード
IDカードを片面ずつスキャンして、A4サイズ紙の片面に並べてコピーします。
- ブック分割
冊子など見開きの原稿を1ページずつコピーします。

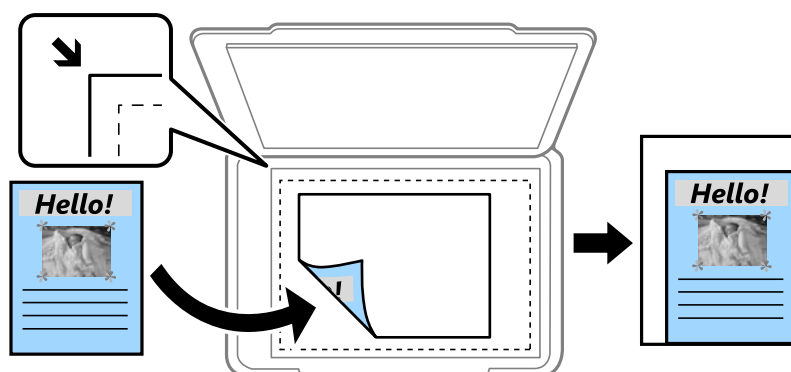
原稿サイズ

原稿のサイズを選択します。（初期値は〔A4〕）

倍率

拡大または縮小コピーの倍率を設定します。（初期値は〔等倍〕）

- 任意倍率
拡大または縮小の倍率を、25～400%の範囲で指定します。
- 等倍
100%の倍率でコピーします。
- オートフィット
原稿のスキャン範囲を自動で検出して、用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小します。原稿の周囲に余白がある場合、原点からの余白部分はスキャン範囲に含まれますが、原点から反対側の余白部分は切り取られることがあります。



- A3→A4など
定形サイズの実稿（スキャン範囲）を、定形サイズの用紙に合わせた倍率で拡大または縮小します。

コピー

給紙方法

使用する給紙装置を選択します。印刷用紙のセット時に設定した[給紙の設定]に従って給紙するときは、[自動]を選択します。背面手差し給紙を選択したときは、手差し給紙にセットした用紙のサイズと種類を設定します。（初期値は[自動]）

両面

両面コピーのレイアウトを選択します。（初期値は[片面→片面]）

- 片面→片面
原稿の片面を用紙の片面にコピーします。
- 両面→両面
両面の原稿を、1枚の用紙の両面にコピーします。
- 片面→両面
2枚の原稿の片面を、1枚の用紙の両面にコピーします。[詳細設定]で用紙のと同じ位置を設定できます。
- 両面→片面
両面の原稿を、2枚の用紙に片面ずつコピーします。[詳細設定]で原稿のと同じ位置を設定できます。

詳細設定

- 原稿の向き
原稿の向きを選択します。（初期値は[縦原稿]）
- 品質
原稿の種類に合わせて最適な品質でコピーします。（初期値は[文字・写真]）
- 濃度
コピー結果が薄いときは濃度を上げます。こすれが発生するときは濃度を下げます。（初期値は±0、最大値は±4）
- 割り付け順序
[レイアウト]設定で[2アップ]または[4アップ]を選択したときに、ページの並び順を選択します。（初期値は[左→右]（2アップ）、および[左上から横方向]（4アップ））
- 読み取り順序
[レイアウト]設定で[ブック分割]を選択したときに、スキャンする順番を選択します。（初期値は[右ページ→左ページ]）
- 影消し
冊子をコピーしたときに中央部に出る影や、厚い原稿をコピーしたときに周りが出る影を消します。（初期値は[オフ]）
- パンチ穴消し
パンチ穴の影を消してコピーします。（初期値は[オフ]）
- 部単位でコピー
複数ページの原稿を複数部数コピーするときに、部単位でコピーしてページ順にソートします。（初期値は[オフ]）
- 両面印刷待ち時間
両面コピー時の乾燥時間を選択します。こすれが発生するときは、長めに設定します。（初期値は[標準]）

スキャン

操作パネルからスキャンする

プリンターの操作パネルからは、以下の項目を宛先にしてスキャンできます。

メール

スキャンした画像を、プリンターから直接メールで送信できます。事前にメールサーバーの登録と設定が必要です。

フォルダー

スキャンした画像をネットワーク上の指定フォルダーに保存できます。宛先には、コンピューターに作成した共有フォルダー（SMBプロトコルを使用したもの）、またはFTPサーバー上のフォルダーを指定できます。事前に共有フォルダーまたはFTPサーバーの設定が必要です。

外部メモリー

スキャンした画像を外部メモリーに保存できます。事前の設定は必要ありません。

クラウド

スキャンした画像をクラウドサービスに保存できます。事前にEpson Connectの設定が必要です。

Event Manager (PC)

スキャンした画像を、接続しているコンピューターに保存できます。お使いのコンピューターにEpson Scan 2（エプソン スキャン ツー）とEpson Event Manager（エプソン イベント マネージャー）がインストールされている必要があります。

関連情報

- ➡ [「スキャンした画像をメールに添付する」 119ページ](#)
- ➡ [「スキャンした画像を共有フォルダーまたはFTPサーバーに保存」 121ページ](#)
- ➡ [「スキャンした画像を外部メモリーに保存する」 141ページ](#)
- ➡ [「スキャンした画像をクラウドに保存する」 142ページ](#)
- ➡ [「スキャンした画像をコンピューターに保存する」 143ページ](#)

スキャンした画像をメールに添付する

スキャンした画像を、プリンターから直接メールで送信できます。事前にメールサーバーの登録と設定が必要です。頻繁に使用するメールアドレスをアドレス帳に登録しておくと、宛先を素早く指定できます。

スキャン

参考

- 事前にプリンターの [日付/時刻] と [時差] が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで [セットアップ] - [システム管理設定] - [共通設定] - [日付/時刻設定] の順に選択します。
- この機能の代わりに、操作パネルからコンピューターにスキャンするとき [メール] を選択できます。プリンターに接続したコンピューターで、スキャンした画像をメールに添付できます。この機能を使うときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。

1. 原稿をセットします。

参考

複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

2. ホーム画面で [スキャン] を選択します。

3. [メール] を選択します。

4. メールアドレスを入力します。



- アドレス帳から選択：[アドレス帳] を選択し、保存先のチェックボックスを押してチェックマークを付けてから [確定] を選択します。
- 直接入力：[宛先を指定] - [メールアドレスを入力] の順に選択し、アドレスを入力して画面右下のエンターキーを選択します。

参考

メールは最大10件の宛先またはグループに送信できます。

5. [保存形式] を選択して保存する形式を選択します。

6. [メニュー] を選択して、[メール設定] と [基本設定] を設定します。

参考

- [添付最大ファイルサイズ] を選択すると、メールに添付できるファイルサイズを制限できます。
- 保存形式をPDFにすると、ファイルを保護するためのパスワードが設定できます。[PDF設定] を押して設定します。
- [お気に入り] を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

7. ⇨ボタンを押します。

関連情報

- ➡ [「メールサーバーを利用する」 70ページ](#)
- ➡ [「アドレス帳を管理する」 58ページ](#)

- ➡ 「原稿をセットする」 52ページ
- ➡ 「お気に入りの設定を登録する」 60ページ

メール添付の設定項目

アドレス帳

スキャンした画像を送信するメールアドレスをアドレス帳から選択します。

保存形式

スキャンした画像の保存形式を選択します。[TIFF(シングルページ)] または [TIFF(マルチページ)] を選択したときは、モノクロのスキャンのみ可能です。（初期値は [PDF] ）

メニュー

- メール設定
件名：
メールの件名を半角英数字または記号で入力します。
ファイルヘッダー：
画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字または記号で入力します。
- 基本設定
原稿のスキャン設定をします。詳しくはスキャンの共通設定項目をご覧ください。
- レポート印刷
画像を送信した日付と宛先の履歴を印刷します。

スキャンした画像を共有フォルダーまたはFTPサーバーに保存

スキャンした画像をネットワーク上の指定フォルダーに保存できます。宛先には、コンピューターに作成した共有フォルダー（SMBプロトコルを使用したもの）、またはFTPサーバー上のフォルダーを指定できます。

- 参考**
- プリンターとコンピューターは、同じネットワークに接続されている必要があります。ネットワークの設定確認・変更は、管理者に問い合わせてください。
 - FTPサーバー上のフォルダーに保存したい場合は、FTPサーバーの管理者に必要な情報を確認してください。

共有フォルダーに保存するときは、以下の3つを全て行ってください。

- 準備1：コンピューター名を確認する
- 準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する
- 準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録

- 参考**
- 共有フォルダーの作成方法は、OSやご利用の環境によって異なります。本書では、例としてWindows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7の情報を記載しています。共有フォルダーの設定方法について、詳しくはお使いのコンピューターのマニュアルをご覧ください。

関連情報

- ➡ 「準備1：コンピューター名を確認する」 122ページ
共有フォルダーを作成するコンピューターの名前を確認します。

➡ 「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」 123ページ

コンピューターにフォルダーを作成し、ネットワーク上で共有できるように設定します。

➡ 「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」 137ページ

共有フォルダーのパスをプリンターのアドレス帳に登録しておく、アドレス帳から選択するだけで宛先に指定できます。

準備1：コンピューター名を確認する

共有フォルダーを作成するコンピューターの名前を確認します。

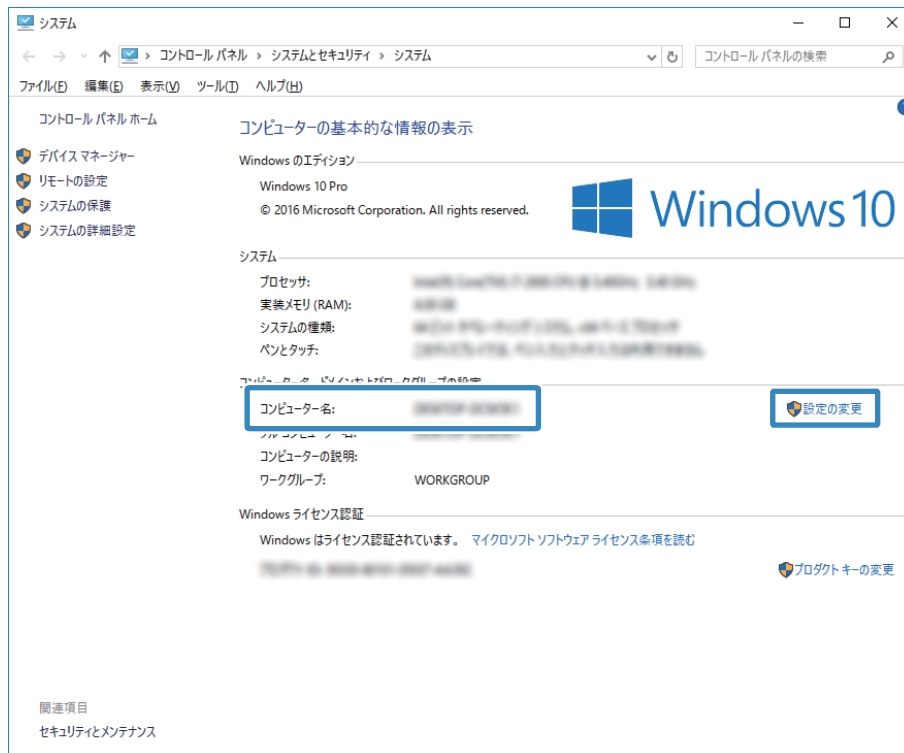
コンピューター名には半角英数字および半角記号を使用してください。それ以外の文字が含まれると、プリンターから接続できないことがあります。

参考 共有フォルダーの作成方法は、OSやご利用の環境によって異なります。本書では、例としてWindows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7の情報を記載しています。共有フォルダーの設定方法について、詳しくはお使いのコンピューターのマニュアルをご覧ください。

1. コンピューターのシステムの画面を開きます。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8 :
キーボードのWindowsキーを押したままXキーを押し、一覧から「システム」を選択します。
- Windows 7 :
スタートボタンをクリックし、「コンピューター」を右クリックして「プロパティ」を選択します。

2. 「システム」の画面で「コンピューター名」を確認します。



参考 コンピューター名には半角英数字および半角記号を使用してください。ひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字、全角記号が使用されているときはコンピューター名を変更します。詳しくは管理者に問い合わせてください。

以上で「準備1：コンピューター名を確認する」は終了です。
次に「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」を行います。

関連情報

- ➡ [「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」123ページ](#)
コンピューターにフォルダーを作成し、ネットワーク上で共有できるように設定します。

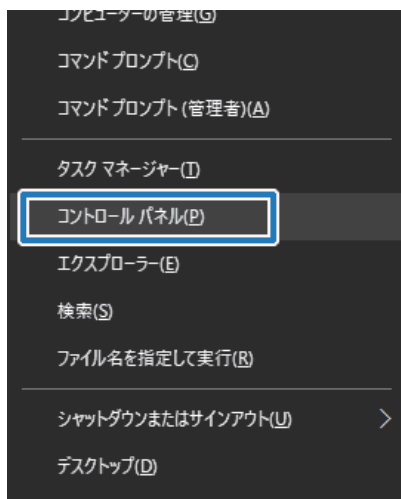
準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する

コンピューターにフォルダーを作成し、ネットワーク上で共有できるように設定します。
ここでは、コンピューターにパスワードが設定されているときの手順を説明します。

- 参考** 共有フォルダーの作成方法は、OSやご利用の環境によって異なります。本書では、例としてWindows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7の情報を記載しています。共有フォルダーの設定方法について、詳しくはお使いのコンピューターのマニュアルをご覧ください。

1. [コントロールパネル] を開きます。

- Windows 10 :
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] を選択します。



- Windows 8.1/Windows 8 :
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順に選択します。
- Windows 7 :
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] を選択します。

スキャン

2. 「コントロールパネル」の画面で、「ネットワークとインターネット」をクリックします。



3. 「ネットワークとインターネット」の画面で、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

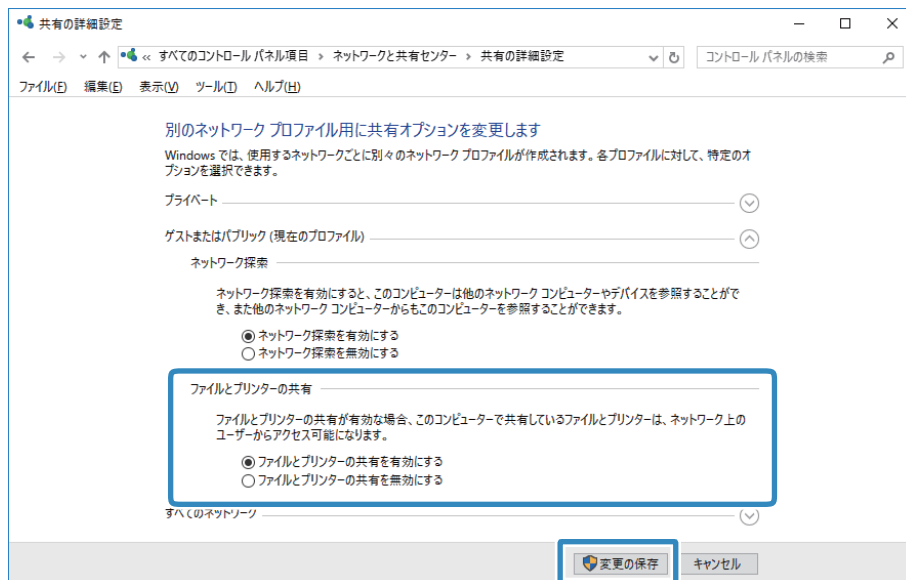


スキャン

4. 「ネットワークと共有センター」の画面で、「共有の詳細設定の変更」をクリックします。



5. 「共有の詳細設定」の画面で、「ファイルとプリンターの共有」で「ファイルとプリンターの共有を有効にする」を選択します。[変更の保存] をクリックして画面を閉じます。
すでに選択されているときは、「キャンセル」 をクリックして画面を閉じます。



スキャン

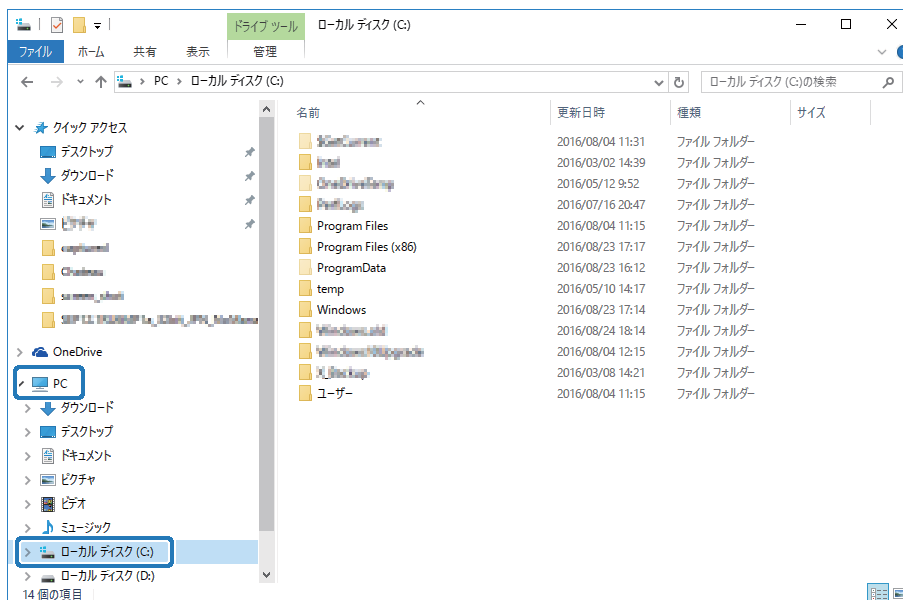
6. 「ネットワークと共有センター」の画面で、画面右上の【×】をクリックして画面を閉じます。



7. エクスプローラーを起動します。

8. 任意のドライブを指定し、フォルダーを作成します。

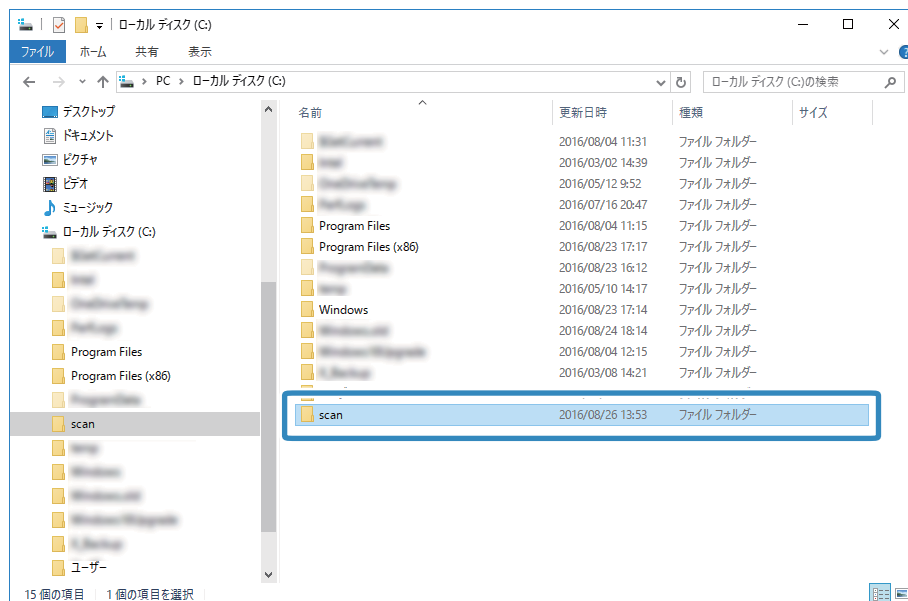
- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8 :
「PC」をクリックし、任意のドライブを選択します。ドライブ内で右クリックし、「新規作成」 - 「フォルダー」を選択します。
ここでは、例としてCドライブを選択します。



- Windows 7 :
「コンピューター」をクリックし、任意のドライブを選択します。ドライブ内で右クリックし、「新規作成」 - 「フォルダー」を選択します。

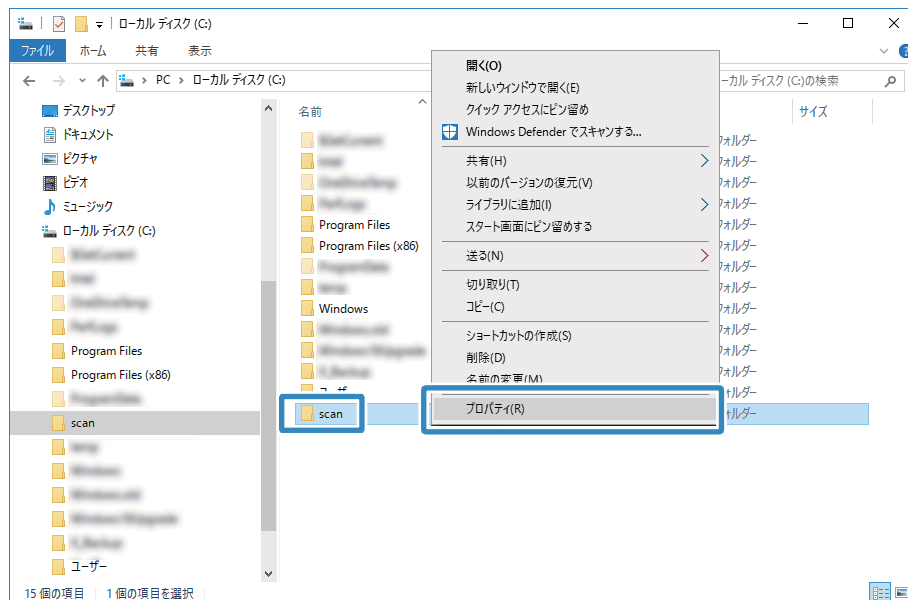
スキャン

9. 作成したフォルダーに名前を付けます。



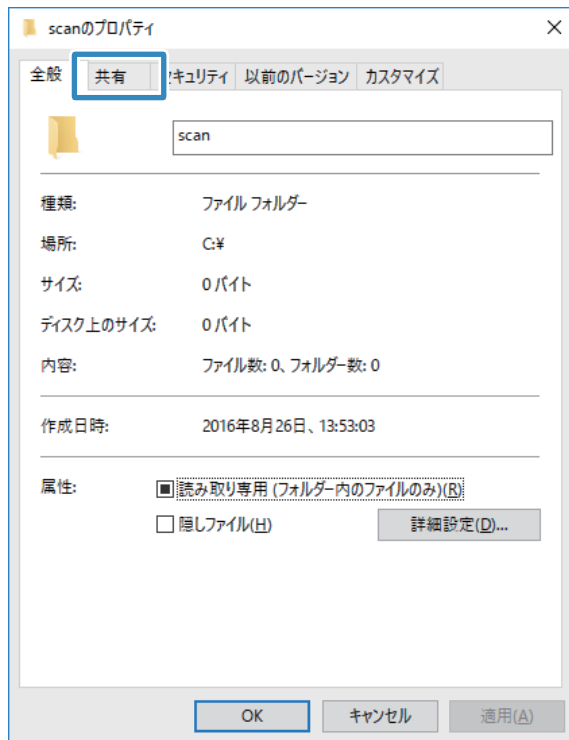
参考 フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。

10. 作成したフォルダーを右クリックし、[プロパティ] を選択します。



ユーザーアカウントの共有アクセス許可に変更アクセス許可を付与します。ネットワーク経由でアクセスするときに適用されます。

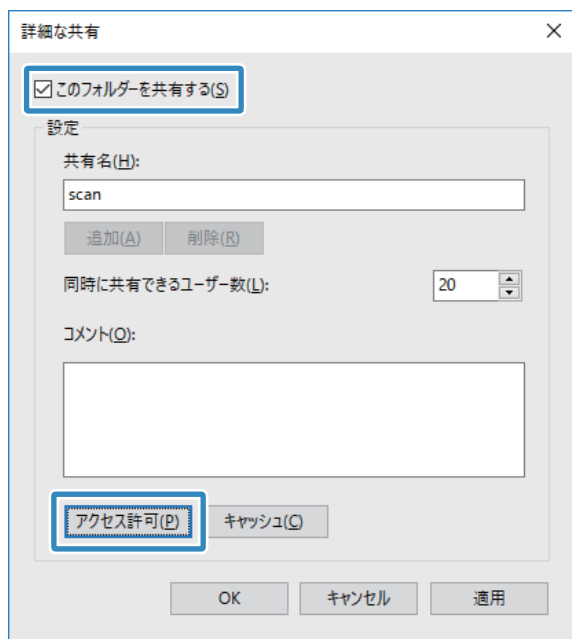
11. [プロパティ] の画面で [共有] タブを選択します。



12. [共有] タブの画面で [詳細な共有] をクリックします。

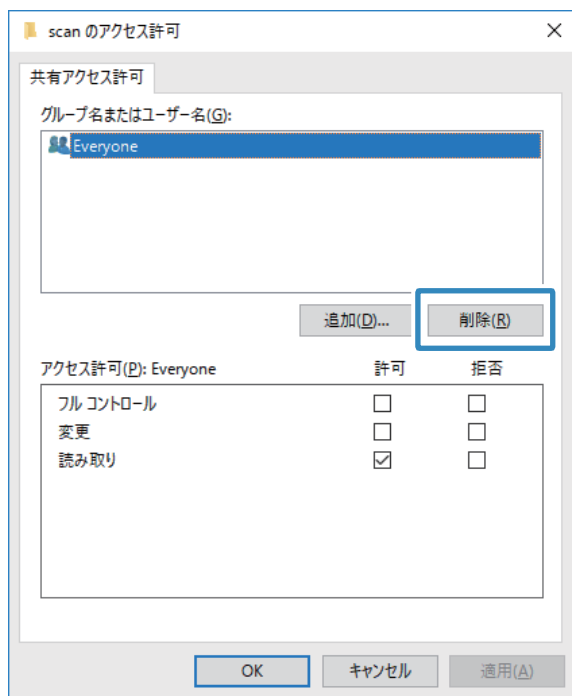


13. 「詳細な共有」の画面で、「このフォルダーを共有する」にチェックを入れ、「アクセス許可」をクリックします。

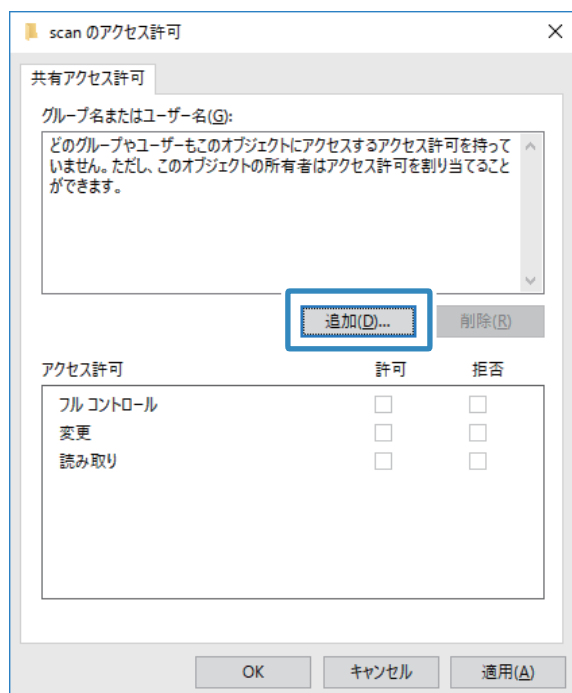


14. 「共有アクセス許可」タブの画面で、「グループ名またはユーザー名」の「Everyone」グループを選択して、「削除」をクリックします。

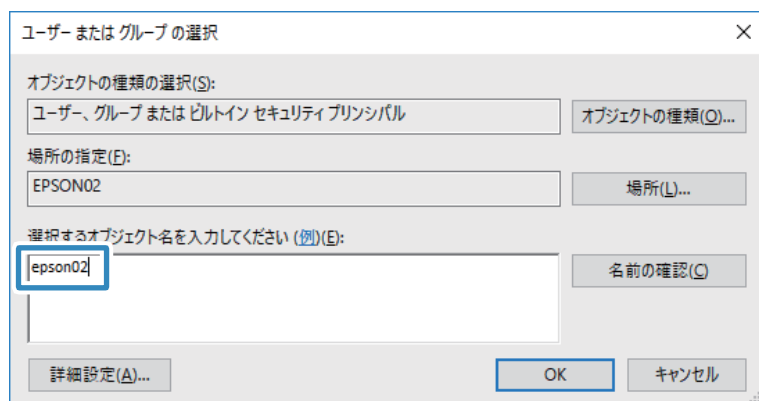
「Everyone」グループが許可されていると、自分以外のユーザーも共有フォルダーを閲覧できる状態になってしまいます。



15. 「グループ名またはユーザー名」の下の「追加」をクリックします。

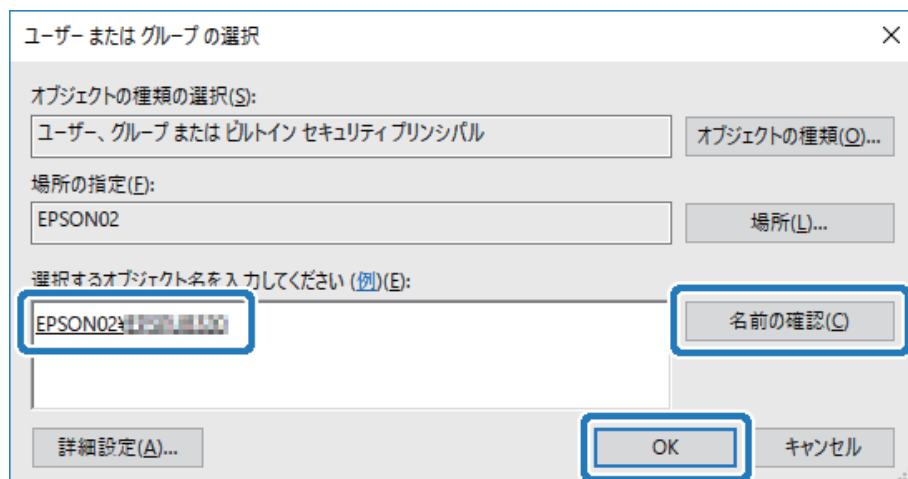


16. 「ユーザーまたはグループの選択」の画面で、「選択するオブジェクト名を入力してください」に、コンピューターにログオンするための「ユーザー名」を入力します。

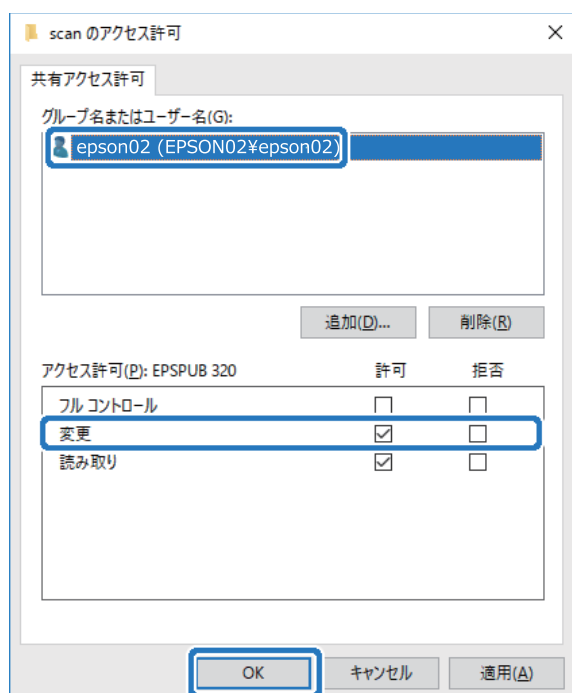


17. 「名前の確認」をクリックします。下線が入ったことを確認して、「OK」をクリックします。

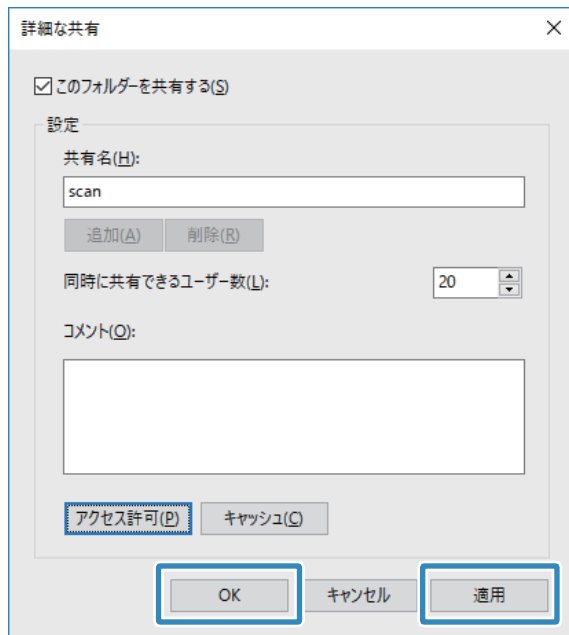
参考 「名前が見つかりません」と表示されたときは、「キャンセル」をクリックし、正しいユーザー名を入力してください。



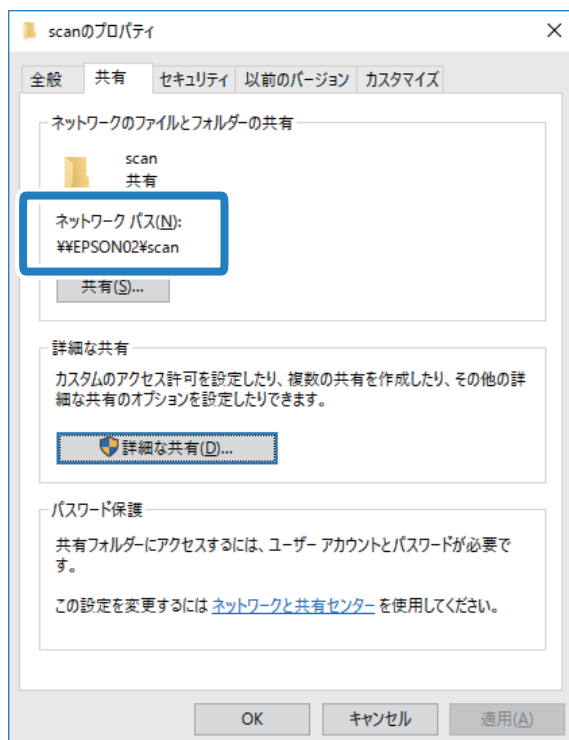
18. 「共有アクセス許可」タブの画面で、「グループ名またはユーザー名」に入力したユーザー名を選択し、「変更」のアクセス許可にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



19. 「詳細な共有」の画面で、「適用」をクリックし、「OK」をクリックします。

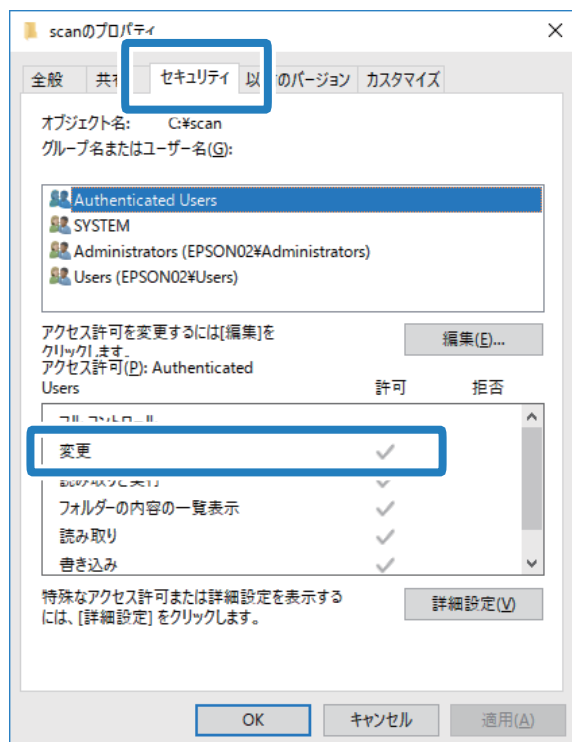


20. 「共有」タブに共有フォルダーのネットワークパスが表示されます。プリンターのアドレス帳の登録で使用するので、メモしておくか、コピーしておいてください。



スキャン

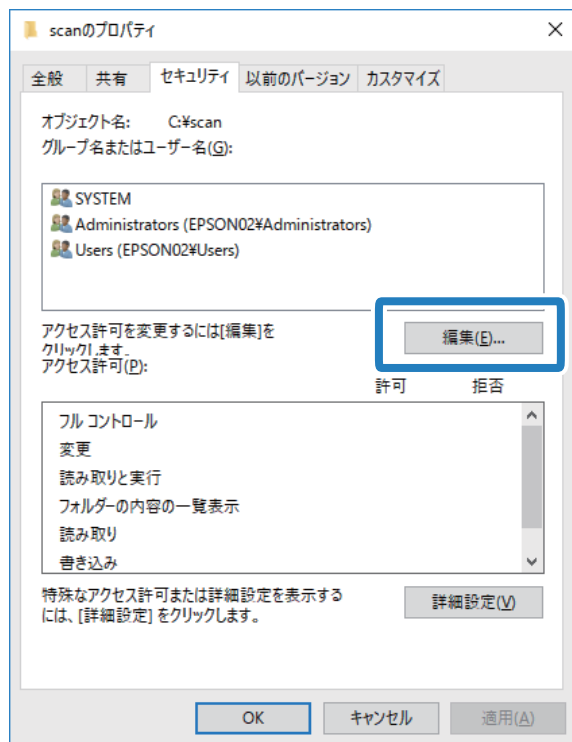
21. [セキュリティ] タブを選択し、[グループ名またはユーザー名] に [Authenticated Users] があり、[変更] のアクセス許可にチェックが付いているか確認します。



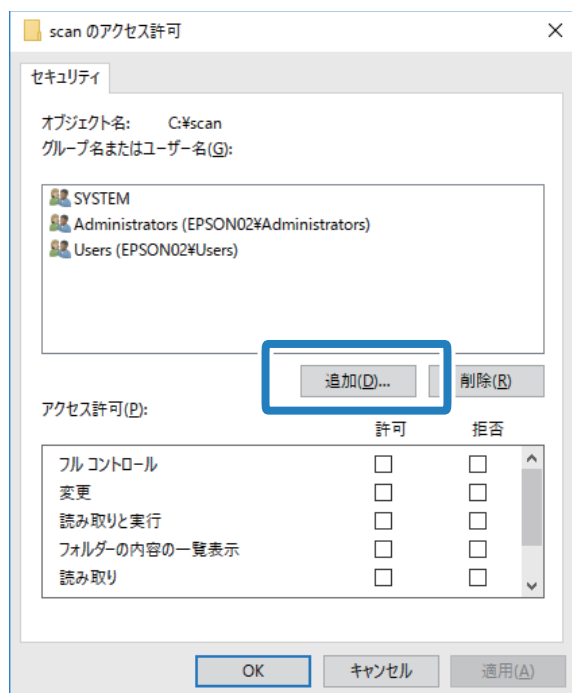
- 付いていれば、[OK] をクリックしてください。以上で「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」は終了です。次に「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」を行います。
- 付いていなければ、手順22に進みます。

22. [編集] をクリックします。

ユーザーアカウントの共有セキュリティ許可に変更アクセス許可を付与します。ネットワーク経由でのアクセスまたはローカルログオンでアクセスするときに適用されます。



23. [グループ名またはユーザー名] の下の [追加] をクリックします。



24. 「ユーザーまたはグループの選択」の画面で、「選択するオブジェクト名を入力してください」に、コンピューターにログインするための「ユーザー名」を入力します。

ユーザー または グループ の選択

オブジェクトの種類(S):
ユーザー、グループまたはビルトイン セキュリティ プリンシパル

場所の指定(E):
EPSON02

選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):
epson02

名前確認(O)

詳細設定(A)... OK キャンセル

25. 「名前確認」をクリックします。下線が入ったことを確認して、「OK」をクリックします。

「名前が見つかりません」と表示されたときは、「キャンセル」をクリックし、正しいユーザー名を入力してください。

ユーザー または グループ の選択

オブジェクトの種類(S):
ユーザー、グループまたはビルトイン セキュリティ プリンシパル

場所の指定(E):
EPSON02

選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E):
EPSON02\epson02

名前確認(O)

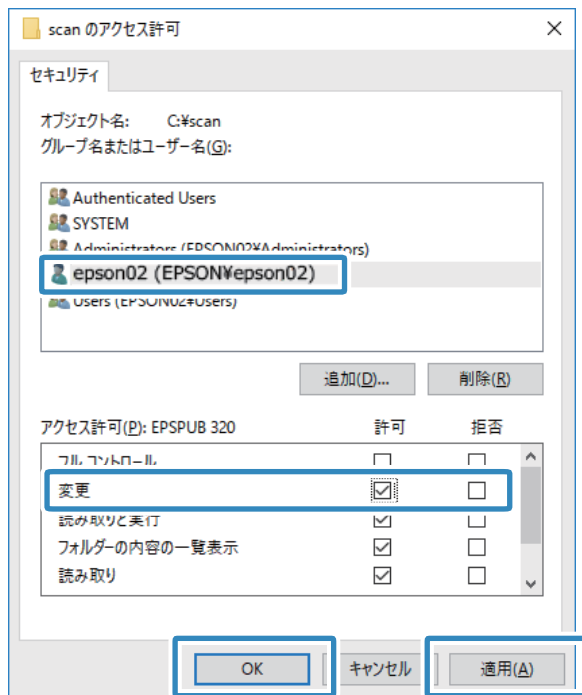
詳細設定(A)... OK キャンセル

参考

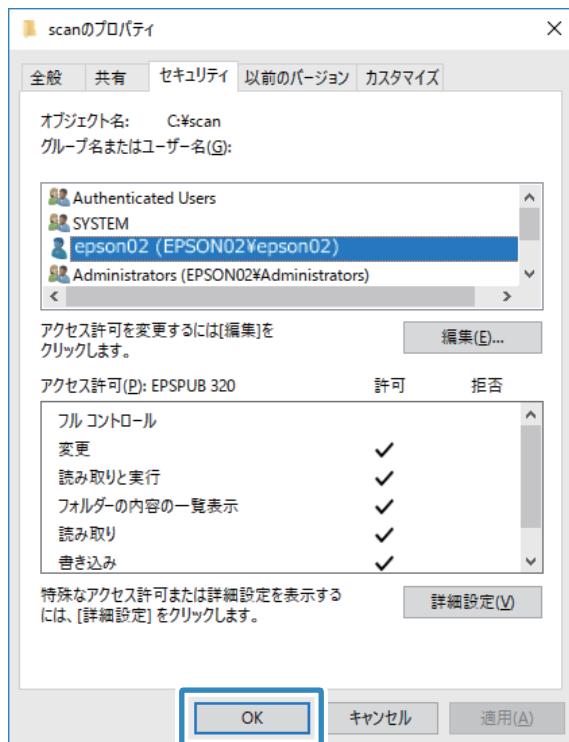
ユーザー名は以下の方法で確認できます。

- Windows 10：スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8：[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] の順に選択します。
- Windows 7：[スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] の順に選択します。

26. [アクセス許可] の画面で、[グループ名またはユーザー名] に入力した名前が入っていることを確認し、[変更] のアクセス許可にチェックを入れて、[適用] をクリックし、[OK] をクリックします。



27. [OK] または [閉じる] をクリックして、画面を閉じます。



フォルダーは共有化してもフォルダーのアイコン表示は変わりません。フォルダーを開いた画面の [状況] に [共有] と表示されます。

以上で「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」は終了です。
次に「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」を行います。

関連情報

➡ [「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」 137ページ](#)

共有フォルダーのパスをプリンターのアドレス帳に登録しておく、アドレス帳から選択するだけで宛先に指定できます。

準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録

共有フォルダーのパスをプリンターのアドレス帳に登録しておく、アドレス帳から選択するだけで宛先に指定できます。

アドレス帳に登録するには以下の情報が必要です。

- コンピューターにログオンするときのユーザー名とパスワード
- 共有フォルダーのネットワークパス
- プリンターのIPアドレスまたはプリンター名（コンピューターから登録するときのみ）
- プリンターの管理者パスワード（利用者制限機能が有効になっているときのみ）

アドレス帳に登録する方法は複数あります。どの方法でも登録できる内容は同じです。詳しくは、以下の関連リンクを参照してください。

参考 共有フォルダーの作成方法は、OSやご利用の環境によって異なります。本書では、例としてWindows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7の情報を記載しています。共有フォルダーの設定方法について、詳しくはお使いのコンピューターのマニュアルをご覧ください。

関連情報

➡ [「プリンターの操作パネルから登録する」 137ページ](#)

プリンターの操作パネルからアドレス帳に登録できます。

➡ [「コンピューターからブラウザーで登録する」 138ページ](#)

コンピューターから、ブラウザーでプリンターの設定画面（Web Config）にアクセスして、アドレス帳に登録できます。共有フォルダーを作成した後、コンピューター上で引き続き作業できます。

プリンターの操作パネルから登録する

プリンターの操作パネルからアドレス帳に登録できます。

1. ホーム画面で【アドレス帳】を選択します。
2. 【メニュー】を選択し、【宛先登録】を選択します。
3. 【フォルダー】を選択します。

参考 この画面は、ホーム画面からアドレス帳を開いたときに表示されます。

4. アドレスを登録する登録番号を選択します。

5. 必要な情報を入力します。

- 登録名：アドレス帳に表示される名称です（最大30文字）。
- よみがな(検索名)：アドレス帳の検索で使います（最大30文字）。
- 通信モード：SMBを選択します。
- 保存先：共有フォルダーのネットワークパスを入力します。
アルファベット、数字、記号を入力するときは、半角文字と全角文字を正しく指定してください。半角文字と全角文字の設定が間違っていると、共有フォルダーに保存できません。
- ユーザー名：コンピューターにログオンするユーザー名を入力します。（コンピューターにパスワードが設定されているときのみ）
- パスワード：ユーザー名に対応するパスワードを入力します。

6. 「登録」を選択します。アドレス帳への共有フォルダーの登録は完了です。

以上で「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」は終了です。操作パネルから共有フォルダーに保存する準備が完了しました。

関連情報

➡ [「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」139ページ](#)

コンピューターからブラウザーで登録する

コンピューターから、ブラウザーでプリンターの設定画面（Web Config）にアクセスして、アドレス帳に登録できます。共有フォルダーを作成した後、コンピューター上で引き続き作業できます。

アプリケーションのインストールは不要です。

ここではInternet Explorerを例に説明します。

1. Internet Explorerを起動します。
2. Internet ExplorerのアドレスバーにプリンターのIPアドレスを入力して、Enterキーを押します。
3. 「このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。」をクリックします。

Google Chromeでは、「詳細設定」をクリックし、「x.x.x.xにアクセスする。（安全ではありません）」をクリックします。

4. 「管理者ログオン」をクリックします。

参考 プリンターに管理者パスワードが設定されていないときは、Web Configの管理者ログオン/パスワードの入力は不要です。

5. 「現在のパスワード」を入力して、「確認」をクリックします。

6. 「アドレス帳」をクリックします。

7. アドレス帳の画面で、まだ使用していない番号を探し、「登録」をクリックします。

8. 「種別」で「ネットワークフォルダー（SMB）」を選択し、「次へ」をクリックします。

9. 必要な情報を入力し、「適用」をクリックします。

- 登録名：アドレス帳に表示される名称です（最大30文字）。
- 検索名：アドレス帳の検索で使います（最大30文字）。
- 保存先：共有フォルダーのネットワークパスを入力します。
- ユーザー名：コンピューターにログオンするユーザー名を入力します。
- パスワード：コンピューターにログオンするパスワードを入力します。

参考 コンピューターにパスワードを設定しないときは、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。

10. 「設定が終了しました。」のメッセージが表示されたら、登録は完了です。ブラウザを閉じてください。

以上で「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」は終了です。操作パネルから共有フォルダーに保存する準備が完了しました。

関連情報

➡ [「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」139ページ](#)

スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する

スキャンした画像をネットワーク上の指定フォルダーに保存できます。保存先を直接指定することもできますが、事前にアドレス帳にフォルダー情報を登録しておくとう便利です。

参考 事前にプリンターの「日付/時刻」と「時差」が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで「セットアップ」 - 「システム管理設定」 - 「共通設定」 - 「日付/時刻設定」の順に選択します。

1. 原稿をセットします。

参考 複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

2. ホーム画面で「スキャン」を選択します。

3. 「フォルダー」を選択します。

4. 保存先を指定します。



- アドレス帳から選択：「アドレス帳」を選択し、保存先のチェックボックスを押してチェックマークを付けてから「確定」を選択します。
- 直接入力：「保存先を指定」を選択します。「通信モード」を選択し、「保存先」に保存先を入力します。必要に応じてその他を設定します。

参考 保存先は、以下の書式で入力します。

通信モードがSMBの場合（コンピューター上の共有フォルダーを使用する場合）：

¥¥ホスト名（コンピューター名）¥フォルダーパス

通信モードがFTPの場合（FTPサーバーを使用する場合）：

ftp://ホスト名/フォルダーパス

5. 「保存形式」を選択して保存する形式を選択します。

6. 「メニュー」を選択して、「ファイル設定」と「基本設定」を設定します。

- 参考**
- 保存形式をPDFにすると、ファイルを保護するためのパスワードが設定できます。「基本設定」 - 「PDF設定」の順に選択して設定します。
 - 「お気に入り」を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

7. ⇨ボタンを押します。

関連情報

- ➡「アドレス帳を管理する」58ページ
- ➡「原稿をセットする」52ページ
- ➡「お気に入りの設定を登録する」60ページ

ネットワークフォルダーまたはFTPサーバー保存の設定項目

アドレス帳

スキャンした画像を保存するフォルダーをアドレス帳から選択します。アドレス帳からフォルダーを指定したときは、保存先の設定は不要です。

スキャン

保存先

- 通信モード
通信モードを選択します。
- 保存先
スキャンした画像を保存するフォルダーのパスを入力します。
- ユーザー名
認証用のユーザー名を入力します。
- パスワード
認証用のパスワードを入力します。
- 接続モード
接続モードを選択します。
- ポート番号
ポート番号を入力します。

保存形式

スキャンした画像の保存形式を選択します。[TIFF(マルチページ)]を選択したときは、モノクロのスキャンのみ可能です。（初期値は[PDF]）

メニュー

- ファイル設定
[ファイルヘッダー]に、保存するファイル名の先頭部分を半角英数字および記号で入力します。
- 基本設定
原稿のスキャン設定をします。詳しくはスキャンの共通設定項目をご覧ください。
- レポート印刷
保存したフォルダーと日付の履歴を印刷します。

スキャンした画像を外部メモリーに保存する

スキャンした画像を外部メモリーに保存できます。

1. プリンターのメモリーカードスロットまたは外部機器接続ポートに、外部メモリーを挿入します。
2. 原稿をセットします。



複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

3. ホーム画面で[スキャン]を選択します。
4. [外部メモリー]を選択します。

5. 「保存形式」を選択して保存する形式を選択します。



6. 「設定」を選択してスキャンの設定をします。

- 参考**
- 保存形式をPDFにすると、ファイルを保護するためのパスワードが設定できます。「PDF設定」を押して設定します。
 - 「お気に入り」を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

7. ◇ボタンを押します。

関連情報

- ➡ 「各部の名称と働き」 11ページ
- ➡ 「原稿をセットする」 52ページ
- ➡ 「お気に入りの設定を登録する」 60ページ

外部メモリー保存の設定項目

保存形式

スキャンした画像の保存形式を選択します。「TIFF(マルチページ)」を選択したときは、モノクロのスキャンのみ可能です。（初期値は「PDF」）

設定

原稿のスキャン設定をします。詳しくはスキャンの共通設定項目をご覧ください。

スキャンした画像をクラウドに保存する

スキャンした画像をクラウドサービスに保存できます。この機能を使う前に、Epson Connectの設定をしておいてください。詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

1. Epson Connectの設定が事前に完了していることを確認します。

スキャン

2. 原稿をセットします。

参考 複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

3. ホーム画面で「スキャン」を選択します。
4. 「クラウド」を選択します。
5. 宛先を選択します。



6. 「保存形式」を選択して保存する形式を選択します。
7. 「設定」を選択してスキャンの設定をします。

参考 「お気に入り」を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

8. ◇ボタンを押します。

関連情報

➡ [「原稿をセットする」52ページ](#)

クラウド保存の設定項目

保存形式

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は「PDF」）

設定

原稿のスキャン設定をします。詳しくはスキャンの共通設定項目をご覧ください。

スキャンした画像をコンピューターに保存する

スキャンした画像をコンピューターに保存できます。

スキャン

！重要 お使いのコンピュータにEpson Scan 2（エプソン スキャン ツー）とEpson Event Manager（エプソン イベント マネージャー）がインストールされている必要があります。

1. 原稿をセットします。

参考 複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

2. ホーム画面で「スキャン」を選択します。

3. 「Event Manager (PC)」を選択します。

4. スキャンした画像を保存するコンピュータを選択します。



- 参考**
- Epson Event Managerで、保存するフォルダーや保存形式、画像のサイズなどを変更できます。
 - プリンターがネットワークに接続されているときは、スキャンした画像を保存するコンピュータを選択できます。プリンターの操作パネルに表示されるコンピュータは、20台までです。
 - スキャンした画像を保存するコンピュータがネットワーク上にあるときは、コンピュータ名の先頭から15文字までが操作パネルに表示されます。Epson Event Managerで「ネットワークスキャン名(半角英数字)」を設定していると、ネットワークスキャン名が表示されます。
 - コンピューター名に半角英数字以外の文字が含まれていると、スキャンした画像を保存するコンピュータが操作パネルに正しく表示されません。Epson Event Managerで「ネットワークスキャン名(半角英数字)」を設定してください。

5. 「保存形式」を選択して保存する形式を選択します。

参考 保存形式を「メール」にすると、スキャンした画像をメールに添付できます。

6. 必要に応じて、「スキャン範囲」と「原稿の両面設定」を設定します。

参考 「お気に入り」を選択すると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

7. ◇ボタンを押します。

関連情報

➡ [「原稿をセットする」52ページ](#)

コンピューター保存の設定項目

原稿の両面設定

原稿の両面をスキャンします。（初期値は〔片面〕）

スキャン範囲

スキャンする範囲を選択します。Epson Event Managerの設定でスキャンするときは、〔コンピューター側の設定を優先〕を選択します。（初期値は〔コンピューター側の設定を優先〕）

保存形式

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は〔JPEG〕）

スキャンの共通設定項目

以下の項目は、スキャンの各メニューで〔メニュー〕 - 〔基本設定〕の順に選択するか、〔設定〕を選択すると表示されます。



設定できる項目は、選択した保存先（メール送信かフォルダー保存かなど）やスキャンした画像の保存形式によって異なります。

解像度

スキャンの解像度を選択します。（初期値は200 dpi、最大値は600 dpi）

スキャン範囲

スキャンする範囲を選択します。文字や画像の周りの余白を自動的に切り取ってスキャンするときは、〔自動キリトリ〕を選択します。原稿台で読み取り可能な最大範囲をスキャンするときは、〔最大範囲〕を選択します。（初期値は〔A4〕）

原稿の両面設定

原稿の両面をスキャンします。両面スキャン時は、〔原稿と同じ位置〕を選択して原稿のと同じ位置を選択します。（初期値は〔片面〕）

原稿タイプ

原稿の種類を選択します。（初期値は〔文字〕）

濃度

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

原稿の向き

原稿の向きを選択します。（初期値は〔縦原稿〕）

圧縮率

スキャン画像の圧縮率を選択します。（初期値は〔標準〕）

PDF設定

保存形式を [PDF] にすると、PDFのセキュリティが設定できます。

- 文書を開くパスワード
PDFファイルを開くときのパスワードを設定します。（初期値は [設定しない] ）
- 権限パスワード
PDFファイルを印刷または編集するときのパスワードを設定します。（初期値は [設定しない] ）

添付最大ファイルサイズ

メールに添付するときの画像の最大サイズを選択します。（初期値は5 MB、最大値は30 MB）

コンピューターからスキャンする

Epson Scan 2でスキャンする

スキャナードライバーのEpson Scan 2（エプソン スキャン ツー）でスキャンします。書類や文書に適した画質調整ができます。

各設定項目の説明はEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。

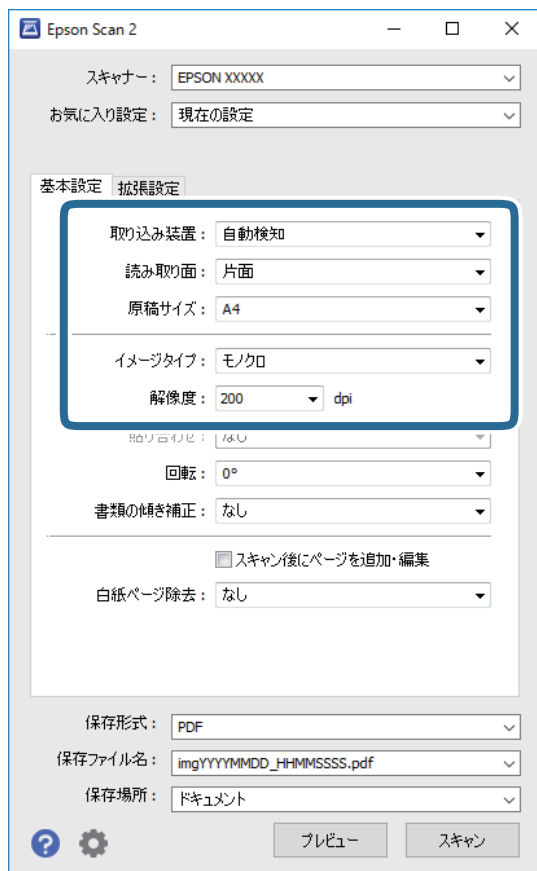
1. 原稿をセットします。



複数枚の原稿をスキャンするときは、全ての原稿をADFにセットしてください。

2. Epson Scan 2を起動します。

3. 「基本設定」タブで以下の設定をします。



- 取り込み装置：原稿をセットした装置を選択します。
- 読み取り面：ADFからスキャンする場合に、スキャンする原稿の面を選択します。
- 原稿サイズ：セットした原稿のサイズを選択します。
- イメージタイプ：スキャンした画像を保存するときの色を選択します。
- 解像度：解像度を設定します。

4. 必要に応じて、その他のスキャン設定をします。

- 「プレビュー」ボタンをクリックすると画像をプレビューできます。プレビュー画面が開き、プレビュー画像が表示されます。

ADFでプレビューしたときは、ADFから原稿が排紙されます。原稿をセットし直してください。

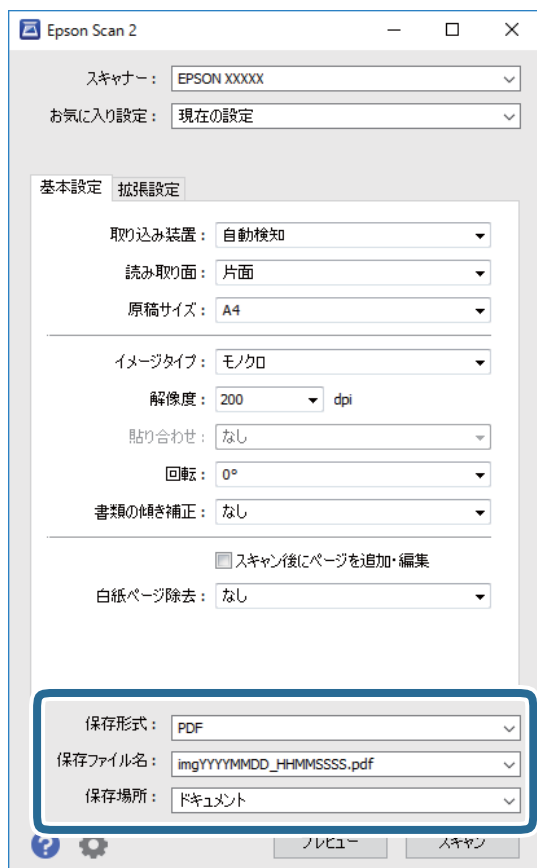
スキャン

- ・ [拡張設定] タブでは、書類に適した以下のような画像調整ができます。
 - ・ 背景除去：原稿の背景を除去できます。
 - ・ 文字くっきり：ぼやけている書類の文字をくっきりとさせます。
 - ・ 画像はっきり：画像付きの書類をモノクロでスキャンするときに、文字部分をくっきりとした白黒に、画像部分をなめらかな白黒にします。
 - ・ 色強調：スキャンした画像を指定の色だけ強調して、グレーまたはモノクロで保存します。
 - ・ しきい値：モノクロ2値（白と黒）の境を調整できます。
 - ・ アンシャープマスク：画像の輪郭部分を強調してシャープにします。
 - ・ モアレ除去：雑誌などの印刷物のスキャンで発生するモアレ（網目状の陰影）を除去します。
 - ・ フチ消し：スキャンした画像のフチに写った影を除去します。
 - ・ ダブルイメージ出力（Windowsのみ）：1回のスキャンで、出力設定の異なる2つの画像を同時に保存します。

参考

他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

5. ファイルの保存設定をします。



- ・ 保存形式：スキャンした画像の保存形式を選択します。
BITMAPとPNG以外は、保存形式の選択後にもう一度リストを開いて [詳細設定] を選択すると、詳細な設定ができます。
- ・ 保存ファイル名：表示されているファイル名を確認します。
[設定] を選択すると、ファイル名の設定を変更できます。

スキャン

- 保存場所：スキャンした画像の保存場所を選択します。
[その他]を選択すると、別のフォルダーの選択や新しいフォルダーの作成ができます。

6. [スキャン] をクリックします。

関連情報

- ➡ 「原稿をセットする」 52ページ
- ➡ 「文書や写真をスキャンするソフトウェア（Epson Scan 2）」 207ページ

スマートデバイスからスキャンする

プリンターと同じ無線LANに接続したスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、Epson iPrint（エプソン アイプリント）で写真や文書をスキャンできます。スキャンしたデータはスマートデバイスやクラウドサービスに保存したり、メールで送信したり、印刷したりできます。



Epson iPrintをインストールする

以下のURLまたはQRコードから、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールできます。

<http://ipr.to/c>



Epson iPrintでスキャンする

スマートデバイスでEpson iPrintを起動して、ホーム画面で使いたい項目を選択します。

スキャン

以下の画面は予告なく変更されることがあります。



①	起動時に表示されるホーム画面です。
②	プリンターの設定方法やFAQなどの情報ページを表示します。
③	プリンターの選択や設定をする画面を表示します。一度プリンターを選択すれば、次回からは選択しなくても使えます。
④	スキャン画面を表示します。
⑤	解像度などの設定画面を表示します。
⑥	スキャンした画像が表示されます。
⑦	スキャンを開始します。
⑧	スキャンしたデータをスマートデバイスやクラウドサービスに保存する画面を表示します。
⑨	スキャンしたデータをメールで送信する画面を表示します。
⑩	スキャンしたデータを印刷する画面を表示します。

ファクス

ファクスの準備

電話回線に接続する

使用できる電話回線

一般加入電話回線（PSTN）や構内交換機（PBX）で使用できます。
以下の電話回線やシステムでは使用できないことがあります。

- ADSLや光ファイバーなどのIP電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 一部の構内交換機（PBX）
- キャッチホンなど各種サービスの提供を受けている電話回線
- 電話回線とプリンターとの間にターミナルアダプター、VoIPアダプター、スプリッター、ADSLモデムなどの各種アダプターを接続しているとき
- ドアホンやビジネスホン

プリンターを電話回線に接続する

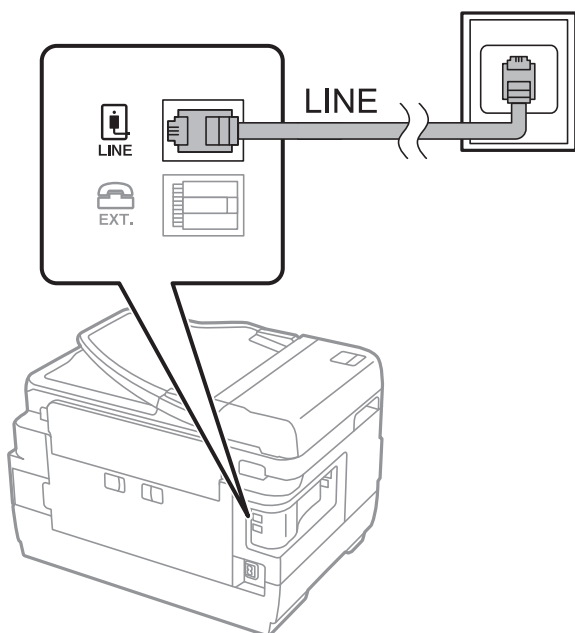
RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続します。プリンターにお手持ちの電話機を接続するときも、RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルを使います。

参考 プリンターのEXT. ポートのキャップは、お手持ちの電話機を外付け電話機として接続するときに外します。電話機を接続しないときはキャップを外さないでください。

落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をお勧めします。

一般回線または構内交換機（PBX）に接続する

電話回線やPBXポートと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。



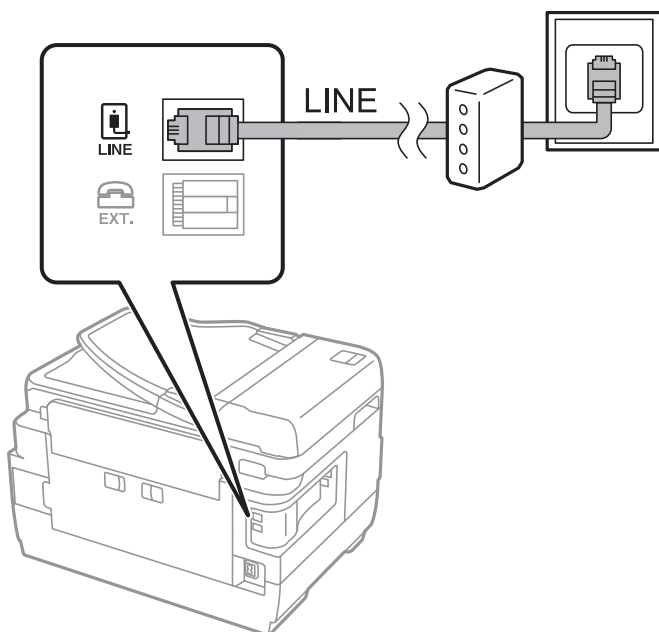
関連情報

➡ [「構内交換機（PBX）用の設定をする」 158ページ](#)

ADSLまたはISDNに接続する

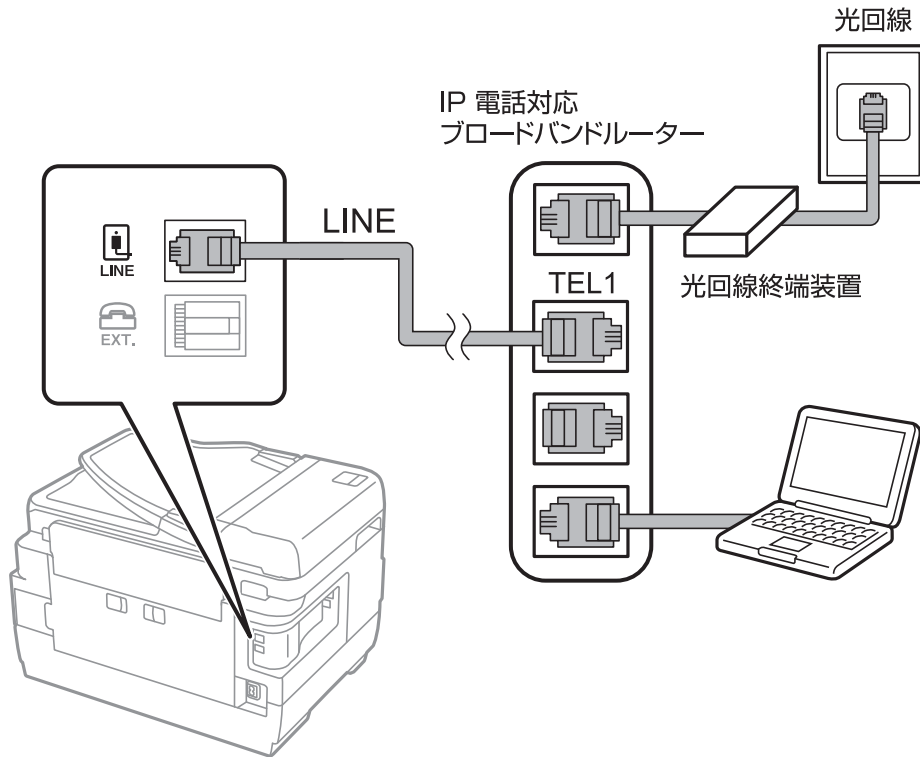
ADSLモデムまたはISDNターミナルアダプターと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはモデムやターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。

参考 ADSLモデムにスプリッターが内蔵されていないときは、スプリッターを接続してください。



光回線に接続する

IP電話対応のブロードバンドルーターとプリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはご契約の回線事業者にお問い合わせください。



参考

2回線契約していないときは必ずルーターのTEL1（ポート名はルーターによって異なります。Aや1などの先頭の番号）に接続してください。

電話機とプリンターを接続する

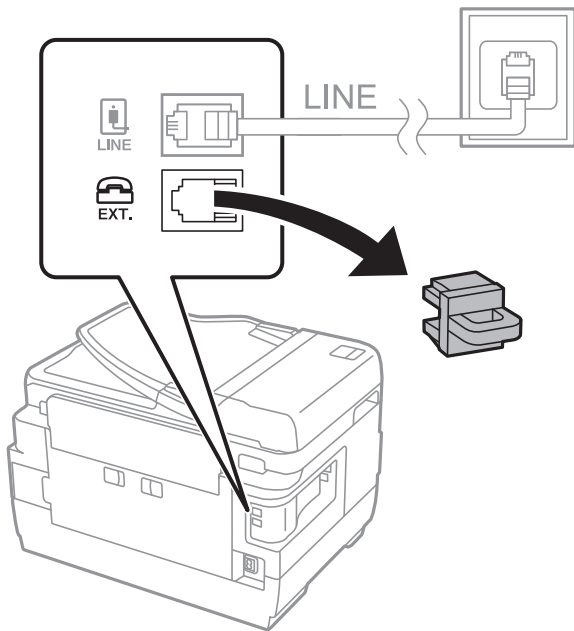
1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続します。

参考

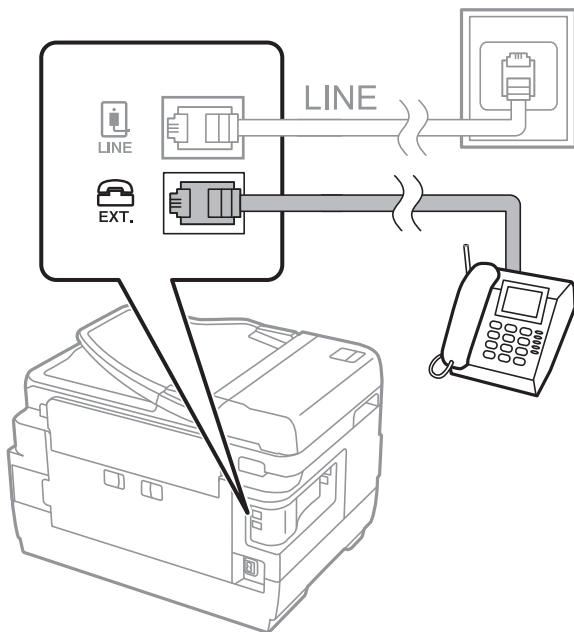
- ・ ファクス機能付き電話機は、ファクス機能を無効にしてから接続してください。詳しくは電話機のマニュアルをご覧ください。
- ・ 留守番電話機能を使うときは、ファクスを受信するまでの【呼び出し回数】を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
- ・ ナンバーディスプレイ機能を使うときは、プリンターの【ナンバーディスプレイ対応】設定を変更してください。

ファクス

1. プリンター背面部のEXT.ポートからキャップを取り外します。



2. 電話機とEXT.ポートをモジュラーケーブルで接続します。



！重要 1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、必ず外付け電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。同回線にプリンターと並列で接続すると（ブランチ接続）、プリンターも電話機も正常な動作ができなくなります。

3. 外付け電話機の手受器を上げて、プリンターの画面に「電話回線使用中です。」のメッセージが表示されることを確認します。

表示されないときは、モジュラーケーブルがEXT.ポートにしっかりと接続されているか確認してください。

関連情報

- ➔ [「留守番機能付き電話接続時の設定」 157ページ](#)
- ➔ [「ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定」 157ページ](#)

ファクスの基本設定をする

〔ファクス設定ウィザード〕で〔受信モード〕などの基本設定をしてから、その他の必要な設定をします。
 〔ファクス設定ウィザード〕は初回電源投入時に自動で表示されます。一度設定をすれば接続環境に変更がない限り、設定し直す必要はありません。
 プリンターに管理者が設定されているときは、管理者のみ設定できます。

ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする

画面の指示に従って基本的な設定をします。

1. プリンターを電話回線に接続します。

！重要 最後に接続状態を確認するため、必ずプリンターを電話回線に接続してから始めてください。

2. ホーム画面で〔セットアップ〕を選択します。
3. 〔システム管理設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ファクス設定ウィザード〕の順に選択して、〔開始〕を押します。
 ウィザードが起動します。
4. 発信元名の入力画面で送信者の名前（会社名など）を入力します。

参考

 発信元名と発信元番号は、送信文書のヘッダー情報になります。
5. 発信元番号の入力画面で送信者のファクス番号を入力します。
6. 〔受信モード設定〕画面で、プリンターに電話機を接続して使うかどうか選択します。
 - 使う：〔はい〕を押して次の手順に進みます。
 - 使わない：〔いいえ〕を押して手順8に進みます。〔受信モード〕は〔自動〕に設定されます。
7. 〔受信モード設定〕画面で、自動受信するかどうか選択します。
 - 自動受信する：〔はい〕を押します。〔受信モード〕は〔ファクス/電話自動切替〕に設定されます。
 - 自動受信しない：〔いいえ〕を押します。〔受信モード〕は〔手動〕に設定されます。
8. 〔設定確認〕で設定内容を確認し、〔次へ〕を押します。
 修正するときは↶ボタンを押してください。
9. 〔診断開始〕を押して、診断結果を印刷するメッセージが表示されたら⇨ボタンを押します。
 接続状態を確認できるファクス機能診断レポートが印刷されます。

参考

- レポートにエラーが表示されたら、レポートの指示に従って対処してください。
- [接続回線選択] 画面が表示されたら接続回線を選択してください。構内交換機（PBX）やターミナルアダプターに接続しているときは、[構内交換機(PBX)] を選択します。
- [ダイヤルトーン検出選択] 画面が表示されたら [検出しない] を選択してください。
ただし、[検出しない] にするとファクス番号の先頭の番号がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

関連情報

- ➔ [「プリンターを電話回線に接続する」 151ページ](#)
- ➔ [「受信モードを設定する」 156ページ](#)
- ➔ [「構内交換機（PBX）用の設定をする」 158ページ](#)
- ➔ [「ファクス設定メニューの説明」 183ページ](#)

項目を選んでファクスの基本設定をする

ウィザードを使わずに個別に設定もできます。また、ウィザードで設定済みの項目も変更できます。詳しくは、ファクス設定のメニューリストをご覧ください。

関連情報

- ➔ [「ファクス設定メニューの説明」 183ページ](#)

受信モードを設定する

[ファクス設定ウィザード] でも [受信モード] の設定ができます。初めてファクスの設定をするときは、[ファクス設定ウィザード] を使って設定することをお勧めします。[受信モード] だけ変更したいときは以下の手順に従ってください。

1. ホーム画面で [セットアップ] を選択します。
2. [システム管理設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [受信モード] の順に選択します。
3. 受信方法を選択します。
 - 自動：ファクス利用が多い方にお勧めです。設定した回数の着信音が鳴り終わると、自動でファクス受信に切り替わります。
外付け電話機の留守番電話機能を使うときはこのモードにしてください。

！重要 外付け電話機を接続しないときは、必ず [自動] に設定してください。

ファクス

- ファクス/電話自動切替：1つの電話回線でファクスも電話も利用したい方にお勧めです。設定した回数の着信音が鳴り終わると、ファクスか音声通話かをプリンターが自動で判断します。ファクスのときは自動で受信を開始し、音声通話のときは外付け電話機を鳴らします。

！重要 音声通話の呼び出し時は、通話しなくても発信者に課金されます。

参考 音声通話の呼び出し時に受話器を取らないと、設定した【電話呼び出し回数】を鳴らした後にファクス受信に切り替わります。

- 手動：ファクス利用が少ない方や、一度電話に出てから受信したい方にお勧めです。受話器を上げてからプリンター操作で受信を開始します。

参考 【リモート受信】を設定すると、外付け電話機の操作だけで受信を開始できます。

関連情報

- ➡ [「ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする」155ページ](#)
- ➡ [「手動で受信する」165ページ](#)
- ➡ [「外付け電話機の操作で受信する（リモート受信）」165ページ](#)

留守番機能付き電話接続時の設定

留守番機能を使用するには設定が必要です。

- プリンターの【受信モード】を【自動】に設定してください。
- プリンターの【呼び出し回数】を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。少ないと留守番電話への録音や通話できません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。
- 外付け電話機の留守番電話機能を使用しないときは、プリンターの【受信モード】を【ファクス/電話自動切替】に設定することをお勧めします。

関連情報

- ➡ [「受信設定」184ページ](#)

ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定

電話がかかってきたときに相手の電話番号を表示するナンバーディスプレイ機能を使用するときは、以下の手順でプリンターの設定をします。

参考 電話番号を表示するには、ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。

1. ホーム画面で【セットアップ】を選択します。
2. 【システム管理設定】 - 【ファクス設定】 - 【基本設定】 - 【ナンバーディスプレイ対応】の順に選択します。
3. 設定を選択します。
 - オン：プリンターにのみ電話番号を表示させます。アドレス帳に登録されている相手先は登録名称で表示されます。
 - 外付け電話機優先：外付け電話とプリンターの両方に電話番号を表示させます。

参考 ナンバーディスプレイ機能を使った着信拒否はプリンターではできません。着信拒否機能を使いたいときは、[外付け電話機優先] に設定して外付け電話機で着信拒否設定をしてください。詳しくは電話機のマニュアルをご覧ください。

構内交換機（PBX）用の設定をする

内線電話を利用しているオフィスなどで、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な環境では以下の設定をします。

1. ホーム画面で [セットアップ] を選択します。
2. [システム管理設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [接続回線] の順に選択します。
3. [構内交換機(PBX)] を選択します。
4. [外線発信番号] 画面で [使用する] を選択します。
5. [外線発信番号] を押し、お使いの外線発信番号を入力して、画面右下のエンターキーを押します。

外線発信番号がプリンターに登録されます。以降、外線番号にファクスするときは、実際の外線発信番号の代わりにシャープ（#）を付けて送信します。

参考 ファクス番号の先頭に「#」を入れて送信すると、プリンターが「#」を、登録した発信番号に置き換えてダイヤルします。「#」を使うと、外線番号へのファクス送信がより確実になります。

ファクス受信時の給紙装置を設定する

受信文書やファクスレポートを印刷するときに使用しない給紙装置を設定します。購入時はすべての給紙装置を使用する設定になっています。特定の給紙装置にセットした用紙を受信ファクスやファクスレポートの印刷に使いたくないときに設定します。

1. ホーム画面で [セットアップ] を選択します。
2. [システム管理設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] - [給紙口自動選択] - [ファクス] の順に選択します。
3. ファクス受信で使用しない給紙装置を選択して、無効にします。

プリンターからファクスを送信する

ファクス送信の基本操作

カラーまたはモノクロでファクスを送信します。モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。

ファクス

参考

- 相手先が話し中などでファクスが送れなかったときは自動でリダイヤルします。リダイヤル回数やリダイヤル間隔は変更できます。
- 電話回線が通話やファクス送受信で使用中でも、モノクロ文書を最大50件まで予約できます。予約文書は「ジョブ確認メニュー」の「ジョブモニター」で確認や削除ができます。
- 「送信失敗文書保存」が有効になっていると送信できなかった文書が保存されます。「ジョブ確認メニュー」の「ジョブモニター」から再送信できます。

操作パネルから送信する

1. 原稿をセットします。

参考

一度に送信できる原稿は100ページまでです。ただし、メモリー残量によっては100ページ以下でも送信できない場合があります。

2. ホーム画面で「ファクス」を選択します。

3. 宛先を指定します。

- 直接入力：テンキーで番号を入力するか数字入力画面で入力し、画面右下のエンターキーを押します。
- アドレス帳から選択：「アドレス帳」を押し、送りたい宛先のチェックボックスを押してチェックマークを付けてから「確定」を押します。
- 履歴から選択：「履歴」を押し、宛先を選択して「メニュー」-「宛先に設定」の順に押します。
- ワンタッチボタンから選択：ワンタッチボタンを選んで押します。

参考

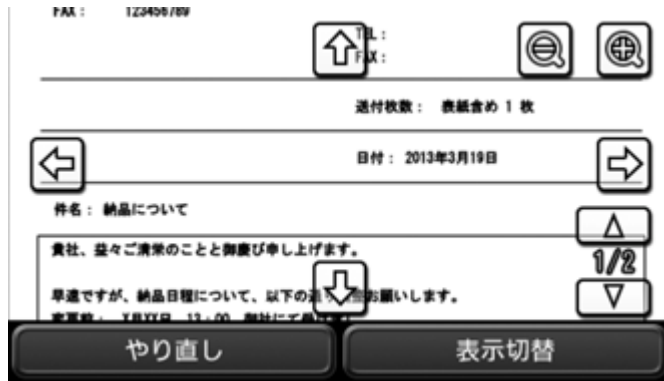
- モノクロ送信では200件までの宛先が入力できます。カラー送信は1件のみです。
- ダイヤル中にポーズ（約3秒の待ち時間）を入れたいときはを押してハイフン（-）を入力します。
- 「セキュリティ設定」で「直接ダイヤル制限」が有効になっているときの宛先は、アドレス帳や履歴、ワンタッチボタンから指定します。直接入力はできません。
- 「接続回線」で外線発信番号を設定したときは、外線発信番号の代わりにファクス番号の先頭に「#」を付けてください。
- 選択した宛先を削除したいときは、画面のファクス番号や宛先件数が表示される部分を押し、宛先リストを表示し、削除したい宛先を選択して、「リストから削除」を押します。

4. 「メニュー」を押し、「送信設定」を選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

参考

- 両面原稿を送るときは「ADF自動両面」を有効にしてください。ただし、有効にするとカラー送信できません。
- ファクスのトップ画面で「お気に入り」を押すと、宛先を含めた現在の設定を「お気に入り」に登録できます。ただし宛先は直接入力したときなど、入力方法によって登録されないことがあります。

5. モノクロで送信するときは、ファクスのトップ画面で「プレビュー」を押して、送信文書を確認します。



- ・ : 矢印方向に画面を移動
- ・ : 縮小、拡大
- ・ : 前ページへ移動、次ページへ移動
- ・ やり直し：プレビュー中止
- ・ 表示切替：操作アイコン表示と非表示の切り替え

- 参考**
- ・ プレビュー後のカラー送信はできません。
 - ・ 「ダイレクト送信」が設定されているとプレビューできません。
 - ・ プレビュー中に無操作が20秒以上続くと、自動で送信を開始します。
 - ・ 相手先のファクス機の仕様に合わせるため、プレビューで確認した画質で送信されないことがあります。

6. ボタンを押します。

- 参考**
- ・ 送信を中止するには ボタンを押してください。
 - ・ カラー送信は、読み取りながら送信するため時間がかかります。また、カラー送信中は他の機能は使用できません。

関連情報

- ➡ [「原稿をセットする」52ページ](#)
- ➡ [「ファクスメニューの説明」181ページ](#)
- ➡ [「ファクスジョブを確認する」179ページ](#)
- ➡ [「アドレス帳を管理する」58ページ](#)
- ➡ [「お気に入りの設定を登録する」60ページ](#)

外付け電話機からダイヤルして送信する

ファクスを送信する前に通話したいときや相手先が自動でファクスに切り替わらないときに、外付け電話機を使って送信します。

ファクス

1. 原稿をセットします。

参考 一度に送信できる原稿は100ページまでです。

2. 外付け電話機の受話器を上げて、外付け電話機から送信先のファクス番号をダイヤルします。
3. プリンターの操作パネルで【ファクス開始】を押して【送信】を押します。
4. 【メニュー】を押し、【送信設定】を選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
5. ファクス信号（ピー音）が聞こえたら、**◇ボタン**を押して受話器を置きます。

参考 外付け電話機からダイヤルしたときは、読み取りながら送信するため時間がかかります。送信中は他の機能は使用できません。

関連情報

- ➡ [「お気に入りの設定を登録する」60ページ](#)
- ➡ [「ファクスメニューの説明」181ページ](#)

送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）

プリンターのスピーカーで、ダイヤル中や通信中、通話中の音声を聞きながら送信できます。ポーリング受信で、相手先の音声ガイダンスに従って文書を受信するときにも使えます。

1. 原稿をセットします。
 2. ホーム画面で【ファクス】を選択します。
 3. 【オンフック】を押します。
- 参考** スピーカーの音量調節ができます。
4. 宛先を指定します。
 5. ファクス信号（ピー音）が聞こえたら、【送受信開始】を押して【送信】を押します。

参考 ポーリング受信で音声ガイダンスが流れたら、ガイダンスの指示に従って操作してください。

6. **◇ボタン**を押します。

関連情報

- ➡ [「操作パネルから送信する」159ページ](#)
- ➡ [「ポーリング受信する（ポーリング受信）」166ページ](#)
- ➡ [「原稿をセットする」52ページ](#)
- ➡ [「ファクスメニューの説明」181ページ](#)

便利な送信方法

大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）

モノクロ送信では、スキャンした文書をメモリーに一旦保存します。そのため、大量の文書を読み込むとメモリーが不足して送信できなくなることがあります。[ダイレクト送信]を有効にするとこのトラブルは回避できますが、読み取りながら送信するため時間がかかります。ダイレクト送信時に指定できる宛先は1件のみです。

ホーム画面で [ファクス] - [メニュー] - [送信設定] - [ダイレクト送信] - [オン] の順に選択します。

関連情報

➡ [「操作パネルから送信する」159ページ](#)

優先して送信する（優先送信）

送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。

ホーム画面で [ファクス] - [メニュー] - [送信設定] - [優先送信] - [オン] の順に選択します。

参考 以下の状態のときには他のファクスの割り込みができないため優先送信はできません。

- ダイレクト送信でモノクロ文書送信中
- カラー文書送信中
- 外付け電話機を使って送信中
- コンピューターから送った文書の送信中

関連情報

➡ [「操作パネルから送信する」159ページ](#)

指定した時刻に送信する（時刻指定送信）

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信のみです。

1. 原稿をセットします。
2. ホーム画面で [ファクス] を選択します。
3. 宛先を指定します。
4. [メニュー] を押して [時刻指定送信] を選択します。
5. [オン] を押し、送信予定時刻を入力して、[決定] を押します。
6. [メニュー] を押し、[送信設定] を選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

7. モノクロの◇ボタンを押します。

 送信を中止するときは [ジョブ確認メニュー] の [ジョブモニター] から削除します。

関連情報

- ➡ [「原稿をセットする」 52ページ](#)
- ➡ [「操作パネルから送信する」 159ページ](#)
- ➡ [「ファクスメニューの説明」 181ページ](#)
- ➡ [「ファクスジョブを確認する」 179ページ](#)

受信相手の操作で送信する（ポーリング送信）

100ページまでの1つのモノクロ文書を、ポーリング送信用に蓄積できます。この文書は、ポーリング受信機能付きの受信側ファクス機からの操作で送信できます。

1. 原稿をセットします。
2. ホーム画面で [ファクス] を選択します。
3. [メニュー] を押し、[ポーリング送信] を選択して、有効にします。
4. [メニュー] を押し、[送信設定] を選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
5. モノクロの◇ボタンを押します。

削除するときは、 ボタンを押して [ジョブ確認メニュー] を表示し、[ジョブモニター] - [通信ジョブリスト] でポーリング送信用の文書を選択してから [削除] を押します。

関連情報

- ➡ [「原稿をセットする」 52ページ](#)
- ➡ [「操作パネルから送信する」 159ページ](#)
- ➡ [「ファクスメニューの説明」 181ページ](#)
- ➡ [「ファクスジョブを確認する」 179ページ](#)

同じ文書を何度も送信する（待機文書送信）

宛先を指定しないで送信文書を蓄積する（待機文書蓄積）

100ページまでの1つ文書をモノクロで蓄積できます。1つの文書を頻繁に送るときに、送信のたびのスキャン時間が省けます。

1. 原稿をセットします。
2. ホーム画面で [ファクス] を選択します。

3. [メニュー] を押し、[待機文書蓄積] を選択して、有効にします。
4. [メニュー] を押し、[送信設定] を選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
5. モノクロの🔍ボタンを押します。

送信または削除するときは、**i** ボタンを押して [ジョブ確認メニュー] を表示し、[ジョブモニター] - [通信ジョブリスト] で蓄積文書を選択します。この後は画面の指示に従ってください。

関連情報

- ➡ [「原稿をセットする」52ページ](#)
- ➡ [「操作パネルから送信する」159ページ](#)
- ➡ [「ファクスメニューの説明」181ページ](#)
- ➡ [「ファクスジョブを確認する」179ページ](#)

同じ文書を何度も送信する（待機文書送信）

以下の手順で蓄積文書を送信します。

1. **i** を押して [ジョブ確認メニュー] を表示させます。
2. [ジョブモニター] - [通信ジョブリスト] の順に選択します。
3. 送信したい文書を選択して画面の指示に従います。

蓄積文書を削除することもできます。

同じ宛先にまとめて送信する（バッチ送信）

宛先が同じ複数の予約文書を、自動でまとめて送信できます。5文書（合計100ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が削減できます。

ホーム画面で [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [送信設定] - [バッチ送信] - [オン] の順に選択します。

- 参考**
- 時刻指定送信文書は、宛先と時刻が一致したときに有効です。
 - 以下は [バッチ送信] の対象外です。
 - [優先送信] を有効にしたモノクロ文書
 - [ダイレクト送信] を有効にしたモノクロ文書
 - カラー文書
 - コンピューターから送った文書

異なるサイズの原稿をADFから送信する（ADF原稿追加）

ADFに異なるサイズの原稿を一度にセットすると、全ての原稿が一番大きな原稿サイズで送信されます。サイズごまたは1枚ずつ原稿をセットすることで、適切なサイズで送信できます。

原稿をセットする前に、ホーム画面で［ファクス］ - ［メニュー］ - ［送信設定］ - ［ADF原稿追加］ - ［オン］の順に選択します。画面の指示に従って原稿をセットしてください。
スキャンされた文書は蓄積されて1つの文書として送信されます。

参考 次の原稿をセットする案内が表示されてから20秒以上操作がないと、蓄積を終了して送信を開始します。

プリンターでファクスを受信する

いろいろな受信方法

手動で受信する

外付け電話機を接続して、プリンターの［受信モード］を［手動］に設定しているときは、以下の手順で受信します。

1. 外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。
2. ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、プリンターの画面で［ファクス開始］を押します。

参考 ［リモート受信］を設定すると、外付け電話機の操作だけで受信を開始できます。

3. ［受信］を押します。
4. ◇ボタンを押して、受話器を置きます。

関連情報

- ➡ [「外付け電話機の操作で受信する（リモート受信）」165ページ](#)
- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する」167ページ](#)
- ➡ [「ファクス受信時の給紙装置を設定する」158ページ](#)

外付け電話機の操作で受信する（リモート受信）

手動受信では、受話器を上げた後にプリンターの操作が必要です。［リモート受信］を設定しておくで、外付け電話機の操作だけでファクス受信できます。

［リモート受信］はトーン信号（ピッポッパッ）に対応した電話機で使用できます。

関連情報

- ➡ [「手動で受信する」165ページ](#)

リモート受信を設定する

1. ホーム画面で [セットアップ] を選択します。
2. [システム管理設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [リモート受信] の順に選択します。
3. [リモート受信] を有効にしてから、[起動コード] に2桁のコード（0-9、*、#の組み合わせ）を入力します。
4. [決定] を押します。

リモート受信を利用する

1. 外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。
2. ファクス信号（ボー音）が聞こえたら、設定した起動コードを外付け電話機で入力します。
3. プリンターが受信を開始するのを確認してから受話器を置きます。

ポーリング受信する（ポーリング受信）

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積された文書を受信します。ファクス情報サービスなどから情報を受け取るときに使用します。ただし、音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。

参考 音声ガイダンス付きのファクス情報サービスを利用するときは、[オンフック] でダイヤルするか、外付け電話機からダイヤルし、音声ガイダンスに従って外付け電話機やプリンターを操作します。

1. ホーム画面で [ファクス] を選択します。
2. [メニュー] - [ポーリング受信] を選択して、有効にします。
3. ファクス番号を入力します。

参考 [セキュリティ設定] で [直接ダイヤル制限] が設定されているときは、アドレス帳や履歴、ワンタッチボタンでのみ宛先を指定できます。ファクス番号の直接入力はできません。

4.  ボタンを押します。

関連情報

- ➡ [「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」 161ページ](#)
- ➡ [「外付け電話機からダイヤルして送信する」 160ページ](#)

受信文書の保存と転送

以下の保存または転送機能があります。

- プリンターの受信ボックスに保存
- 外部メモリーに保存
- コンピューターに保存
- 他のファクス機、メールアドレスまたはサーバー上のフォルダーに転送

参考

- 上記は全て同時に処理することもできます。その場合、それぞれの保存先に同じ文書が保存され、転送先に同じ文書が転送されます。
- 未読または未処理の受信文書があると、ホーム画面のファクスモードアイコンに未処理件数が表示されます。

関連情報

- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する」167ページ](#)
- ➡ [「受信文書を外部メモリーに保存する」168ページ](#)
- ➡ [「コンピューターでファクスを受信する」174ページ](#)
- ➡ [「受信文書を転送する」169ページ](#)
- ➡ [「受信文書が未処理のときの表示」179ページ](#)

受信文書を受信ボックスに保存する

受信文書を受信ボックスに保存できます。最大で100件保存できます。この設定をすると受信文書は自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。

参考

保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、100件まで保存できないことがあります。

受信ボックスに保存する設定をする

1. ホーム画面で **「セットアップ」** を選択します。
2. **「システム管理設定」** - **「ファクス設定」** - **「出力設定」** - **「受信ファクスの処理」** の順に選択します。
3. 画面に表示された現在の設定を確認して、**「設定変更」** を押します。
4. **「受信ボックスに保存」** - **「オン」** の順に選択します。
5. 受信ボックスがいっぱいになったときの動作を選択します。
 - **「ファクスを受信して印刷する」** : 受信ボックスに保存できない受信文書を全て印刷します。
 - **「ファクスを受信しない」** : 相手側からの呼び出しに応答しません。

受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する

1. ホーム画面で **「ファクス」** を選択します。

参考

未読の受信文書があると、ホーム画面のファクスモードアイコンに未処理件数が表示されます。

2. 「受信ボックスを開く」を選択します。
3. 受信ボックスにパスワードを設定しているときは、受信ボックス用のパスワードか管理者パスワードを入力します。
4. 確認する文書をリストから選択します。
文書の内容が表示されます。



- ・ : 右に90° 回転
- ・ : 矢印方向に画面を移動
- ・ : 縮小、拡大
- ・ : 前ページへ移動、次ページへ移動
- ・ 表示切替：操作アイコン表示と非表示の切り替え
- ・ : 表示されている文書を削除

5. 「メニュー」を押し、確認した文書を印刷するか削除するか選択して、画面の指示に従います。

！重要 プリンターのメモリーの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷した文書は速やかに削除してください。

関連情報

- ➡ [「受信文書が未処理のときの表示」179ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定メニューの説明」183ページ](#)

受信文書を外部メモリーに保存する

受信した文書をPDFに変換して、プリンターにセットした外部メモリーに保存します。保存と同時に印刷することもできます。

！重要 外部メモリーに保存する前に、受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、外部メモリーはプリンターにセットしておいてください。一時保存の文書件数はファクスモードアイコンに表示されます。

1. 受信文書保存用の外部メモリーをプリンターにセットします。
2. ホーム画面で〔セットアップ〕を選択します。
3. 〔システム管理設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔出力設定〕 - 〔受信ファクスの処理〕の順に選択します。
4. 画面に表示された現在の設定を確認して、〔設定変更〕を押します。
5. 〔その他の設定〕 - 〔保存専用フォルダーの作成〕の順に選択します。
6. メッセージを確認して〔作成開始〕を押します。
セットした外部メモリーに、受信文書保存用のフォルダーが作成されます。
7. 戻るボタンを押して、〔受信ファクスの処理〕画面に戻ります。
8. 〔外部メモリーに保存〕 - 〔オン〕の順に選択します。保存と同時に自動で印刷をしたいときは、〔オン(印刷もする)〕を選択します。

関連情報

➔ [「受信文書が未処理のときの表示」179ページ](#)

受信文書を転送する

受信した文書を、他のファクス機にそのまま転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーやメールアドレスに転送します。転送された文書はプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。

- 参考**
- 他のファクス機に転送する場合、カラーの文書は転送できません。転送失敗文書として処理されます。
 - 事前に操作パネルの〔システム管理設定〕 - 〔共通設定〕で、〔日付/時刻〕と〔時差〕が正しく設定されていることを確認してください。

1. ホーム画面で〔セットアップ〕を選択します。
2. 〔システム管理設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔出力設定〕 - 〔受信ファクスの処理〕の順に選択します。
3. 画面に表示された現在の設定を確認して、〔設定変更〕を押します。
4. 〔転送〕 - 〔オン〕の順に選択します。

参考 転送と同時に自動で印刷をしたいときは、〔オン(印刷もする)〕を選択します。

5. 〔その他の設定〕 - 〔転送先〕の順に選択します。

6. アドレス帳の一覧から転送先を選択します。

参考

- 「表示切替」を押すと機能ごとのアドレスが表示できます。
- 転送先は5件まで指定できます。チェックボックスを押すと選択できます。解除するときにはもう一度押します。

7. 全ての転送先を指定したら「確定」を押します。

8. 転送先が正しいことを確認して「閉じる」を押します。

9. 「転送失敗時の保存先」を選択します。

10. 転送に失敗した文書を印刷するか、受信ボックスに保存するかを選択します。

！重要

受信ボックスがいっぱいになるとファクスの送受信ができません。転送失敗文書を速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてファクスモードアイコンに表示されます。

11. 転送先をメールアドレスにしたときは、メールの件名が指定できます。「Eメール転送時の件名」を選択して、メールの件名を入力します。

参考

- ネットワーク上のフォルダーや メールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送れるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から「スキャン」「メール」、または「スキャン」「フォルダー」の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンを開始します。
- ネットワーク上のフォルダーに受信文書が転送されたときに、コンピューター上で通知を出すよう設定することができます（Windowsのみ）。設定はFAX Utilityで行います。詳しくはFAX Utilityのヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「出力設定」185ページ](#)
- ➡ [「アドレス帳を管理する」58ページ](#)
- ➡ [「メールサーバーを利用する」70ページ](#)
- ➡ [「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する」167ページ](#)
- ➡ [「受信文書が未処理のときの表示」179ページ](#)
- ➡ [「スキャンした画像をメールに添付する」119ページ](#)
- ➡ [「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」139ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」209ページ](#)

コンピューターからファクスを送信する

コンピューターからのファクス送信は、FAX UtilityとPC-FAXドライバーで行います。

参考

FAX Utilityは、ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター）を使用してインストールします。更新用のソフトウェアのインストール方法は、関連リンクを参照ください。また、Windowsをお使いの場合は、付属のソフトウェアディスクからもインストールできます。

関連情報

- ➡ [「ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）」210ページ](#)

- ➡ 「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」 209ページ
- ➡ 「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」 212ページ
- ➡ 「最新のソフトウェアをインストールする」 213ページ

アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows）

Microsoft WordやExcelなどの［印刷］メニューから、ご使用のファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すれば、作成した文書/図/表などのデータに送付状を付けて直接送信できます。

参考 ここでは、Microsoft Word2010を例に説明します。ご使用のアプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
2. ［ファイル］メニュー内の［印刷］をクリックします。
アプリケーションソフトの［印刷］ウィンドウが表示されます。
3. ［プリンター］から［XXXXXX（FAX）］（XXXXXXはご使用のプリンター名）を選択し、［設定］を確認して、［印刷］をクリックします。
FAX Utilityの送付先設定画面が表示されます。



- ［印刷部数］では、［1］を入力してください。［2］以上を入力すると正常に送信できないことがあります。
- ［ファイルへ出力］など、出力ポートを変更する機能は使用できません。
- 1回のファクス送信につき、送付状を含めて100ページまで送信できます。

ファクス

参考

- [プリンターのプロパティ] をクリックすると、[用紙サイズ]、[用紙方向]、[色]、[画質]、[文字の濃さ] を設定できます。詳しくはPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。
- お使いのコンピューターで初めて送信するとき、発信者（ご自分）の情報を登録する画面が表示されます。必要事項を入力して、[OK] をクリックしてください。
- 登録名は、FAX Utilityで管理するための名前です。送付状には表示されません。

4. 送付先を設定し、[次へ] をクリックします。

- 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：
[直接入力] タブを選択し、必要事項を入力して [追加] をクリックしてください。画面上部の [送付先一覧] に追加されます。
- 接続回線設定を [構内交換機(PBX)] にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連リンクにある「基本設定」内の「接続回線」をご覧ください。
- FAX Utility（メイン画面）の [オプション設定] で「送信時にファクス番号を2回入力する」の設定を有効にしている場合は、[追加] または [次へ] をクリックした後、もう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。
- 電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、[電話帳] をクリックします。一覧から送付先を選択して [追加] をクリックします。画面上部の [送付先一覧] に追加されます。

参考

接続回線設定を [構内交換機(PBX)] にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連リンクにある「基本設定」内の「接続回線」をご覧ください。

5. 送付状の内容を設定します。

送付状を付けるときは、[送付状] で送付状のデザインを選択します。[件名] と [コメント] を入力して [次へ] をクリックしてください。送付状のデザインを追加したり作成したりすることはできません。
送付状が不要のときは、[送付状] で [送付状なし] を選択してください。

参考

- [送付状書式設定] をクリックすると、送付状に表示される項目の並び順を変更できます。[用紙サイズ] で送付状のサイズを選択できます。送信する文書と異なる用紙サイズを選択することもできます。
- [フォント] をクリックすると、送付状に表示される文字のフォントを変更できます。
- [発信元設定] をクリックすると、発信元情報を変更できます。
- [詳細プレビュー] をクリックすると、件名やコメントが反映された送付状のイメージを確認できます。

6. 送信内容を確認して [送信] をクリックします。

送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。[プレビュー] をクリックすると、送付状と送信する文書のイメージを確認できます。
送信が始まると、送信状態を確認できる画面が表示されます。

参考

- 送信を中止するときは、送信データを選択して [中止]  をクリックしてください。プリンターのパネル操作で中止することもできます。
- 送信中にエラーになると [通信エラー] 画面が表示されます。エラー内容を確認して再送信してください。
- FAX Utility（メイン画面）のオプション設定で [送信時にファクス送信モニターを表示] をチェックしていないとき、ファクス送信モニター画面（上記の送信状態を確認できる画面）は表示されません。

アプリケーションで作成した文書を送信する (Mac OS)

市販アプリケーションソフトの〔印刷〕メニューからファクス対応プリンター (PC-FAXドライバー) を選択すると、作成した文書や図、表などのデータを直接送信できます。

参考 ここでは、Mac OS添付のテキストエディットを例に説明します。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
2. 〔ファイル〕メニュー内の〔印刷〕をクリックします。
アプリケーションの〔印刷〕ウィンドウが表示されます。
3. 〔名前〕からご使用のプリンター(ファクス名)を選択し、▼をクリックして詳細設定を表示し、〔OK〕をクリックします。
4. 次の設定をします。
 - 〔印刷部数〕では、〔1〕を入力してください。〔2〕以上を入力しても、実際に送信されるのは1部のみです。
 - 1度の通信で100ページまで送信することができます。

参考 ファクスできる文書のページサイズは、プリンターからファクスできる用紙のサイズと同じです。

5. ポップアップメニューでファクス設定を選択して、各項目を設定します。
各設定項目の説明はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。
PC-FAXドライバーのヘルプは、画面左下のをクリックします。
6. ポップアップメニューで送付先設定を選択して、送付状を設定します。
 - 送付先 (名前/ファクス番号など) を直接入力する場合 :
〔追加〕項目に必要な事項を入力して  をクリックしてください。画面上部の送付先一覧に追加されます。
PC-FAXのドライバー設定で「送信時にファクス番号を2回入力する」が有効になっている場合は、 をクリックするともう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。
ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。
 - 参考** 接続回線設定を〔構内交換機(PBX)〕にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連リンクにある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。
 - 電話帳から送付先 (名前/ファクス番号など) を選択する場合 :
送付先が連絡先 (またはアドレスブック) に登録されているときは、 をクリックします。一覧から送付先を選択して〔追加〕をクリックし、〔OK〕をクリックしてください。
ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

参考 接続回線設定を〔構内交換機(PBX)〕にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連リンクにある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

7. 宛先設定して、〔ファクス〕をクリックします。
送信が始まります。
送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。

参考

- Dock内のプリンターアイコンをクリックすると送信状況確認画面が表示されます。送信を中止するときは、送信データをクリックして「削除」をクリックしてください。
- 送信中にエラーになると「送信失敗」というメッセージが表示されます。「ファクス送信記録」画面で送信記録を確認してください。
- 用紙サイズの異なるページが混在するドキュメントは、正常に送信できないことがあります。

コンピューターでファクスを受信する

プリンターで受信したファクス文書を、プリンターに接続したコンピューターにPDF形式で保存できます。保存はFAX Utilityで行います。保存先フォルダーの指定なども、FAX Utilityから行います。

参考

FAX Utilityは、以下からインストールします。

- ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター）を使用
- 付属のソフトウェアディスクを使用(Windowsをお使いのときのみ)

！重要

- コンピューターで受信するときは、プリンターのファクス受信設定を「自動」または「ファクス/電話自動切替」に設定にしてください。
- 保存先のコンピューターは起動しておいてください。受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されるため、電源を切ったままにしておくと、プリンターのメモリーが不足して送受信できなくなります。
- 一時保存の文書件数はホーム画面のに表示されます。
- 受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー（Adobe Readerなど）が必要です。

関連情報

➡ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」212ページ](#)

受信ファクスをコンピューターに保存する

設定はFAX Utilityで行います。事前にコンピューターにFAX Utilityをインストールしてください。操作方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本の操作」をご覧ください。

参考

プリンターで受信するのと同時に印刷もできます。

関連情報

- ➡ [「受信モードを設定する」156ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」209ページ](#)
- ➡ [「受信文書が未処理のときの表示」179ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」209ページ](#)

コンピューターでファクスを受信してプリンターで印刷もする

プリンターで以下を設定します。事前に、受信ファクスをコンピューターに保存する設定をしておいてください。

1. [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] - [受信ファクスの処理] の順に選択します。
2. [設定変更] を選択し、[PC-FAXで受信] を[オン(印刷もする)] にします。

関連情報

- ➡ [「受信ファクスをコンピューターに保存する」 174ページ](#)
- ➡ [「出力設定」 185ページ](#)

コンピューターへのファクス受信を中止する

コンピューターへの保存をやめるには、プリンターから設定します。

参考 FAX Utilityからも変更できますが、コンピューターに保存されていない受信文書があるときは変更できません。

1. [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] - [受信ファクスの処理] の順に選択します。
2. [設定変更] を選択し、[PC-FAXで受信] を[オフ] にします。

関連情報

- ➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア \(FAX Utility\)」 209ページ](#)
- ➡ [「出力設定」 185ページ](#)

新着ファクスを確認する (Windows)

受信ファクスを保存する設定をしたコンピューターでは、Windowsのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。ファクス受信を通知する設定にすると、デスクトップ画面右下に受信通知ウィンドウが表示され新着ファクスを確認できます。

- 参考**
- コンピューターに受信ファクスデータが保存されると、プリンターの内部メモリーからは削除されます。
 - 受信ファクスの閲覧はPDFビューアー (Adobe Readerなど) が必要です。

タスクバーのファクスアイコンを使う

受信ファクスを保存するコンピューターのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。

1. アイコンを確認します。

-  : 待機中
-  : 新着ファクスの有無を確認中
-  : 新着ファクスの取り込みが完了した状態

2. アイコンを右クリックして「保存フォルダーを開く」をクリックします。

保存フォルダーが開きます。ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。
待機中のときは、「新着ファクスの確認」を選択すると、新着ファクスがあるかどうかをすぐに確認します。

参考 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn (年/月/日/時/分/秒_送信元番号)

受信通知ウィンドウを使う

新着ファクスをコンピューターに通知する設定にすると、新着ファクスがあるたびに画面右下に受信通知ウィンドウが表示されます。

1. 表示された受信通知ウィンドウを確認します。

参考 何もせずに一定時間が経過すると、受信通知ウィンドウは非表示になります。受信通知ウィンドウの表示時間や通知の有無は設定できます。

2. 受信通知ウィンドウの、 ボタン以外の場所をクリックします。

新着ファクスを保存したフォルダーが開きます。ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。

参考 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn (年/月/日/時/分/秒_送信元番号)

新着ファクスを確認する（Mac OS）

新着ファクスは、以下の方法で確認できます。[「ファクス保存」(このコンピューターで保存する)]を設定したコンピューターのみ可能です。

- 保存フォルダー（「受信ファクスの出力設定」で指定）を開く
- ファクス受信モニターを開き、「新着ファクスの確認」をクリックする
- ファクスの新着通知を受け取る
FAX Utilityの「ファクス受信モニター」 - 「環境設定」で「ファクス受信をDockで通知する」をチェックするとDockのファクス受信モニターアイコンがジャンプして新着ファクスを知らせます。

ファクス受信モニターから保存フォルダーを開く

["ファクス保存" (このコンピュータで保存する)] を設定したコンピュータでは、ファクス受信モニターから保存フォルダーを開くことができます。

1. Dockのファクス受信モニターアイコンをクリックして【ファクス受信モニター】を開きます。
2. プリンターを選択して【保存フォルダーを開く】をクリックするか、プリンターをダブルクリックします。
3. ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。



受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_XXXXXXXXX_nnnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）
送信元番号は送信元から送られた情報が表示されます。送信元によっては番号がないこともあります。

その他のファクス機能を使う

各種ファクスレポートやリストを印刷する

手動でファクスレポートを印刷する

1. ホーム画面で【ファクス】を選択します。
2. 【メニュー】 - 【レポート印刷】の順に選択します。
3. 印刷する項目を選択して画面の指示に従います。



レポート形式は変更できます。ホーム画面で【セットアップ】 - 【システム管理設定】 - 【ファクス設定】 - 【出力設定】の順に選択して、【結果レポート内画像添付】または【レポート形式】を設定してください。

関連情報

- ➡ [「ファクスメニューの説明」181ページ](#)
- ➡ [「出力設定」185ページ](#)

ファクスレポートの自動印刷設定をする

以下のレポートを自動で印刷できます。

通信結果レポート

ホーム画面で【セットアップ】 - 【システム管理設定】 - 【ファクス設定】 - 【ユーザーデフォルト設定】 - 【通信結果レポート】の順に選択して【オン】または【エラー時のみ】を選択します。



この設定をファクス送信前に変更したいときは、ファクスのトップ画面で [メニュー] を押し、 [送信設定] - [通信結果レポート] の順に選択します。

転送結果レポート

ホーム画面で [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] - [転送結果レポート] の順に選択して、 [オン] または [エラー時のみ] を選択します。

通信管理レポート

ホーム画面で [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] - [通信管理レポート自動印刷] の順に選択して、 [オン(30件毎)] または [オン(指定時刻)] を選択します。

関連情報

- ➡ [「ファクスメニューの説明」 181ページ](#)
- ➡ [「出力設定」 185ページ](#)

ファクスのセキュリティーを設定する

ファクスの誤送信や受信ファクスの紛失や漏えいを防ぐためのセキュリティーが設定できます。またバックアップデータの削除方法も選択できます。

1. ホーム画面で [セットアップ] を選択します。
2. [システム管理設定] - [ファクス設定] - [セキュリティー設定] の順に選択します。
3. 項目を選択して、設定します。

関連情報

- ➡ [「セキュリティー設定」 187ページ](#)

ファクスジョブを確認する

受信文書が未処理のときの表示

未処理の受信文書があると、ホーム画面のファクスモードアイコンに未処理件数が表示されます。11件以上は「10+」と表示されます。未処理とは下表で示す状態です。



受信文書の処理設定	未処理状態
印刷する*1	印刷待ちまたは印刷中の受信文書がある。
受信ボックスに保存する	受信ボックスに未読の受信文書がある。
外部メモリーに保存する	受信文書保存専用フォルダーを作成した外部メモリーがプリンターに接続されていないなどの原因により、保存されていない受信文書がある。
コンピューターに保存する	保存先のコンピューターが起動していないなどの原因により、保存されていない受信文書がある。
転送する	転送されていない、または転送に失敗した受信文書*2がある。

*1 保存や転送の処理を設定していないとき、または外部メモリーやコンピューターへの保存と同時に印刷する設定にしているとき。

*2 転送失敗文書を受信ボックスに保存する設定の場合は未読状態。転送失敗文書を印刷する設定の場合は印刷されていない状態。

参考 受信文書の処理を複数設定していると、1つの受信文書の未処理件数が2件や3件など複数になることがあります。例えば、受信ボックスとコンピューターの両方に保存する設定の場合、1つの受信文書が両方とも処理されなかったときは未処理件数が2件になります。

関連情報

- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する」 167ページ](#)
- ➡ [「受信文書を外部メモリーに保存する」 168ページ](#)
- ➡ [「コンピューターでファクスを受信する」 174ページ](#)
- ➡ [「受信文書を転送する」 169ページ](#)
- ➡ [「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する」 167ページ](#)
- ➡ [「実行中のファクスジョブを確認する」 180ページ](#)

実行中のファクスジョブを確認する

以下の文書の確認、キャンセル、印刷、再送信や削除などができます。

- 印刷前の受信文書
- 送信前の文書
- [ポーリング送信] や [待機文書蓄積] で蓄積した文書
- 送信に失敗した文書（[送信失敗文書保存] を有効にしてある場合）
- コンピューターや外部メモリーに保存する前の受信文書

1. ⓘ ボタンを押します。
2. [ジョブモニター] を選択して、[通信ジョブリスト] または [印刷ジョブリスト] を選択します。
3. 確認するジョブを選択します。

ファクス送受信履歴を確認する

ファクスの送受信履歴を確認できます。

1. ⓘ ボタンを押します。
2. [ジョブ履歴] を選択して、[受信ジョブリスト] または [送信ジョブリスト] を選択します。
3. 確認するジョブを選択します。

印刷した受信文書を再印刷する

印刷ジョブリストから、印刷した受信文書を再印刷できます。

ただし、プリンターのメモリーがいっぱいになると、印刷した受信文書は古いものから順に削除されます。

1. ⓘ ボタンを押します。
2. [ジョブ履歴] - [印刷ジョブリスト] の順に選択します。
印刷したジョブの一覧が表示されます。
3. 一覧からジョブを選択します。
受信したファクスのジョブかどうかを、表示された画面で確認します。
印刷したい文書かどうかを、受信日時や送付元で確認します。
4. [再印刷] をタップして文書を印刷します。

受信ボックスの文書を確認する

受信ボックスに保存した文書を確認できます。

1. **i** ボタンを押します。
2. [ジョブストレージ] を選択して、[受信ボックス] を選択します。

参考 [メニュー] を押すと、受信ボックス内の全ての文書を印刷または削除するメニューが表示されます。

3. 確認するジョブを選択します。

文書の内容が表示されます。

- 参考**
- [メニュー] を押して、[詳細表示] を選択すると、日時や相手先などの詳細情報を確認できます。
 - メモリーの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷した文書は速やかに削除することをお勧めします。

ファクスメニューの説明

- ファクス番号を入力
宛先のファクス番号を直接入力します。
- 画質
送信する文書の画質を選択します。文書と写真が混在した原稿は [写真] をお勧めします。
初期設定は [精細] です。
- 濃度
送信する文書の濃度を設定します。
初期設定は [自動] です。
- 原稿サイズ(原稿台)
原稿台にセットした原稿の、サイズと方向を選択します。
初期設定は [A4 - ADF自動両面
モノクロ送信時に、ADFにセットした原稿の両面をスキャンします。
初期設定は [オフ] です。
- アドレス帳
アドレス帳から宛先を選択します。宛先の新規登録や変更もできます。
- 履歴
発着信履歴から宛先を選択します。着信履歴はナンバーディスプレイ機能を有効にしていると表示されます。履歴からアドレス帳に登録することもできます。
- オンフック
プリンターのスピーカーで、ダイヤル中や通信中、通話中の音声を聞きながら送信できます。

送信設定

操作パネルで以下の順に選択します。
[ファクス] - [メニュー] - [送信設定]

- 画質
送信する文書の画質を選択します。文書と写真が混在した原稿は [写真] をお勧めします。
初期設定は [精細] です。

ファクス

- 濃度
送信する文書の濃度を設定します。
初期設定は〔自動〕です。
- 原稿サイズ(原稿台)
原稿台にセットした原稿の、サイズと方向を選択します。
初期設定は〔A4 〕です。
- ADF自動両面
モノクロ送信時に、ADFにセットした原稿の両面をスキャンします。
初期設定は〔オフ〕です。
- ダイレクト送信
宛先（1件のみ）につながってから原稿をスキャンしてモノクロで送信します。スキャンしながら同時に送信するのでメモリーを使いません。通常のモノクロ送信は、スキャンした文書をメモリーに保存してから送信するため（メモリー送信）、大量の原稿をスキャンするとメモリーが不足して送信できなくなります。この設定を有効にすると、時間はかかりますが送信可能になります。ただし、宛先が複数するときや〔ADF自動両面〕を有効にしているときは使えません。
初期設定は〔オフ〕です。
- 優先送信
送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。
初期設定は〔オフ〕です。
- ADF原稿追加
通常、ADFで複数枚の原稿をスキャンする場合、途中で原稿を追加することはできません。サイズが異なる原稿を混在させてセットすると、一番大きな原稿サイズで全ての原稿が送信されてしまいます。この設定を有効にすると、セットした原稿のスキャンが終わるたびに追加原稿の有無を確認するメッセージが表示されます。サイズごとに分けて原稿をセットすれば、サイズごとにスキャンされるため、原稿と同じサイズでまとめて一度に送信できます。
初期設定は〔オフ〕です。
- 通信結果レポート
ファクスを送信すると結果レポートを印刷します。〔エラー時のみ〕を選択すると送信でエラーが起こったときのみ、結果レポートを自動で印刷します。
初期設定は〔エラー時のみ〕です。

時刻指定送信

操作パネルで以下の順に選択します。

〔ファクス〕 - 〔メニュー〕 - 〔時刻指定送信〕

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信のみです。

初期設定は〔オフ〕です。

ポーリング受信

操作パネルで以下の順に選択します。

〔ファクス〕 - 〔メニュー〕 - 〔ポーリング受信〕

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積されたポーリング用文書を受信します。ファクス情報サービスなどからファクスで情報を入手できます。

初期設定は〔オフ〕です。

ポーリング送信

操作パネルで以下の順に選択します。

ファクス

[ファクス] - [メニュー] - [ポーリング送信]

100ページまでの1つの文書をモノクロでポーリング送信用に蓄積します。蓄積した文書は、ポーリング受信機能付きの受信側ファクス機からの操作で送信されます。

初期設定は [オフ] です。

待機文書蓄積

操作パネルで以下の順に選択します。

[ファクス] - [メニュー] - [待機文書蓄積]

100ページまでの1つの文書をモノクロで蓄積します。1つの文書を頻繁に送るときに、送信のたびのスキャン時間が省けます。

初期設定は [オフ] です。

レポート印刷

操作パネルで以下の順に選択します。

[ファクス] - [メニュー] - [レポート印刷]

- ファクス機能設定リスト
現状のファクス設定を印刷します。
- 通信管理レポート
ファクスを送信すると結果レポートを印刷します。以下のメニューで、この通信管理レポートを自動印刷する設定ができます。
[セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] - [通信管理レポート自動印刷]
- 通信結果レポート
最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。
- 蓄積文書リスト
未完了のジョブなど、プリンターのメモリーに蓄積されているファクス文書のリストを印刷します。
- プロトコルログ
最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

ファクス設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定]

ユーザーデフォルト設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [ユーザーデフォルト設定]

ここでの設定をファクス送信時のユーザー設定値として表示します。設定項目の説明は、ファクスメニューの [送信設定] をご覧ください。

関連情報

➡ [「ファクスメニューの説明」181ページ](#)

送信設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [送信設定]

回転送信

ADFまたは原稿台に、A4サイズの前稿の長辺を左側にし縦置きにセツトすると、通常はA3サイズの文書として送信されます。この設定を有効にすると、A4サイズの文書になるように回転させて送信できます。

初期設定は [オン] です。

バツチ送信

宛先が同じ複数の予約文書を、自動でまとめて送信できます。5文書（合計100ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が削減できます。

初期設定は [オフ] です。

送信失敗文書保存

送信に失敗した文書をメモリーに保存します。[ジョブ確認メニュー] から再送信できます。

初期設定は [オフ] です。

自動リダイヤル回数

ファクスが送信できなかったときに、自動で再ダイヤルする回数を選択します。

初期設定は [3] 回です。

自動リダイヤル間隔

ファクスが送信できなかったときに、自動で再ダイヤルするまでの時間を選択します。

初期設定は [5] 分です。

発信元情報の付加

発信元情報（発信元の名前とファクス番号）を送信文書に入れる位置、または入れずに送信するかを選択します。

画像の外側：スキャンした画像に発信元情報がかぶらないよう、上部の余白に発信元情報を入れて送信します。原稿のサイズによっては、相手側で定形の用紙サイズに収まらず2ページに分かれて印刷されることがあります。

画像の内側：スキャンした画像の先端（上から約7mm）部分に発信元情報を入れて送信します。画像の先端部分は発信元情報がかぶって消えることがありますが、相手側で2ページに分かれて印刷されることを防げます。

しない：発信元情報を入れずに送信します。

初期設定は [画像の外側] です。

受信設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [受信設定]

ファクス

受信モード

受信モードを選択します。
初期設定は〔自動〕です。

呼び出し回数

着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます（無鳴動着信）。
初期設定は〔5〕回です。

電話呼び出し回数

〔受信モード〕が〔ファクス/電話自動切替〕になっている場合、電話がかかってきたときに外付け電話機を何回呼び出すかを選択します。
初期設定は〔8〕回です。

リモート受信

外付け電話機で応答した相手がファクスの場合は、電話機で開始コードを入力するだけでファクス受信を開始します。
初期設定は〔オフ〕です。

出力設定

操作パネルで以下の順に選択します。

〔セットアップ〕 - 〔システム管理設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔出力設定〕

受信ファクスの処理

受信文書を受信ボックスや外部メモリー、コンピューターに保存したり、転送したりする設定をします。
初期設定は全て〔オフ〕です。

自動縮小印刷

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙のサイズより大きいときに、用紙サイズに合わせて縮小印刷します。データによっては縮小できないことがあります。無効にすると縮小されず、複数ページに印刷されたり、2枚目が白紙になったりすることがあります。
初期設定は〔オン〕です。

自動回転印刷

A5、B5、A4またはLetterサイズの横長の文書を受信したときに、自動で回転させて最適なサイズの用紙に印刷します。ファクスで使用する給紙装置いずれかの〔用紙サイズ〕がA5、B5、A4またはLetterのときに適用されます。

初期設定は〔オン〕です。

- ファクスで使用する給紙装置は、以下で確認と設定ができます。
〔セットアップ〕 - 〔システム管理設定〕 - 〔プリンター設定〕 - 〔給紙装置設定〕 - 〔給紙口自動選択〕 - 〔ファクス〕
- ファクスで使用する給紙装置の用紙サイズは、以下で確認と変更ができます。
〔セットアップ〕 - 〔給紙の設定〕

正順出力

受信文書を最後のページから印刷して、正しいページ順に並べます。メモリーの空き容量が少ないときはこの設定が適用されないことがあります。

初期設定は「オン」です。

印刷開始タイミング

受信文書の印刷を開始するタイミングを設定します。

全ページ受信後：全てのページを受信後、1ページ目から印刷を開始します。「正順出力」設定を有効にしている場合は、最後のページから印刷されて正しいページ順に並べられます。

最初のページ受信後：1ページ目を受信した時点で印刷を開始します。その後、受信したページを順次印刷します。他のジョブの印刷中などで印刷を開始できないときは、印刷が可能になった時点で受信済みのページをまとめて印刷します。

初期設定は「全ページ受信後」です。

印刷停止時間の設定

指定の時間帯に受信した文書を印刷せずにメモリーに保存します。再開時刻になると自動で印刷されます。夜間の騒音防止や不在時の機密漏洩防止などに活用できます。メモリーに十分な空き容量があることを確認してからお使いください。再開時刻前でも、「ジョブ確認メニュー」から個別に確認して印刷できます。

初期設定は「オフ」です。

転送結果レポート

受信文書が転送されたときのレポートを印刷します。

初期設定は「エラー時のみ」です。

結果レポート内画像添付

「通信結果レポート」に、送信文書の1ページ目のイメージ画像を入れて印刷します。「添付する(画像大)」を選択すると、ページの一部（冒頭部分）を縮小せずに印刷します。「添付する(画像小)」を選択すると、ページ全体を縮小して印刷します。

初期設定は「添付しない」です。

通信管理レポート自動印刷

通信管理レポートを自動で印刷します。「オン(30件毎)」を選択すると、通信履歴が30件に達したときに印刷されます。「オン(指定時刻)」を選択すると、指定の時刻に印刷されます。ただし、通信履歴が30件に達すると指定時刻の前でも印刷されます。

初期設定は「オフ」です。

レポート形式

「プロトコルログ」以外のファクスレポートの表示形式を選択します。「詳細情報」にするとエラーコードも印刷されます。

初期設定は「簡易情報」です。

基本設定

操作パネルで以下の順に選択します。

「セットアップ」 - 「システム管理設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」

ファクス

通信モード

通信速度を設定します。通信エラーが頻繁に起きるときや海外と通信するとき、またはIP電話環境で通信するときは [9.6kbps(G3)] をお勧めします。

初期設定は [14.4kbps(G3)] です。

エラー訂正(ECM)

回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復します (ECM機能)。無効にすると、カラー文書の送受信はできません。

初期設定は [オン] です。

ダイヤルトーン検出

ダイヤルする前にダイヤルトーンを検出します。PBX (構内交換機) やIP電話などの環境ではダイヤルできないことがあります。その場合は [接続回線] を [構内交換機(PBX)] にしてください。それでも接続できないときは本機能を無効にしてください。ただし、無効にすると電話番号の先頭の数字がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

初期設定は [オン] です。

ダイヤル種別

接続した電話回線のダイヤル種別を選択します。ダイヤルしたとき受話器から「ピッポッパ」と音がするときは、プッシュ回線です。「ジージージ」または「カタカタカタ」と音がするときは、ダイヤル回線です。回線が分からないときは [プッシュ] → [ダイヤル(20PPS)] → [ダイヤル(10PPS)] の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してください。

初期設定は [プッシュ] です。

ナンバーディスプレイ対応

ナンバーディスプレイサービスの契約をしている回線の使用時に、プリンターや外付け電話機に相手の電話番号を表示します。詳しくは、ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定を説明しているページをご覧ください。

初期設定は [オフ] です。

接続回線

プリンターを接続した回線を選択します。内線電話を利用しているオフィスなどで、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な環境では、[構内交換機(PBX)] を選択して外線発信番号を登録します。登録後に外線番号にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに#を入力します。ADSLモデムやターミナルアダプターなどを使用している環境でも [構内交換機(PBX)] に設定することをお勧めします。

初期設定は [一般回線(PSTN)] です。

発信元設定

発信元名と発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。発信元名は40文字、発信元番号は20文字まで入力できます。

セキュリティ設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [セキュリティ設定]

ファクス

直接ダイヤル制限

ファクス番号の直接入力ができなくなります。アドレス帳かワンタッチダイヤル、または履歴から宛先を選択します。〔2回入力〕を選択すると、ファクス番号を直接入力したときに確認のための再入力が必要です。

初期設定は〔オフ〕です。

宛先一覧確認

送信開始前に宛先確認画面を表示します。

初期設定は〔オフ〕です。

受信ボックスパスワード設定

誰でも簡単に受信ボックスを開いて見るできないように受信ボックスにパスワードを設定します。設定したパスワードを変更するときは〔変更〕を、パスワード設定を解除するときは〔初期化〕を選択します。変更や初期化をするときも現在設定されているパスワードの入力が必要です。

バックアップデータ自動消去

停電や誤操作による電源オフに備えて、送受信文書のバックアップデータがメモリー内に一時保存されています。この設定を有効にすると、送受信文書の処理が完了してバックアップが不要になったときに、自動でバックアップデータが消去されます。

初期設定は〔オフ〕です。

バックアップデータを消去

メモリー内に一時保存されたバックアップデータを全て消去します。プリンターを譲渡または廃棄するときに実行してください。

ファクス機能診断

操作パネルで以下の順に選択します。

〔セットアップ〕 - 〔システム管理設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ファクス機能診断〕

プリンターが電話回線に接続されていて送受信ができる状態かどうかを診断し、結果をA4サイズの普通紙に印刷します。

ファクス設定ウィザード

操作パネルで以下の順に選択します。

〔セットアップ〕 - 〔システム管理設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ファクス設定ウィザード〕

ファクスの送受信に必要な最低限の設定を画面に従って設定をします。詳しくは、ファクスの基本設定を説明しているページをご覧ください。

インクの補充とメンテナンスボックスの交換

インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する

コンピューターからインク残量の目安が確認できます。

インク残量は、全てのインクタンクを目視で確認してください。

操作パネルまたはコンピューターからメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。

メンテナンスボックスの状態を確認する - 操作パネル

1. 操作パネルの **i** ボタンを押します。
2. **【プリンター情報】** を選択します。

参考 右下のアイコンがメンテナンスボックスの空き容量を示します。

インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - Windows

1. プリンタードライバーの画面を表示します。
2. **【ユーティリティ】** タブの **【EPSON プリンターウィンドウ!3】** をクリックします。

参考 **【EPSON プリンターウィンドウ!3】** が無効になっているときは、**【ユーティリティ】** タブの **【拡張設定】** をクリックして **【EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する】** をチェックしてください。

関連情報

➡ [「プリンタードライバーの開き方」73ページ](#)

インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - Mac OS

1.  メニューの **【システム環境設定】** - **【プリンタとスキャナ】**（または **【プリントとスキャン】**、**【プリントとファクス】**）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. **【オプションとサプライ】** - **【ユーティリティ】** - **【プリンタユーティリティを開く】** の順にクリックします。
3. **【EPSONプリンターウィンドウ】** をクリックします。

純正インクボトルのご案内

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクボトルを使用することをお勧めします。本製品用の純正品以外のインクボトルやその他の製品を使用すると、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなどプリンター本来の性能を発揮できないことがあります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。純正インクボトルは以下の通りです。

アイコン	シリーズ名	シリーズ略称	画面の表示	商品名	型番
	クツ	KSU	BK	クツ ブラック L	KSU-BK-L
	ハサミ	HSM	C	ハサミ シアン	HSM-C
			M	ハサミ マゼンタ	HSM-M
			Y	ハサミ イエロー	HSM-Y

「KSU」、「HSM」、「クツ」、「ハサミ」の文字および図形は、セイコーエプソン株式会社の商標または登録商標です。

！重要 指定外のインクを使用すると、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなどプリンター本来の性能を発揮できないことがあります。
純正品以外の品質や信頼性について保証できません。指定外のインクの使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクボトル取り扱い上のご注意

インクを補充する前に以下の注意事項を確認してください。

取り扱い上のご注意

- 本製品用のインクボトルを使用してください。
- 本製品のご使用に当たっては、インクの取り扱いに注意してください。
- インクタンクにインクを補充する際に、インクが飛び散ることがあります。インクが衣服や所持品に付着すると、取れないことがあります。
- 開封したボトルは、なるべく早くお使いください。
- インクボトルは常温で直射日光を避けて保管してください。

- インクボトルは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- インクボトルはプリンターと同じ環境で保管してください。
- シールを剥がしたインクボトルを保管または輸送するときは、傾けたり衝撃や急激な温度変化を与えたりしないでください。インクボトルのキャップをしっかり締めてもインクが漏れることがあります。インクボトルのキャップを締めるときは必ずボトルをまっすぐに立ててください。また、ボトルを輸送する際はインク漏れを防ぐ対策を取ってください。
- インクボトルを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクボトルの袋は、インクタンクにインクを補充する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。開封後、そのまま長時間放置すると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インク残量はタンクを目視確認してください。インク残量が限界値以下の状態でプリンターを使い続けると、プリンターが故障するおそれがあります。プリンターが動作していないときに、インクタンクの上限線までインクを補充してください。補充後にインク残量をリセットすることをお勧めします。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、インクタンク内に多少のインクが残ります。イールド枚数（印刷可能枚数）は、タンク内に残るインクを含めずに計算しています。
- 最適な印刷結果を得るために、少なくとも年に一度はインクタンクの上限線までインクを補充してください。
- インクボトルに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクボトルの外観や仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

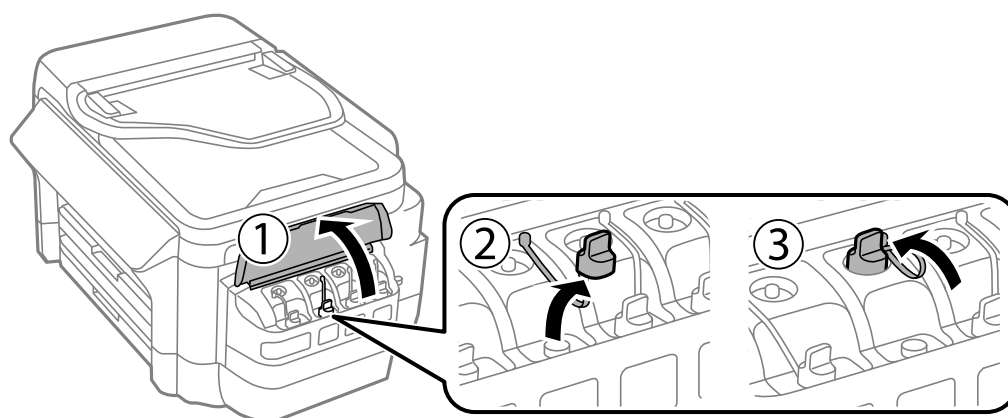
インクの消費

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に使用するインクボトルよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

インクタンクにインクを補充する

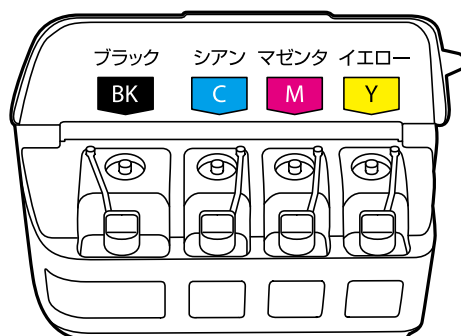
1. ホーム画面で [セットアップ] を選択します。
2. [メンテナンス] - [インク残量情報を更新] の順に選択します。
3. [次へ] を押します。

4. インクタンクユニットのカバーを開けて、インクタンクのキャップを取り外します。取り外したキャップは③のようにプリンター本体の突起部にかぶせます。

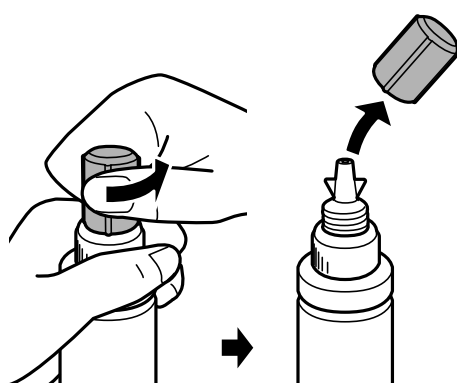


！重要

- インクをこぼさないよう注意してください。
- インクタンクの色と補充したいインクの色が合っていることを確認してください。



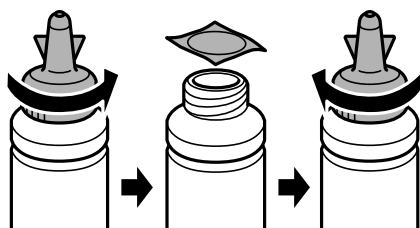
5. インクボトルのキャップのカバーを取り外します。



参考

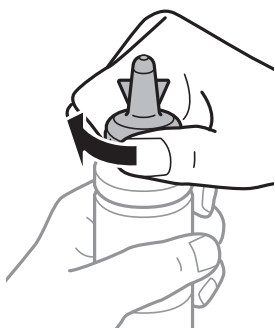
取り外したキャップのカバーは捨てないでください。補充後にインクが残った場合は、キャップのカバーでボトルを密閉します。

6. インクボトルのキャップを取り外し、シールを剥がしてから再度キャップを締めます。

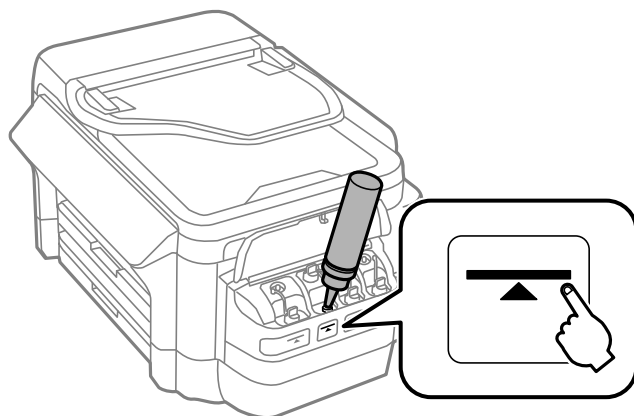


！重要

- シールはゆっくり剥がしてください。インクが手などに付着するおそれがあります。
- インクボトルのキャップをしっかり締めないと、インクが漏れるおそれがあります。



7. 正しい色のインクをタンクの上限線まで補充します。

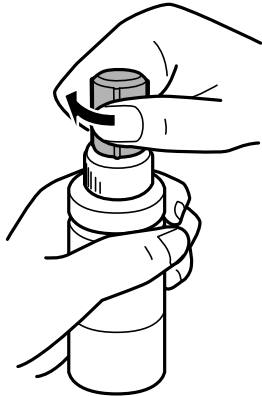


！重要

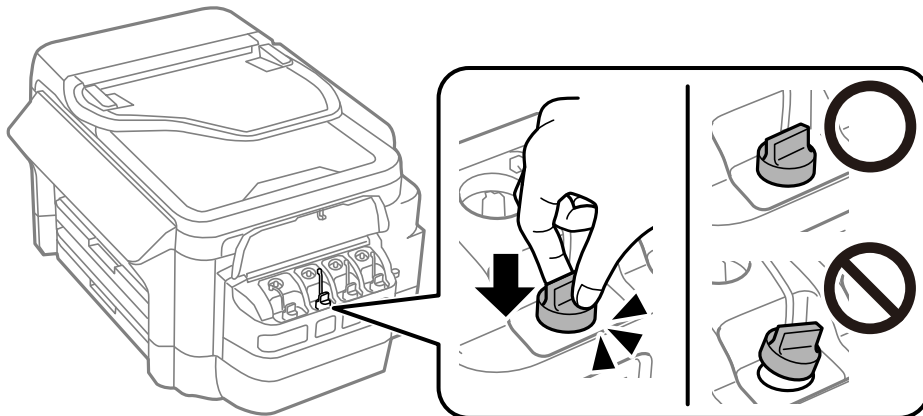
タンク内部が見えにくいことがあります。インク注入口からインクがあふれないように注意して補充してください。



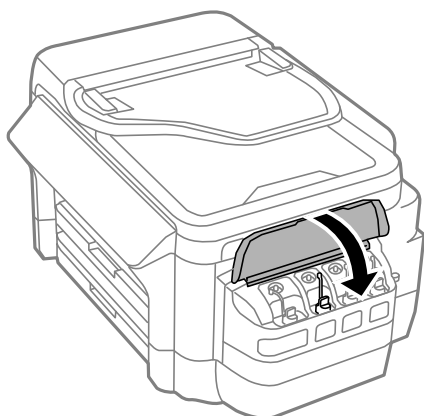
ボトルにインクが残った場合は、取り外したキャップのカバーをしっかりと取り付け、ボトルをまっすぐ立てて保管してください。



8. インクタンクのキャップをしっかりと閉めます。



9. インクタンクユニットのカバーを閉めます。



10. 補充した色を選択して [終了] を押します。

11. メッセージを確認してOKを押します。

参考

上限線までインクを補充しなくてもインク残量はリセットできますが、インク残量の目安と実際の残量に差異が発生することがあります。プリンターを最良の状態でお使いいただくために、タンクの上限線までインクを補充してからインク残量をリセットしてください。

関連情報

- ➡ [「純正インクボトルのご案内」 190ページ](#)
- ➡ [「インクボトル取り扱い上のご注意」 190ページ](#)
- ➡ [「インクボトルやメンテナンスボックスの廃棄」 197ページ](#)

メンテナンスボックスの型番

エプソン純正品のメンテナンスボックスを使用することをお勧めします。

純正品の型番は以下の通りです。

PXMB3

メンテナンスボックス取り扱い上のご注意

メンテナンスボックスを交換する前に以下の注意事項を確認してください。

- メンテナンスボックスのICチップに触らないでください。正常な動作や印刷ができなくなるおそれがあります。
- メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。
- 直射日光を避けて保管してください。
- 印刷中は交換しないでください。廃インクが漏れることがあります。
- 取り外して長期間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。内部のインクが固化し、インクを吸収できません。
- 交換時以外はメンテナンスボックスを取り外さないでください。インクが漏れることがあります。

メンテナンスボックスを交換する

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、以下の手順に従ってください。

参考

インクあふれ防止のため、いっぱいになるとボックスを交換するまで印刷できませんが、ファクス送信や外部メモリーへのデータ保存などはできます。

1. 新しいメンテナンスボックスを箱から取り出します。

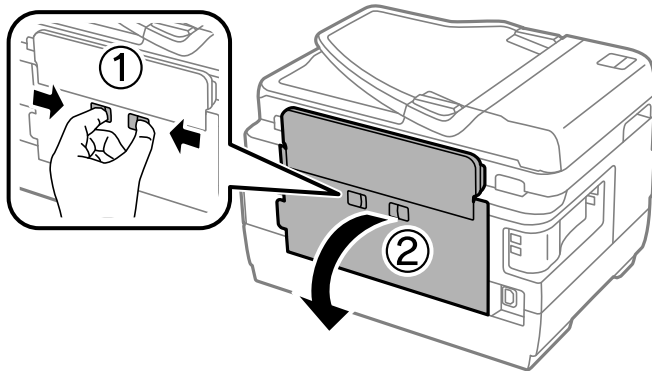
！重要

メンテナンスボックスのICチップに触らないでください。正常な動作や印刷ができなくなるおそれがあります。

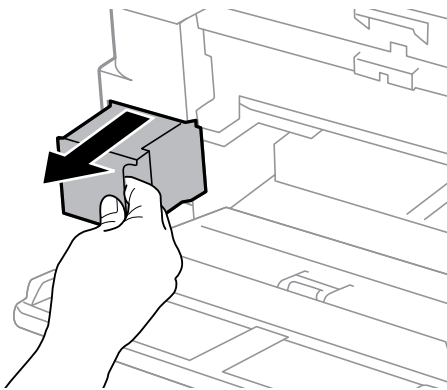
参考

使用済みメンテナンスボックスを入れるための透明袋が添付されています。

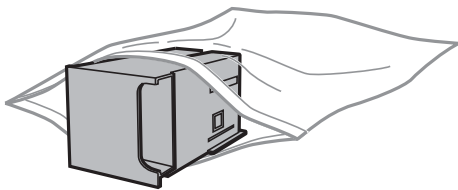
2. 背面カバーを開けます。



3. 使用済みメンテナンスボックスを引き出します。



4. 使用済みメンテナンスボックスを付属の透明袋に入れ、ジッパーを閉めて密封します。



！重要 メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。

5. 新しいメンテナンスボックスをプリンターの奥までセットします。
6. 背面カバーを閉めます。

関連情報

- ➡ [「メンテナンスボックスの型番」 195ページ](#)
- ➡ [「メンテナンスボックス取り扱い上のご注意」 195ページ](#)
- ➡ [「インクボトルやメンテナンスボックスの廃棄」 197ページ](#)

インクボトルやメンテナンスボックスの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

プリンターのメンテナンス

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェック機能を使用してノズルの目詰まりを確認してください。ノズルが目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。

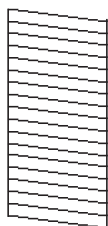
！重要

- ヘッドクリーニング中は、電源を切ったり、スキャナーユニットを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- インク残量が少ないと、ヘッドクリーニングできないことがあります。
- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に3回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で12時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。電源を切って放置することをお勧めします。それでも改善されないときは、エプソンの修理窓口にご連絡ください。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源が入ったまま電源プラグを抜かないでください。

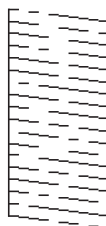
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - 操作パネル

1. 用紙カセット1にA4サイズの普通紙をセットします。
2. ホーム画面で[セットアップ]を選択します。
3. [メンテナンス] - [プリントヘッドのノズルチェック]の順に選択します。
4. 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。
5. 印刷したパターンを見てノズルに目詰まりがあるかないかを確認します。下の「あり」の図のように部分的に印刷されていないか、線が欠けたりしているときは目詰まりしています。次の手順に進んでください。「なし」の図のように全ての線が印刷されているときは目詰まりしていません。ノズルチェックを終了します。

なし



あり(ヘッドクリーニング必要)



6. [ヘッドクリーニング]を選択します。

7. 線の欠けに応じて以下のいずれかの項目を選択します。
 - [全色] : 全ての色のパターンに線の欠けがある場合 (BK、Y、M、C)
 - [カラーのみ] : 黒以外のいずれかの色のパターンに線の欠けがある場合 (Y、M、C)
 - [ブラックのみ] : 黒のパターンにのみ線の欠けがある場合 (BK)
8. クリーニングが終わったら、再度ノズルチェックパターンを印刷します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返します。

関連情報

➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」43ページ](#)

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Windows

1. 用紙カセット1にA4サイズの普通紙をセットします。
2. プリンタードライバーの画面を表示させます。
3. [ユーティリティ] タブの [プリントヘッドのノズルチェック] をクリックします。
4. 画面の指示に従って操作します。

関連情報

➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」43ページ](#)

➡ [「プリンタードライバーの開き方」73ページ](#)

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Mac OS

1. 用紙カセット1にA4サイズの普通紙をセットします。
2.  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
3. [オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。
4. [プリントヘッドのノズルチェック] をクリックします。
5. 画面の指示に従って操作します。

関連情報

➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」43ページ](#)

強力クリーニングをする

〔強力クリーニング〕をすると、インクチューブ内のインクを全て入れ替えることができます。以下の場合、この機能を使うことで印刷品質が改善することがあります。

- インクがインクタンクの窓から見えない状態で、印刷またはクリーニングした
- クリーニングを3回実施した後、印刷しない状態で12時間以上放置しても目詰まりが解消されない

作業の前に、以下の注意事項をお読みください。

！重要 実際のインク残量が十分にあることを確認してください。
インクチューブ内のインクを全て入れ替えるため、インクが少ない状態で実行すると、インクに気泡が入ってきれいに印刷できなくなることがあります。タンクに3割以上のインクがあることを目視で確認してください。

！重要 12時間以内に再実行できません。
強力クリーニングは、実行した12時間後に十分な効果が出ます。

！重要 メンテナンスボックスの交換が必要になることがあります。
チューブ内のインクは、メンテナンスボックスに排出されます。メンテナンスボックスがいっぱいになると、交換するまで印刷できません。事前に新しいメンテナンスボックスを用意することをお勧めします。

参考 強力クリーニングに必要なインク残量とメンテナンスボックス空き容量が足りなくても、印刷できることがあります。

強力クリーニングをする - Windows

1. プリンタードライバーの画面を表示させます。
2. 〔ユーティリティ〕タブの〔強力クリーニング〕をクリックします。
3. 画面の指示に従って操作します。

参考 強力クリーニングが実行できなかったときは、プリンターの画面に表示されるメッセージを確認して問題を解決してください。その後、手順1から強力クリーニングをやり直してください。

強力クリーニングをする - Mac OS

1. メニューの〔システム環境設定〕 - 〔プリンタとスキャナ〕（または〔プリントとスキャン〕、〔プリントとファクス〕）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. 〔オプションとサプライ〕 - 〔ユーティリティ〕 - 〔プリンタユーティリティを開く〕の順にクリックします。
3. 〔強力クリーニング〕をクリックします。

4. 画面の指示に従って操作します。



強力クリーニングが実行できなかったときは、プリンターの画面に表示されるメッセージを確認して問題を解決してください。その後、手順1から強力クリーニングをやり直してください。

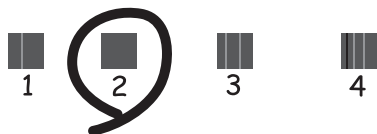
プリントヘッドの位置を調整する

印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたりぼやけたような印刷結果になったりするときは、プリントヘッドの位置を調整してください。

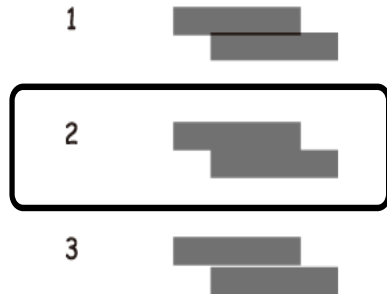
プリントヘッドの位置を調整する - 操作パネル

1. 用紙カセット1にA4サイズの普通紙をセットします。
2. ホーム画面で [セットアップ] を選択します。
3. [メンテナンス] - [プリントヘッドの位置調整] の順に選択します。
4. [印刷のぼやけ改善] または [横スジの改善] を選択して、画面の指示に従って調整パターンを印刷します。
 - 印刷のぼやけ改善：印刷結果がぼやけているときや、縦線がガタついて見えるようなときに選択します。
 - 横スジの改善：一定間隔で横縞模様のようなものが出るときに選択します。
5. 画面の指示に従ってプリントヘッドの位置を調整します。
 - 印刷のぼやけ改善：それぞれのグループで最も縦スジのないパターンの番号を入力します。

#1



- 横スジの改善：隙間や重なりにより少ないパターンの番号を入力します。



関連情報

➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」43ページ](#)

給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）

印刷物に汚れやこすれがあるときは、プリンター内部（ローラー）をクリーニングしてください。

！重要 プリンター内部はティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くすなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

1. A3サイズの普通紙をクリーニングしたい給紙装置にセットします。
2. ホーム画面で[セットアップ]を選択します。
3. [メンテナンス] - [内部ローラークリーニング]の順に選択します。
4. 給紙装置を選択して、画面の指示に従って給紙経路をクリーニングします。

（参考） 印刷物に汚れがなくなるまでこの作業を繰り返してください。それでも解決できないときは、他の給紙装置をクリーニングしてみてください。

関連情報

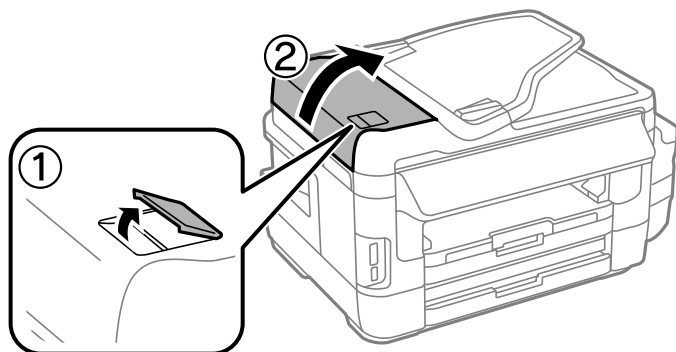
➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」43ページ](#)

ADFをクリーニングする

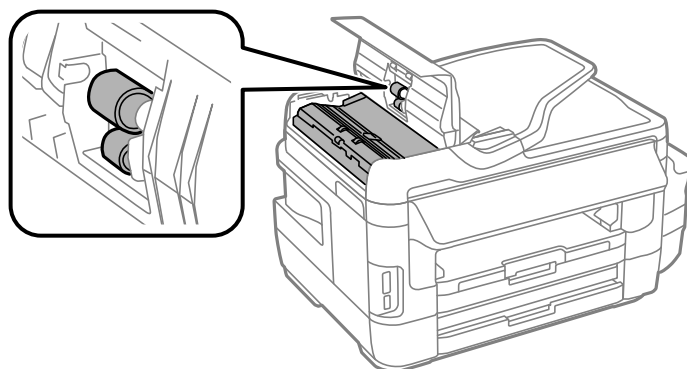
ADFからコピーやスキャンなどをすると汚れが出たり、原稿の給紙不良が発生したりするときは、ADFをクリーニングしてください。

！重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

1. ADFカバーを開けます。

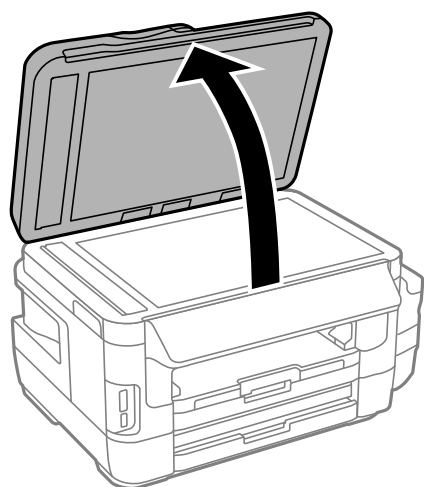


2. 水を含ませた柔らかい布を固く絞って、ローラー部など内部に付着している紙粉やゴミ、ホコリなどを拭きます。

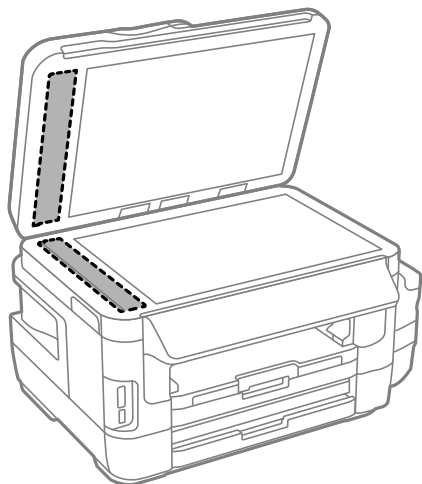


- ！重要**
- 乾いた布で拭くと、表面に傷が付くおそれがあります。
 - ローラーが乾いてからお使いください。

3. 原稿カバーを開けます。



4. イラストで示した部分を拭きます。



！重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

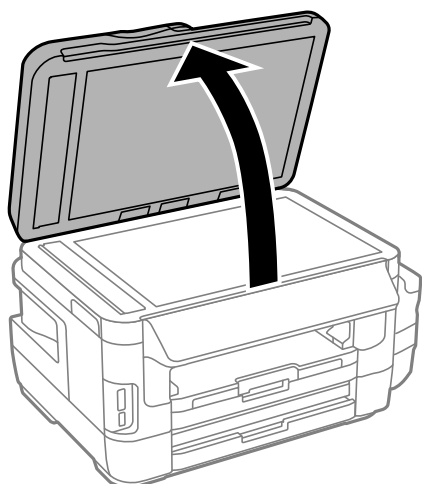
原稿台をクリーニングする

印刷物に汚れがあるときや、スキャンしたデータにムラやシミなどがあるときは、原稿台をクリーニングしてください。

⚠ 注意 原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

！重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

1. 原稿カバーを開けます。



2. 原稿台のガラス面を、柔らかい布でから拭きします。

！重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

総通紙枚数を確認する

プリンターに給紙された用紙の枚数を確認できます。

総通紙枚数を確認する - 操作パネル

総通紙枚数はノズルチェックパターンと一緒に印刷されます。

1. 用紙カセット1にA4サイズの普通紙をセットします。
2. ホーム画面で [セットアップ] を選択します。
3. [メンテナンス] - [プリントヘッドのノズルチェック] の順に選択します。
4. 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。

総通紙枚数を確認する - Windows

1. プリンタードライバーの画面を表示させます。
2. [ユーティリティ] タブの [プリンター情報] をクリックします。

総通紙枚数を確認する - Mac OS

1.  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. [オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。
3. [プリンター情報] をクリックします。

ネットワークサービスとソフトウェアのご案内

プリンターが対応しているネットワークサービスとソフトウェアを紹介します。ソフトウェアはエプソンのウェブサイトまたは付属のソフトウェアディスクからインストールできます。

ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）

Web Config（ウェブ コンフィグ）は、コンピューターやスマートデバイスなどの機器からInternet ExplorerやSafariなどのWebブラウザー上で起動できるソフトウェアです。プリンターの状態の確認やネットワークサービスの設定、プリンターの設定変更などができます。Web Configを使うには、プリンターと機器を同じネットワークに接続してください。

以下のブラウザーに対応しています。

OS	ブラウザー
Windows XP SP3以降	Internet Explorer 8以降、Firefox*、Chrome*
Mac OS X v10.6.8以降	Safari*、Firefox*、Chrome*
iOS*	Safari*
Android 2.3以降	標準ブラウザー
Chrome OS*	標準ブラウザー

*： 最新バージョンでお使いください。

WebブラウザーからWeb Configを起動する

1. プリンターのIPアドレスを確認します。

プリンターのホーム画面で［セットアップ］ - ［ネットワーク情報］ - ［ネットワーク情報確認］の順に選択して、IPアドレスを確認してください。

2. コンピューターやスマートデバイスでWebブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。

書式：

IPv4：http://プリンターのIPアドレス/

IPv6：http://[プリンターのIPアドレス]/

例：

IPv4：http://192.168.100.201/

IPv6：http://[2001:db8::1000:1]/



スマートデバイスでは、Epson iPrintのプリンターのメンテナンス画面からもWeb Configを起動できます。

関連情報

- ➔ [「Epson iPrintを使う」 112ページ](#)
- ➔ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 30ページ](#)

WindowsからWeb Configを起動する

プリンターとWSDで接続しているときは、以下の方法でWeb Configを起動できます。

1. Windowsのデバイスとプリンターの画面を表示します。
 - Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] (または [ハードウェア]) の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。
2. プリンターのアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
3. [Webサービス] タブを選択して、URLをクリックします。

Mac OSからWeb Configを起動する

1.  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. [オプションとサプライ] - [プリンターのWebページを表示] をクリックします。

文書や写真をスキャンするソフトウェア (Epson Scan 2)

Epson Scan 2 (エプソン スキャン ツー) は、スキャナーを制御するドライバーで、画像のサイズや解像度の設定、画質などを調整してスキャンできます。以下の起動方法の他、TWAIN対応のアプリケーションソフトから起動することもできます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

参考 Windows Server OSをお使いの場合、[デスクトップエクスペリエンス] がインストールされていることを確認してください。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または[プログラム]） - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

参考 Epson Scan 2はMac OSのファストユーザスイッチ機能には対応していません。この機能を無効にしてください。

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

関連情報

- ➔ [「Epson Scan 2でスキャンする」146ページ](#)
- ➔ [「最新のソフトウェアをインストールする」213ページ](#)

スキャナーの追加方法

Epson Scan 2を使用する前に、スキャナーを追加します。

1. ソフトウェアを起動し、[スキャナーの設定] 画面で [追加] をクリックします。

- 参考**
- [追加] がグレースアウトになっているときは、[編集を許可] をクリックします。
 - Epson Scan 2のメイン画面が表示されたときは、すでにスキャナーと接続されています。別のネットワークスキャナーと接続するときは、[スキャナー] - [設定] の順に選択して、[スキャナーの設定] 画面を表示します。

2. ネットワークスキャナーを追加します。以下の項目を入力、確認して、[追加] をクリックします。

- [機種] : 接続したいスキャナーを選択します。
- [名前] : スキャナー名を入力します。32文字まで入力できます。
- [ネットワークを検索] : お使いのコンピューターとスキャナーが同じネットワーク内にあればIPアドレスが表示されます。表示されない場合、 ボタンをクリックします。IPアドレスが見つからなかったときは [アドレスを入力] を選択し、アドレス欄にIPアドレスを直接入力します。

3. [スキャナーの設定] 画面で追加されたスキャナー名を選択し、[OK] をクリックします。

操作パネルからのスキャン動作を設定するソフトウェア (Epson Event Manager)

Epson Event Manager (エプソン イベント マネージャー) は操作パネルからスキャンしてコンピューターに保存するときの設定を管理するソフトウェアです。原稿種などのスキャン設定、保存するフォルダーや保存形式などを、よく使う設定に登録できます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考 Windows Server OSは非対応です。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [Event Manager] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [Event Manager] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Event Manager] の順に選択します。

関連情報

➔ [「最新のソフトウェアをインストールする」213ページ](#)

ファクスの送受信や設定をするソフトウェア (FAX Utility)

FAX Utility (ファクス ユーティリティ) は、コンピューターを使ってファクスの送受信をするための設定をするソフトウェアです。送信時に使うアドレス帳の作成や管理、プリンターが受信した文書をPDFにしてコンピューターに保存する設定などができます。詳しくはソフトウェアのヘルプをご覧ください。

- 参考**
- Windows Server OSは非対応です。
 - FAX Utilityをインストールする前に、プリンタードライバーがインストールされている必要があります。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [FAX Utility] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [FAX Utility] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

 メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（FAX）を選択します。[オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。

関連情報

- ➡ [「コンピュータでファクスを受信する」174ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」213ページ](#)

ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）

PC-FAXはアプリケーションソフトで作成した文書を、コンピュータからそのままファクス送信するソフトウェアです。FAX Utilityをインストールすると、一緒にインストールされます。詳しくはソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考

- Windows Server OSは非対応です。
- アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

Windowsでの表示方法

アプリケーションソフトで、[ファイル] メニューの [印刷]（または [印刷設定] など）を選択します。お使いのプリンター（FAX）を選択して [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。

Mac OSでの表示方法

アプリケーションソフトで、[ファイル] メニューの [プリント]（または [印刷] など）を選択します。[プリンタ] でお使いのプリンター（FAX）を選択して、ポップアップメニューから [ファクス設定] または [送付先設定] を選択します。

関連情報

- ➡ [「コンピュータからファクスを送信する」170ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」209ページ](#)

写真をレイアウトして印刷するソフトウェア（E-Photo）

E-Photo（イーフォト）は、写真をいろいろなレイアウトで簡単に印刷できるソフトウェアです。印刷イメージを見ながら画像補正や位置調整ができます。写真とフレームを重ねて印刷もできます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

エプソン純正の写真用紙に印刷すると、インク性能が最大限に引き出されて、発色の良い美しい仕上がりになります。

参考

- Windows Server OSは非対応です。
- このソフトウェアを使用するには、プリンタードライバーがインストールされている必要があります。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [E-Photo] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または[プログラム]） - [Epson Software] - [E-Photo] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [E-Photo] の順に選択します。

関連情報

➔ [「最新のソフトウェアをインストールする」213ページ](#)

Webページを印刷するソフトウェア（E-Web Print）

E-Web Print（イーウェブ プリント）は、Webページをいろいろなレイアウトで印刷できるソフトウェアです。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。ヘルプは[E-Web Print] ツールバーの[E-Web Print] メニューから表示できます。



- Windows Server OSは非対応です。
- 対応ブラウザや最新情報は、エプソンのウェブサイトのダウンロードページをご覧ください。

起動方法

E-Web Printをインストールすると、[E-Web Print] ツールバーがブラウザに組み込まれます。[まるごと印刷]、[範囲指定印刷]、[ブログ印刷] のいずれかをクリックします。

関連情報

➔ [「最新のソフトウェアをインストールする」213ページ](#)

複数のデバイスを設定できるソフトウェア（EpsonNet Config）

EpsonNet Config（エプソンネット コンフィグ）は、ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコルなどが設定できるソフトウェアです。詳しくはEpsonNet Configのマニュアルやヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EpsonNet] - [EpsonNet Config] の順に選択します。

- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] - [EpsonNet Config] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] - [EpsonNet Config] の順に選択します。

関連情報

➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」213ページ](#)

ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）

EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター）は、インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認して、インストールするソフトウェアです。プリンターのファームウェアやマニュアルも更新できます。

参考 Windows Server OSは非対応です。

インストール方法

エプソンのウェブサイトからEPSON Software Updaterをダウンロードしてください。

Windowsコンピュータを使っていてウェブサイトからダウンロードができないときは、付属のソフトウェアディスクからインストールしてください。

<http://www.epson.jp/support/>

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

参考 EPSON Software Updaterはデスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

最新のソフトウェアをインストールする

参考 再インストール時は、インストール済みの古いソフトウェアをアンインストールしてから行ってください。

1. プリンターとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。
2. Software Updaterを起動します。

画面はWindowsでの一例です。



3. Windowsの場合は、お使いのプリンターを選択し、🔄をクリックして新しいソフトウェアや更新情報があるか確認します。
4. インストールや更新が必要なソフトウェアにチェックを入れて、画面右下のインストールをクリックします。

！重要 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

- 参考**
- 最新版のソフトウェアはエプソンのウェブサイトからもダウンロードできます。
<http://www.epson.jp/support/>
 - Windows Server OSをお使いの場合、Epson Software Updaterではインストールができません。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

関連情報

- ➔ 「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」212ページ
- ➔ 「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」214ページ

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows

1.  ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
 2. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了します。
 3. [コントロールパネル] を表示します。
 - Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順に選択します。
 - Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/
Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] を選択します。
 4. [プログラムのアンインストール]（または[プログラムの追加と削除]）を表示させます。
 - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2016/
Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server
2008
[プログラム] の [プログラムのアンインストール] を選択します。
 - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[プログラムの追加と削除] をクリックします。
 5. 削除するソフトウェアを選択します
印刷ジョブが残っていると、プリンタードライバーをアンインストールできません。印刷ジョブを削除するか、印刷が終わるのを待ってからアンインストールをしてください。
 6. ソフトウェアをアンインストールします。
 - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2016/
Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server
2008
[アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。
 - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[変更と削除] または [削除] をクリックします。
-  [ユーザーアカウント制御画面] が表示されたら、[続行] をクリックします。
7. 画面の指示に従って操作します。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する -Mac OS

1. EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードします。
一度ダウンロードすれば、アンインストールのたびにダウンロードする必要はありません。
2.  ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
3. プリンタードライバー、またはPC-FAXドライバーを削除するときは、 メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、使用できるプリンターのリストからプリンターを削除します。
4. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了します。
5. [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Uninstaller] の順に選択します。
6. 削除するソフトウェアをチェックして、[アンインストール] をクリックします。

！重要 Uninstallerは、コンピューターにインストールされているエプソン製インクジェットプリンターのドライバーを全て削除します。複数のエプソン製インクジェットプリンターをご使用の方で、一部のプリンタードライバーのみを削除したい場合は、一旦全てのプリンタードライバーを削除した後、使いたいプリンターのドライバーを再インストールしてください。

参考 一覧に表示されないソフトウェアはUninstallerでは削除できません。[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] の順に選択し、削除するソフトウェアを選択して、ゴミ箱アイコンにドラッグ&ドロップしてください。

関連情報

➡ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」212ページ](#)

ネットワークサービスを使って印刷する

インターネットを利用したEpson Connect（エプソン コネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。このサービスの利用には、Epson Connectのセットアップ（ユーザー登録、プリンター登録）が必要です。

インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

- メールプリント
プリンターに割り当てられたメールアドレスに、印刷したい写真や文書を添付してメールを送ると、メールの本文や添付ファイルの印刷ができます。離れた場所から、自宅やオフィスのプリンターに印刷できます。
- Epson iPrint
スマートフォンやタブレット端末から印刷、またはスキャンするためのiOS、Android専用のアプリケーションです。同じ無線LAN内にあるプリンターに写真や文書、ウェブサイトなどを直接印刷できます。
- スキャン to クラウド機能（スキャンしてクラウドへ）
プリンターのパネル操作でスキャンしたデータを別のプリンターに送信して印刷できます。また、スキャンしたデータを対応するクラウドサービスにアップロードして共有ができます。

ネットワークサービスとソフトウェアのご案内

- リモートプリントドライバー

リモートプリントドライバー対応の共有ドライバーです。いつものアプリケーションの印刷画面からプリンターを切り替えるだけで、離れたプリンターに印刷できます。

詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

困ったときは

プリンターの状態を確認する

プリンター画面のメッセージを確認する

プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。

メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。 エラーコード：XXXXXX	プリンター内部や用紙カセットに用紙や保護材が入っていたら取り除いてください。電源を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、エプソンの修理窓口にご連絡ください。
ダイヤルトーンが検出できません。	〔セットアップ〕 - 〔システム管理設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕 - 〔接続回線〕の順に選択して、〔構内交換機(PBX)〕を選択すると問題が解決することがあります。外線発信番号が必要な環境では、〔構内交換機(PBX)〕を選択した後に、外線発信番号を登録してください。登録後に外線の宛先にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに#（シャープ）を入力します。これにより通信がより確実になります。 それでも同じメッセージが表示される場合は、〔ダイヤルトーン検出〕を無効にしてください。ただし、ファクス番号の最初の番号が抜けるなど、間違った番号にダイヤルしてしまう可能性があります。
ファクスデータ量が上限に達したため、ファクス受信できませんでした。[i]を押して確認してください。	以下の理由で処理が済んでいない受信文書を処理してください。 - プリンターのエラーなどで印刷されていない プリンターのエラーを解除してください。エラーの内容と対処方法は、i ボタンを押して〔プリンター情報〕を選択すると確認できます。 - 保存先のコンピューターまたは外部メモリーに保存されていない 保存されていない受信文書は、i ボタンを押して〔ジョブモニター〕 - 〔通信ジョブリスト〕の順に選択すると確認できます。保存するには、保存先のコンピューターを起動するか、外部メモリーをプリンターに接続してください。
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	IPアドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値が分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
ルート証明書期限切れです。このサービスを利用するには、ルート証明書のアップデートが必要です。	Web Configを起動してルート証明書を更新してください。

メッセージ	対処方法
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. コンピューターとプリンターをUSB接続します（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません）。 2. エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

関連情報

- ➡ [「お問い合わせ先」 293ページ](#)
- ➡ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」 212ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」 213ページ](#)

プリンターの状態を確認する - Windows

1. プリンタードライバーの画面を表示させます。
2. [ユーティリティ] タブの [EPSON プリンターウィンドウ!3] をクリックします。

参考

- デスクトップのタスクバーに登録されているプリンターアイコンをダブルクリックしても、プリンターの状態を確認できます。プリンターアイコンが登録されていないときは、[ユーティリティ] タブの [通知の設定] をクリックして、[呼び出しアイコンをタスクバーに登録する] をチェックしてください。
- [EPSON プリンターウィンドウ!3] が無効になっているときは、[ユーティリティ] タブの [拡張設定] をクリックして [EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する] をチェックしてください。

関連情報

- ➡ [「プリンタードライバーの開き方」 73ページ](#)

ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する

実行したジョブに何らかのエラーが発生すると、ジョブ履歴にエラーコードが表示されます。エラーの内容は操作パネルの **i** ボタンを押して、[ジョブ履歴] を選択すると確認できます。エラーの状況と対処方法は以下の表をご覧ください。

コード	状況	対処方法
001	停電でプリンターの電源が切れたため、ジョブがキャンセルされました。	-
109	受信文書が削除されたため、再印刷できません。	-
110	両面印刷に対応していない用紙が設定されたため、片面で印刷しました。	両面で印刷したいときは、両面印刷対応の用紙をセットしてください。

困ったときは

コード	状況	対処方法
201	文書を送信または受信中にプリンターのメモリーが一杯になりました。	・ [ジョブ確認メニュー] の [ジョブモニター] で、印刷されていない受信文書を印刷してください。 ・ [ジョブ確認メニュー] の [ジョブストレージ] で、受信ボックスに保存されているデータを削除してください。 ・ 1件の宛先にモノクロで送信する場合は、ダイレクト送信を利用すると送信できます。 ・ 複数枚の原稿は分割して送信してください。
202	文書を送信または受信中に、相手のファクス機によって通信が切断されました。	しばらくしてから再送信するか、相手先に確認してください。
203	ダイヤルトーンが検出できません。	・ モジュラーケーブルが正しく接続され、回線が正しく動作することを確認してください。 ・ プリンターを構内交換機 (PBX) またはターミナルアダプターに接続しているときは、[接続回線] 設定を [構内交換機 (PBX)] に変更してください。 ・ [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤルトーン検出] の順に選択して、ダイヤルトーン検出を無効にしてください。
204	相手のファクス機が話し中です。	・ しばらくしてから再送信してください。 ・ 送信先のファクス番号を確認してください。 それでも送信できない場合は、[セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤル種別] を選択して、ダイヤル種別を変更してください。
205	相手のファクス機が応答しません。	しばらくしてから再送信してください。
206	モジュラーケーブルがLINEポートとEXT.ポートに正しく接続されていません。	プリンターのLINEポートとEXT.ポートの接続を確認してください。
207	プリンターが電話回線に接続されていません。	モジュラーケーブルを電話回線に接続してください。
208	複数の宛先の内、いくつかの宛先に文書を送信できませんでした。	ファクスモードの [レポート印刷] で [通信管理レポート] か、直前のジョブの場合は [通信結果レポート] を印刷して送信できなかった宛先を確認してください。 [送信失敗文書保存] 設定を有効にしていると、[ジョブ確認メニュー] の [ジョブモニター] から再送信できます。
301	外部メモリーの容量が不足しています。	・ 外部メモリーの容量を増やしてください。 ・ 原稿の枚数を減らしてください。 ・ スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
302	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
303	スキャンした画像を保存するために必要なフォルダーが外部メモリーに作成できません。	他の外部メモリーを挿入してください。

困ったときは

コード	状況	対処方法
304	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
305	スキャンした画像の保存中に何らかのエラーが発生しました。	コンピューターから外部メモリーにアクセスしているときは、しばらく待ってから再度実行してください。
306	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
311	DNSエラーが発生しました。	・ [セットアップ] - [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] - [DNSサーバー] の順に選択して、DNS設定を確認してください。 ・ サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
312	認証エラーが発生しました。	[セットアップ] - [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] の順に選択して、サーバー設定を確認してください。
313	通信エラーが発生しました。	・ プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 ・ [セットアップ] - [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] - [メールサーバー] の順に選択します。[サーバー設定] で設定内容が正しいか確認してください。 ・ 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。[オフ] を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。 ・ メールサーバーの [コネクションテスト] を実行して、エラー内容を確認してください。エラーの詳細は『システム管理者ガイド』をご覧ください。
314	スキャンした画像のサイズが、メールに添付できるサイズを超えています。	・ スキャン設定の [添付最大ファイルサイズ] を大きくしてください。 ・ スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
315	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了してから再度実行してください。
321	DNSエラーが発生しました。	・ [セットアップ] - [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] - [DNSサーバー] の順に選択して、DNS設定を確認してください。 ・ サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
322	認証エラーが発生しました。	[保存先] の設定を確認してください。

困ったときは

コード	状況	対処方法
323	通信エラーが発生しました。	- プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 〔保存先〕の設定が正しいか確認してください。指定した保存先（共有フォルダー）にアクセスできるか、コンピューターから確認してください。 - ファイアウォールなどで通信がブロックされていないか確認してください。
324	保存先フォルダーに同じ名前のファイルが存在していません。	- 保存先フォルダーにある同じ名前のファイルを削除してください。 〔ファイル設定〕でファイルヘッダーを別の文字に変更してください。
325	保存先フォルダーの容量が不足しています。	- 保存先フォルダーの容量を増やしてください。 - 原稿の枚数を減らしてください。 - スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
327	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
328	保存先フォルダーが見つかりません。	〔保存先〕の設定を確認してください。
331	宛先リストを取得中に通信エラーが発生しました。	- プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 - Epson Connectへの登録が済んでいるか、〔スキャン宛先リスト〕が作成されているか確認してください。詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。 https://www.epsonconnect.com/
332	スキャンした画像のサイズが、サーバーに送信できるサイズを超えています。	原稿の枚数を減らしてください。
333	選択した宛先の情報がサーバー上で変更されたため、宛先が見つかりません。	宛先を選択し直してください。
334	スキャンした画像の送信中に何らかのエラーが発生しました。	-
341	通信エラーが発生しました。	- プリンターとコンピューターの接続を確認してください。ネットワークで接続しているときは、プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 - Epson Event Managerがインストールされているか確認してください。
401	外部メモリーの容量が不足しています。	外部メモリーの容量を増やしてください。
402	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
404	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。

困ったときは

コード	状況	対処方法
405	受信文書保存中に書き込みエラーが発生しました。	- 外部メモリーを再度挿入してください。 【保存専用フォルダーの作成】でフォルダーを作成した、別の外部メモリーを挿入してください。
411	DNSエラーが発生しました。	【セットアップ】 - 【システム管理設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【ネットワーク詳細設定】 - 【DNSサーバー】の順に選択して、DNS設定を確認してください。 - サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
412	認証エラーが発生しました。	【セットアップ】 - 【システム管理設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【ネットワーク詳細設定】 - 【メールサーバー】 - 【サーバー設定】の順に選択して、サーバー設定を確認してください。
413	受信文書を転送中にエラーが発生しました。	- プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 【セットアップ】 - 【システム管理設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【ネットワーク詳細設定】 - 【メールサーバー】の順に選択します。【サーバー設定】で設定内容が正しいか確認してください。 - 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。【オフ】を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。 - メールサーバーの【コネクションテスト】を実行して、エラー内容を確認してください。エラーの詳細は『システム管理者ガイド』をご覧ください。
421	DNSエラーが発生しました。	【セットアップ】 - 【システム管理設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【ネットワーク詳細設定】 - 【DNSサーバー】の順に選択して、DNS設定を確認してください。 - サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
422	認証エラーが発生しました。	【セットアップ】 - 【システム管理設定】 - 【ファクス設定】 - 【出力設定】 - 【受信ファクスの処理】 - 【その他の設定】の順に選択して、【転送先】で指定されているフォルダーの設定を確認してください。

コード	状況	対処方法
423	通信エラーが発生しました。または、同じ名前のファイルが開かれているか、読み取り専用になっている可能性があります。	- プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 〔セットアップ〕 - 〔システム管理設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔出力設定〕 - 〔受信ファクスの処理〕 - 〔その他の設定〕の順に選択して、〔転送先〕で指定されているフォルダーの設定を確認してください。 - 同名のファイルを閉じるか、読み取り専用を解除してください。 - 指定した保存先（共有フォルダー）にアクセスできるか、コンピューターから確認してください。 - ファイアウォールなどで通信がブロックされていないか確認してください。
425	転送先フォルダーの容量が不足しています。	転送先フォルダーの容量を増やしてください。
428	転送先フォルダーが見つかりません。	〔セットアップ〕 - 〔システム管理設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔出力設定〕 - 〔受信ファクスの処理〕 - 〔その他の設定〕の順に選択して、〔転送先〕で指定されているフォルダーの設定を確認してください。

関連情報

- ➡ [「電話回線に接続する」 151ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク設定」 66ページ](#)
- ➡ [「ネットワークサービスを使って印刷する」 215ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定メニューの説明」 183ページ](#)
- ➡ [「対応用紙とセット可能枚数」 39ページ](#)
- ➡ [「操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない」 255ページ](#)

プリンターの状態を確認する - Mac OS

-  メニューの〔システム環境設定〕 - 〔プリンタとスキャナ〕（または〔プリントとスキャン〕、〔プリントとファクス〕）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
- 〔オプションとサプライ〕 - 〔ユーティリティ〕 - 〔プリンタユーティリティを開く〕の順にクリックします。
- 〔EPSONプリンターウィンドウ〕をクリックします。
プリンターの状態、インク残量、エラーの状況を確認できます。

ソフトウェアの状態を確認する

ソフトウェアを最新のバージョンに更新すると、問題が解決することがあります。ソフトウェアの状態を確認するには、ソフトウェア更新ツールを使用してください。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」 212ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」 213ページ](#)

詰まった用紙を取り除く

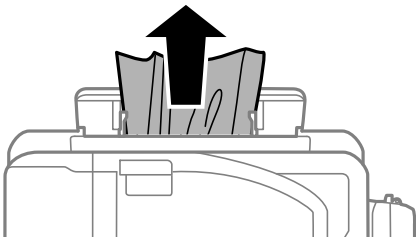
操作パネルのエラー表示を確認し、用紙が詰まっている（ちぎれた紙片が残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。その後、エラーを解除してください。

！重要

- 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張るとプリンターが故障することがあります。
- 用紙を取り除くときに、プリンターを傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。

手差し給紙から詰まった用紙を取り除く

詰まっている用紙を取り除きます。



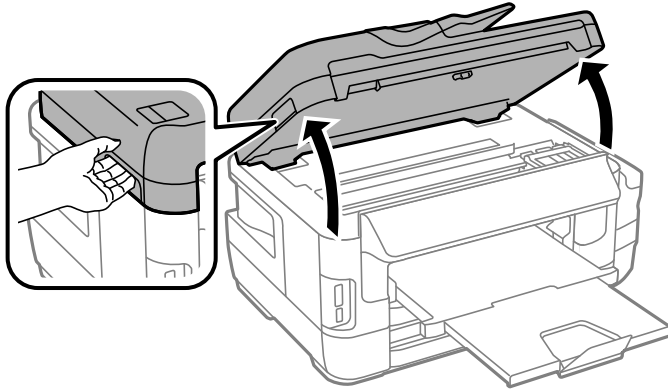
プリンター内部から詰まった用紙を取り除く

⚠ 注意

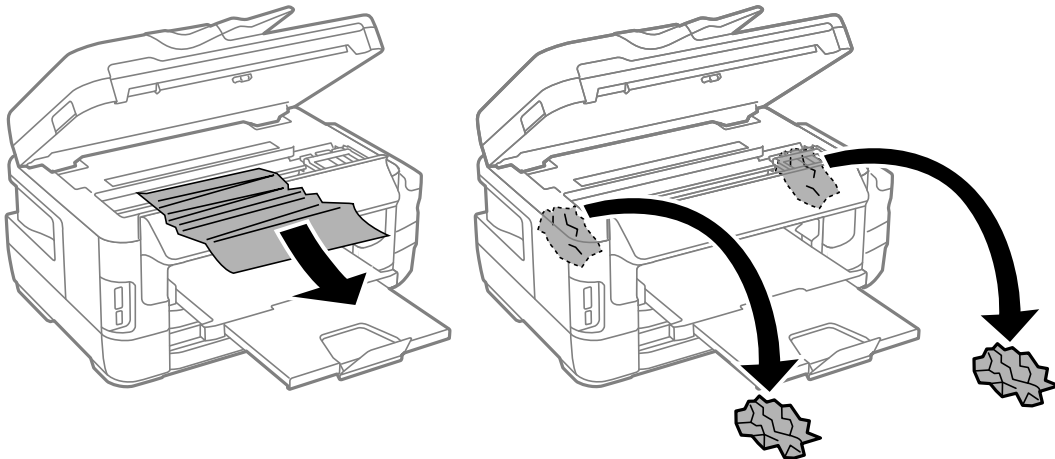
- スキャナーユニットを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- 内部に手を入れるときは、操作パネルのボタンには触らないでください。プリンターが動作してけがをするおそれがあります。また、突起などでけがをしないように注意してください。

困ったときは

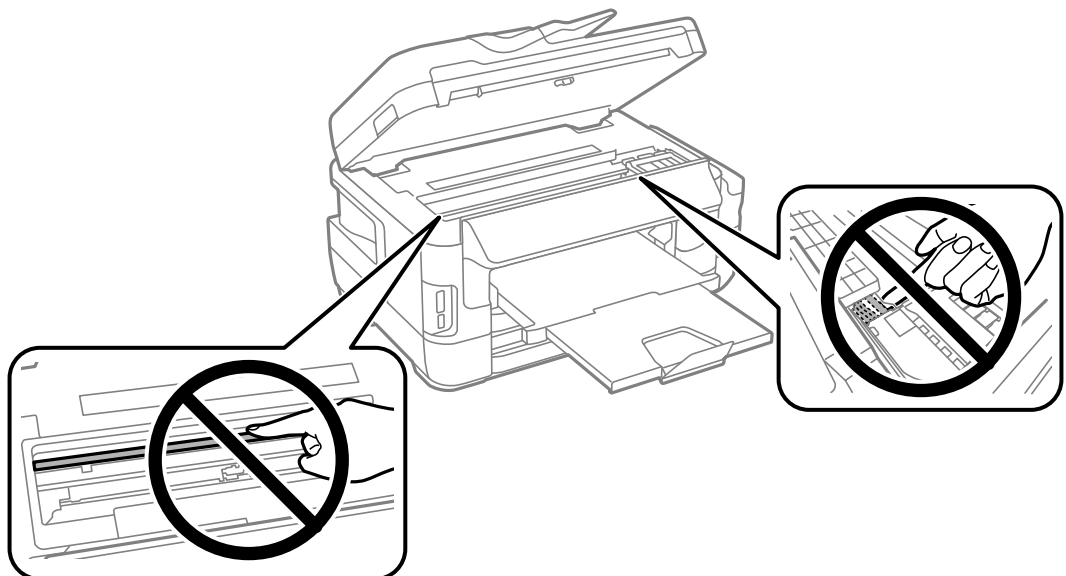
1. 原稿カバーを閉めた状態で、スキャナーユニットを開けます。



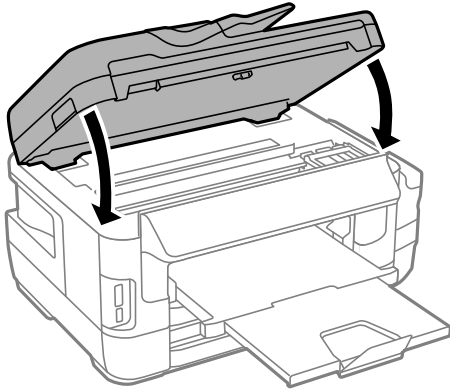
2. 詰まっている用紙を取り除きます。



！重要 プリンター内部のケーブル（白色）や半透明部品、インクチューブには触らないでください。動作不良の原因となるおそれがあります。



3. スキャナーユニットを閉めます。

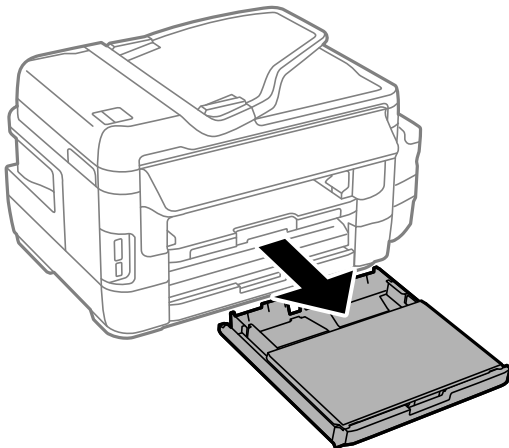


紙片が内部に残ってしまったときは、エラー解除後に操作パネルの以下のメニューで「紙片取り除き」を選択してください。紙片が取り除きやすくなります。

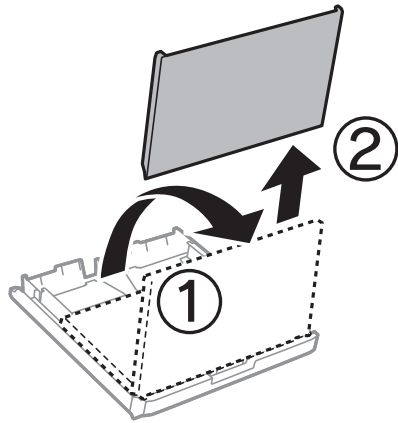
【セットアップ】 - 【メンテナンス】 - 【紙片取り除き】

用紙カセットから詰まった用紙を取り除く

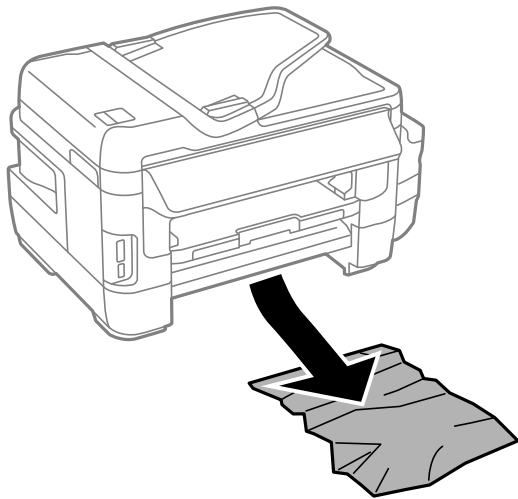
1. 排紙トレイを収納します。
2. 用紙カセットを引き抜きます。



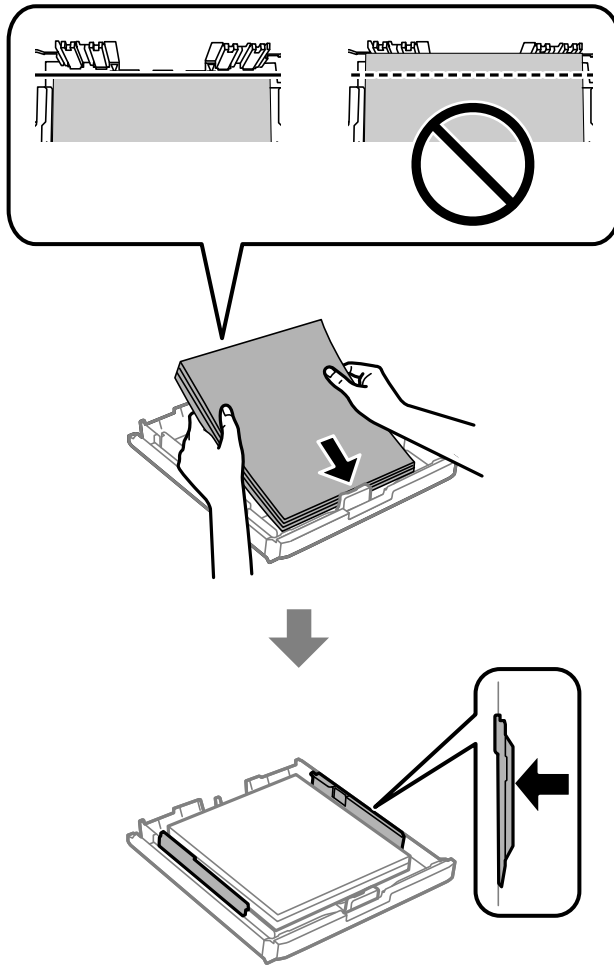
3. 用紙カセットカバーを取り外します。



4. 用紙カセットから詰まっている用紙を取り除きます。
5. プリンター内部から詰まっている用紙を取り除きます。



6. 用紙の端をそろえて、用紙ガイドを合わせます。



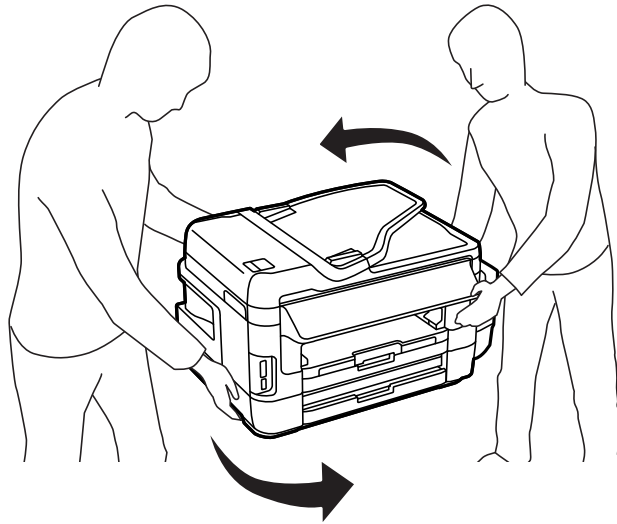
7. 用紙カセットカバーを取り付けます。
8. 用紙カセットをプリンターにセットします。

背面カバーと背面ユニットから詰まった用紙を取り除く

1. プリンターの向きを変えます。

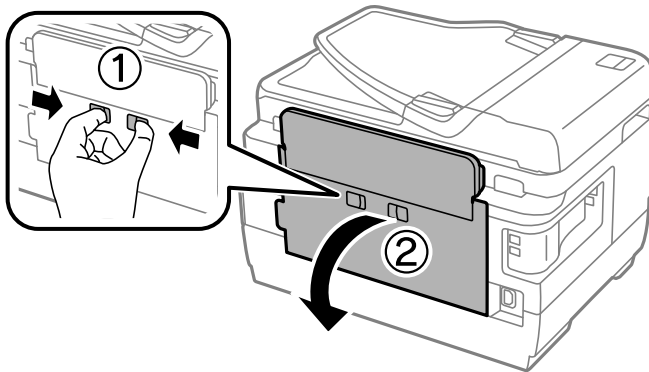
！重要

- プリンターを動かすときは2人以上で持ち上げてください。

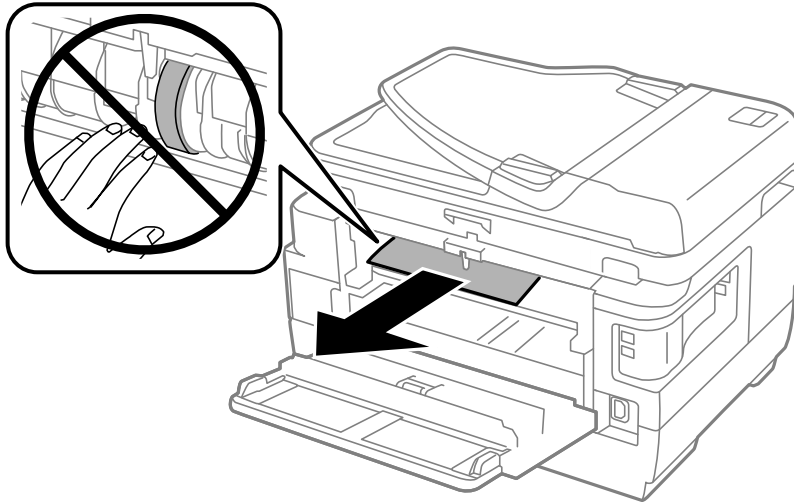


- プリンターを傾けないでください。インクが漏れるおそれがあります。

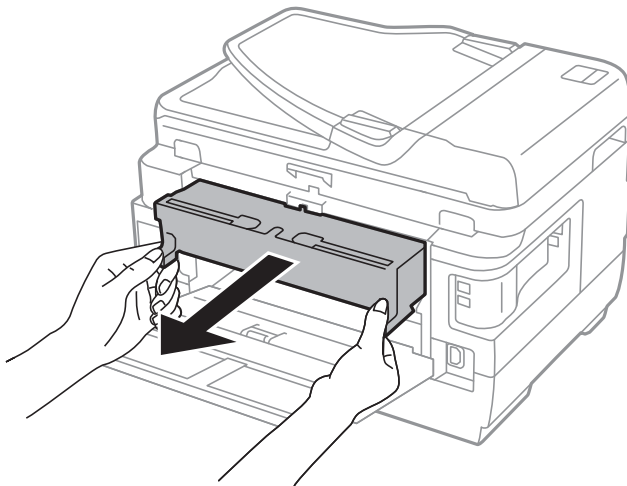
2. 背面カバーを開けます。



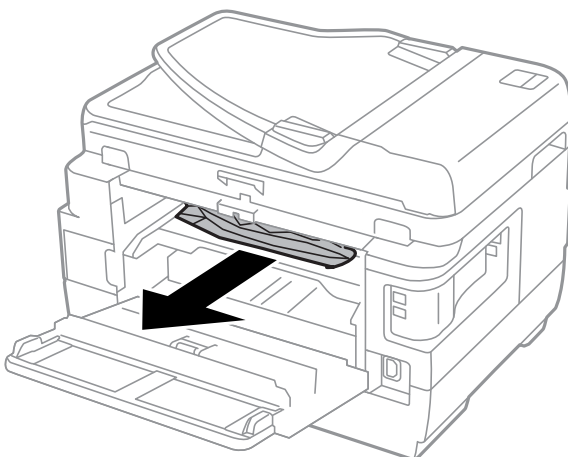
3. 詰まっている用紙を取り除きます。



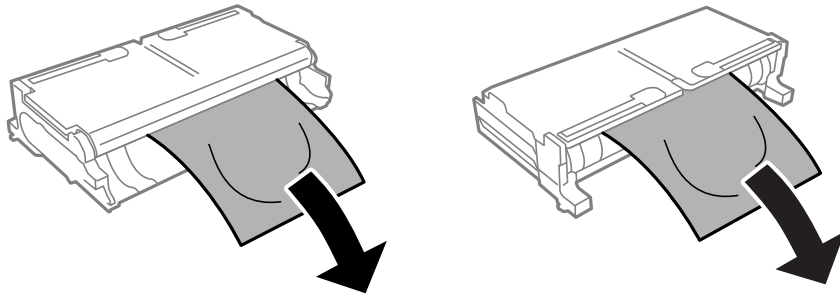
4. 背面ユニットを引き抜きます。



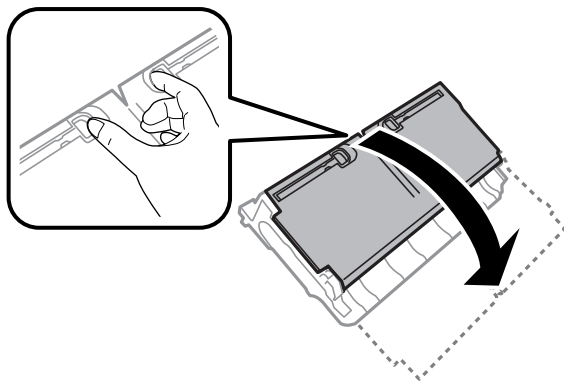
5. 詰まっている用紙を取り除きます。



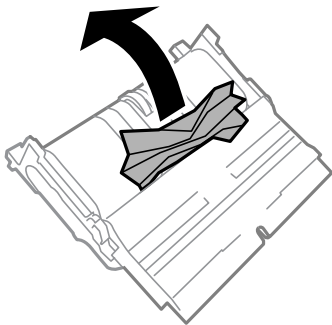
6. 背面ユニットから詰まっている用紙を取り除きます。



7. 背面ユニットを開けます。



8. 詰まっている用紙を取り除きます。



9. 背面ユニットを閉めます。

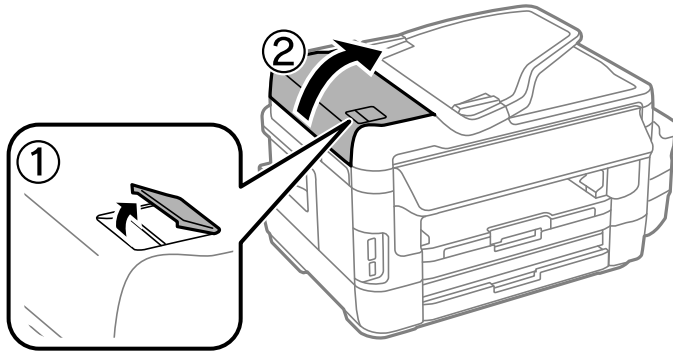
10. 背面ユニットをプリンターにセットします。

11. 背面カバーを閉めます。

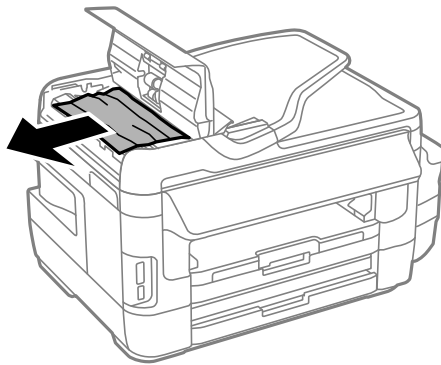
ADFから詰まった用紙を取り除く

△ 注意 原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

1. ADFカバーを開けます。

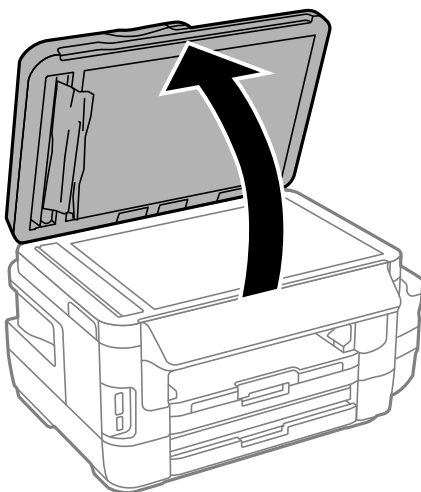


2. 詰まっている用紙を取り除きます。

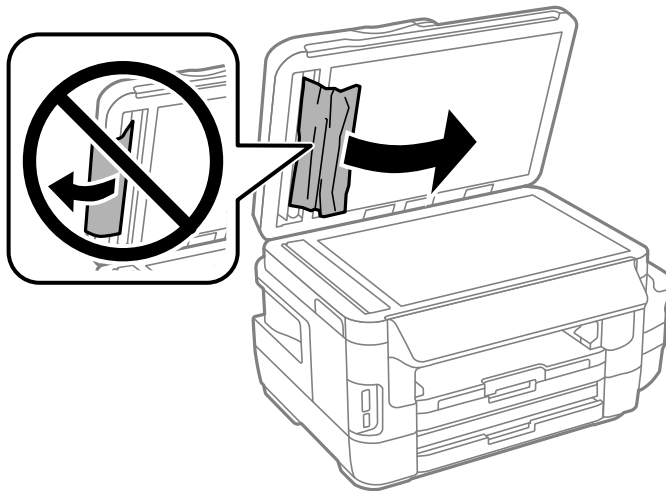


3. ADFカバーを閉めます。

4. 原稿カバーを開けます。

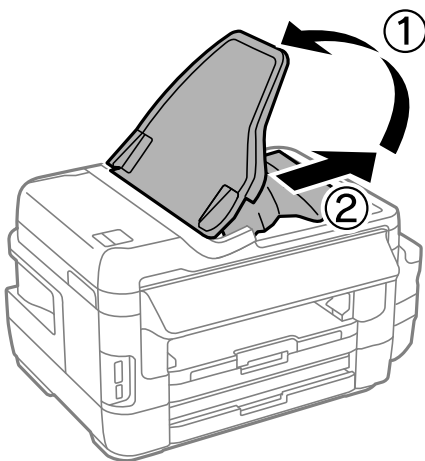


5. 詰まっている用紙を取り除きます。



6. 原稿カバーを閉めます。

7. ADF給紙トレイを上げて、詰まっている用紙を取り除きます。



正しく給紙ができない

以下を確認してから、現象に応じた対処方法をお試しください。

- プリンターを水平な場所に設置して、適切な環境で使用してください。
- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
- 印刷用紙取り扱い上のご注意に従ってください。
- プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。

関連情報

- ➔ [「動作時と保管時の環境仕様」 280ページ](#)
- ➔ [「印刷用紙取り扱い上のご注意」 42ページ](#)

- ➡ [「対応用紙とセット可能枚数」 39ページ](#)
- ➡ [「セットした用紙の種類を設定する」 51ページ](#)

印刷用紙が詰まる

印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

関連情報

- ➡ [「詰まった用紙を取り除く」 224ページ](#)
- ➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」 43ページ](#)
- ➡ [「手差し給紙に印刷用紙をセットする」 46ページ](#)

斜めに給紙される

印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

関連情報

- ➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」 43ページ](#)
- ➡ [「手差し給紙に印刷用紙をセットする」 46ページ](#)

重なって給紙される

手動両面印刷で用紙が重なって給紙されるときは、給紙装置内にセットしてある印刷用紙を取り除いてから、裏面をセットしてください。

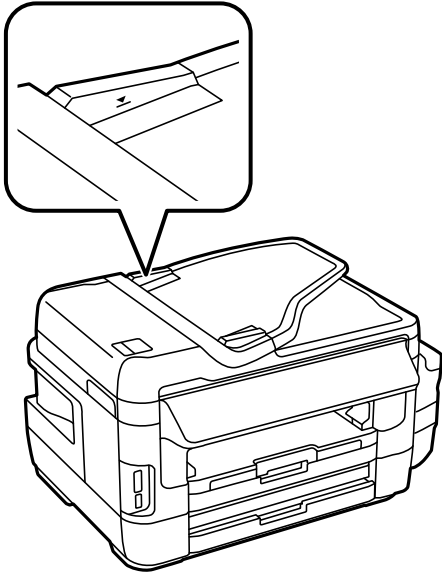
給紙ができない

印刷用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。普通紙は用紙ガイドの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。

ADFから給紙できない

- ADFに対応している原稿を使用してください。
- 原稿を正しい方向でセットして、原稿の側面にADF原稿ガイドを合わせてください。
- ADFの内部をクリーニングしてください。

- ADFの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。



- プリンターの画面にADFアイコンが表示されているか確認してください。表示されていないときは、原稿をセットし直してください。

関連情報

- ➡ [「ADFにセットできる原稿」 52ページ](#)
- ➡ [「ADFに原稿をセットする」 53ページ](#)
- ➡ [「ADFをクリーニングする」 202ページ](#)

電源、操作パネルのトラブル

電源が入らない

- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
- 電源ボタンを少し長めに押してください。

電源が切れない

電源ボタンを少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、その後に電源を入れ直して、電源ボタンで切ってください。

プリンターの画面が暗くなった

スリープモードになっています。画面を押すと元の明るさに戻ります。

コンピューターから印刷できない

接続状態をチェック（USB）

- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。
- USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。
- USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。
- USB接続で印刷できないときは、以下をお試しください。
USBケーブルを取り外します。コンピューターに表示されているプリンターのアイコンを右クリックして、[デバイスの削除]を選択します。その後、USBケーブルを接続して印刷してください。
コンピューターとの接続形態を再設定する手順に従ってUSB接続を再設定してください。詳細は以下の関連情報をご覧ください。



関連情報

➔ [「コンピューターとの接続形態の再設定」 36ページ](#)

接続状態をチェック（ネットワーク）

- アクセスポイントやプロバイダーを変更したときは、プリンターのネットワーク設定をやり直してください。コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。
- ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってからアクセスポイント、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器をアクセスポイントに近づけて、設定し直してください。
- ネットワーク接続診断レポートを印刷します。詳細は以下の関連情報をご覧ください。ネットワーク接続診断レポートの結果が不合格だった場合は、接続診断の内容を確認して対処方法をお試しください。

困ったときは

- プリンターに割り当てられているIPアドレスが169.254.XXX.XXX、サブネットマスクが255.255.0.0のときは、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。アクセスポイントを再起動するか、プリンターのネットワークを再設定してください。それでも解決しないときはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- コンピューターからWebサイトが閲覧できるか試してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。コンピューターのネットワーク接続をご確認ください。
- 上記の対処方法を試してもうまくいかない場合は、セキュリティソフトなどの影響が考えられます。エプソンのウェブサイトFAQをご覧ください。
<http://www.epson.jp/support/faq/>
製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「無線LAN 接続」などのキーワード入力で検索できます。

関連情報

- ➡ [「コンピューターとの接続」 21ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 30ページ](#)

ソフトウェアやデータをチェック

- エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認してください。インストールされていないと使用できる機能が限られるため、インストールすることをお勧めします。詳細は以下の関連情報をご覧ください。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとする、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。

関連情報

- ➡ [「エプソン純正プリンタードライバーを確認する」 237ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」 213ページ](#)

エプソン純正プリンタードライバーを確認する

エプソン純正プリンタードライバーがコンピューターにインストールされているか、以下の方法で確認できます。

Windows

［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンターの表示］（［プリンタ］、［プリンタとFAX］）を選択して、以下の方法でプリントサーバーのプロパティ画面を表示します。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2
プリンターアイコンをクリックして、画面上部の［プリントサーバープロパティ］をクリックします。
- Windows Vista/Windows Server 2008
［プリンタ］フォルダー上で右クリックして、［管理者として実行］ - ［サーバーのプロパティ］の順にクリックします。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］を選択します。

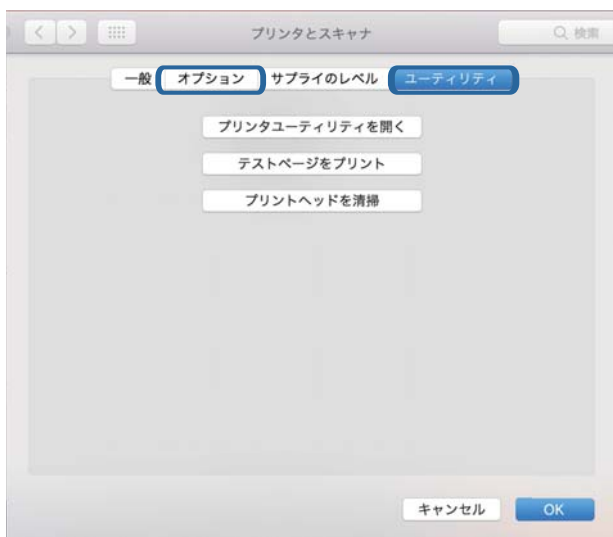
困ったときは

「ドライバー」タブをクリックします。お使いのプリンター名が一覧に表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。



Mac OS

メニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、［プリントとファクス］）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。「オプションとサプライ」をクリックして「オプション」タブと「ユーティリティ」タブが表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。



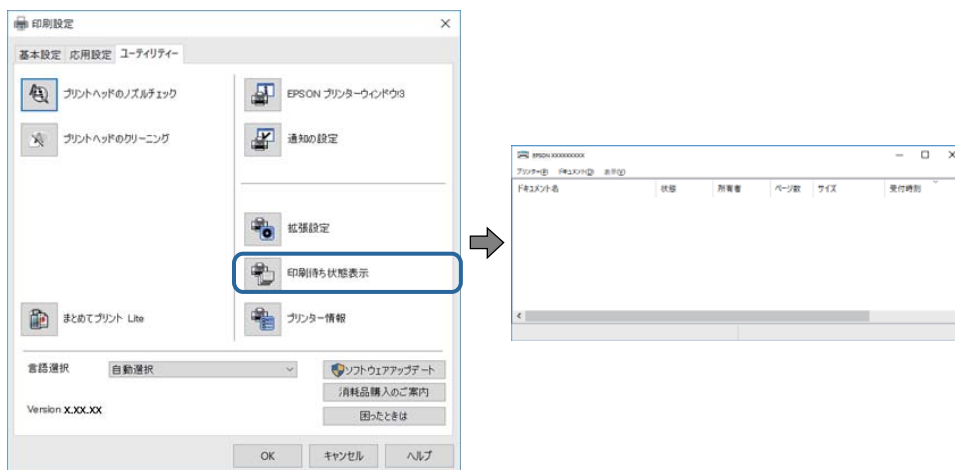
関連情報

➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」213ページ](#)

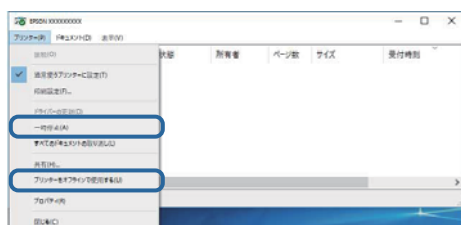
困ったときは

コンピューターでプリンターの状態をチェック (Windows)

プリンタードライバーで「ユーティリティ」タブの「印刷待ち状態表示」をクリックして以下を確認してください。



- 印刷待ちのジョブがないこと
不要な印刷データが残っている場合は、[プリンター] メニューで [すべてのドキュメントの取り消し] を選択してください。
- 一時停止やオフラインになっていないこと
一時停止またはオフラインになっているときは、[プリンター] メニューで一時停止またはオフラインのチェックを外してください。



- [プリンター] メニューでお使いのプリンターが通常使うプリンターに設定されている（チェックが付いている）ことと設定されていないときは、通常使うプリンターに設定してください。[コントロールパネル] - [デバイスとプリンター]（または[プリンタ]、[プリンタとFAX]）にアイコンが複数ある場合は、以下を参考にして選んでください。
例）
USB ケーブルで接続：EPSON XXXX Series
ネットワークで接続：EPSON XXXX Series（ネットワーク）
何度もプリンタードライバーをインストールするとプリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。「EPSON XXXX Series（コピー1）」などのコピーができてしまっている場合は、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックし、[デバイスの削除] をクリックしてください。
- [プリンター] メニューの[プロパティ] - [ポート] で、以下の正しいポートが選択されていること
USB接続：[USBXXX]、ネットワーク接続：[EpsonNet Print Port]

コンピューターでプリンターの状態をチェック（Mac OS）

プリンターのステータスが「一時停止」になっていないか確認してください。

メニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択し、お使いのプリンターをダブルクリックします。「一時停止」になっているときは、「再開」をクリックしてください。

ネットワークに接続できない

- ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってからアクセスポイント、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器をアクセスポイントに近づけて、設定し直してください。
- ホーム画面で  を押します。プリンターの操作パネルで「メニュー」 - 「ネットワーク設定」 - 「ネットワーク接続診断」の順に選択してネットワーク接続診断レポートを印刷します。エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を確認して、対処してください。

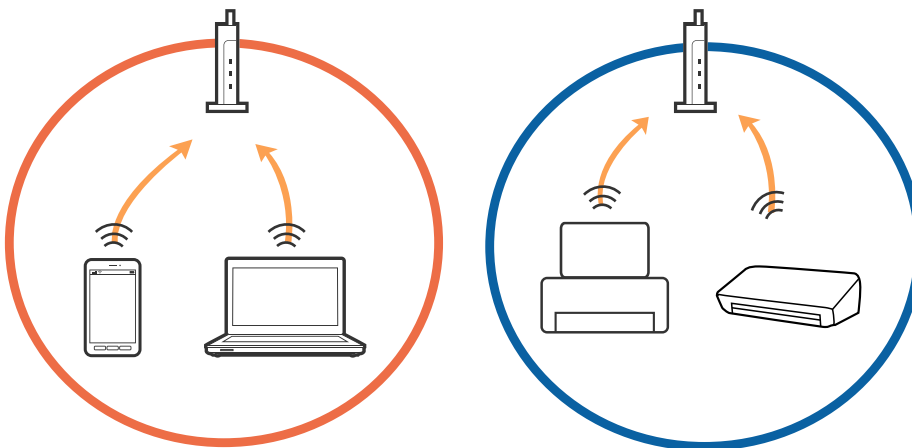
関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 30ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」 31ページ](#)

ネットワーク接続に問題がないのに機器から接続できない

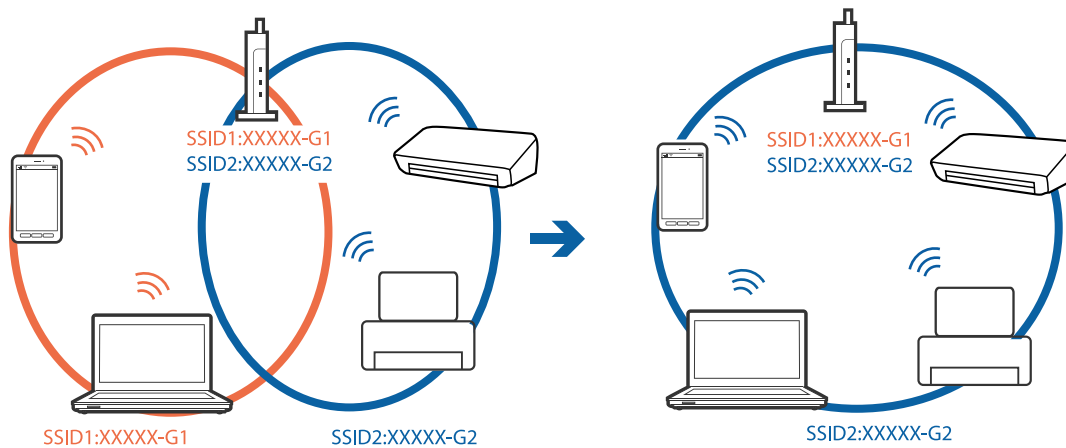
ネットワーク接続診断レポートでは問題がないのに、コンピューターやスマートデバイスから接続できない場合は以下を確認してください。

- 複数のアクセスポイントを使用している場合、アクセスポイント間によってはコンピューターやスマートデバイスからプリンターを利用できません。コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じアクセスポイントに接続してください。
スマートデバイスのテザリング機能が有効になっている場合は、無効に設定を変更してください。

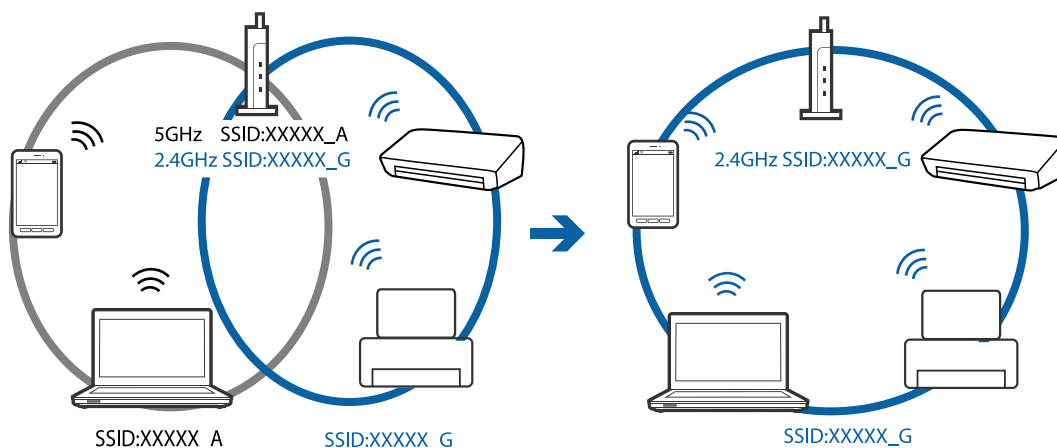


困ったときは

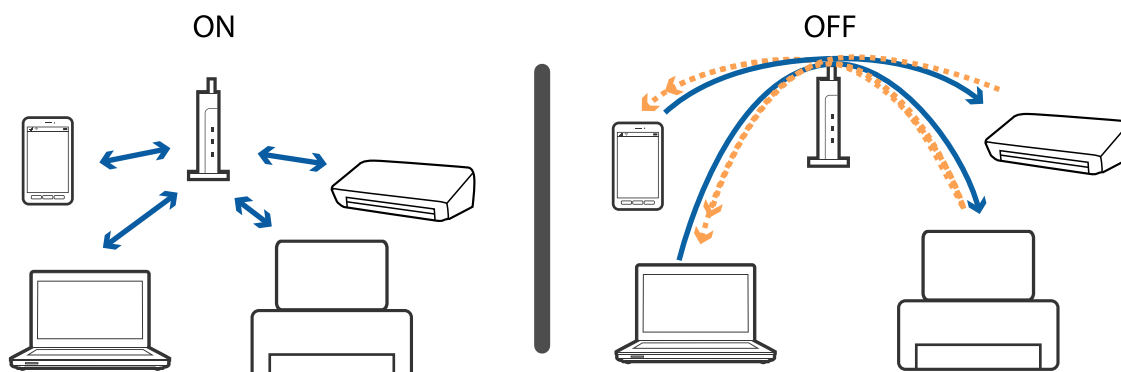
- 1台で複数のSSIDを使用できるアクセスポイントの場合、同じアクセスポイントに接続していても、SSIDが異なると接続できません。コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。



- IEEE802.11aとIEEE802.11gの両規格に準拠したアクセスポイントは、2.4GHz帯と5GHz帯それぞれのSSIDを持っています。プリンターは2.4GHz帯での通信のみ対応しているため、コンピューターやスマートデバイスを5GHz帯のSSIDに接続していると、プリンターと通信できないことがあります。コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。



- 多くのアクセスポイントやモバイルルーターには、機器間の通信を遮断するプライバシーセパレーター機能があります。同じSSIDに接続されていてもプリンターとコンピューターまたはスマートデバイス間で通信できない場合は、アクセスポイントのプライバシーセパレーター機能を無効にしてください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



関連情報

- ➡ 「プリンターが接続している SSID の確認方法」 242ページ
- ➡ 「コンピューターが接続しているSSIDの確認方法」 242ページ

プリンターが接続している SSID の確認方法

ホーム画面で  を押します。[メニュー] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報確認] の順に選択します。Wi-FiのSSIDが表示されます。

コンピューターが接続しているSSIDの確認方法

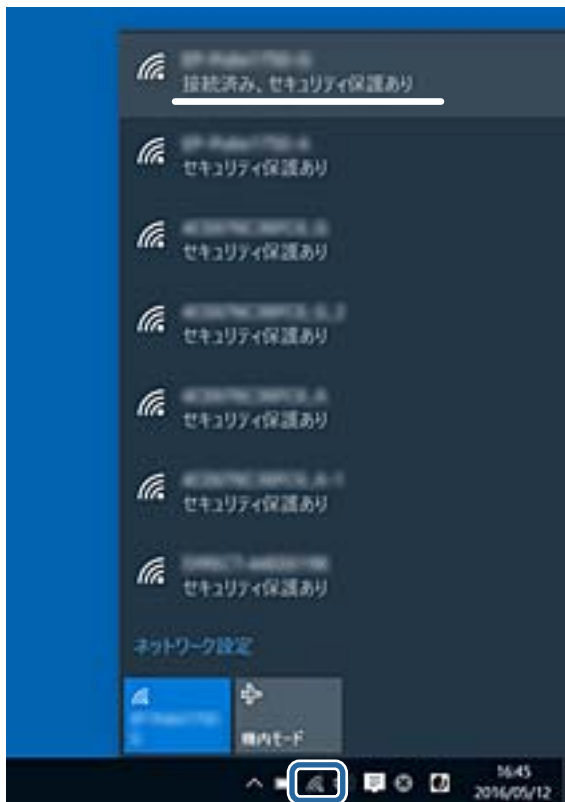
各OSでSSIDやパスワードを調べる方法は、エプソンのウェブサイトでFAQをご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/faq/>

製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「無線LANのSSID」などのキーワード入力で検索できます。

Windows

デスクトップのタスクトレイ上の  をクリックします。ネットワーク一覧が表示されるので、接続済みのSSIDを確認します。



Mac OS

コンピューター画面上部にあるWi-Fiアイコンをクリックします。SSIDのリストが表示されるので、チェックマークが付いた（接続済み）SSIDを確認します。



印刷結果のトラブル

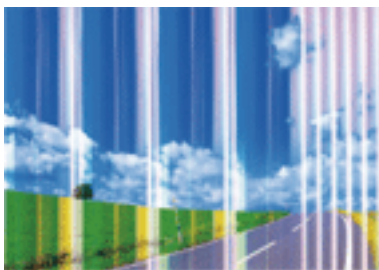
印刷結果がかすれる、出ない色がある

長期間プリンターを使用していないと、プリントヘッドのノズルが目詰まりしてインクが出ないことがあります。ノズルチェックして、目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。

関連情報

➡ [「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」198ページ](#)

印刷結果にスジ（線）が入る、色合いがおかしい



プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックをすると目詰まりしているかどうかわかります。目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。

関連情報

➡ [「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」198ページ](#)

約2.5cm間隔で色の付いたスジが入る



- 用紙種類の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。
- 「横スジの改善」でプリントヘッドの位置を調整してください。
- 普通紙に印刷しているときは、きれいモードで印刷してください。

関連情報

- ➡ [「セットした用紙の種類を設定する」51ページ](#)
- ➡ [「プリントヘッドの位置を調整する」201ページ](#)

印刷結果がぼやける、文字や罫線がガタガタになる



enthalten alle
Aufdruck. W
↓ 5008 "Regel

「印刷のぼやけ改善」でプリントヘッドの位置を調整してください。

関連情報

- ➡ [「プリントヘッドの位置を調整する」201ページ](#)

印刷のズレを調整しても印刷品質が改善されない

双方向印刷はプリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するため、印刷位置が左右で異なると罫線がずれたりぼやけたりすることがあります。印刷品質が悪いときは、双方向印刷設定を無効にしてください。ただし、この設定を無効にすると、印刷速度が遅くなります。

- 操作パネル
印刷設定の「双方向印刷」を無効にします。

困ったときは

- Windows
プリンタードライバーの「応用設定」タブで「双方向印刷」のチェックを外します。
- Mac OS
メニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。「オプションとサプライ」 - 「オプション」（または「ドライバ」）の順にクリックします。「双方向印刷」で「オフ」を選択します。

関連情報

➡ [「外部メモリーから印刷時のメニューの説明」110ページ](#)

印刷品質が悪い

印刷結果がかすれる、スジや線が入る、色合いがおかしい、ぼやける、文字や罫線がガタガタになるなど、印刷品質が悪いときは以下を確認してください。

プリンターをチェック

- インクの初期充填が完了していることを確認してください。
- ノズルチェックして、目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。
- プリントヘッドの位置を調整してください。

用紙をチェック

- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
- 用紙種類の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。
- 湿ったり、傷んだり、古過ぎたりする用紙に印刷しないでください。
- 印刷用紙が反っていたり、封筒が膨らんでいたりするときは、平らにしてください。
- 印刷後すぐに用紙を重ねないでください。
- 十分に乾かしてから保管、展示してください。乾かすときは、直射日光に当てたり、ドライヤーを使ったり、印刷した面を触ったりしないでください。
- 写真などの印刷は、普通紙ではなくエプソン製専用紙（純正品）に印刷することをお勧めします。エプソン製専用紙のおもて面に印刷してください。

印刷設定をチェック

- 印刷設定で印刷品質を上げて印刷してください。

インクボトルをチェック

- 本製品用のインクボトルを使用してください。
- インクボトルは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- インクボトルは純正品のご使用をお勧めします。本製品は純正インクボトルを前提に色調整されているため、純正品以外を使用すると印刷品質が低下することがあります。

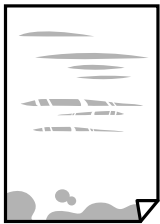
関連情報

➡ [「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」198ページ](#)

- ➡ 「プリントヘッドの位置を調整する」 201ページ
- ➡ 「対应用紙とセット可能枚数」 39ページ
- ➡ 「セットした用紙の種類を設定する」 51ページ
- ➡ 「印刷用紙取り扱い上のご注意」 42ページ

印刷用紙が汚れる、こすれる

- 横方向にスジが入ったり、印刷用紙の上下が汚れたりするときは、用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。



- 縦方向にスジが入ったり、印刷用紙が汚れたりするときは、給紙経路をクリーニングしてください。



- 平らな場所に用紙を置いて、反りがあれば平らにしてください。
- 厚紙に印刷してこすれるときは、こすれ軽減機能を有効にしてください。ただし、印刷品質や印刷速度が低下することがあります。
 - 操作パネル
ホーム画面で [セットアップ] - [メンテナンス] の順に選択して、[こすれ軽減] を有効にします。
 - Windows
プリンタードライバーの [ユーティリティ] タブで [拡張設定] をクリックして、[印刷こすれを軽減する] をチェックします。
[印刷こすれを軽減する] をチェックしても印刷用紙がこすれるときは、プリンタードライバーの [拡張設定] 画面で [再生紙の印刷こすれを軽減する] をチェックしてください。
 - Mac OS
 メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション]（または [ドライバ]）の順にクリックします。[こすれ軽減] で [オン] を選択します。
- 手動で両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。
- ハガキの両面に印刷するときは、宛名面を先に印刷してください。

関連情報

- ➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」 43ページ](#)
- ➡ [「手差し給紙に印刷用紙をセットする」 46ページ](#)
- ➡ [「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」 202ページ](#)

自動両面印刷すると印刷用紙が汚れる

画像やグラフなど高密度のデータを自動両面印刷するときは、印刷濃度を薄く、乾燥待ち時間を長く設定してください。

関連情報

- ➡ [「給紙の設定メニューの説明」 62ページ](#)

写真印刷するとインクがベタベタする

写真用紙の裏面に印刷した可能性があります。用紙のセット向きを確認し、おもて面に印刷し直してください。
裏面に印刷した場合は、給紙経路をクリーニングしてください。

関連情報

- ➡ [「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」 202ページ](#)

画像や写真が意図しない色合いになる

操作パネルの購入時の設定、またはWindowsプリンタードライバーの初期設定では、用紙種類によってはエプソンの自動画質補正が有効になっています。設定を変更してから印刷してみてください。

- 操作パネル
[補正モード] で [標準(自動)] 以外を選択します。効果がない場合は、[自動画質補正] で [オートフォトファイン! EX] 以外を選択してください。
- Windowsプリンタードライバー
[基本設定] タブの [色補正] で [ユーザー設定] を選択して [設定] をクリックします。[補正モード] で [標準(自動)] 以外を選択します。効果がない場合は、[カラー調整] で [オートフォトファイン! EX] 以外の補正方法を選択してください。

関連情報

- ➡ [「外部メモリーから印刷時のメニューの説明」 110ページ](#)
- ➡ [「色補正をして印刷する」 88ページ](#)

印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない

- 印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

困ったときは

- 原稿台からコピーするときは、原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。コピー結果の端が切れたときは、原稿を原点マークから少し離してセットしてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。ゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくずれたり画像が小さくなったりします。
- コピー設定の「[原稿サイズ]」を正しく設定してください。直射日光の当たる場所や光源のそばにプリンターが置かれていると、原稿を正しく読み取れないことがあります。
- 印刷用紙のサイズを正しく設定してください。
- アプリケーションソフトの余白設定を印刷領域内にしてください。

関連情報

- ➡ [「用紙カセットに印刷用紙をセットする」43ページ](#)
- ➡ [「手差し給紙に印刷用紙をセットする」46ページ](#)
- ➡ [「原稿台に原稿をセットする」55ページ](#)
- ➡ [「原稿台をクリーニングする」204ページ](#)
- ➡ [「印刷領域」272ページ](#)

文字が正しく印刷されない、文字化けする

- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。
- 待機中のジョブを削除してください。
- 印刷中はコンピューターを手動で「[休止状態]」または「[スリープ]」にしないでください。次回コンピューター起動時に、文字化けしたデータが印刷されることがあります。

画像が反転する

プリンタードライバーやアプリケーションソフトで、左右反転設定を解除してください。

- Windows
プリンタードライバーの「[応用設定]」タブで「[左右反転]」のチェックを外します。
- Mac OS
プリント画面の「[印刷設定]」メニューで「[左右反転]」のチェックを外します。

モザイクがかかったように印刷される

画像や写真は、解像度の高いデータで印刷してください。Webページの画像は解像度の低いことが多く、ディスプレイ上できれいに見えても、印刷すると期待した印刷品質が得られないことがあります。

コピー結果にムラやシミ、斑点、線が出る

- 通紙（給排紙）をして、給紙経路をクリーニングしてください。

- 原稿台をクリーニングしてください。
- ADFをクリーニングしてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿や原稿カバーを強く押さえ付けないでください。
- 印刷用紙が汚れるときは、コピー濃度を下げてください。

関連情報

- ➡ [「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」202ページ](#)
- ➡ [「原稿台をクリーニングする」204ページ](#)
- ➡ [「ADFをクリーニングする」202ページ](#)
- ➡ [「コピー時のメニューの説明」116ページ](#)

コピー結果にモアレ（網目状の陰影）が出る

拡大縮小の設定を変えるか、原稿の角度を少し変えてセットしてください。

関連情報

- ➡ [「コピー時のメニューの説明」116ページ](#)

コピーすると裏写りする

- 薄手の原稿は、原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて原稿台にセットしてください。
- 操作パネルでコピー濃度を薄くしてください。

関連情報

- ➡ [「コピー時のメニューの説明」116ページ](#)

電源を入れ直すと両面コピーになる

「Ecoモード」が「オン」になっていると、両面コピーが初期設定になり、コピー画面の初期値より優先されます。片面コピーを初期設定にするには、プリンターの操作パネルで「Ecoモード」を選択して、「個別設定」の「両面印刷設定（コピー）」を「オフ」にしてください。

印刷結果のトラブルが解決しない

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」214ページ](#)

➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」213ページ](#)

印刷時のその他のトラブル

印刷速度が遅い

- 不要なアプリケーションソフトを終了してください。
- 印刷品質を下げて印刷してください。印刷品質が高いと印刷速度が遅くなります。
- 双方向印刷設定を有効にしてください。双方向印刷はプリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するため、印刷速度が速くなります。
 - 操作パネル
JPEGまたはTIFF印刷時に、[設定] を押して、[双方向印刷] を有効にします。
 - Windows
プリンタードライバーの [応用設定] タブで [双方向印刷] をチェックします。
 - Mac OS
 メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション]（または [ドライバ]）の順にクリックします。[双方向印刷] で [オン] を選択します。
- [動作音低減モード] を無効にしてください。
 - Windows
プリンタードライバーの [基本設定] タブで [動作音低減モード] を [オフ] にします。
 - Mac OS
 メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション]（または [ドライバ]）の順にクリックします。[動作音低減モード] で [オフ] を選択します。

連続印刷中に印刷速度が極端に遅くなった

高温によるプリンター内部の損傷を防ぐための機能が働いていますが、印刷は継続できます。印刷速度を回復させるには、電源を入れたまま印刷しない状態で30分以上放置してください。電源を切って放置しても回復しません。

Mac OS X v10.6.8から印刷を中止できない

コンピューターから印刷を中止できるようにしたいときは、以下に従ってください。

Web Configを起動して [AirPrint設定] で [最優先プロトコル] を [Port9100] にします。その後、 メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを削除してから、再度同じプリンターを追加します。

スキャンできない

- 利用者制限されているプリンターでは、スキャン時にユーザー名とパスワードが要求されます。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
- Mac OSの場合、プリンターが利用者制限されているときはスキャンできないことがあります。管理者に問い合わせてください。
- ADFからのスキャン時は、原稿カバーやADFカバーが閉まっているか確認してください。
- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。
- ネットワーク接続しているときに高解像度でスキャンすると、通信エラーが発生することがあります。解像度を下げてスキャンしてください。
- Epson Scan 2で選択しているスキャナーが正しいことを確認してください。

プリンターがコンピューターに認識されているか確認する (Windows)

Windowsの場合、[スキャナーとカメラ] でお使いのプリンター（スキャナー）が表示されていることを確認してください。プリンター（スキャナー）は「EPSON XXXXX（プリンター名）」と表示されます。表示されないときは、Epson Scan 2をアンインストールして、再インストールしてください。[スキャナーとカメラ] を表示させる手順は以下です。

- Windows 10
スタートボタンを右クリックまたは長押しし、[コントロールパネル] を選択して、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。[スキャナーとカメラの表示] をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順にクリックして、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。[スキャナーとカメラの表示] をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] を選択して、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。[スキャナーとカメラの表示] をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [スキャナとカメラ] の順に選択して、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [スキャナとカメラ] の順に選択して、プリンターが表示されているか確認します。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」214ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」213ページ](#)

スキャン品質のトラブル

原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが現れる

- 原稿台をクリーニングしてください。
- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。
- 原稿や原稿カバーを強く押さえ付けしないでください。強く押さえ付けると、ムラ、シミ、斑点が出る場合があります。

関連情報

➡ [「原稿台をクリーニングする」204ページ](#)

ADFからスキャンするとき直線が現れる

- ADFをクリーニングしてください。
ADFに付いているゴミや汚れが原因で、画像に直線が出る場合があります。
- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。

関連情報

➡ [「ADFをクリーニングする」202ページ](#)

画質が粗い

- Epson Scan 2の〔拡張設定〕タブで、画像を補正してからスキャンしてください。
- 解像度を低く設定しているときは、解像度を上げてスキャンしてください。

関連情報

➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」146ページ](#)

原稿の裏面が写る

原稿の裏面の画像も読み取られ、スキャンした画像に写ることがあります。

- Epson Scan 2で〔拡張設定〕タブを選択し、〔明るさ〕を調整します。
〔基本設定〕タブでの〔イメージタイプ〕の設定、または〔拡張設定〕タブでの設定内容によっては、この機能は設定できません。
- Epson Scan 2で、〔拡張設定〕タブの〔イメージオプション〕で〔文字くっきり〕を選択してください。
- 原稿台からスキャンするときは、原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねてセットしてください。

関連情報

- ➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」 146ページ](#)
- ➡ [「原稿をセットする」 52ページ](#)

文字がぼやける

- Epson Scan 2で、[拡張設定] タブの [イメージオプション] で [文字くっきり] を選択してください。
- Epson Scan 2で、[基本設定] タブで [イメージタイプ] が [モノクロ] のときは、[拡張設定] タブで [しきい値] を調整してください。[しきい値] を上げると、黒色の領域が増えます。
- 解像度を低く設定しているときは、解像度を上げてスキャンしてください。

関連情報

- ➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」 146ページ](#)

モアレ（網目状の陰影）が現れる

原稿が印刷物のとき、スキャンした画像にモアレ（網目状の陰影）が現れることがあります。

- Epson Scan 2の [拡張設定] タブで、[モアレ除去] を設定してください。



- 解像度を変更してスキャンし直してください。

関連情報

- ➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」 146ページ](#)

原稿台で正しい範囲でスキャンできない

- 原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。
- スキャンした画像の端が切れたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。
- 操作パネルから、スキャン範囲の自動切り取り設定でスキャンするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。原稿の周辺にゴミや汚れがあると、その位置までスキャン範囲が拡張されます。

関連情報

- ➡ [「原稿をセットする」 52ページ](#)
- ➡ [「原稿台をクリーニングする」 204ページ](#)

検索可能PDFに保存するとき、文字が正しく認識されない

- Epson Scan 2の「保存形式の設定」画面で、「テキスト」タブの「テキスト言語」が正しく設定されているか確認してください。
- 原稿がまっすぐセットされているか確認してください。
- 文字がくっきりしている原稿を使用してください。以下のような原稿は、認識率が下がることがあります。
 - 何度もコピーした原稿
 - ファクスで受信した原稿（解像度が低い原稿）
 - 文字間や行間が狭すぎる原稿
 - 文字に罫線や下線がかかっている原稿
 - 手書き文字の原稿
 - 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、小さな文字が使われている原稿
 - 折り跡やしわがある原稿
- Epson Scan 2で、「基本設定」タブで「イメージタイプ」が「モノクロ」のときは、「拡張設定」タブで「しきい値」を調整してください。「しきい値」を上げると、黒色の領域が増えます。
- Epson Scan 2で、「拡張設定」タブの「イメージオプション」で「文字くっきり」を選択してください。

関連情報

➔ [「Epson Scan 2でスキャンする」146ページ](#)

スキャン品質のトラブルが解決しないときは

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2 ユーティリティを使ってEpson Scan 2の設定を初期化します。

参考 Epson Scan 2 ユーティリティは、Epson Scan 2に付属してインストールされる設定ソフトウェアです。

1. Epson Scan 2 ユーティリティを起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、「EPSON」 - 「Epson Scan 2 ユーティリティ」の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/
Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、「すべてのプログラム」または「プログラム」 - 「EPSON」 - 「Epson Scan 2」 - 「Epson Scan 2 ユーティリティ」の順に選択します。
- Mac OS
「移動」 - 「アプリケーション」 - 「Epson Software」 - 「Epson Scan 2 ユーティリティ」の順に選択します。

2. 「その他」タブを選択します。

3. 「初期化」をクリックします。

参考 初期化してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2をアンインストールして、再インストールしてください。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」214ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」213ページ](#)

操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない

プリンターのメッセージを確認

エラーが発生したときは、操作パネルにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ	対処方法
DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。	- プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 - コンピューター名にひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字の2バイト文字が使用されているときは、半角英数字に直して設定し、アドレス帳に登録し直してください。 - コンピューターのIPアドレスが手動で固定設定されているときは、ネットワークパスのコンピューター名をコンピューターのIPアドレスに置き換えてみてください。 例) \\EPSON02\SCAN → \\192.168.xxx.xxx\SCAN - 保存先コンピューターの電源が入っているか、またはスリープ状態になっていないか確認をしてください。スリープ状態のときは、共有フォルダーに保存できません。 - 保存先のコンピューターのファイヤーウォール、セキュリティソフトを一時的に停止して確認してください。エラーが解決したら、セキュリティソフトの設定を確認してください。 - ネットワークの場所が「パブリックネットワーク」になっているとき、共有フォルダーに保存できません。ポートの解放設定などを個別に設定してください。 - IPアドレスがDHCPのとき、一度LANを切断すると、次にLANに接続したときにIPアドレスが変わることがあります。IPアドレスの取得をやり直してください。 - DNSの設定に問題がないか確認してください。DNSの設定値は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 - DNSサーバーの管理テーブルが更新されていないとき、コンピューター名とIPアドレスが一致していないことがあります。DNSサーバーの管理者に問い合わせてください。
認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。	フォルダーの共有アクセスを許可しているユーザーのログオン名/パスワードと、アドレス帳に登録しているユーザー名/パスワードが一致しているか確認してください。また、パスワードの有効期限が切れていないか確認してください。

困ったときは

メッセージ	対処方法
通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。	- Web Configなどで、[Microsoftネットワーク共有を使用する]が無効になっていないかを確認してください。 Web Configでは、[ネットワーク] - [MS Network] で確認できます。 - プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 - アドレス帳に登録しているユーザーのアクセス許可が、共有フォルダーのプロパティの[共有]タブと[セキュリティ]タブの両方に追加されていて、変更の許可にチェックが入っている必要があります。
同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。	ファイル名の設定を変更してください。または、共有フォルダーのファイルを移動したり、名前を変更したり、削除したりしてください。
スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。	コンピューターにファイルを保存できる容量がありません。コンピューターのハードディスクの空き容量を増やしてください。

エラーの発生箇所を確認する

共有フォルダーに保存するとき、以下の項目を上から順に行います。エラーが発生したとき、エラーの発生箇所を判断できます。

項目	動作内容	エラーメッセージ
接続	プリンターから保存先コンピューターに接続する。	DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。
コンピューターへのログオン	ユーザー名とパスワードを入れてログオンする。	認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。
保存場所の確認	共有フォルダーのネットワークパスを確認する。	通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。
ファイル名の確認	フォルダー内に同じ名前のファイルがないかを確認する。	同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。
ファイルの書き込み	フォルダーにファイルを書き込む。	スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。

保存に時間がかかる

以下の設定を確認してください。

- DNSの設定に問題がないか確認してください。
- Web Configで確認するとき、各DNSの設定が正しくされているか確認してください。
- DNSドメイン名が正しく設定されているか確認してください。

プライベートネットワークとパブリックネットワークを切り替える

Windows 7以降のバージョンでは、ネットワーク接続に対するプロファイルとして「ネットワークの場所」が設定されています。それに応じて共有の設定やファイアーウォールが構成されています。

インターネットとルーターで分けられたホーム/社内ネットワークに接続するときは、[プライベートネットワーク]、[ホームネットワーク]、または[社内ネットワーク]を使用します。空港や駅など、公共の場所で公衆無線LAN（Wi-Fi）を使って接続するときは、安全性の高い[パブリックネットワーク]を使用します。スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、[プライベートネットワーク]、[ホームネットワーク]、または[社内ネットワーク]を使用します。

！重要 ネットワークの場所を変更するときは、管理者に問い合わせてください。

参考 環境によっては[ドメインネットワーク]を使用しています。

初めてネットワークに接続するときに、ネットワークの場所を選びます。ホーム/社内ネットワークに接続した後、ネットワークの場所でパブリックネットワークを選んだとき、そのままでは共有フォルダーに保存できません。ネットワークの場所を設定し直してください。

Windows 10/Windows 8.1/Windows 8とWindows 7では、ネットワークの場所の名称が変更されています。

Windows 10/Windows 8.1/Windows 8	プライベートネットワーク
	パブリックネットワーク
Windows 7	ホームネットワーク
	社内ネットワーク
	パブリックネットワーク

現在のネットワークの設定は[コントロールパネル] - [ネットワークと共有センター] で確認できます。



ネットワークの場所を変更

ネットワークの場所の変更方法はOSごとに異なります。

関連情報

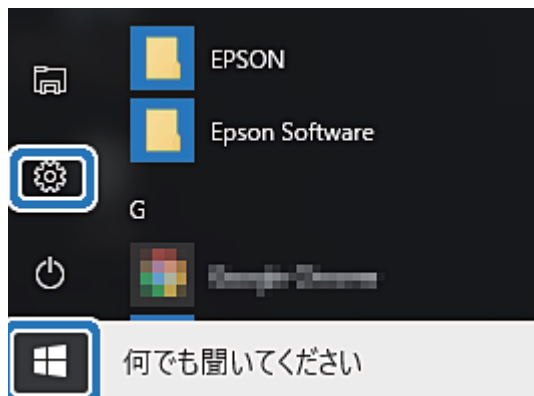
- ➡ [「ネットワークの場所を変更する - Windows 10」 258ページ](#)
- ➡ [「ネットワークの場所を変更する - Windows 8.1」 260ページ](#)

- ➡ 「ネットワークの場所を変更する - Windows 8」 260ページ
- ➡ 「ネットワークの場所を変更する - Windows 7」 261ページ

ネットワークの場所を変更する - Windows 10

参考 管理者権限でサインインしてください。

1. Windowsマークをクリックしてスタートメニューを表示させ、設定アイコンをクリックします。



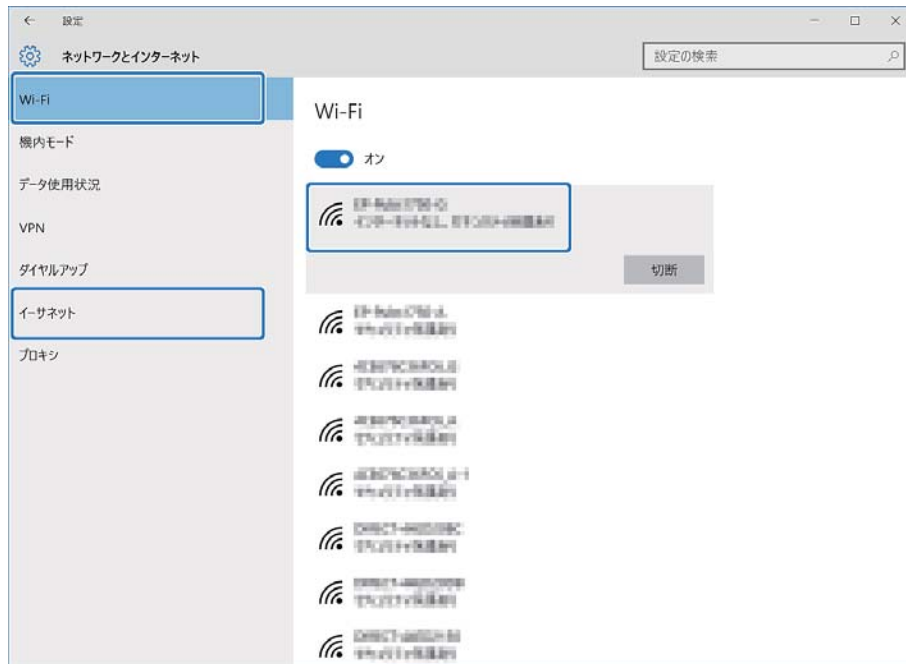
2. 「設定」の画面で「ネットワークとインターネット」をクリックします。



3. 「ネットワークとインターネット」の画面で、接続済みのネットワーク名をクリックします。
 - Wi-Fi接続のときは、「Wi-Fi」を選択します。

困ったときは

- 有線LAN接続のときは、[イーサネット] を選択します。



4. 表示されているSSIDが多いときは画面を下にスクロールして、[詳細オプション] をクリックします。



5. [このPCを検出可能にする] を設定します。スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、[オン] を選択します。
 - ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは [オン] （プライベートネットワーク）を選択します。
 - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは [オフ] （パブリックネットワーク）を選択します。

参考 変更したネットワークの場所の設定は、[ネットワークと共有センター] で確認できます。



ネットワークの場所を変更する - Windows 8.1

参考 管理者権限でサインインしてください。

1. 画面右下の角にマウスポインターを移動してチャームを表示させ、[設定] をクリックします。
2. [設定] の画面で [PC設定の変更] をクリックします。
3. [PC設定の変更] の画面で [ネットワーク] をクリックします。
4. [ネットワーク] の画面で接続済みのネットワークをクリックします。
5. [デバイスとコンテンツの検索] を設定します。スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、[オン] を選択します。
 - ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは [オン] (プライベートネットワーク) を選択します。
 - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは [オフ] (パブリックネットワーク) を選択します。

参考

- [デバイスとコンテンツの検索] は、管理者権限でサインインすると表示されます。
- 変更したネットワークの場所の設定は、[ネットワークと共有センター] で確認できます。

ネットワークの場所を変更する - Windows 8

参考 管理者権限でサインインしてください。

1. 画面右下の角にマウスポインターを移動してチャームを表示させ、[設定] をクリックします。
2. [設定] の画面で、接続済みのネットワークアイコンをクリックします。
3. [ネットワーク] の画面で接続済みのネットワークを右クリックし、表示されるメニューから [共有のオン/オフを切り替える] をクリックします。
4. [PCの共有をオンにしてこのネットワークのデバイスに接続しますか?] と表示されたら、ネットワークの場所に合わせて回答を選択します。スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、[はい] を選択します。
 - ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは [はい] (プライベートネットワーク) を選択します。
 - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは [いいえ] (パブリックネットワーク) を選択します。

参考 変更したネットワークの場所の設定は、[ネットワークと共有センター] で確認できます。

ネットワークの場所を変更する - Windows 7

参考 管理者権限でログオンしてください。

1. スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] を選択します。
2. [ネットワークと共有センター] を開きます。
 - [カテゴリ表示] の場合: [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックします。
 - [小さいアイコン] の場合: [ネットワークと共有センター] をクリックします。
3. [アクティブなネットワークの表示] のネットワークの場所をクリックします。
4. ネットワークの場所を設定します。
 - ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは、[ホームネットワーク] または [社内ネットワーク] を選択します。
 - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは、[パブリックネットワーク] を選択します。
5. 内容を確認して [閉じる] をクリックします。

スキャン時のその他のトラブル

スキャン速度が遅い

- 解像度を下げて、もう一度スキャンしてください。解像度が高いとスキャンに時間がかかります。
- Epson Scan 2の画質調整機能によっては、スキャン速度が遅くなることがあります。

- Epson Scan 2で  ボタンをクリックすると表示される「環境設定」画面で、「スキャン」タブの「動作音低減モード」が選択されていると、スキャン速度が遅くなることがあります。

関連情報

- ➔ [「Epson Scan 2でスキャンする」146ページ](#)

スキャンした画像をメールで送信できない

メールサーバーが設定されていることを確認してください。

関連情報

- ➔ [「メールサーバーを利用する」70ページ](#)

PDF/Multi-TIFF形式でスキャンすると動作が止まる

- Epson Scan 2では、PDF形式でスキャンできる原稿は999枚、Multi-TIFF形式では200枚までです。操作パネルでは、ADFからの片面原稿の場合は50ページまで、ADFからの両面原稿および原稿台からの場合は100ページまでです。
- 大量のスキャンは、モノクロでのスキャンをお勧めします。
- コンピューターのハードディスクの空き容量を増やしてください。十分な空き容量がないと、スキャンが止まる場合があります。
- 解像度を下げてスキャンしてください。総データの容量が制限を超えるとスキャンが止まります。

関連情報

- ➔ [「Epson Scan 2でスキャンする」146ページ](#)

ファクス送受信のトラブル

ファクスの送信も受信もできない

- 操作パネルで「ファクス機能診断」を選択して自動接続チェックを行ってください。印刷された診断結果レポートに従って対処してください。
- 送受信ができなかったファクスジョブのエラーコードを確認し、エラーコード一覧にある対処方法をお試しください。
- 「接続回線」の設定を確認してください。「構内交換機(PBX)」に設定すると通信できることがあります。また外線発信番号が必要な環境では外線発信番号をプリンターに登録して、電話番号の先頭に#（シャープ）を付けて送信してみてください。
- 通信エラー発生時は、操作パネルで「通信モード」を「9.6kbps(G3)」にしてみてください。

困ったときは

- 電話回線に直接電話機を接続して、電話の発着信ができるか確認してみてください。正常に動作しないときはご契約の回線事業者へ問い合わせてください。
- ADSL接続時は、スプリッター内蔵のADSLモデムをお使いになるか、内蔵されていない場合は別途スプリッターを取り付ける必要があります。ご契約のADSLの回線事業者にお問い合わせください。
- ADSL接続時は、プリンターを電話回線に直接接続して送信ができるか確認してください。正常に送信できれば、プリンターではなくスプリッターに問題がある可能性があります。ご契約のADSLの回線事業者にお問い合わせください。
- 構内交換機（PBX）タイプのISDN回線専用環境下では、ご契約の回線事業者へ問い合わせてください。
- 電話回線の接続で、ブロードバンドルーターやターミナルアダプター使用時は、ルーターやアダプターの電源を入れ直してください。
- 操作パネルで[エラー訂正(ECM)]を有効にしてください。無効にするとカラーファクスの送受信ができません。
- コンピューターからのファクス送受信は、プリンターとコンピューターがUSBまたはネットワークで接続され、コンピューターにPC-FAXドライバーがインストールされていることを確認してください。PC-FAXドライバーはFAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。
- Windowsの場合、[デバイスとプリンター]（または[プリンタ]、[プリンタとFAX]）で、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認してください。プリンター（ファクス）は「EPSON XXXXX (FAX)」と表示されます。表示されないときは、FAX Utilityをアンインストールして、再インストールしてください。[デバイスとプリンター]（または[プリンタ]、[プリンタとFAX]）フォルダーを表示させる手順は以下です。
 - Windows 10
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 7
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows Vista
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。
 - Windows XP
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] の [プリンタとFAX] の順に選択します。
- Mac OSの場合、以下を確認してください。
 -  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認します。プリンター（ファクス）は「FAX XXXX (USB)」または「FAX XXXX (IP)」と表示されます。表示されていないときは、[+] をクリックして、お使いのプリンター（ファクス）を登録してください。
 -  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）をダブルクリックします。[一時停止] になっているときは、[再開] をクリックしてください。

関連情報

- ➔ [「ファクス機能診断」188ページ](#)
- ➔ [「基本設定」186ページ](#)

- ➡ [「ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する」 218ページ](#)
- ➡ [「構内交換機（PBX）用の設定をする」 158ページ](#)
- ➡ [「プリンターを電話回線に接続する」 151ページ](#)
- ➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」 214ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」 213ページ](#)

ファクスを送信できない

- 利用者制限されているプリンターではユーザー名とパスワードの入力が要求されます。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
- プリンターの利用者制限設定がされているときにコンピューターからファクスを送信すると、プリンタードライバーで設定してあるユーザー名とパスワードで認証が行われます。認証に失敗して送信ができないときは管理者に問い合わせてください。
- 操作パネルでダイヤル種別の設定が正しいか確認してください。
- 操作パネルで発信元番号を登録してください。送信先によっては発信元番号情報がないファクスを受け付けられないことがあります。
- 非通知設定を解除してください。送信先によっては電話番号を通知しないと受け付けられないことがあります。
- 送信先のファクス番号が正しいか、送信先のファクスが受信できる状態か、送信先に確認してください。

関連情報

- ➡ [「基本設定」 186ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」 262ページ](#)
- ➡ [「受信相手の操作で送信する（ポーリング送信）」 163ページ](#)

特定の送信先にファクスを送信できない

特定の送信先に送信できず、毎回エラーが表示されるときは以下を確認してください。

- ダイヤル終了後、送信先の応答に50秒以上かかるとエラーになります。［オンフック］機能を使うか、外付け電話機を使ってダイヤルし、ファクス信号（ピー音）が聞こえるまでの時間を確認してください。50秒以上かかる場合は、ファクス番号の後ろに続けてポーズを入力して送信してください。ポーズは操作パネルの番号入力画面にある  を押して入れます。押すとポーズマークとしてハイフンが入力されます。ポーズ1回につき、約3秒間ファクス送信が遅延されますので、必要に応じてポーズを増やしてください。
- 送信先をアドレス帳から選択したときは、アドレス帳の登録内容が間違っていないか確認してください。間違っていないときはアドレス帳からその送信先を選択し、［編集］で［ファクス通信モード］を［9.6kbps(G3)］にして再送信してみてください。

関連情報

- ➡ [「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」 161ページ](#)
- ➡ [「外付け電話機からダイヤルして送信する」 160ページ](#)
- ➡ [「アドレス帳を管理する」 58ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」 262ページ](#)

指定時間にファクスを送信できない

操作パネルで日付と日時を正しく設定してください。

関連情報

- ➡ [「指定した時刻に送信する（時刻指定送信）」 162ページ](#)
- ➡ [「共通設定」 65ページ](#)

ファクスを受信できない

- ボイスワープなどの電話転送サービス利用時に受信できないことがあります。サービスを提供している業者に問い合わせてください。
- 外付け電話機をプリンターに接続して1回線を共有して使うときは、操作パネルで[受信モード]を[ファクス/電話自動切替]に設定してください。
- 外付け電話機を接続していないときは、操作パネルで[受信モード]を[自動]に設定してください。
- 呼び出し回数を少なく設定してください。呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。
- 以下の状態ではプリンターのメモリー不足のため受信できません。メモリー不足のメッセージが表示されたときの対処方法をご覧ください。
 - 受信ボックスに受信文書が100件たまっている
 - プリンターのメモリー使用率が100%になっている
- 構内交換機（PBX）接続で、内線呼び出し（SIR）になっているときは、外線呼び出し（IR）に設定すると解決することがあります。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- ダイヤルインやモデムダイヤルインには対応していません。該当する場合は、ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- Fネット（1300Hz呼び出し）には対応していません。該当する場合は、ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- 接続されている電話回線が不安定な場合は、受信ファクスがないにもかかわらず着信中の表示が続くことがあります。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。

関連情報

- ➡ [「基本設定」 186ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」 262ページ](#)
- ➡ [「メモリー不足のメッセージが表示された」 265ページ](#)

メモリー不足のメッセージが表示された

- 受信文書を受信ボックスに保存する設定にしているときは、既読などで不要になった文書を受信ボックスから削除してください。
- 受信ファクスをコンピューターに保存する設定にしているときは、保存する設定にしているコンピューターを起動させてください。受信文書がコンピューターに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。

困ったときは

- 受信ファクスを外部メモリーに保存する設定にしているときは、保存フォルダーを作成した外部メモリーをプリンターに挿入してください。受信文書が外部メモリーに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。外部メモリーの空き容量が不足していないか、書き込み禁止になっていないかも確認してください。
- メモリー不足で送信できないときは、外付け電話機からダイヤルして送信する、[オンフック] で送信する、原稿を小分けにすると、送信できることがあります。また、モノクロファクスの場合は[ダイレクト送信] で回避できることがあります。
- 受信時に紙詰まりなどのエラーが発生していると、受信文書が印刷されないため、メモリー不足になることがあります。プリンターのエラーを解除してから送信元に再送信を依頼してください。

関連情報

- ➔ [「受信文書の保存と転送」 166ページ](#)
- ➔ [「コンピューターでファクスを受信する」 174ページ](#)
- ➔ [「受信文書を外部メモリーに保存する」 168ページ](#)
- ➔ [「大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）」 162ページ](#)
- ➔ [「外付け電話機からダイヤルして送信する」 160ページ](#)
- ➔ [「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」 161ページ](#)
- ➔ [「詰まった用紙を取り除く」 224ページ](#)

きれいに送信できない

- 原稿台をクリーニングしてください。
- ADFをクリーニングしてください。
- 操作パネルで[画質] を調整してください。文字と写真が混在した原稿は[写真] の設定で送信してください。
- 操作パネルで[濃度] を調整してください。
- 相手機の性能が分からないときは、ダイレクト送信をするか、[画質] を[精細] にして送信してください。
[超高精細] や[高精細] で、[ダイレクト送信] を無効にしてモノクロで送信すると、低い解像度に変更されて送信されることがあります。
- 操作パネルで[エラー訂正(ECM)] を有効にしてください。

関連情報

- ➔ [「ファクスメニューの説明」 181ページ](#)
- ➔ [「基本設定」 186ページ](#)
- ➔ [「原稿台をクリーニングする」 204ページ](#)
- ➔ [「ADFをクリーニングする」 202ページ](#)

原稿サイズと違うサイズで送信された

- A3サイズで送信するときは、事前に相手機がA3サイズに対応しているか確認してください。通信結果レポートに[OK(縮小)] と表示されていたら相手側はA3サイズに対応していません。
- 原稿台からファクス送信するときは、原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。操作パネルで原稿のサイズを正しく設定してください。

- 光源の近くや直射日光の当たる場所に設置すると、原稿台に光が当たり、意図した範囲で原稿が読み取れないことがあります。操作パネルで原稿のサイズを正しく設定してください。
- 原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。ゴミや汚れがあると、その位置まで読み取り範囲が拡張されるため、位置が大きくずれたり、画像が小さくなったりします。

関連情報

- ➡ [「ファクスメニューの説明」 181ページ](#)
- ➡ [「原稿をセットする」 52ページ](#)
- ➡ [「原稿台をクリーニングする」 204ページ](#)

きれいに受信できない

- 操作パネルで [エラー訂正(ECM)] を有効にしてください。
- 送信元に、より画質の高いモードで送信できないか確認してください。
- 受信文書を再度印刷してみてください。 [ジョブ確認メニュー] の [ジョブ履歴] から印刷できます。

関連情報

- ➡ [「基本設定」 186ページ](#)
- ➡ [「ファクス送受信履歴を確認する」 180ページ](#)

A3ファクスを受信できない

A3サイズ用の紙を入れている給紙装置の用紙サイズ設定がA3になっているか、またそのA3用紙が入った給紙装置をファクスで使う設定にしているか確認してください。 [セットアップ] - [システム管理設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] - [給紙口自動選択] - [ファクス] の順に選択して、有効になっている給紙装置を確認します。

関連情報

- ➡ [「給紙の設定メニューの説明」 62ページ](#)
- ➡ [「基本設定」 186ページ](#)

受信ファクスが印刷されない

- 紙詰まりなどでプリンターにエラーが発生していると印刷できません。プリンターを確認してください。
- 受信ボックスに保存する設定になっていると受信ファクスの自動印刷はされません。 [受信ファクスの処理] 設定を確認してください。

関連情報

- ➡ [「プリンターの状態を確認する」 217ページ](#)
- ➡ [「詰まった用紙を取り除く」 224ページ](#)
- ➡ [「受信文書の保存と転送」 166ページ](#)
- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する」 167ページ](#)

ファクス時のその他のトラブル

プリンターに接続した外付け電話機で通話できない

プリンターのEXT.ポートに外付け電話機を接続し、受話器を上げてダイヤルトーン（ツー音）が聞こえるかを確認してください。ダイヤルトーンが聞こえないときは、モジュラーケーブルを正しく接続してください。

関連情報

➡ [「電話機とプリンターを接続する」153ページ](#)

留守番電話が応答しない

- 操作パネルで、ファクスを受信するまでの〔呼び出し回数〕を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
- 〔受信モード〕が〔ファクス/電話自動切替〕になっているときは、〔自動〕に変更してください。

関連情報

➡ [「基本設定」186ページ](#)

➡ [「留守番機能付き電話接続時の設定」157ページ](#)

ナンバーディスプレイ機能が働かない

- かかってきた相手先のファクス番号を外付け電話機やプリンターのパネルに表示させるには、ナンバーディスプレイサービスの契約をした回線が必要です。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- 操作パネルで、〔ナンバーディスプレイ対応〕設定を変更してください。
- 1回線を電話機とプリンターで共有するときは、電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。並列接続（ブランチ接続）をしているとナンバーディスプレイ機能が使えません。

関連情報

➡ [「ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定」157ページ](#)

➡ [「電話機とプリンターを接続する」153ページ](#)

受信文書に相手先のファクス番号が表示されない、またはファクス番号が間違っって表示される

送信元のファクス機に発信元番号が設定されていないか、登録が間違っている可能性があります。送信元に確認してください。

その他のトラブル

プリンターに触れたときに電気をを感じる

多数の周辺機器をコンピューターに接続していると、プリンターに触れたときに電気を感ずることがあります。プリンターを接続しているコンピューターからアース（接地）を取ってください。

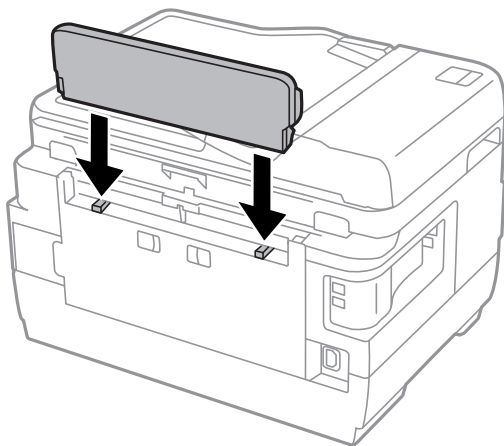
動作音大きい

動作音大きいときは「動作音低減モード」を有効にしてください。ただし、動作速度が遅くなります。

- Windowsプリンタードライバー
「基本設定」タブで「動作音低減モード」を有効にします。
- Mac OSプリンタードライバー
 メニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。「オプションとサプライ」 - 「オプション」（または「ドライバ」）の順にクリックします。「動作音低減モード」で「オン」を選択します。
- Epson Scan 2
 ボタンをクリックして、「環境設定」画面を開きます。「スキャン」タブで「動作音低減モード」の設定をします。

手差し給紙が外れた

上からまっすぐに差し込んでください。



日時、時刻がずれている

操作パネルで日付と時刻を正しく設定してください。落雷などで停電したり、電源を切ったまま長時間放置したりすると、プリンターの設定時刻がずれることがあります。

関連情報

➡ [「共通設定」65ページ](#)

外部メモリーが認識されない

操作パネルの「外部メモリー設定」で外部メモリーを有効にしてください。

関連情報

➡ [「プリンター設定」64ページ](#)

外部メモリーにデータを保存できない

- 外部メモリーをプリンターに挿入し、「受信ファクスの処理」 - 「その他の設定」 - 「保存専用フォルダーの作成」を実行して受信文書保存用のフォルダーを作成してください。作成されていない外部メモリーは使用できません。
- 外部メモリーが書き込み禁止になっていないか確認してください。
- 外部メモリーの空き容量が十分にあるか確認してください。残量が少ないと保存できません。

関連情報

➡ [「外部記憶装置の仕様」277ページ](#)

パスワードを忘れた

管理者のパスワードを忘れたときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。

関連情報

➡ [「お問い合わせ先」293ページ](#)

ソフトウェアがセキュリティーソフトにブロックされる(Windowsのみ)

「コントロールパネル」のセキュリティー設定で、Windows ファイアウォールで許可するプログラムに対象のソフトウェアを追加してください。

写真の選択画面で「？」と表示される

本製品に対応していない画像ファイルは「？」で表示されます。

関連情報

➡ [「対応ファイルの仕様」279ページ](#)

インク残量情報更新のメッセージが表示される

全てまたは特定のインクタンクにインクを補充し、補充したインクの色をプリンターの画面で選んでから、[終了]を押してインク残量情報をリセットしてください。

状況によってはタンクにインクが残っていても、このメッセージが表示されることがあります。

インクが半分以上残っているのにメッセージが表示される場合はプリンターに不具合がある可能性があります。エプソンの修理窓口にお問い合わせください。

インクがこぼれた

- インクがタンクの周辺に付着したときは、毛羽の出ないきれいな布や綿棒などで拭き取ってください。
- インクが机や床などにこぼれたときは、すぐに拭き取ってください。乾燥すると汚れが落ちにくくなります。汚れを広げないように、乾いた布でインクを吸い取り、水拭きしてください。
- インクが手に付いたときは水や石けんで洗い流してください。

意図しないサイズでコピー、スキャンされた、またはファクスが送信された

蛍光灯の近くや直射日光が当たる場所に設置すると、正しく原稿サイズを読み取れないことがあります。原稿サイズを設定してから再度実行してください。自動で原稿サイズを選ばせたくないときは操作パネルから、[セットアップ] - [原稿サイズ自動検知設定(原稿台)] を [オフ] に設定してください。

付録

プリンターの仕様

以下は2017年8月現在の情報です。

プリンター部の仕様

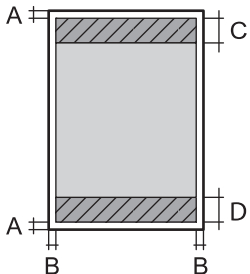
ノズル配列		黒インク：400ノズル×2列 カラーインク：各色128ノズル×2列
用紙厚*	普通紙	64～90 g/m ²
	厚紙	91～256 g/m ²
	封筒	長形3号、4号:75～90 g/m ² 洋形1号、2号、3号、4号:75～100 g/m ² 角形2号、20号 :80～100 g/m ²

*： 範囲内の厚みの用紙であっても、紙の特性や品質などによって給紙できないことがあります。また、印刷結果に影響が出ることもあります。

印刷領域

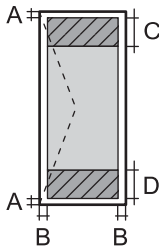
定形紙の印刷領域

プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

	A	3.0mm
	B	3.0mm
	C	47.0mm
	D	45.0mm

封筒の印刷領域

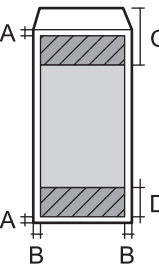
プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

	A	3.0mm
	B	5.0mm
	C	47.0mm
	D	18.0mm

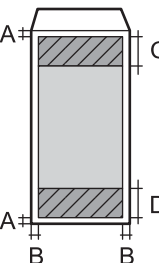
封筒（長形3、4号、角形2、20号）の印刷領域

プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

宛名面

	A	3.0mm
	B	5.0mm
	C	48.0mm
	D	47.0mm

裏面

	A	3.0mm
	B	5.0mm
	C	45.0mm
	D	47.0mm

省資源機能

両面や割り付け、縮小などの印刷で、用紙の使用枚数が節約できます。

スキャナー部の仕様

スキャナータイプ	フラットベッド
センサー	CIS
有効画素数	14040×20400 pixels (1200 dpi)

付録

最大原稿サイズ	297×431.8mm A3
スキャン解像度	1200dpi（主走査） 2400dpi（副走査）
出力解像度	50～9600 dpi（1 dpiで設定可能）
階調	カラー • 48bit入力（RGB各色16bit入力） • 24bit出力（RGB各色8bit出力） グレースケール • 16bit入力 • 8bit出力 白黒 • 16bit入力 • 1bit出力
光源	LED

インターフェイスの仕様

コンピューター接続用	Hi-Speed USB
外部記憶装置接続用	Hi-Speed USB

ファクス部の仕様

ファクス型式	送受信兼用デスクトップ（スーパーG3、カラーファクス）
対応回線	一般加入電話回線（PSTN）、構内交換機（PBX）
通信速度	最大33.6kbps
解像度	モノクロ • 普通：8 pel/mm×3.85line/mm • 精細：8 pel/mm×7.7line/mm • 高精細：8 pel/mm×15.4line/mm • 超高精細：16 pel/mm×15.4line/mm • 写真：8 pel/mm×7.7line/mm カラー • 精細：200×200dpi • 写真：200×200dpi

付録

受信ファクス最大保存ページ数	約550ページ（ITU-T標準原稿をモノクロドラフトで受信した場合）
再ダイヤル回数	0～15回（0～15分間隔）
コネクタ形状	回線ライン（RJ-11）、外部電話機接続ライン（RJ-11）

ネットワーク機能一覧

機能				対応	備考
ネットワークインターフェイス	有線LAN			○	-
	無線LAN	インフラストラクチャー		○	-
		アドホック		○	-
		Wi-Fi Direct	シンプルAPモード	○	-
			Wi-Fi Directモード	○	-
同時接続	有線LAN	シンプルAPモード		○	-
	無線LAN（インフラストラクチャー）	シンプルAPモード		-	-
	アドホック	シンプルAPモード		-	-
操作パネルで設定できる機能	無線LAN設定	手動設定		○	-
		プッシュボタン自動設定（WPS）		○	-
		PINコード自動設定		○	-
		カンタン自動設定		○	-
		Wi-Fi Direct設定		○	-
	ネットワーク基本設定			○	-
	ネットワーク接続診断			○	-
	ネットワーク情報の確認			○	-
	ネットワークステータスシートの印刷			○	-
	無線LANを無効にする			○	-
	ネットワーク設定の初期化			○	-
	ファイル共有設定			○	-

機能			対応	備考
ネットワーク印刷機能	EpsonNet Print (Windows)	IPv4	○	-
	Standard TCP/IP (Windows)	IPv4、IPv6	○	-
	WSD印刷 (Windows)	IPv4、IPv6	○	Windows Vista以降
	Bonjour印刷 (Mac OS)	IPv4、IPv6	○	-
	IPP印刷 (Windows、Mac OS)	IPv4、IPv6	○	-
	UPnP印刷	IPv4	-	情報家電機器
	PictBridge印刷 (無線LAN)	IPv4	-	デジタルカメラ
	Epson Connect (メールプリント)	IPv4	○	-
	Googleクラウドプリント	IPv4、IPv6	○	-
ネットワークスキャン機能	Epson Scan 2	IPv4、IPv6	○	-
	Event Manager	IPv4	○	-
	Epson Connect (スキャンしてクラウドへ)	IPv4	○	-
	ADF (自動両面)		○	-
ファクス機能	PC送信	IPv4	○	-
	PC受信	IPv4	○	-

無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11b/g/n
周波数範囲	2.4GHz
接続モード	インフラストラクチャー、アドホック*1、Wi-Fi Direct*2 *3

無線セキュリティ	WEP (64/128bit) 、WPA2-PSK (AES) *4
----------	------------------------------------

*1： IEEE802.11nは非対応

*2： IEEE802.11bは非対応

*3： シンプルAPモードは、無線LAN（インフラストラクチャー）または有線LANとの併用可能。

*4： WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal規格に対応

有線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.3i (10BASE-T) *1 IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet) *2
通信モード	Auto、10Mbps Full duplex、10Mbps Half duplex、 100Mbps Full duplex、100Mbps Half duplex
コネクタ	RJ-45

*1： 電磁障害のリスク低減のため、カテゴリ 5e 以上の STP（シールドツイストペア）ケーブルを使用すること

*2： IEEE802.3azに対応した接続機器が必要

セキュリティの Protokol

SSL/TLS	HTTPS（サーバー/クライアント）、IPPS
---------	-------------------------

対応している他社サービス

Google クラウド プリント

外部記憶装置の仕様

対応メモリーカードの仕様

以下は2017年8月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページ「よくあるご質問（FAQ）」でご確認ください。

<http://www.epson.jp/support/faq/>

製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「対応メモリー」などのキーワード入力で検索できます。

使用できるメモリーカードの種類	サポートする最大容量
メモリースティックDuo*	128 MB
メモリースティックPRO Duo* メモリースティックPRO HG Duo*	32 GB
マジックゲートメモリースティック Duo*	128 MB
メモリースティックマイクロ*	32 GB
miniSDカード*	2 GB
miniSDHCカード**	32 GB
microSDカード*	2 GB
microSDHCカード**	32 GB
microSDXCカード**	64 GB
SDメモリーカード	2 GB
SDHCメモリーカード	32 GB
SDXCメモリーカード	64 GB

*： アダプター無しでセットできるメモリーカードと同じサイズのアダプターを装着してください。装着せずにセットすると、カードが取り出せなくなるおそれがあります。

メモリーカードスロット対応電圧

3.3V 専用、3.3V/5V 兼用（供給電圧は3.3V）
ただし、5Vタイプのメモリーカードには非対応
最大供給電流

- メモリースティック/PRO：100mA
- SDカード：200mA

対応外部記憶装置の仕様

使用できる外部記憶装置の種類	サポートする最大容量
MOドライブ*	1.3 GB
HDD* USBフラッシュメモリー	2TB（FAT、FAT32、またはexFATフォーマット済みのもの）

*： バスパワーでの電源供給不可。ACアダプターを接続してください。

以下の外部記憶装置は使用できません。

- 専用のドライバーが必要なもの

- セキュリティー（パスワード、暗号化）機能付きのもの
- USBハブ機能が内蔵されているもの

全ての動作を保証するものではありません。

対応ファイルの仕様

ファイルフォーマット	DCF* ¹ Version 1.0または2.0* ² 規格準拠のデジタルカメラで撮影した、JPEG形式（Exif Version 2.3準拠）の画像データ（*.jpg） TIFF6.0準拠の以下の画像 • RGBフルカラー（非圧縮） • 2値（非圧縮もしくは2値CCITT2値エンコーディング）
有効画像サイズ	横：80～10200ピクセル 縦：80～10200ピクセル
有効ファイルサイズ	2GB未満
最大ファイル数	JPEG：9990個* ³ TIFF：999

*1： 社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称

*2： デジタルカメラの内蔵メモリーに保存されている画像には非対応

*3： 一度に表示できるファイル数は999 個まで（999 個を越えるとグループ単位で表示）

参考 プリンターで認識できない画像ファイルは、プリンターの画面上に「？」と表示されます。複数面レイアウト（自動配置）では、空白（印刷されない）になります。

外形寸法と質量の仕様

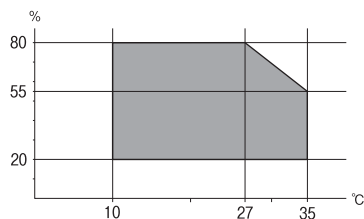
外形寸法	収納時 • 幅：666mm • 奥行き：486mm • 高さ：418mm 印刷時 • 幅：666mm • 奥行き：817mm • 高さ：418mm
質量*	約 23.0 kg

*： インク、電源コードは含まず

電氣的仕様

定格電圧	AC100-240V
定格周波数	50-60Hz
定格電流	1.0-0.6A
消費電力（USB接続時）	コピー時：約20 W（ISO/IEC24712印刷パターン） レディー時：約8.9W スリープモード時：約1.9W 電源オフ時：約0.4W

動作時と保管時の環境仕様

動作時	グラフで示した範囲で使用してください。  温度：10～35℃ 湿度：20～80%（非結露）
保管時	温度：-20～40℃* 湿度：5～85%（非結露）

*： 40℃では1ヵ月間保管可能

対応OS

最新のOS対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/taiou/os/>

- Windows 10 (32-bit、64-bit) /Windows 8.1 (32-bit、64-bit) /Windows 8 (32-bit、64-bit) /Windows 7 (32-bit、64-bit) /Windows Vista (32-bit、64-bit) /Windows XP SP3以降 (32-bit) /Windows XP Professional x64 Edition/Windows Server 2016/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003 SP2以降
- macOS Sierra/OS X El Capitan/OS X Yosemite/OS X Mavericks/OS X Mountain Lion/Mac OS X v10.7.x/Mac OS X v10.6.8



- Mac OSでは一部のアプリケーションソフトや機能が対応していないことがあります。
- Mac OS のUNIXファイルシステム（UFS形式）には非対応です。

規格と規制

複製が制限されている印刷物

責任を持って合法的にプリンターを使用するため、以下の規制があります。

次のものを複製することは、法律により禁止されています：

- 紙幣、硬貨、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券
- 未使用の郵便切手、郵便はがき、その他有効な郵便料金を有する公式の郵便物
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類

次のものは、複製するにあたり注意が必要です：

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、運転免許証、身分証明書、通行券、食券、切符など

 参考 法律により禁止されていることもあります。

著作物の取り扱い：

不適切に著作物を複製することによって、プリンターが悪用される可能性があります。有識の弁護士の助言を受けるか、公開された著作物を複製する前に著作権者の承認を受けることで責任を持ち、尊重する必要があります。

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電波障害自主規制

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

製品のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピューター、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

外部記憶装置に関するご注意

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、外部記憶装置内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

譲渡と廃棄

外部記憶装置を譲渡、廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、外部記憶装置内のデータを完全に消去することをお勧めします。コンピューター上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、外部記憶装置を物理的に破壊することをお勧めします。

液晶ディスプレイの特性

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

タッチパネル使用上のご注意

- パネルは指でタッチしてください。
- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。
- パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることがあります。
- 急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- パネルを強く押さえ付けたり、強い衝撃を与えたりしないでください。パネルが割れるおそれがあります。割れてしまったときは、破片に触れたりパネルを取り外そうとしたりせず、エプソンの修理窓口にご連絡ください。

揮発性物質の放散

本製品はRAL-UZ171およびエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

電波に関するご注意

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名：WLU6117-D69 (RoHS)
- 認証番号：204-330030

周波数

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業、科学、医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本製品の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
- 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、エプソンのインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

参考

- 本製品はWi-Fi Allianceの承認を受けた無線機器です。他メーカーのWi-Fi承認済みの無線機器と通信が可能です。Wi-Fi対応製品の詳細はWi-Fi Allianceのホームページ（<http://www.wi-fi.org>）をご参照ください。
- この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS、OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は40mです。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

2.4 DS/OF 4

無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理、保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の譲渡と廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（ネットワーク設定、電話番号、宛先名称など）を消去してください。

操作パネルで「セットアップ」メニューの「初期設定に戻す」を実行すると消去できます。

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

プリンターを輸送する

プリンターを修理に出すときや、引っ越しなどで輸送するときは以下の手順で梱包します。

⚠ 注意

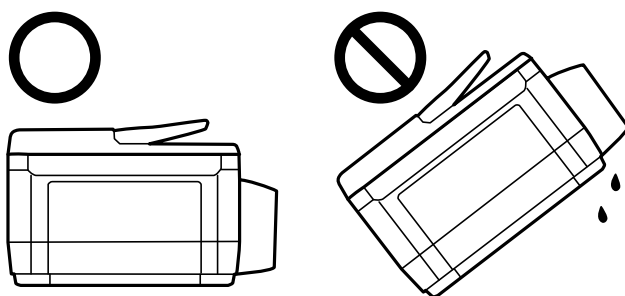
- スキャナーユニットを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- プリンターを持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
- プリンターを持ち上げる際は、下図で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。



- プリンターを移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

！重要

- 本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。



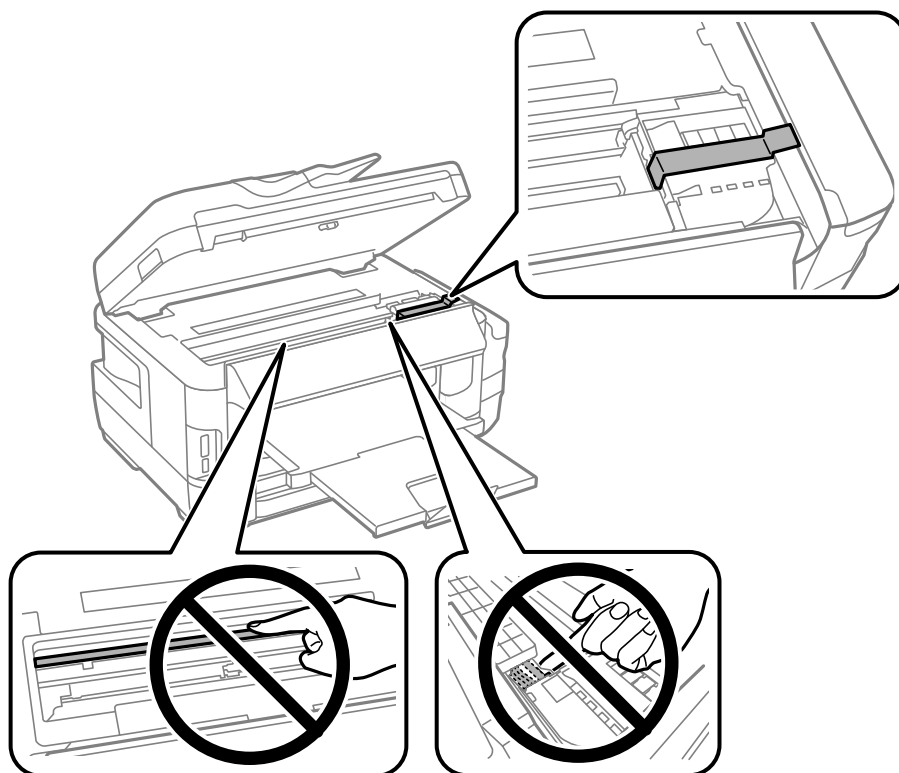
- メンテナンスボックスは取り外さないでください。輸送時にインクが漏れるおそれがあります。
- シールを剥がしたインクボトルを保管または輸送するときは、傾けたり衝撃や急激な温度変化を与えたりしないでください。インクボトルのキャップをしっかりと締めてもインクが漏れることがあります。インクボトルのキャップを締めるときは必ずボトルをまっすぐに立ててください。また、ボトルを輸送する際はインク漏れを防ぐ対策を取ってください。
- 開封済みのインクボトルはプリンターと同じ箱に入れないでください。

1.  ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

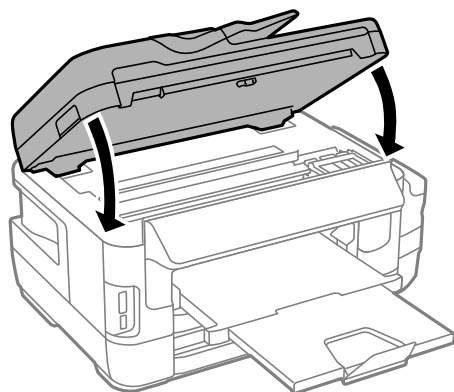
2. 電源ランプの消灯を確認して、電源プラグをコンセントから抜きます。

！重要 電源プラグは電源ランプの消灯時に抜いてください。プリントヘッドがホームポジション(待機位置)に戻らず、乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。

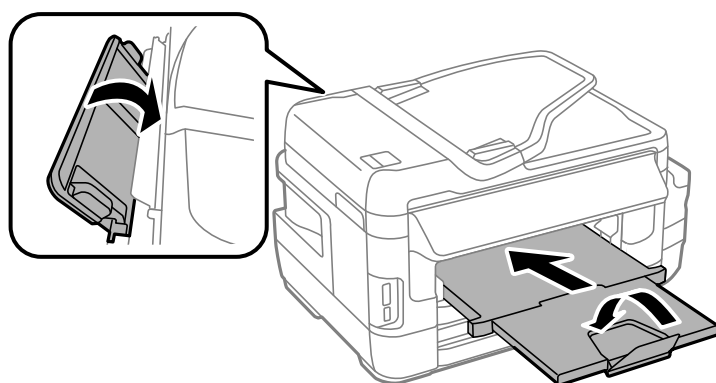
3. 電源コードやUSBケーブルなどのケーブル類を取り外します。
4. メモリーカードがセットされていないことを確認します。
5. セットされている全ての印刷用紙を取り除きます。
6. 原稿がないことを確認します。
7. 原稿カバーを閉めた状態でスキャナーユニットを開けて、プリントヘッドが動かないように市販のテープなどでしっかり固定します。



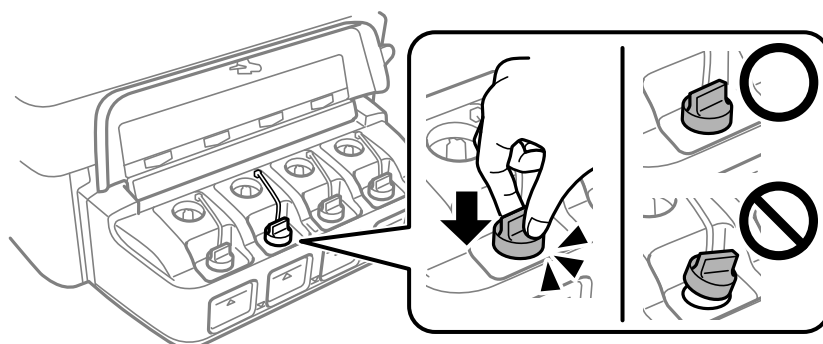
8. スキャナーユニットを閉めます。



9. 以下のように梱包できる状態にします。



10. インクタンクのキャップがしっかり締まっていることを確認します。



11. 保護材を取り付けた後、箱に入れます。

輸送後はプリントヘッドを固定したテープを剥がしてお使いください。輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングや印刷のぼやけ改善をしてください。

関連情報

- ➡ [「各部の名称と働き」 11ページ](#)
- ➡ [「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」 198ページ](#)
- ➡ [「プリントヘッドの位置を調整する」 201ページ](#)

コンピューターから外部記憶装置へのアクセス

プリンターにセットされたメモリーカードなどの外部記憶装置に、コンピューターからアクセスしてデータを書き込んだり読み込んだりできます。

！重要

- メモリーカードは、書き込み可能な状態にしてからセットしてください。
- コンピューターからメモリーカードに画像データを保存したときは、プリンターの操作パネルの画像および枚数の表示は更新されません。更新する場合はメモリーカードをセットし直してください。
- USB 接続とネットワーク接続されたコンピューターでプリンターの外部記憶装置を共有する場合、優先設定された接続方法のコンピューターからのみデータの書き込みができます。外部記憶装置に書き込むときは、以下の手順に従って接続方法を選択してください。
[セットアップ] - [システム管理設定] - [プリンター設定] - [外部メモリー設定] - [ファイル共有]

参考

HDDドライブが接続可能な機種で、2TBのHDDなど大容量の外部記憶装置をファイル共有すると、コンピューターから認識するのに時間がかかることがあります。

Windows

[コンピューター]（または [マイコンピューター]）で対象の外部記憶装置を選択します。外部記憶装置のデータが表示されます。

参考

付属のソフトウェアディスクやWeb Installerを使わずにプリンターをネットワーク接続した場合は、プリンターのメモリーカードスロットやUSBポートをネットワークドライブとして割り当てます。[ファイル名を指定して実行] を起動し、[名前] に¥¥XXXXXX（プリンター名）または¥¥XXX.XXX.XXX.XXX（プリンターのIPアドレス）を入力します。表示されたデバイスアイコンを右クリックしてネットワークドライブの割り当てをしてください。割り当てたネットワークドライブは、[コンピューター]（または [マイコンピューター]）内に表示されます。

Mac OS

対象のデバイスアイコンを選択します。外部記憶装置のデータが表示されます。

参考

- 外部記憶装置を取り出すときは、デバイスアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップします。これをせずに取り出すと、別の外部記憶装置をセットしたときに、共有ドライブの内容が正常に表示されないことがあります。
- 外部記憶装置にネットワーク経由で接続するときは、デスクトップのメニューから [移動] - [サーバへ接続・・・] の順に選択します。[サーバアドレス] 欄に、cifs://XXXXXXまたはsmb://XXXXXX（「XXXXXX」はプリンター名）を入力して [接続] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「メモリーカードをセットする」56ページ](#)
- ➡ [「外部記憶装置の仕様」277ページ](#)

商標

- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Epson Scan 2 software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- libtiff

Copyright © 1988-1997 Sam Leffler

Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

- SDXC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.



- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、macOS、OS X、Bonjour、ColorSync、Safari、iPad、iPhone、iPod touch、iTunesおよびTrueTypeは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Chrome、Chrome OS、Android、Google Play はGoogle Inc.の商標です。
AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。



サービスとサポートのご案内

関連情報

➡ [「お問い合わせ先」293ページ](#)

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 — スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 — 万トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 — エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 — エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

関連情報

➡ [「困ったときは」217ページ](#)

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター

関連情報

➡ [「お問い合わせ先」293ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細は、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	- 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 - 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 - 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	年間一定の保守料金	
	持込保守	- お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。 - 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	有償 （出張料のみ） 修理完了後、その都度お支払いください	有償 （出張料＋技術料＋部品代） 修理完了後、その都度お支払いください
引取り修理（ドアto ドア）		- ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。 - 保証期間外の場合は、修理代金とは別に引取料金が必要です。	無償	有償 （引取料金＋修理代金） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
持込修理 送付修理		お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。	無償	有償 （基本料＋技術料＋部品代） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

*： 消耗品（インクカートリッジ、インクボトル、トナー、用紙など）は保守対象外です。

！重要

- ・ エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- ・ インクの注入時、および保管時における、手、衣服、床等へのインク汚れには充分注意してください。なお、そのインク汚れに伴う損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト

epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

インターネット

FAQ epson.jp/faq/

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてウェブサイトに掲載しております。ぜひご活用ください。

●製品に関するご質問・ご相談先（エプソンインフォメーションセンター）

製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

【電話番号】050-3155-8700

◎上記電話番号がご利用できない場合は、042-507-6474へお問い合わせください。

●エプソン プラス・ワンサービス

”電話だけではわかりにくい” ”もっと深く知りたい” などのご要望にお応えする有料サービスです。一部対象外機種がございます。詳しくはエプソンのウェブサイトでご確認ください。

○遠隔サポートサービス

インターネットを介してお客様のパソコン画面をオペレーターのパソコンに表示し、画面共有しながら操作・設定方法などをアドバイスさせていただく有料サービスです。

サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのウェブサイトでご確認ください。

epson.jp/es/

【電話番号】050-3155-8888

◎上記電話番号がご利用できない場合は、042-511-2788へお問い合わせください。

○おうちプリント訪問サービス

2つのメニューをご用意。ご自宅にお伺いする有料サービスです。

- ・ おたすけサービス
製品の本体設置や、無線LANの接続・設置などを行います。
- ・ ホームレッスン
製品の使い方、パソコンから写真印刷する方法などのレッスンをを行います。

サービスの概要および注意事項等、詳細事項はエプソンのウェブサイトでご確認ください。
epson.jp/support/houmon/

【電話番号】 050-3155-8666

◎上記電話番号がご利用できない場合は、042-5111-2944へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。
 一部対象外機種がございます。詳しくはエプソンのウェブサイトでご確認ください。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒003-0021 札幌市白石区栄通4-2-7 エプソンサービス(株)	011-805-2886
松本修理センター	〒390-0863 松本市白板2-4-14 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
鳥取修理センター	〒689-1121 鳥取市南栄町26-1 エプソンリペア(株)	050-3155-7140
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 グリーンビル山下町2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

修理について詳しくは、エプソンのウェブサイトでご確認ください。
epson.jp/support/

◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。

松本修理センター：0263-86-7660

鳥取修理センター：0857-77-2202

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。梱包は業者が行います。
 一部対象外機種がございます。詳しくはエプソンのウェブサイトでご確認ください。

【電話番号】 050-3155-7150

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）について詳しくは、エプソンのウェブサイトでご確認ください。
epson.jp/support/

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先（エプソンサービスコールセンター）

一部対象外機種がございます。詳しくはエプソンのウェブサイトでご確認ください。

【電話番号】 050-3155-8600

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-5111-2949へお問い合わせください。

●ショールーム

詳細はウェブサイトでご確認ください。
epson.jp/showroom/

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	myepson.jp/ カンタンな質問に答えて会員登録。
---------------	--

● 消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ウェブサイトアドレス epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト（epson.jp/support/）にてご確認ください。

エプソン販売株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス（BIJ） 2019.06